

市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

図面リスト

図面No.	図面名称	図面No.	図面名称	図面No.	図面名称
A-01	工事タイトル・図面リスト	A-25	B棟2階平面図(既存・改修)	S-01	構造設計標準仕様書
-02	特記仕様書-1	-26	B棟3階平面図(既存・改修)	-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
-03	特記仕様書-2	-27	B棟4階平面図(既存・改修)	-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
-04	特記仕様書-3	-28	B棟1階平面詳細図(既存・改修)	-04	鉄骨構造標準図(1)
-05	特記仕様書-4	-29	B棟2、3、4階平面詳細図(既存・改修)	-05	鉄骨構造標準図(2)
-06	特記仕様書-5	-30	B棟1階展開図(既存・改修)	-06	A棟基礎、1階床、2階床、3階床図
-07	特記仕様書-6	-31	B棟2、3、4階展開図(既存・改修)	-07	A棟巻き上げ機設置部、R階床伏図
-08	付近見取り図・配置図	-32	B棟1階天井図(既存・改修)	-08	A棟断面図
-09	A棟工事概要・仕上表	-33	B棟2、3、4階天井図(既存・改修)	-09	A棟構造詳細図(大梁、鉄骨リスト)
-10	B棟工事概要・仕上表	-34	B棟矩計図(既存・改修)	-10	A棟基礎配筋図
-11	A棟1階平面図(既存・改修)	-35	建具表	-11	B棟基礎、1階床、2階床、3階床図
-12	A棟2階平面図(既存・改修)	-36	雑詳細図-1	-12	B棟4階床、巻き上げ機設置部、R階床伏図
-13	A棟3階平面図(既存・改修)	-37	雑詳細図-2	-13	B棟断面図
-14	A棟1階平面詳細図(既存・改修)	-38	A棟外構既存・改修平面図	-14	B棟構造詳細図(大梁、鉄骨リスト)
-15	A棟2階平面詳細図(既存・改修)	-39	A棟・B棟プラットフォーム詳細図	S-15	B棟基礎配筋図
-16	A棟3階平面詳細図(既存・改修)	-40	その他工事D-1、2、3、4		
-17	A棟1階展開図(既存・改修)	-41	その他工事D-5、6	M-01	器具表・凡例・プロパン庫改修図
-18	A棟2階展開図(既存・改修)	-42	その他工事D-7、8、	-02	A棟各階衛生設備撤去改修図
-19	A棟3階展開図(既存・改修)	-43	その他工事D-9	-03	B棟各階衛生設備撤去改修図
-20	A棟1階天井伏せ図(既存・改修)	-44	その他工事D-10	-04	A棟各階空調設備撤去改修図
-21	A棟2階天井伏せ図(既存・改修)	-45	A棟仮設計画図(参考図)	M-05	B棟各階空調設備撤去改修図
-22	A棟3階天井伏せ図(既存・改修)	-46	B棟仮設計画図-1(参考図)		
-23	A棟矩計図(既存・改修)	-47	B棟仮設計画図-2(参考図)		
A-24	B棟1階平面図(既存・改修)	A-48	その他工事の仮設計画図(参考図)		

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。 2. 本特記仕様書における採用事項 ① 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。 ② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。 ③ 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。 ○印と※印を付した場合は共に適用する。 3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。 ・国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成28年版 ・国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成28年版 ・国土交通省大臣官房長官官務部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版 ・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課他) 4. その他事項 ・各項目欄の番号(例:1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する ・各項目欄の番号(例:1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする ・各項目欄の番号(例:●○○章***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する	1. 完成時の提出図書 種類: ※表1.8.1 一般図・実施設計図一式 記入内容: ※表1.8.1 図示 提出要領: ・A3原稿2つ折り製本・A3版原因(CAD作図による) ・CADデータ 施工計画書: ○監督員の承諾を受けたもの 施工図: ・A3原稿2つ折り製本・A3縮刷版第2原図 ・CADデータ ○監督員の承諾を受けたもの	2. 既存防水層の処理 2重ドレンの設置: ・行わない・行う(施工箇所); 補修箇所の形状、長さ、数量等: ・下表による・図示 施工部位 形状・長さ数量等 備考 ・脆弱部の補修 m ・既存目地の欠損部補修 m ・欠損部の補修 m ・防水層表面の仕上げ塗装の除去 m 既存防水層表面の仕上げ塗装の除去: ・行わない・行う 設備架台等防水層取り合い部の処置: ・協議による・図示 立上り防水層の処置: ・撤去する ・撤去しない【補修方法: 標準仕様書3.2.6(d)による】・図示	3. 2.5 M-1D1の処理 2.6 既存下地の補修及び処置 3.2 材料 3.3 種別及び工程 4.2 材料 4.3 種別及び工程	3. 4.3 種別及び工程 5.2 材料 5.3 種別及び工程 5.4 施工 6.3 種別及び工程	
1.4 工事実績情報登録 登録: ○適用・不適用 1.* 建築基準法の風圧 基準風速: ・V ₀ =36(m/s) 平成12年建設第1454号第2 積雪に関する規定 地表面粗度区分: ・I・II・III・IV 積雪区分: ・区域=(32)/α=0.0009/β=0.00/γ=0.21/R=0 平成12年建設第1445号 別表 3.3 電気保安技術者 技術者の適用: ・適用・不適用 3.5 施工条件 施工順序等の制約: ・無し ○有り【現場説明書による・図示・】 工事車両の駐車場所: ・図示・現場説明書による ○敷地内 資材、機材置場: ・図示・現場説明書による ○敷地内 発生土仮置場: ・図示・現場説明書による ○敷地内 その他の施工条件: ・図示 ○現場説明書による ○施設管理者との協議による 3.12 発生材の処理等 ・発生者への引渡発生材; ・特別管理産業廃棄物; ・リサイクル発生材; ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理: ・製造業者回収委託処理・管理型最終処分場埋立処理 標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせっこうボードの処理: ・管理型最終処分場埋立処理・再資源化 PCB含有シーリングの調査方法: ・図示 PCB含有シーリングの撤去方法: ・図示 4.* 使用材料 ○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。 5.2 施工数量調査 調査範囲: ・図示 調査方法: ・非破壊検査・破壊検査 5.3 調査のための 補修方法: ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する 図示 6.5 施工の検査等 見本施工の実施: ・実施しない ・実施する【実施箇所等: 図示・】 6.9 化学物質の濃度 測定 濃度測定: ・未実施 ○実施 化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質: ・ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン ・エチルベンゼン・メチル・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ○バッチ型採取機器・アクティブ法; 測定対象室: ・図示 ○現場説明書による 測定箇所数: ・図示 ○2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。 8.1 完成時の提出図書 完成図: ○必要(現場説明書による) 保全に関する資料: ・必要・不要	2.1 足場その他 内部足場の種別: ○脚立 ○足場板 ・ローリング 外部足場の設置、種別: ・設置しない ○設置する【○枠組足場・単管足場・】 保護シートの設置: ○設置する・設置しない 材料等の運搬方法: ・A種・B種・C種 ○D種・E種 3.1 既存部分の養生 既存部分養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する 既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する 既存ブラインド、カーテンの養生方法: ・指定場所に保管し再設置・指定場所に保管し清掃の上再設置 仮設間仕切り: ・無し ○有り 設置箇所: ○図示 種別: ・A種・B種・C種 仮設扉: ・不要 ○必要【設置箇所: 図示・任意の場所・】 仮設扉の種別: ・鋼製 ○木製・図示 4.1 監督員事務所、 受注者事務所等 監督員事務所の設置: ・必要・不要 ○監督員事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m ² を含む) ・()号に会議室()m ² を加えた規模 ・専用電話・兼用FAX・冷暖房機・机・椅子・書棚 ・検査用具・その他; 受注者事務所の設置: ・必要・不要 ○受注者事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m ² を含む) ・()号に会議室()m ² を加えた規模 ・専用電話・兼用FAX・冷暖房機・机・椅子・書棚 ・検査用具・その他; 4.* 工事用水及び電力 構内既存の用水施設: ・利用できない ○利用できる(・有償・無償) 構内既存の電力施設: ・利用できない ○利用できる(・有償・無償) ○動力以外利用できる(・有償・無償)	1. 一般事項 防水工事の保証書の提出及び保証年限 ・保証年限10年;75%防水・合成高分子ルーフィング防水 ○保証年限3年; ○ケイ酸系塗膜防水(c-up) <保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による・図示 1.3 施工一般 1.4 改修工法の種類及び工程 ○防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PIB工法 ・M-7P/M-1E-1防水押え POS機械工法 *1工程有り ・浴室防水押え M4SI工法 *2工程無し 1.4 改修工法の種類及び工程 ○シーリング改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考 ・外壁コンクリート打継目地 シーリング充填工法 ・外壁コンクリート剥離目地 シーリング再充填工法 ・外壁開口部建具廻り目地 シーリング再充填工法	2.5 M-1D1の処理 2.6 既存下地の補修及び処置 3.2 材料 3.3 種別及び工程 4.2 材料 4.3 種別及び工程	3. 4.3 種別及び工程 5.2 材料 5.3 種別及び工程 5.4 施工 6.3 種別及び工程	

Main table with 4 columns: 1. 7.2 防水改修工事, 2. 1.5 外壁改修工事, 3. 2.2 工法別仕様材料, 4. 2.2 工法別仕様材料. Each column contains detailed specifications, materials, and construction methods for exterior wall repairs.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 2.5 工法 (Construction Method), 3.2 性能及び構造 (Performance and Structure), 3.3 材料 (Materials), 3.4 形状及び仕上げ (Shape and Finishing), 3.5 工法 (Construction Method), 4.2 性能及び構造 (Performance and Structure), 4.3 材料 (Materials), 4.4 形状及び仕上げ (Shape and Finishing), 5.2 性能及び構造 (Performance and Structure), 5.3 材料 (Materials), 6.3 材料 (Materials), 6.5 工法 (Construction Method), 7.1 適用範囲 (Application Range), 7.2 材質、形状及び寸法 (Material, Shape, and Dimensions), 7.3 取付け施工 (Installation Construction), 7.4 鍵 (Key), 8.2 性能 (Performance), 8.3 機構 (Mechanism).

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 9.3 性能等 (Performance, etc.), 10.2 形式及び機構 (Form and Mechanism), 11.2 形式及び機構 (Form and Mechanism), 11.3 材料 (Materials), 11.4 形状及び仕上げ (Shape and Finishing), 12.2 形式及び機構 (Form and Mechanism), 12.3 材料 (Materials), 13.3 ガラスの寸法 (Glass Dimensions), 13.4 工法 (Construction Method), 13.5 形状及び寸法 (Shape and Dimensions), 14※ 材料 (Materials), 1. 一般事項 (General Items), 2. 既存床の撤去並びに下地補修 (Removal of Existing Floor and Underlayment Repair), 3. 既存壁の撤去並びに下地補修 (Removal of Existing Wall and Underlayment Repair).

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 5.1 一般事項 (General Items), 5.2 木材 (Wood), 5.3 木材 (Wood), 5.4 木材 (Wood), 5.5 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.6 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.7 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.8 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.9 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.10 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.11 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.12 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.13 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.14 防蟻・防蟻 (Ant Prevention).

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include 5.1 一般事項 (General Items), 5.2 木材 (Wood), 5.3 木材 (Wood), 5.4 木材 (Wood), 5.5 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.6 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.7 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.8 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.9 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.10 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.11 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.12 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.13 防蟻・防蟻 (Ant Prevention), 5.14 防蟻・防蟻 (Ant Prevention).

<p>8.2 材料</p> <p>8.3 工法</p> <p>9.3 材料</p> <p>9.4 工法</p> <p>10.2 材料</p> <p>10.3 工法</p> <p>11.2 材料</p> <p>11.3~11.5 工法</p> <p>11.6 現場塗装仕上げ</p> <p>12.2 材料</p> <p>13.2 材料</p> <p>13.3 工法</p>	<p>特記事項</p> <p>・検定検査者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せっ器質タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ○耐動荷重性床シート張り： 種類(抗菌) 厚さ(t-2.0) ○ビニル幅木の厚み： ○5mm以上 ○ビニル幅木の長さ： ※60mm ○100mm ○300mm 下地の工法： ○貼付下地 ※木造下地 ○図示 熱溶接工法： ○適用する ・適用しない</p> <p>9. カーベットの敷き ○織じゆうたん 種類： ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状： ・カットパイル ・メープパイル ・カット/メープ併用 色柄： ・無地 ・柄柄 帯電性の適用： ・適用しない ・適用する【人体帯電圧： ※3kV以下】</p> <p>○タフテッドカーベットの パイル形状： ・メープ ・カット パイル長： ・図示 ・mm ○ニードルパンチカーベットの 厚さ： ・4mm ・7mm ○タイルカーベットの パイル形状 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) ※第1種メープパイル ※第1種 ※500x500 ※6.5 ※第2種 ※第2種</p> <p>○下敷き材 下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号(呼称8mm) 接着剤の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ タフテッドカーベットの工法： ・グリグリ工法 ・全面接着工法 タイルカーベットの敷き方(平場)： ※市松敷き (階段部分)： ※横溝流し</p> <p>10. 合成樹脂塗料 種類 仕上り種類 備考 ・弾性外塗り床材 ※平滑 ・防汚 ・つや消し ・珪砂樹脂塗料床材 ・薄膜流し膜付 ・厚膜流し膜付： ※平滑 ・防汚 ・樹脂外塗り： ※平滑 ・防汚</p> <p>材料の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆</p> <p>11. フローリング張り 種類 材料 工法 形式寸法等(mm) LxWx t ・フローリングボード等 ※行付 ・釘留め工法(張太) ・500(L)x750(W)x15(T)以上 ・釘留め工法(張引) ・接着工法 ・フローリングボード等 ※行付 ・釘留め工法(張太) ・303x303(L)x15(T)以上 ・釘留め工法(張引) ・接着工法 ・ゼイブークット等 ※行付 ・釘留め工法(張太) 厚さ： ・6 ・7 ・8 ・弾性ゼイブークット ・釘留め工法(張引) ・接着工法</p> <p>・複合フローリング ※行付 ・釘留め工法(張太) ・A種 ・B種 ※C種 ・リフト ・釘留め工法(張引) ・A種 ・B種 ※C種 ・協議 ・接着工法 ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>材料の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 接着剤の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆</p> <p>仕上げ： ※リブ樹脂ワニス塗り ・既製仕上げ</p> <p>12. 畳敷き 種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>13. せっこうボードその他ボード及び合板張り 規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 木質系せっこう板 ・木毛せっこう板 ・MF ・NN ・25・50 ・木片せっこう板 ・HF ・NF ・ せっこうボード製品 ・せっこうボード GB-R 9.5・12.5 ・シングルせっこうボード GB-S 9.5・12.5 ○強化せっこうボード GB-F 9.2・11.0 ・せっこうボード GB-L ※9.5・7 ○強化せっこうボード(折入) GB-D 9.5・12.5 ・化粧せっこうボード 9.5・12.5</p>	<p>13.3 工法</p> <p>特記事項</p> <p>規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 繊維強化せっこう板 ○外壁用(9イ)2 ○0.8FK ○9.8・10 ○化粧用(9イ)2 ○1.0FK ○6・8・10 ・バニクマド化粧板 ・RS・VS ・DV・DO・DC 火山性ガラス繊維板(VSG-1T) 材料の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ○合板 材料 樹種など 厚さ(mm) 工法 ・難燃合板 生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・4 ・5.5 ・A種 ・7mm ※B種 不透明塗料塗りの場合 ・サ [・1級・2級] ・ ・普通合板 ○7mm ○1級 ・4 ・5.5 ・A種 ・サ ○2級 ○3 ○12 ※B種</p> <p>材料 樹種など 厚さ(mm) 工法 ・指張り用合板 ・南洋材 ・型枠用 ・9 ・12 ・A種 ・針葉樹 ・構造用 ・ ※B種 ・有孔合板 ・サ ・1級 ・4 ・6 ・A種 ・2級 ・ ※B種</p> <p>・天然木化粧合板 化粧単板のそば包み ・4.2 ・A種 ・行付 ※行わない ・B種 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・特殊加工化粧合板 表面仕上げの種類 ・4.0 ・3.0 ・A種 ・ラミネーション ・B種 ※B種</p> <p>材料の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 普通合板の防虫処理： ※行わない ・行付 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行付 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行付 接着剤の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ せっこうボードの目地処理： ・掘目処理工法 ○目透し工法 ○巻付け工法 遮音シート材： ・7mm系シート材 ・ジョイント材</p> <p>14. 壁紙張り 防火性能の指定： ・下表による ・図示 品質 検定区分 施工箇所 ・フルクロス系 ・1級 ・2級 ・ ・織物系 ・1級 ・3級 ・4級 ・ ・アラステック系 ・1級 ・2級 ・</p> <p>材料の貼付方法： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ モルタル面及びプaster一面の地下調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の地下調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 せっこうボード及びその他ボード面の地下調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <p>15. モルタル塗り 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地</p> <p>16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※4mm(縦・横共) ・図示</p> <p>16.1 一般事項 16.3 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類： 図示 ・下表による</p> <p>施工箇所 形式・形状寸法(㎜) 用途による耐凍害性 色 釉薬 備考 有 無 標準特注施無無無</p> <p>○タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・樞木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行付 ・行わない タイルの試験張り： ・行付 ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り</p>	<p>16.4 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類： 図示 ・下表による</p> <p>17.2 材料</p> <p>17. セルフレベリング材塗り 品質： ・セメント系 ・せっこう系 厚さ： ・10mm ・図示</p> <p>1.3 材料</p> <p>1. 一般事項 材料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有()</p> <p>2. 地下調整 仕上げの種類 種類 木部(不透明塗料塗り部) ※RA種 ・RB種 ・RC種 木部(透明系塗料塗り部) ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 亜鉛メッキ鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プaster ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネルRA種 ※RB種 ・RC種 押出成形セメント板 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せっこうその他のボード 掘目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <p>3. 鉄鋼面錆止め塗料塗り 鉄鋼面塗外： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面塗内： ※A種 ○B種 ・C種 鉄鋼面E-P-G塗装下地： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分新張り工法： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新張り工法： ・A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>4. 合成樹脂調整用ベイント塗り(SOP) 種類： ※1種 ・2種</p> <p>5.2 塗料塗り</p> <p>5. クリヤーラッカー塗り(CL) 種類： ・A種 ※B種</p> <p>7.2 塗料塗り</p> <p>7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 種類： ・A種 ※B種</p> <p>8.2~8.4 DP塗料塗り</p> <p>8. 耐熱性塗料塗り(DP) 鉄鋼面の種類： ・A種 ○B種 (上塗り等級：1級 フッ素樹脂) 亜鉛めっき鋼面の種類： ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面の種類： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板の種類： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種</p> <p>8.2~8.5 EP-G塗料塗り</p> <p>9. つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り(EP-G) コンクリート面及びモルタル面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 プaster一面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしき止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 屋内木部の種類(新規)： ※A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種類(塗替え)： ・A種 ※B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種類： ・A種 ※B種 ・C種</p>	<p>7.2 塗料塗り</p> <p>10.2 EP塗料塗り</p> <p>10. EP塗料塗り</p> <p>11.2 EP-T塗料塗り</p> <p>12.2 UC塗料塗り</p> <p>13.2 LE塗料塗り</p> <p>15.2 WP塗料塗り</p> <p>・耐火塗料塗り</p> <p>1. 合成樹脂エマルジョンベイント塗り(EP) 種類： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしき止め： ○標準仕様書9.2(b)による ・図示</p> <p>11. 合成樹脂エマルジョン積層塗料塗り(EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster一面の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 せっこうボード等面の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種</p> <p>12. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種類： ・A種 ※B種</p> <p>13. ラッカーエナメル塗り(LE) 種類： ・A種 ※B種</p> <p>15. 木材保護塗料塗り(WP) 種類： ・A種 ※B種</p> <p>塗り廊下： ・1時間耐火 仕様は主材製造所による</p> <p>1. 一般事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による ・本章の事項は構造特記仕様書による コンクリートの種類： ※I類 ・II類 ・その他 使用骨材による種類： ・普通コンクリート(下表による) ・図示</p> <p>施工部位 設計基準強度(N/mm²) 備考 ・構造躯体(基礎～階) 30 ・構造躯体(階～階) 24 ・構造躯体(1階～4階) 21 ・捨てコンクリート ・18 ・21 ・土間コンクリート 21 使用骨材による種類： ・軽量コンクリート(下表による) ・図示</p> <p>施工部位 設計基準強度(N/mm²) 備考 ・18 ・21 ・18 ・21 ・18 ・21</p> <p>1.3 コンクリートの品質 スランブ： ※8cm ・図示 コンクリート部材の許容差及び測定方法： ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による 打直し仕上りの種類(合板せき板を用いる場合) 施工部位 種類 備考 ・化粧打直し部 A種 ○打直し補修下地部 A種 ○基礎部 C種</p> <p>コンクリートの仕上りの平準さ： ・標準仕様書表8.1.4による 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工監理技術者： ・適用する ・適用しない</p> <p>2. 材料 鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示</p> <p>2.1 鉄筋 2.2 溶接金網</p> <p>2.4 あと施工アンカー</p> <p>あと施工アンカーの種類： ○金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ○金属系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカー本体の径： ・図示 アンカー本体の埋込深さ： ・図示 ○メーカー仕様による アンカー本体のセット方式： ・図示 ※本体打込み式改良型 接合部の径及び長さ： ・図示 ○接着系アンカー 引張耐力： ・図示 せん断耐力： ・図示 アンカーの種類： ・図示 ・加形型 アンカーの径： ・図示 アンカーの埋込深さ： ・図示 アンカーの埋込長さ： ・図示 ※異形形状 アンカーの新設壁内への定着長さ： ・図示 ※標準仕様書8.2.4(a)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験： ・行付 ○行わない ○あと施工アンカー使用材料は監督員の承認を得たものとする</p>
<p>公共建築課長</p> <p>主査等</p> <p>担当者</p>	<p>横須賀市 都市部 公共建築課</p> <p>設計年月日 平成 31年 2月</p>	<p>工事名称 市立不入斗中学校界隈設置建築その他工事</p> <p>図面名称 特記仕様書・4</p> <p>縮尺</p> <p>---</p> <p>A-05</p> <p>No.</p>		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8章	2.5 コンクリートの材料及び調合	セメントの種類： ※普通セメント ※混合セメント ※高炉セメント フライアッシュセメント フェロニッケルスラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A・B 鋼スラグ骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤	8章	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・ 施工部位 種類 備考 ・屋上防水押え ・1種 ・2種 ・1種 ・2種 ・1種 ・2種 所要乾単位容積重量： ・図示 ・ kN/m ³ 所要スランプ： ※21cm ・18cm	8章	21.9 既存との取合い	既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.19.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・	8章	28.3 土工事	・他現場に搬入（ ） ・指定処分地（ ） ◎山留めの撤去 ・撤去 ・存置
	2.6 構造用モルタルの材料及び調合	モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm ² ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上		10.2 材料及び調合	10. 暑中コンクリート 構造体強度補正値(S)： ※6 N/mm ・		22.7 既存との取合い	22. 鉄骨プレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ プレース設置後の仕上げ： ・図示 ・	28.4 地業工事	◎試験 試験杭の位置、本数、寸法： ・図示 ・ ◎載荷試験 載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・ 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎地盤の載荷試験 載荷試験： ・平板載荷試験 ・ 試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎杭地業は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」4章【地業工事】による。	
	2.7 型枠の材料	型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・		11.1 一般事項	11. 無筋コンクリート 適用箇所： ※標準仕様書6.14.1(d)による ・下表による ・図示 施工部位 設計基準強度(N/mm ²) スランプ ※18 ・21 ※15以下 ※18以下		22.9 仕上げ	23. 柱補強工事 工法の種類： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖フープ巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打放し仕上げの増厚厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない			
	2.8 鋼材	鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・ 構造図による		12.2 穿孔	12. あと施工アンカー工事 埋込配管等の調査方法： ・図示 ・ 施工試験： ※引張試験機による引張試験 ・図示 ・ 確認強度： ・図示 ・		23.1 適用範囲	23.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖フープ巻き工法 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種類： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法			
	2.9 高力ボルト	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 種類： ・H型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(FBT相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・		12.5 施工確認試験	13. 鉄骨工作 仮組の実施： ・行わない ・行う		23.6 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法	柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・			
	2.10 溶接材料	溶接棒等(標準仕様書表8.2.7)及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・		14.2 摩擦面の性能及び処理	14. 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面状態： ・図示 ・ ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトの回転法で回転量： ・120°		23.7 仕上げ	24. 連続繊維補強工事 凸部割れ部の改修工法： ・特記仕様書4.1.4に準拠する ・図示 ・ 柱の隅角部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数量： ・図示 ・ 連続繊維補強材の付着強度試験の数量： ・図示 ・ 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・			
	2.11 柱底均しモルタル及びグラウト材	モルタルの種類： ・図示 ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの調合： ※標準仕様書8.2.10(b)(1)～(4)による ・図示 ・		14.7 締付け	15. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・ エンドタブの切除の有無： ・有り ・無し 【エンドタブの切除の適用箇所： ・図示 ・ スカラップの形状： ・図示 ・ 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う(全数検査を行い試験結果報告書を提出) 第三者機関による検査： ※行う ・行わない AQL： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準		25.2 施工	25. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・			
	2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	材料： ・図示 ・ 工法： ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等： ・図示 ・		15.11 溶接部の試験	◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない AQL： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない		26.7 支保材	26. 支保材又は減衰材 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処理： ・図示 ※メーカー仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・メーカー仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・			
	2.13 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・		17.3 塗料の種類	17. 鉄骨の錆止め塗装 SRC造の鋼製スリーブ(鉄骨に溶接されたもの)の内面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種・B種・C種】 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書表7.3.1【A種・B種・C種】		26.10 支保材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 免震コアジョイント等 26.16 検査 27.2 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・			
	2.14 基礎工事に用いる材料	杭の材料： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 杭の継手、工法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・		18.2 種別及び性能	18. 耐火被覆 耐火被覆材の種別及び性能： ※図示 ・		27.4 減衰材	27.6 減衰材の設置 27.8 仕上げ 27.9 検査			
	3.4 継手及び定着	3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類： ◎重ね継手 ・ガス圧継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 耐力型鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への梁引張り鉄筋の定着長さ： ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による ・図示 ・		20.4 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	20. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理： ・構造特記仕様書による ・ブラスト処理 ・図示 ・ すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面状態： ・構造特記仕様書による ・図示 ・		27.2 既存部分の撤去等	28. 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)： ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・ 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示 ・		21.2 既存部分の撤去等	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋： ◎図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・		21.3 既存部分の処理	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	3.8 ガス圧接	抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・		21.6 鉄筋の加工、組立	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	4.2 機械式継手	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による		21.8 コンクリートの打込み	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	4.3 溶接継手	品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による		21.8 コンクリートの打込み	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			
	7.8 型枠工事	7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 外部に面する打放し仕上げの増厚厚さ： ・25mm ◎20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない		21.8 コンクリートの打込み	21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・		28.2 既存杭の撤去等	28.2 基礎工事 28.2 既存杭の撤去等 28.3 土工事			

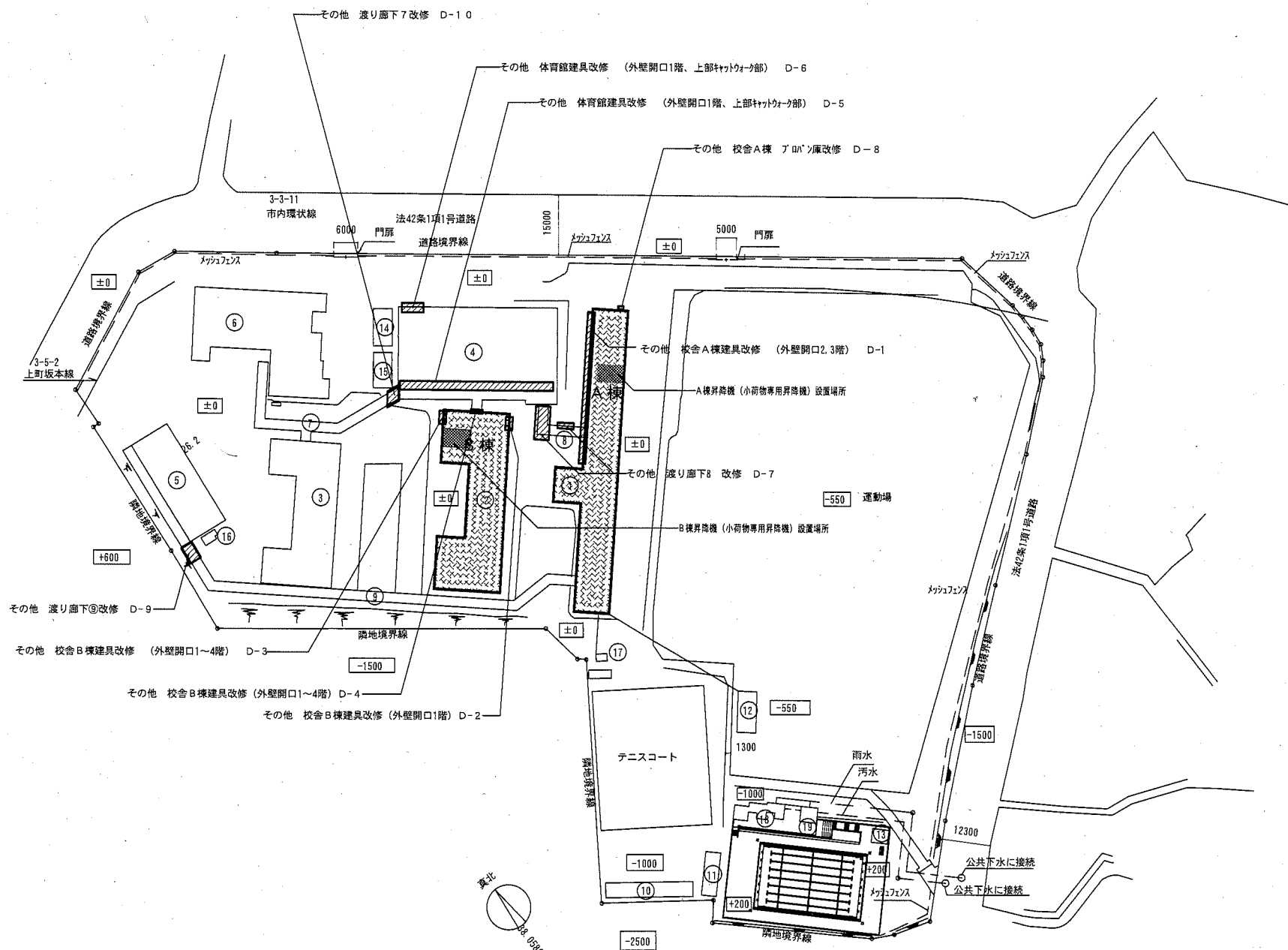
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
9章	1.1 一般事項	1. アスベスト含有建材の除去工事 封じ込め処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示・】 囲い込み処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示・】 アスベスト含有建材撤去後の仕上げ：・図示・ 分析によるアスベスト含有の調査：・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3 アスベスト粉塵濃度測定：・行わない・行う・図示・	9章	7.3 路床	路床安定処理の適用：○適用しない・適用する 路床安定処理の方法：・添加材料による処理・図示・ 処理内容：【厚さ：・300mm・】 【目標CBR：・5以上・】 盛土の種類：・A種・B種・C種・D種 フィルター層の材料：・砂・図示・ 砂の品質：・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料：・普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメント・生石灰【・特号・1号】 ・消石灰【・特号・1号】 ジオテキスタイルの適用：・適用しない・適用する 路床土のCBR試験：○行わない・行う【・乱した土・乱さない土】 路床締固め度試験：・行う○行わない 車道部の路盤の厚さ：・図示・150mm ○200mm 歩道部の路盤の厚さ：・図示・100mm 路盤の材料：※ケラックラン ※粒度調整砕石 ※再生材 ※ケラックラン鉄鋼スラグ ※粒度調整砕石
1.5	アスベスト含有成形板の除去	除去工法：※標準仕様書9.1.5による・図示・ 除去物の処理：※密封処理・セメント固化・図示・	7.4 路盤	舗装の構成及び仕上り	舗装の厚さ(mm)：車道部 ○0mm・mm 歩道部【・30mm・mm】 舗装の平坦性：・図示 ※標準仕様書による アスファルトの種類(車道部)：・図示 ※再生密粒 アスファルトの種類(歩道部)：・図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験：・行う○行わない
2.3	改修工法の種類及び工程	2. 断熱アスファルト防水改修工事 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・PIBI/・BI-1・BI-2 断熱材：t= ・P2AI/・AI-1・AI-2 断熱材：t= ・R階屋上 ・PODI/・DI-1・DI-2 断熱材：t= ・TIBI/・BI-1・BI-2 断熱材：t= ・M3DI/・DI-1・DI-2 断熱材：t= ・M4DI/・DI-1・DI-2 断熱材：t=	7.5 舗装の構成及び仕上り	7.9 試験	
3.2	材料	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ：・図示・ 外装材の種類及び防火性能：・図示・			
3.3	既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去：・図示・全面撤去・部分撤去・ 既存外壁下地面の清掃：・図示・ 既存外壁下地欠損部の改修方法：・図示・			
3.4	工法	断熱材の施工方法：※メーカー仕様による・図示・ 外装材の施工：・図示・			
4.2	材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ：・図示・ 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分：※U3-1・U3-2			
5.2	断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事 種類 種別 厚さ(mm) ・ビーズ法※スチレンフォーム ・ 25 ・押出法※スチレンフォーム ・3種：土間コンクリート下層 ・25・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・ ・フェノールフォーム ・ 接着剤のMMA797'ヒド'放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆			
5.3	現場吹付発砲断熱材	材料：・吹付け硬質ウレタンフォーム・ 種類：・A種1・ 難燃材：・1級・2級・3級 吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25・30・20			
5.4	断熱材後張り工法	種類 種別 厚さ(mm) ・ビーズ法※スチレンフォーム ・ 25 ・押出法※スチレンフォーム ・3種：土間コンクリート下層 ・25・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・ ・フェノールフォーム ・ 接着剤のMMA797'ヒド'放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆			
6.2	材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類：・コライグナ・シバ・ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数：・図示・ 縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示・ 建設省告示第1458号に対応した工法： 灌水装置の設置/種類：・設置しない・設置する【種類：・図示・】 既存保護層等の撤去：・撤去しない・撤去する 新植芝、地被類の枯保証期間：・1年・半年・			
7.2	既存舗装の撤去及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去：・撤去しない ○撤去する【範囲等：・図示・改修部分全面】 既存舗装の再利用：・再利用しない ・再利用する【範囲等：・図示・改修部分全面】			
7.3	路床	凍上抑制層の適用：○適用しない・適用する 厚さ：・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用：○適用しない・適用する 厚さ：車道部【・150mm・mm】 歩道部【・50mm・mm】			

No	工事内容	建築	電気	機械	備考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き		○		
2	仮設足場(樹立を除く)	○			
3	発生土運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め修繕		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付		○		
9	ステンレス板(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水目皿 周囲シーリング	○			
15	排水槽・側溝設置及び配管敷設工事			○	
16	側溝・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設備工事)	○			
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
20	給気口及び室内レジスター			○	
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン			○	
23	空調機外機・屋内機取り付け(冷暖管共巻き)			○	
24	空調機第一次配管供給		○		
25	プロパン庫 撤去(コンクリートブロック製)	○			
26	プロパン庫 新設			○	
27	プロパン庫 基礎新設	○			
28	昇降機の築設工事及び仕上げ工事	○			
29	昇降機ピット防水	○			
30	昇降機頂部機器用重畳ビームの設置工事	○			
31	各層出入口三方枠、インジケーター、昇降機の取付用下地及び穴あけ	○			
32	出入口三方枠、軌居、インジケーター取付後の諸調整	○			
33	乗降機保護柵取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
34	昇降機ピット内の点検用トラップ		○		
35	ストープ取外し	○			学校へ運搬
36	同上スリーブキャップ取付け	○			

工事場所：横須賀市坂本町1丁目19番地



付近見取り図



* 敷地内外の高低差は既存間積みにより、安全上支障ありません。

配置図 1/1000

棟番号	名称	建築面積	延べ面積	構造	階数	最高高さ
①	校舎A (昇降機設置棟)	803.53 m ²	2,371.17 m ²	RC造	3階	14.80m
②	校舎B (昇降機設置棟)	763.94 m ²	2,706.57 m ²	RC造	4階	18.40m
③	校舎C	510.14 m ²	2,036.94 m ²	RC造	4階	15.30m
④	体育館	928.00 m ²	776.33 m ²	S造	2階	10.23m
⑤	技術科室	307.80 m ²	307.80 m ²	S造	1階	5.40m
⑥	武道場	706.50 m ²	654.42 m ²	RC造	1階	8.70m
⑦	渡り廊下A	131.37 m ²	131.37 m ²	S造	1階	3.50m
⑧	渡り廊下B	42.39 m ²	42.39 m ²	S造	1階	3.50m
⑨	渡り廊下C	212.09 m ²	212.09 m ²	S造	1階	3.50m
⑩	郵室棟A	80.37 m ²	80.37 m ²	S造	1階	3.80m
⑪	郵室棟B	40.33 m ²	40.33 m ²	S造	1階	3.80m
⑫	体育倉庫	48.69 m ²	48.69 m ²	S造	1階	3.80m
⑬	ポンプ室	14.28 m ²	14.28 m ²	木造	1階	3.20m
⑭	倉庫A	43.94 m ²	43.94 m ²	S造	1階	3.60m
⑮	倉庫B	41.89 m ²	41.89 m ²	S造	1階	3.60m
⑯	倉庫C	8.56 m ²	8.56 m ²	CB造	1階	2.50m
⑰	ゴミ集積小屋	4.86 m ²	4.86 m ²	RC造	1階	2.50m
⑱	プール更衣室	40.98 m ²	40.98 m ²	RC造	1階	3.92m
⑲	プール便所	15.75 m ²	15.75 m ²	RC造	1階	3.92m
合計		4,745.41 m ²	9,578.73 m ²			

工 事 概 要	A棟昇降機設置 建築工事	その他改修工事		
	・ 1階相談室を荷受配膳室、2階教室、3階教室を配膳室に改修する。	・ D-1: 校舎A棟2~3階の開口部改修	・ D-6: 体育館開口部改修	・ 左記に伴う電気設備工事(別途工事)
	・ 上記に伴い残存する2階、3階教室を改修する。	・ D-2: 校舎B棟1階開口部改修	・ D-7: 渡り廊下改修	・ 左記に伴う機械設備工事
	・ 相談室の外部に、プラットフォームを新設する。	・ D-3: 校舎B棟1~4階開口部改修	・ D-8: プロパン庫解体・撤去 (撤去部は外壁の塗装及び巾木にも薄塗りを行う)	
	・ プラットホーム新設の為、舗装及び植栽帯の改修を行う。	・ D-4: 校舎B棟1~4階開口部改修	・ D-9: 渡り廊下の改修	
	・ D-5: 体育館開口部改修	・ D-10: 渡り廊下の改修		

A 棟 内 部 仕 上 げ 表

			床	巾 木	壁	天 井	備 考
1 階	既 存	相談室	モルタル下地Pタイル(アスベスト含有)撤去	塗り巾木	コンクリート、モルタル補修の上 EP-G	LGS下地せつこうボード張り 撤去	PS撤去
			土間コンクリート解体、土間筋は定着分(40d)を残すこと				
	改 修	荷受・配膳室	土間コンクリート打設t-120(小荷物専用昇降機基礎共)	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	※(壁の構造については、詳細図を参照)
			モルタル下地ビニルシートt-2.0				吊ヶケイカル取付
		廊下(共通)	下地調整のうえビニルシートt-2.5(コイン)	塗り巾木: EP-G 塗替え	ボード面: EP-G (新規)	LGS下地せつこうボード張りt-9.5	ステンレス流し台新設
				ビニル巾木 H-100	モルタル面: EP-G (塗替え)	EP (新規)	

2 階	既 存	普通教室	ビニルシート張り撤去t-2.5	ビニル巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP-G	スラブ下、木毛t/巾板打ち込み	パーテーション撤去 ガラス撤去 教壇撤去 黒板撤去
			小荷物専用昇降路スラブt-120解体(周囲カッター入れ)モルタルt-28共撤去				木製流し台撤去 掲示板撤去 テレビ台撤去
							木製ロッカー撤去 木製掃除用具入れ撤去
	改 修	配膳室	ビニルシート張りt-2.0	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ヶケイカル撤去 PS撤去
							(壁の構造については、詳細図を参照)
		少人数教室	ビニルシート張りt-2.5(マフ)	ビニル巾木 H-100	ボード面: EP-G (新規)	そのまま	ステンレス流し台新設 ガラス改修
				モルタル面: EP-G (塗替え)	EP (新規)	木製流し台新設 掲示板新設、平面ホロー白板新設	

3 階	既 存	普通教室	ビニルシート張り撤去t-2.0	ビニル巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP-G	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	パーテーション撤去 ガラス撤去 教壇撤去 黒板撤去
			小荷物専用昇降路スラブt-120解体(周囲カッター入れ)モルタルt-28共撤去				木製流し台撤去 掲示板撤去 テレビ台撤去
							木製ロッカー撤去 木製掃除用具入れ撤去
	改 修	配膳室	ビニルシート張りt-2.0	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ヶケイカル撤去 PS撤去
							(壁の構造については、詳細図を参照)
		少人数教室	ビニルシート張りt-2.5(マフ)	ビニル巾木 H-100	ボード面: EP-G (新規)	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ステンレス流し台新設 ガラス改修
				モルタル面: EP-G (塗替え)	EP (新規)	木製流し台新設 掲示板新設、平面ホロー白板新設	

外 部 仕 上 げ 表 (A棟・B棟共通)

外 壁	・ 仕上塗材: 建築用塗膜防水材塗り JIS6021 (ローラーさざ波模様 シリコン仕上)
	・ 下地調整: C-1
プラットフォーム	・ 床-コンクリート金コテ仕上げ(水勾配)
	・ 立ち上がり-コンクリート打放し補修
	・ 荷卸角部-65×65 アングル取り付け(溶融亜鉛めっき)
	・ W-150グレーチング(SUS)付排水側溝 細目ノンスリップタイプ
	・ アスファルト舗装改修

参考資料 (A棟・B棟共通)

土間コンクリート	モルタルt-28+コンクリートt-120
2,3階スラブコンクリート	モルタルt-48+コンクリートt-120
荷受室、配膳室ビニルシート	抗菌、耐動荷重性床シートt=2.0
化粧ケイカル板	t-6 ジョイント、コーナー、端部はアルミジョイナー使用
AD-1・AD-2	豊和工業株式会社 HAA-100-GII-K 同等品 [性能] 耐風圧性: S-6、気密性: A-4、水密性: W-5 フラットレール

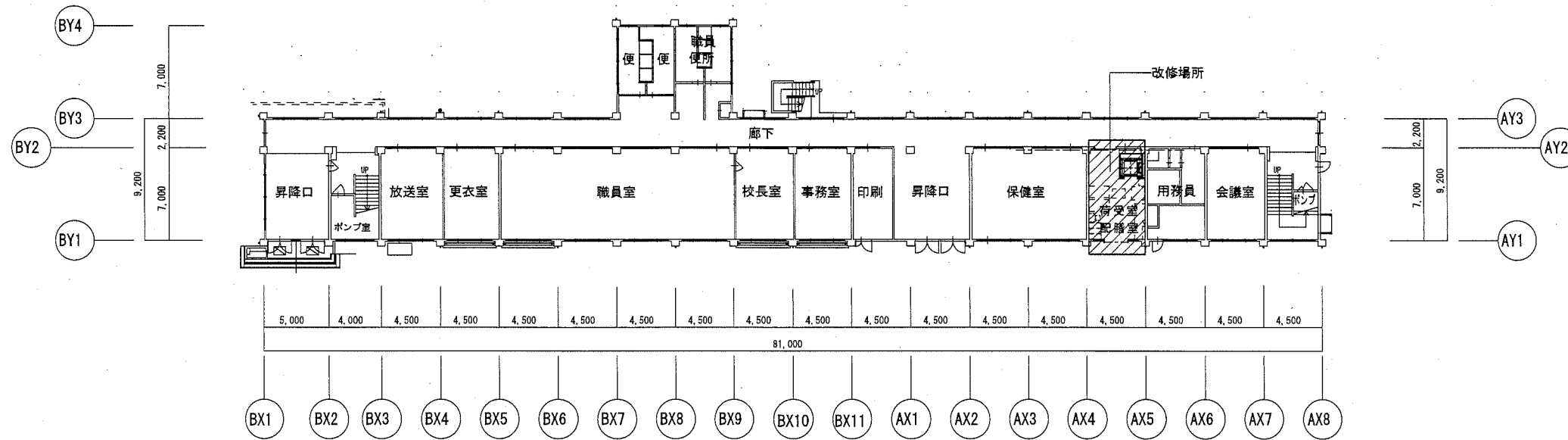
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮 尺	A-09
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟工概要仕上げ表	No.	

工 事 概 要	B棟昇降機設置 建築工事	その他改修工事
	・1階バンコナーを荷受・配膳室、2階資料室、3階倉庫、4階倉庫を配膳室に改修する。	・左記に伴う電気設備工事（別途工事）
	・バンコナー外部出口を改修して、プラットホームを新設する。	・左記に伴う機械設備工事
	・プラットホーム新設の為、舗装の改修を行う。	

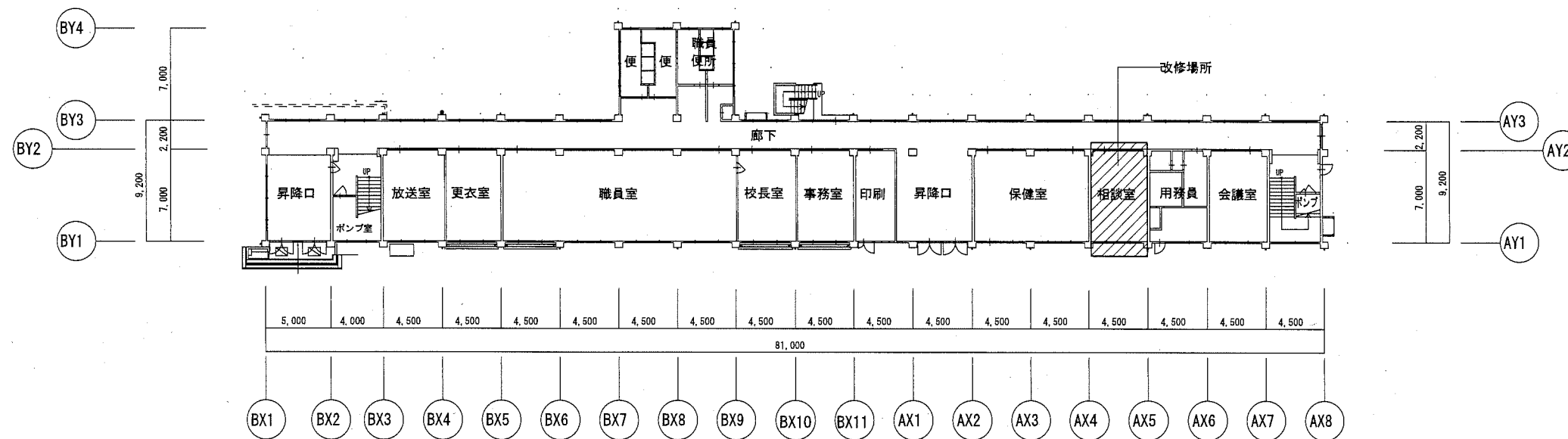
B棟内部仕上げ表							
		床	巾木	壁	天井	備 考	
1 階	既存	バンコナー	モルタル下地ビニルシート撤去	塗り巾木	コンクリート、モルタル補修の上 EP	LGS下地せつこうボード張り 撤去	鋼製カウンター撤去
			土間コンクリート解体、土間筋は定着分(40d)を残すこと				木製流し台撤去
	改修	荷受室・配膳室	土間コンクリート打設t-120(小荷物専用昇降機基礎共)	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板 t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	※(壁の構造については、詳細図を参照)
			モルタル下地ビニルシートt-2.0				吊カテナール取付
		廊下1・2	モルタル下地t-28 (一部下地調整)	ボード面:ビニル巾木 H-100	ボード面:EP-G(新規)	LGS下地せつこうボード張りt-9.5	
			ビニルシート張りt-2.5(コイン)	塗り巾木:EP-G (塗替え)	モルタル面:EP-G (塗替え)	ボード面:EP(新規)	ステンレス流し台新設
2 階	既存	資料室	フローリングブロック張り撤去(モルタル共)	木製巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP	LGS下地せつこうボード張り 撤去	パーテーション撤去
			E.V昇降路スラブt-120解体(周囲カッター入れ)モルタルt-35共撤去			(LGS共撤去)	ガラス撤去
	改修	配膳室	モルタルt-48	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板 t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ガラス改修
			ビニルシート張りt-2.0				ステンレス流し台新設
		廊下1・2	モルタル下地t-48 (一部下地調整)	ボード面:ビニル巾木 H-300	ボード面:EP-G(新規)	LGS下地せつこうボード張りt-9.5	※(壁の構造については、詳細図を参照)
			ビニルシート張りt-2.5(コイン)	塗り巾木:EP-G (塗替え)	モルタル面:EP-G (塗替え)	ボード面:EP(新規)	
3 階	既存	資料室	フローリングブロック張り撤去(モルタル共)	木製巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP	LGS下地せつこうボード張り 撤去	パーテーション撤去
			E.V昇降路スラブt-120解体(周囲カッター入れ)モルタルt-35共撤去			(LGS共撤去)	ガラス撤去
	改修	配膳室	モルタルt-48	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板 t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ガラス改修
			ビニルシート張りt-2.0				ステンレス流し台新設
		廊下1・2	モルタル下地t-48 (一部下地調整)	ボード面:ビニル巾木 H-300	ボード面:EP-G(新規)	LGS下地せつこうボード張りt-9.5	※(壁の構造については、詳細図を参照)
			ビニルシート張りt-2.5(コイン)	塗り巾木:EP-G (塗替え)	モルタル面:EP-G (塗替え)	ボード面:EP(新規)	
4 階	既存	資料室	フローリングブロック張り撤去(モルタル共)	木製巾木 撤去	コンクリート、モルタル補修の上 EP	LGS下地せつこうボード張り 撤去	パーテーション撤去 鋼製棚・木製棚撤去
			E.V昇降路スラブt-120解体(周囲カッター入れ)モルタルt-35共撤去			(LGS共撤去)	ガラス撤去
	改修	配膳室	モルタルt-48	ビニル巾木 H-300	配膳室内化粧ケイカル板 t-6	LGS下地化粧せつこうボードt=9.5張り	ガラス改修
			ビニルシート張りt-2.0				ステンレス流し台新設
		廊下1・2	モルタル下地t-48 (一部下地調整)	ボード面:ビニル巾木 H-300	ボード面:EP-G(新規)	LGS下地せつこうボード張りt-9.5	※(壁の構造については、詳細図を参照)
			ビニルシート張りt-2.5(コイン)	塗り巾木:EP-G (塗替え)	モルタル面:EP-G (塗替え)	ボード面:EP(新規)	

外部仕上げ表(A棟・B棟共通)	
外 壁	・仕上塗材:建築用塗膜防水材塗り JIS6021(ローラーさざ波模様 シリコン仕上)
	・下地調整:C-1
プラットホーム	・床-コンクリート金コテ仕上げ(水勾配)
	・立ち上がり-コンクリート打放し補修
	・荷卸角部-65×65 アングル取り付け(溶融亜鉛めっき)
	・W-150グレーチング(SUS)付排水側溝 細目ノンスリップタイプ
	・アスファルト舗装改修

参考資料(A棟・B棟共通)	
土間コンクリート	モルタルt-28+コンクリートt-120
2,3,4階スラブコンクリート	モルタルt-48+コンクリートt-120
荷受室、配膳室ビニルシート	抗菌、耐動荷重性床シートt=2.0
化粧ケイカル板	t-6 ジョイント、コーナー、端部はアルミジョイナー使用
AD-1・AD-2	豊和工業株式会社 HAA-100-GII-K 同等品 【性能】耐風圧性:S-6、気密性:A-4、水密性:W-5 フラットレール



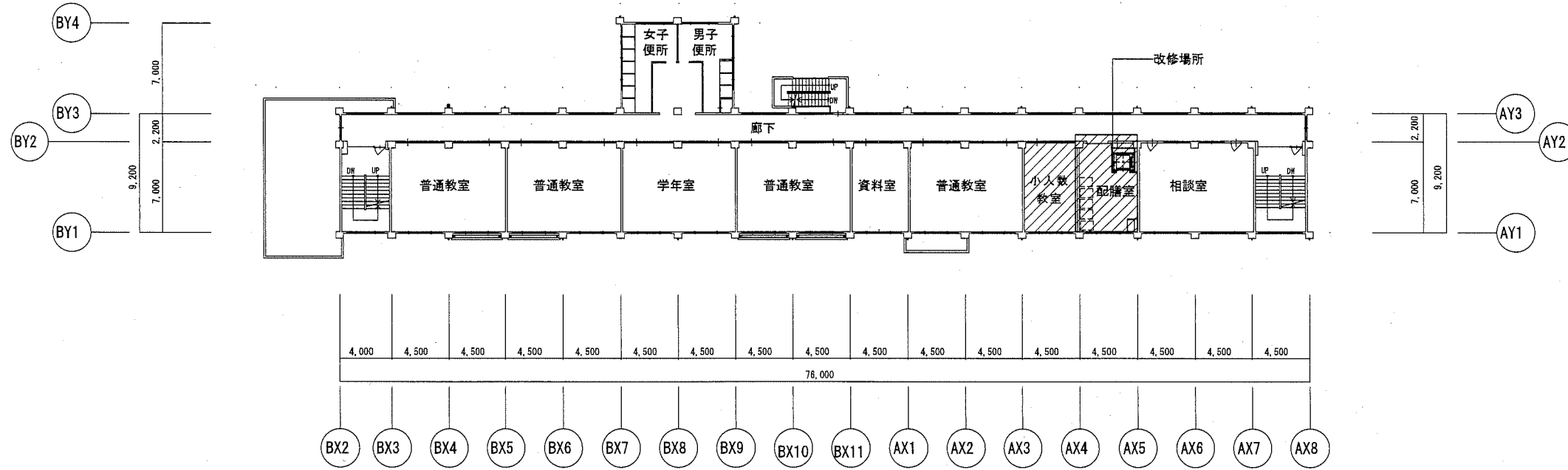
1階平面図（改修）



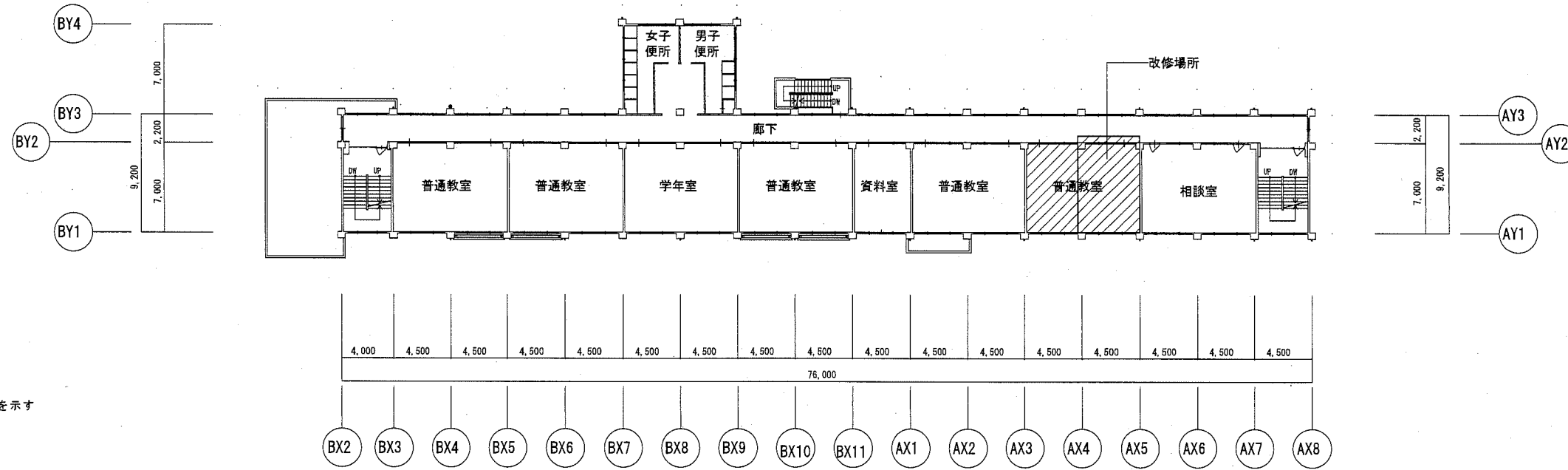
1階平面図（既存）

改修範囲を示す

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-11 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟1階平面図（既存・改修）	1/300	

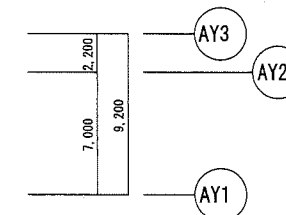
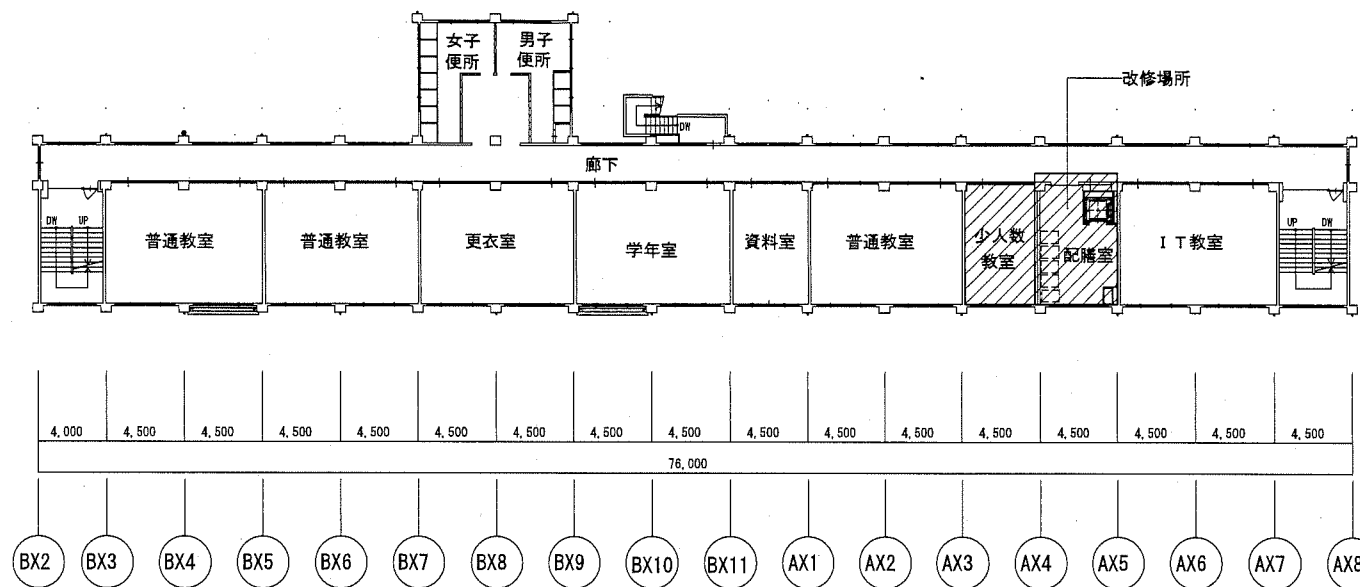
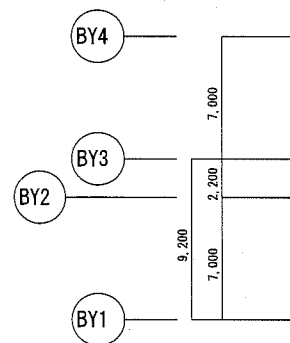


2階平面図 (改修)

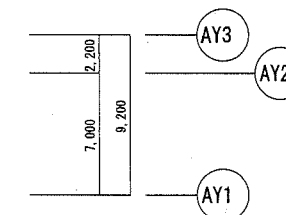
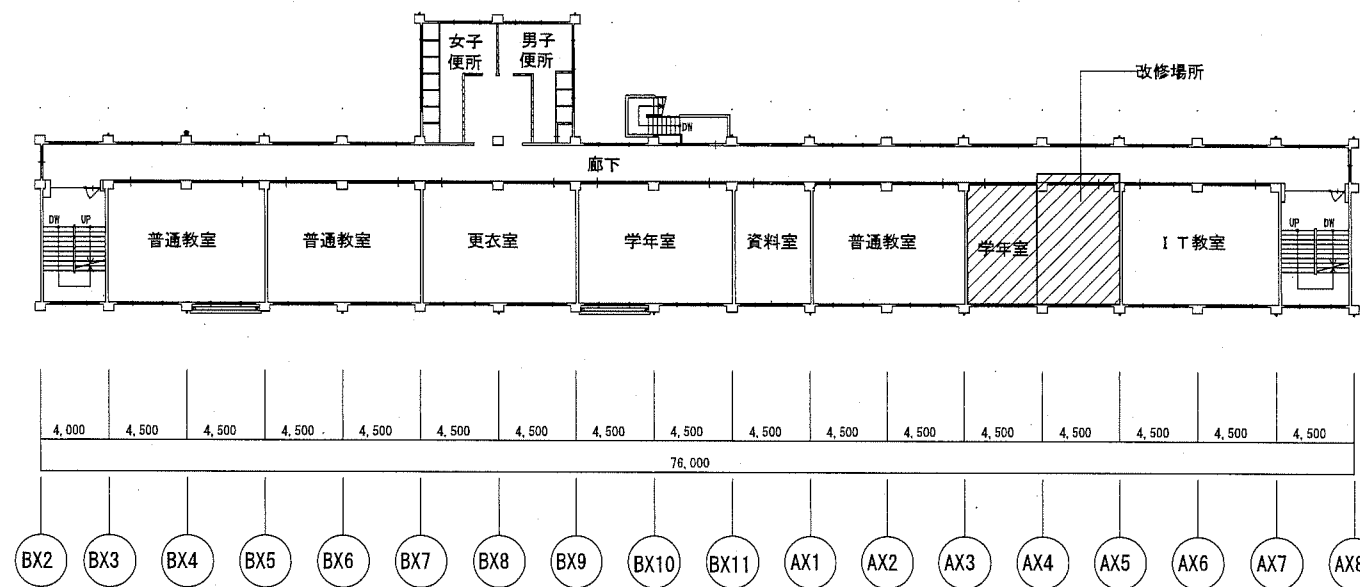
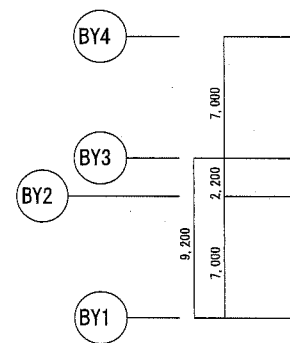


2階平面図 (既存)

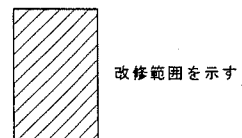
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-12
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟2階平面図(既存・改修)	1/300	



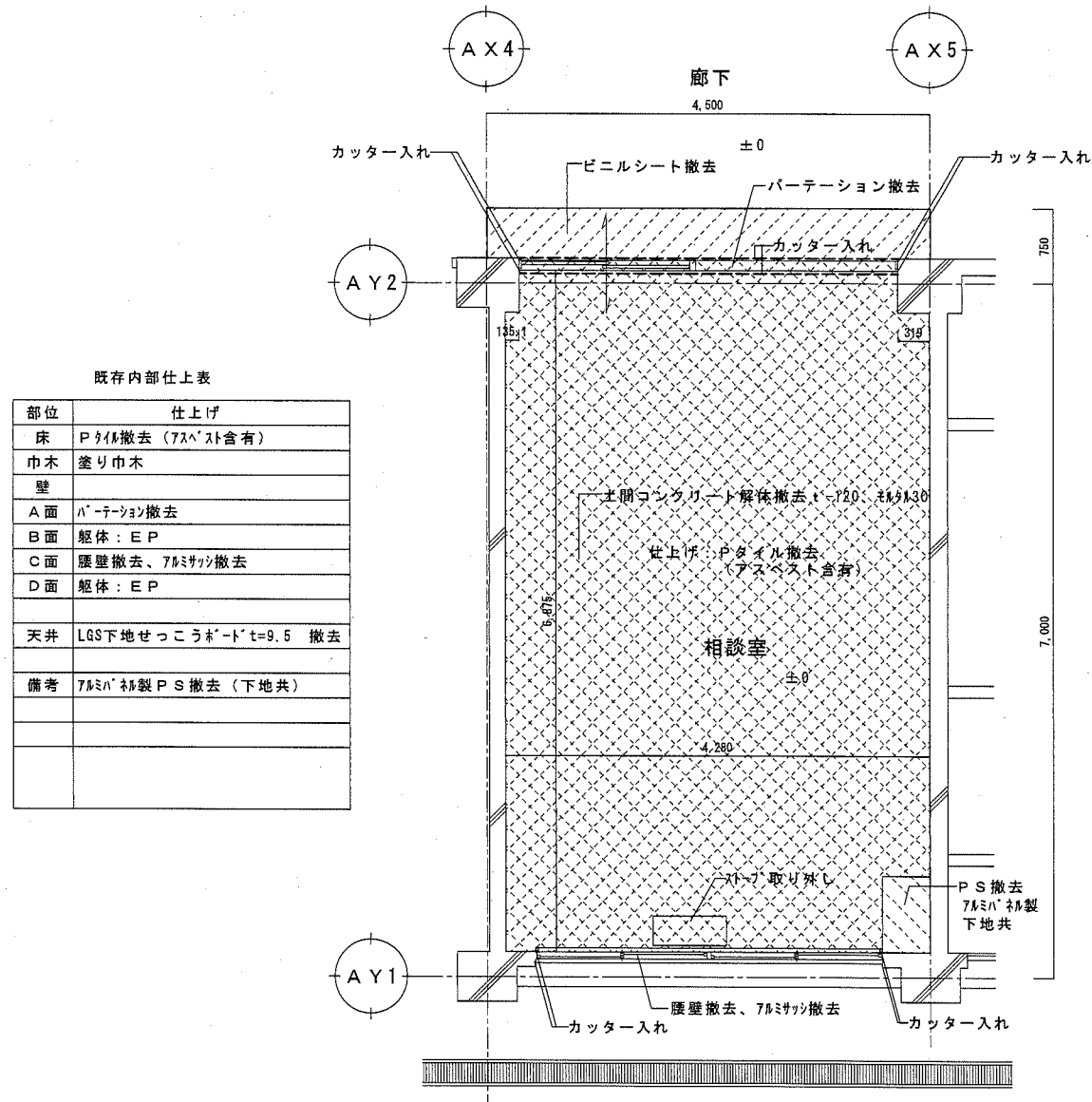
3階平面図 (改修)



3階平面図 (既存)



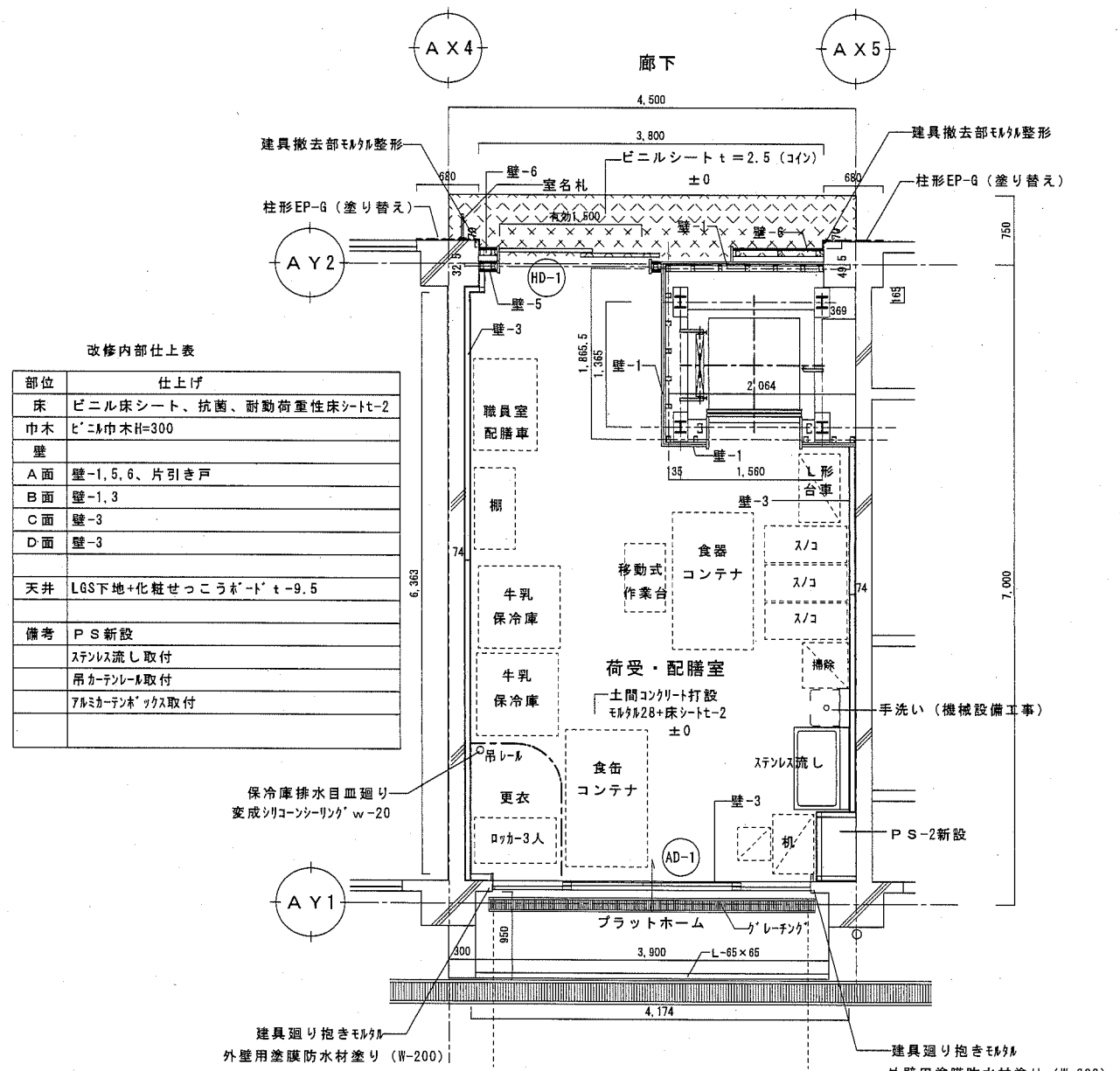
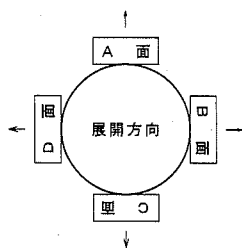
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-13 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟3階平面図 (既存・改修)	1/300	



既存内部仕上表

部位	仕上げ
床	Pタイル撤去 (7&8'スト含有)
巾木	塗り巾木
壁	
A面	パーテーション撤去
B面	躯体: EP
C面	腰壁撤去、7&8ミサツ撤去
D面	躯体: EP
天井	LGS下地せつこう板-t=9.5 撤去
備考	7&8ミサツ補修PS撤去 (下地共)

1階平面詳細図 (既存)

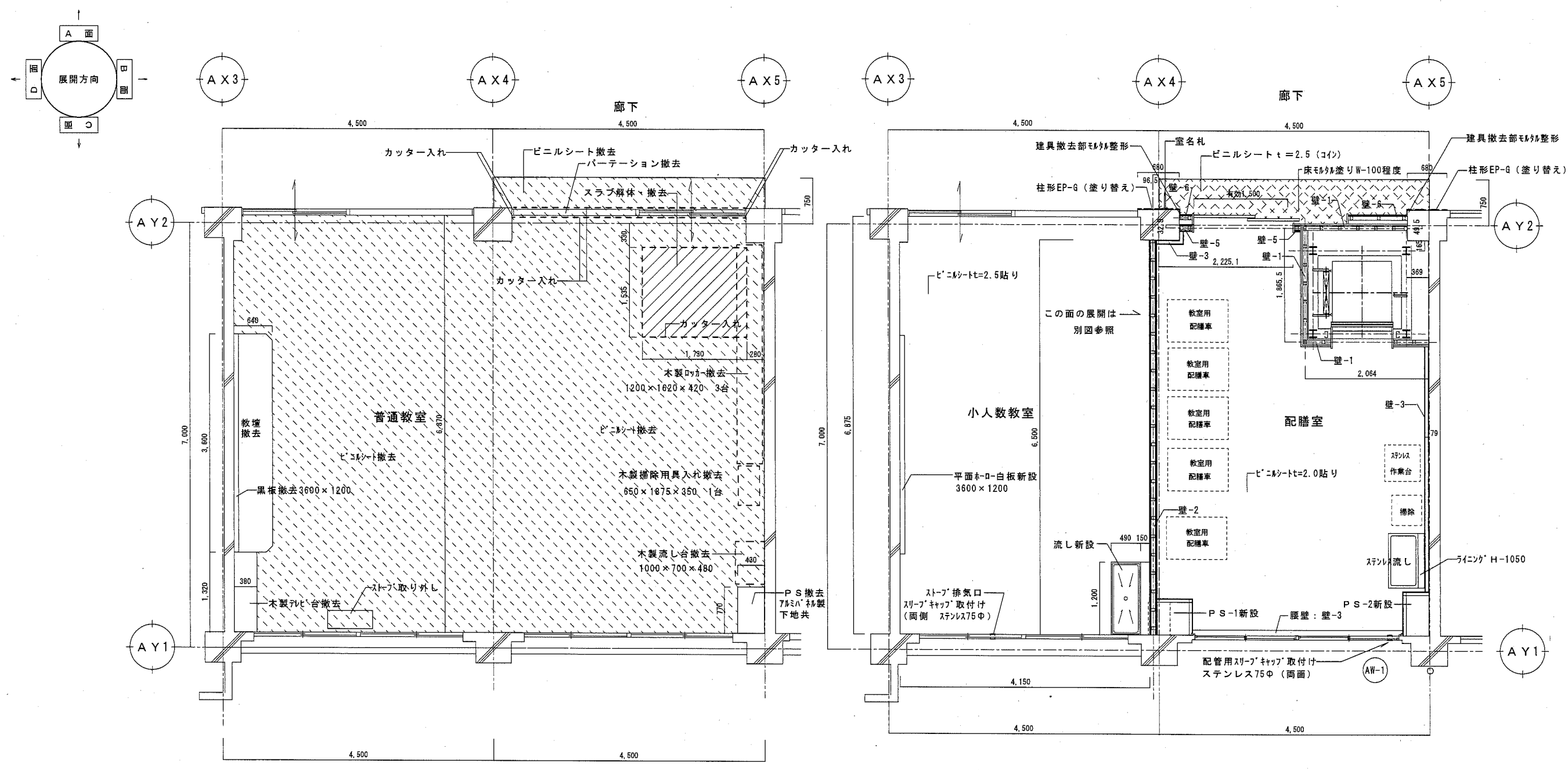


改修内部仕上表

部位	仕上げ
床	ビニル床シート、抗菌、耐動荷重性床シート-t=2
巾木	ビニル巾木H=300
壁	
A面	壁-1, 5, 6, 片引き戸
B面	壁-1, 3
C面	壁-3
D面	壁-3
天井	LGS下地+化粧せつこう板-t=9.5
備考	PS新設 ステンレス流し取付 吊カテナール取付 7&8ミサツ補修PS取付

1階平面詳細図 (改修)

※備品は工事対象外、配置は参考



2階平面詳細図 (既存)

2階平面詳細図 (改修)

※備品は工事対象外、配置は参考

普通教室内部仕上表

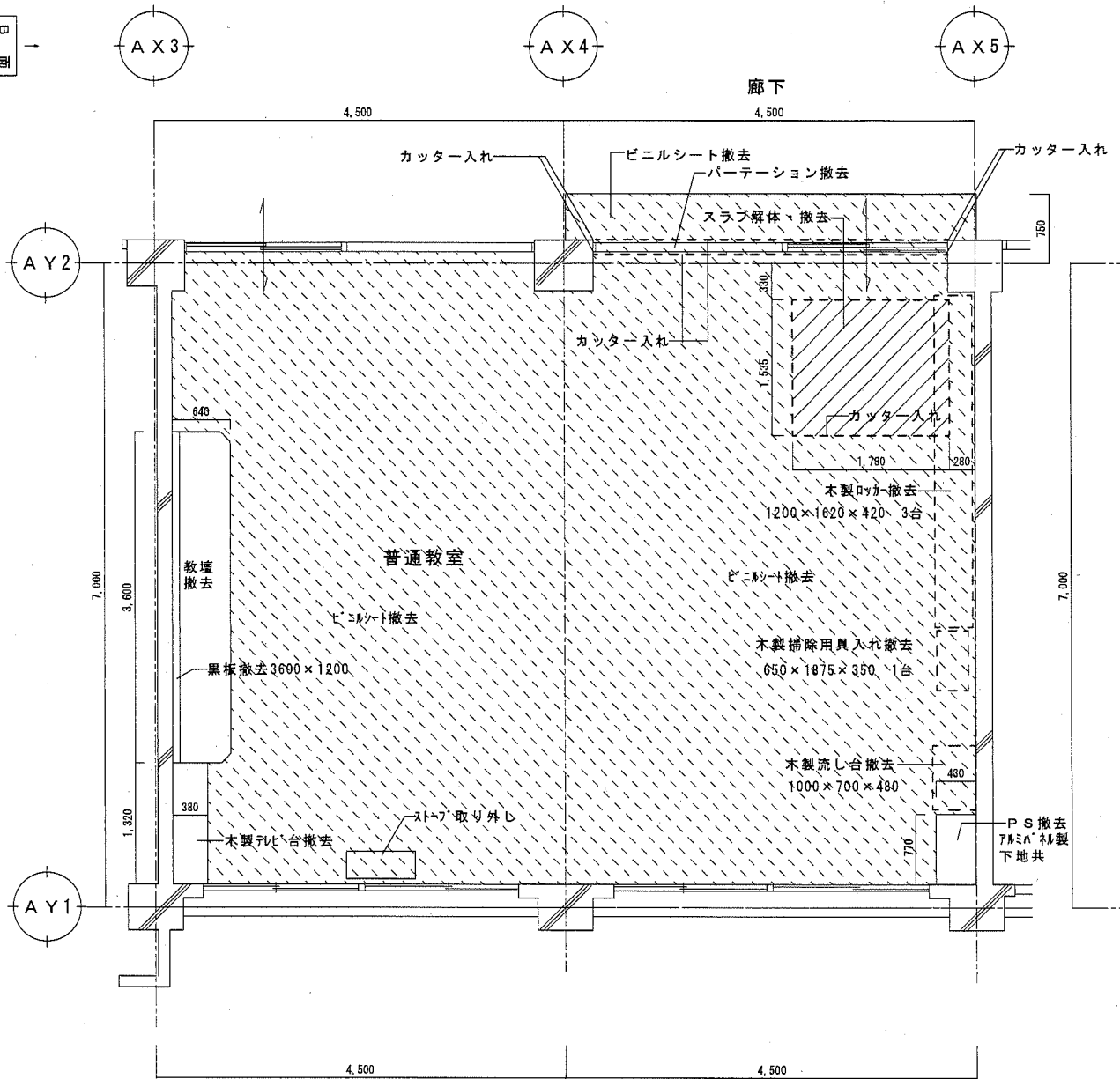
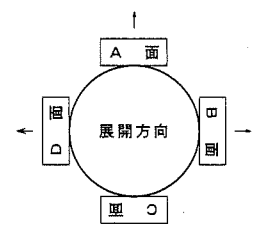
部位	仕上げ
床	ビニルシート撤去
巾木	塗り巾木
壁	
A面	AX-4~AX-5間パーティション撤去
B面	掲示板撤去、ロッカ撤去
C面	掃除用具入れ撤去、流し台撤去
D面	サッシ、ガラス撤去
天井	黒板撤去、教壇撤去、テレビ台撤去
	木毛セメント板
	梁形：内装用吹付け材
備考	7mm製 P.S撤去

小人数教室改修内部仕上表

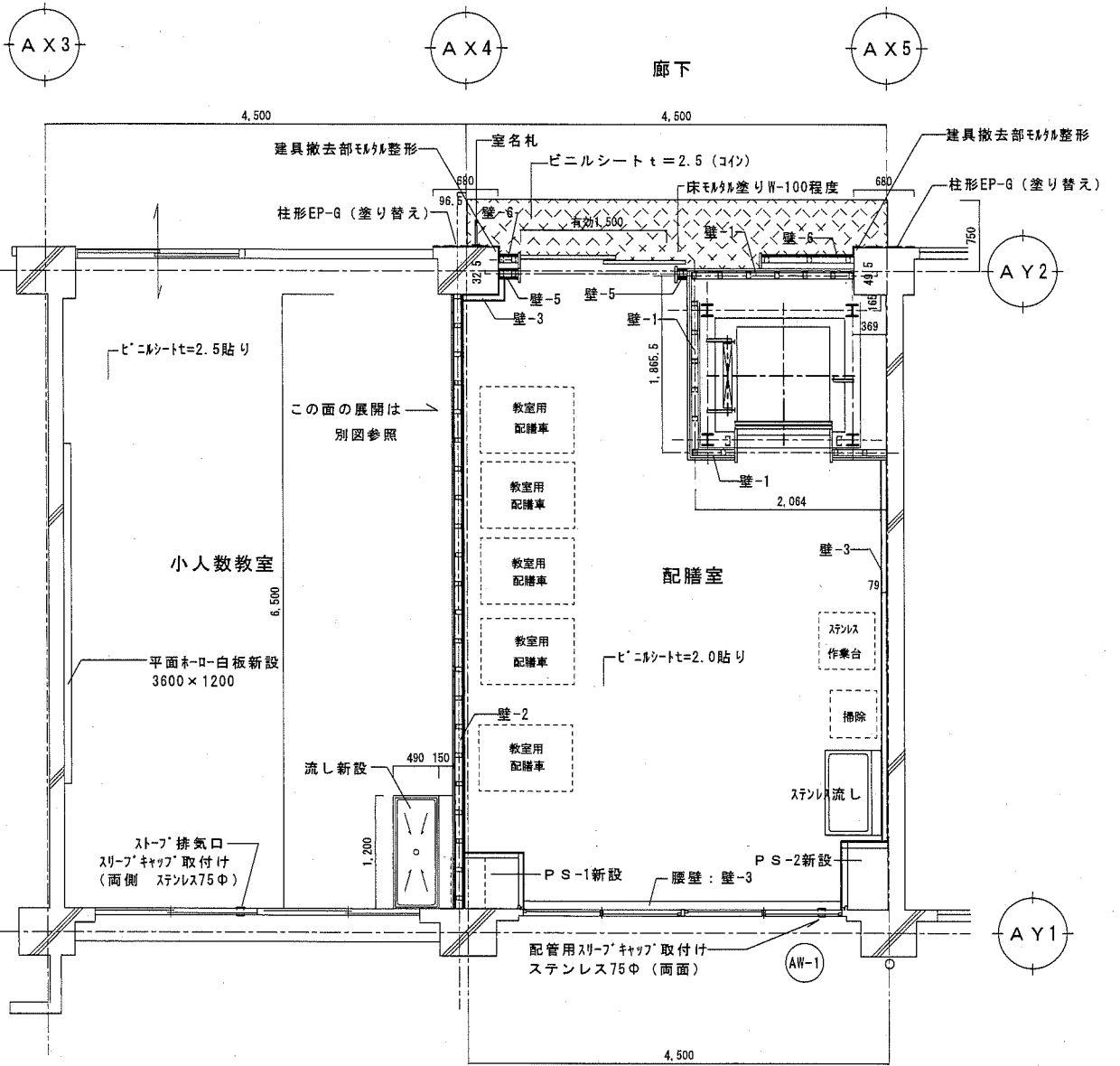
部位	仕上げ
床	下地調整のうえビニルシートt=2.5
巾木	ビニル巾木 H-100
壁	
A面	モルタル面：EP-G(塗り替え)
B面	壁-2、掲示板新設、モルタル面：EP-G(塗り替え)
C面	モルタル面：EP-G(塗り替え)、木製黒線：EP-G(塗り替え)
D面	木口白板新設、掲示板張り、掲示木枠：EP-G(塗り替え)
	教壇撤去部モルタル塗りEP-G(新規)
	テレビ台撤去部モルタル塗りEP-G(新規)
	モルタル面：EP-G(塗り替え)
天井	そのまま
備考	木製流し新設

配膳室改修内部仕上表

部位	仕上げ
床	下地調整のうえビニルシートt=2.0
巾木	ビニル巾木H=300
壁	
A面	壁-1,3,5、片引き戸
B面	壁-1,3
C面	壁-3
D面	壁-2
天井	LGS下地+化粧せつこうボードt=9.5
備考	ステンレス流し新設
	7mm製キャップ' 取付け
	P.S新設



3階平面詳細図 (既存)



3階平面詳細図 (改修)

普通教室内部仕上表

部位	仕上げ
床	ビニルシート撤去
巾木	塗り巾木
壁	
A面	AX-4~AX-5パネーション撤去
B面	掲示板撤去、ロッカ撤去
C面	掃除用真入れ撤去、流し台撤去
D面	サッシ、ガラス撤去
	黒板撤去、教壇撤去、テレビ台撤去
天井	AX4~AX5化粧せつこうボード t-9.5撤去 (LGS共)
備考	7mm製PS撤去

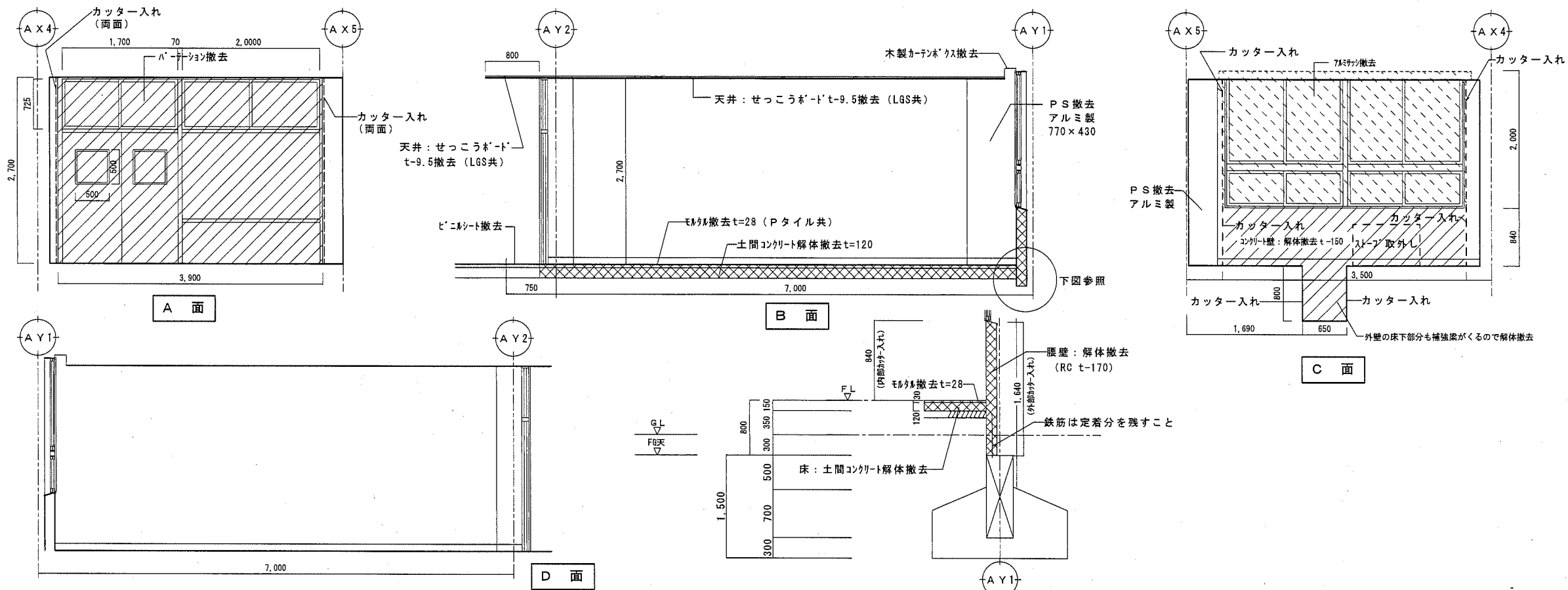
小人数教室改修内部仕上表

部位	仕上げ
床	下地調整のうえビニルシートt=2.5
巾木	ビニル巾木 H-100
壁	
A面	モルタル面: EP-G (塗替え)
B面	壁-2、掲示板新設、モルタル面: EP-G (塗替え)
C面	モルタル面: EP-G (塗替え)、木製縦線: EP-G (塗替え)
D面	ホ-ロ白板新設、掲示木枠: EP-G (塗替え)
	教壇撤去部モルタル塗りEP-G (新規)
	テレビ台撤去部モルタル塗りEP-G (新規)
	モルタル面: EP-G (塗替え)
天井	LGS下地+化粧せつこうボード t-9.5
備考	木製流し新設

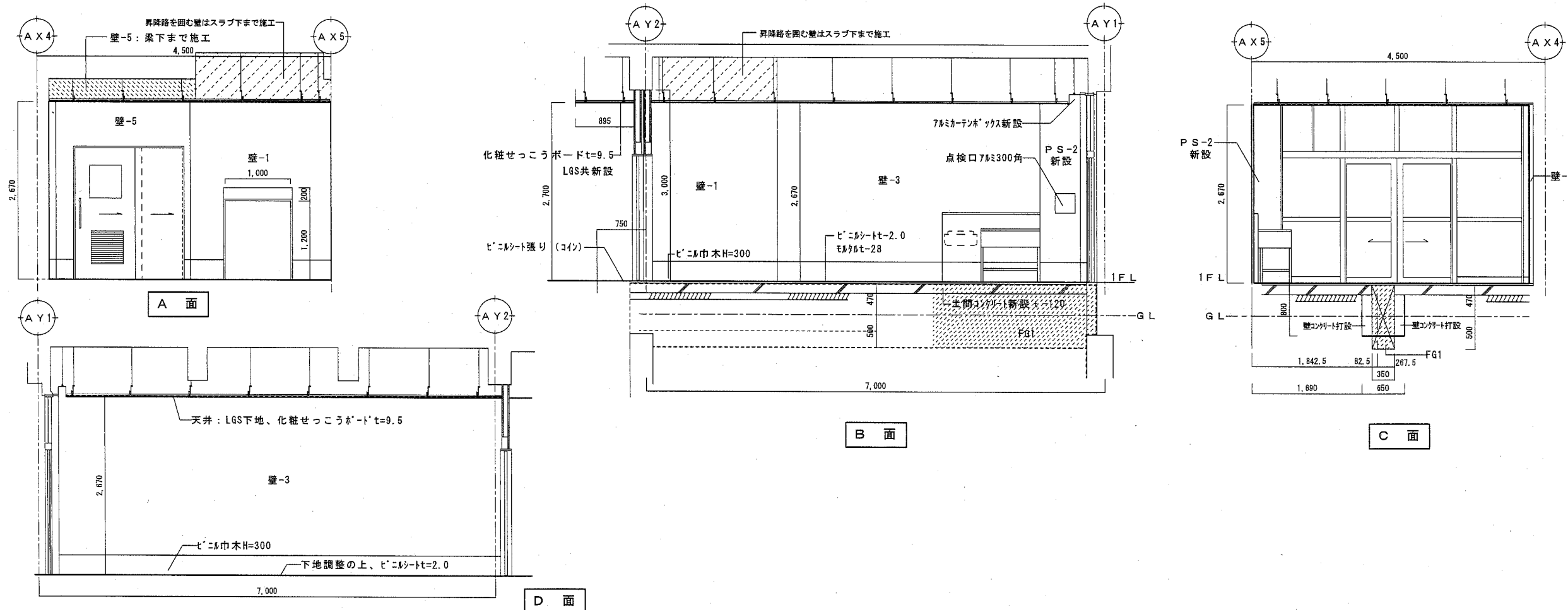
配膳室改修内部仕上表

部位	仕上げ
床	下地調整のうえビニルシートt=2.0
巾木	ビニル巾木H=300
壁	
A面	壁-1, 3, 5、片引き戸
B面	壁-1, 3
C面	壁-3
D面	壁-2
天井	LGS下地+化粧せつこうボード t-9.5
備考	ステンレス流し新設 7mmキッチンガス取付 PS新設

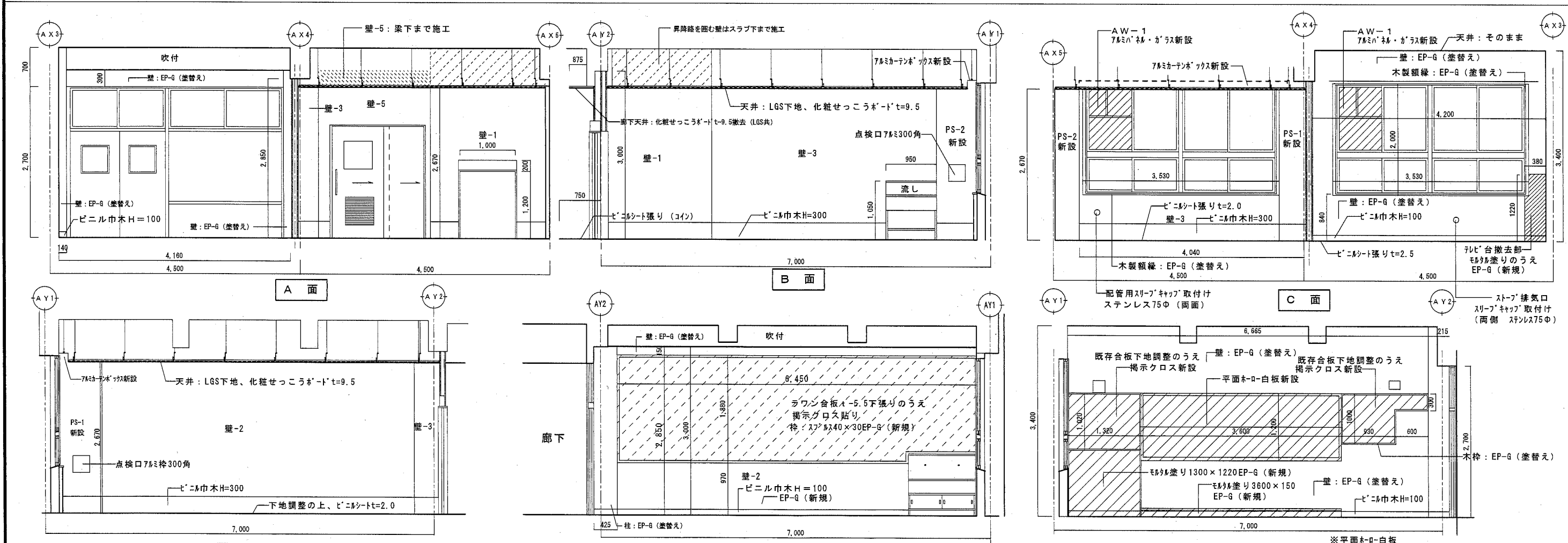
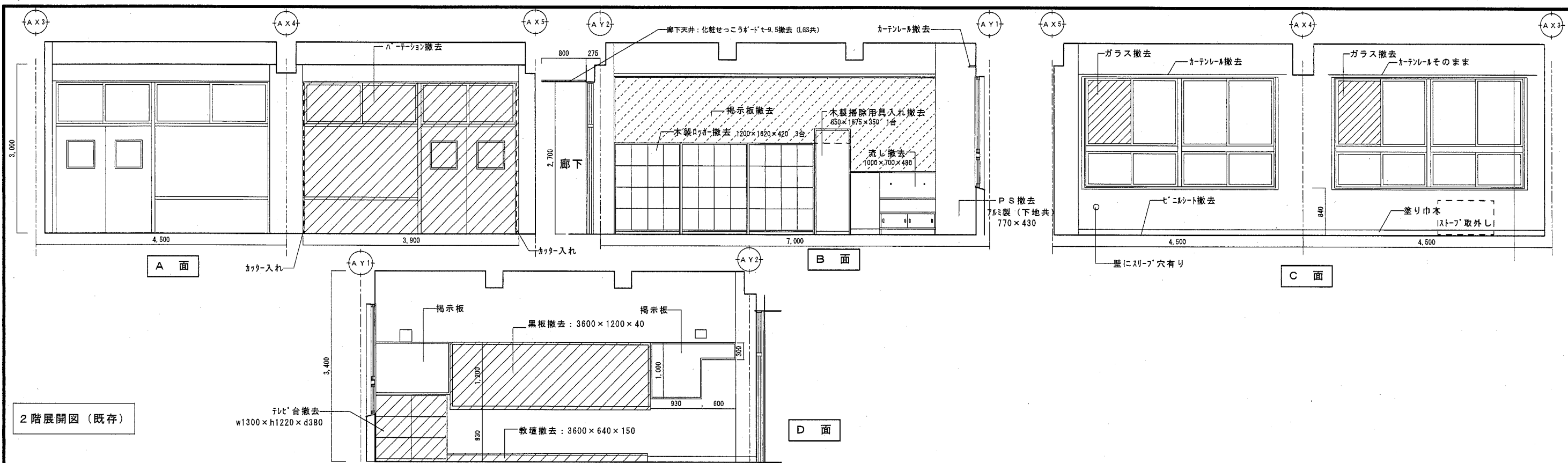
1階展開図 (既存)



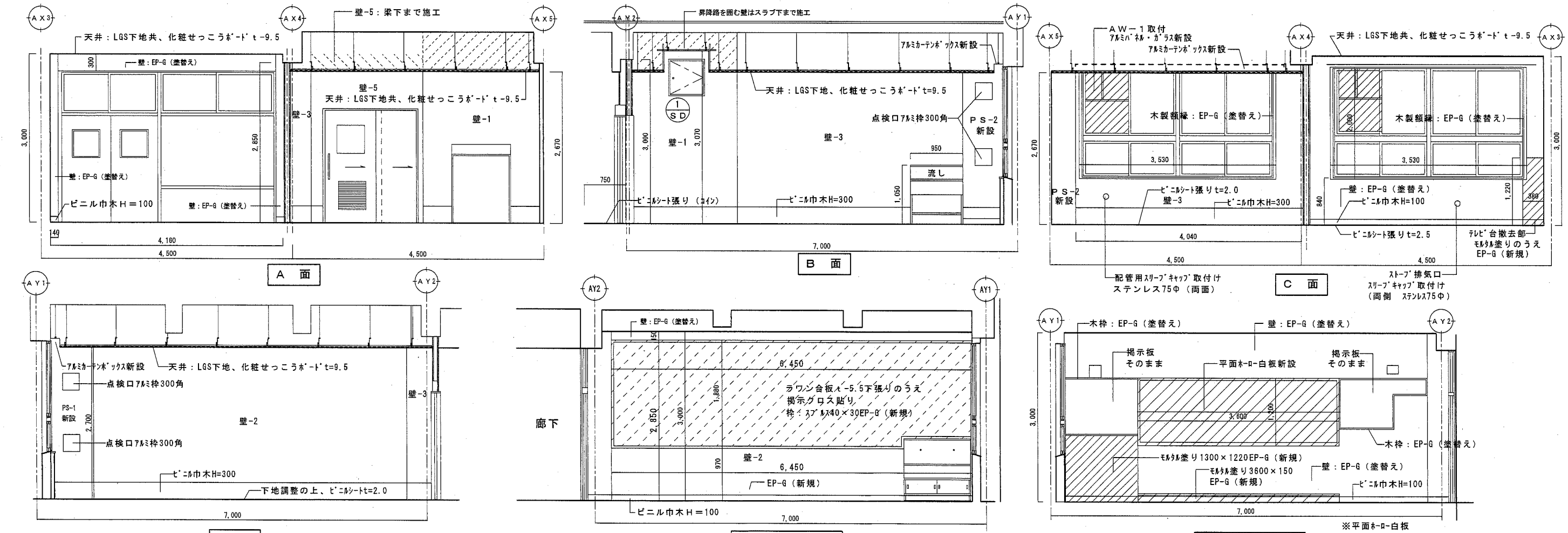
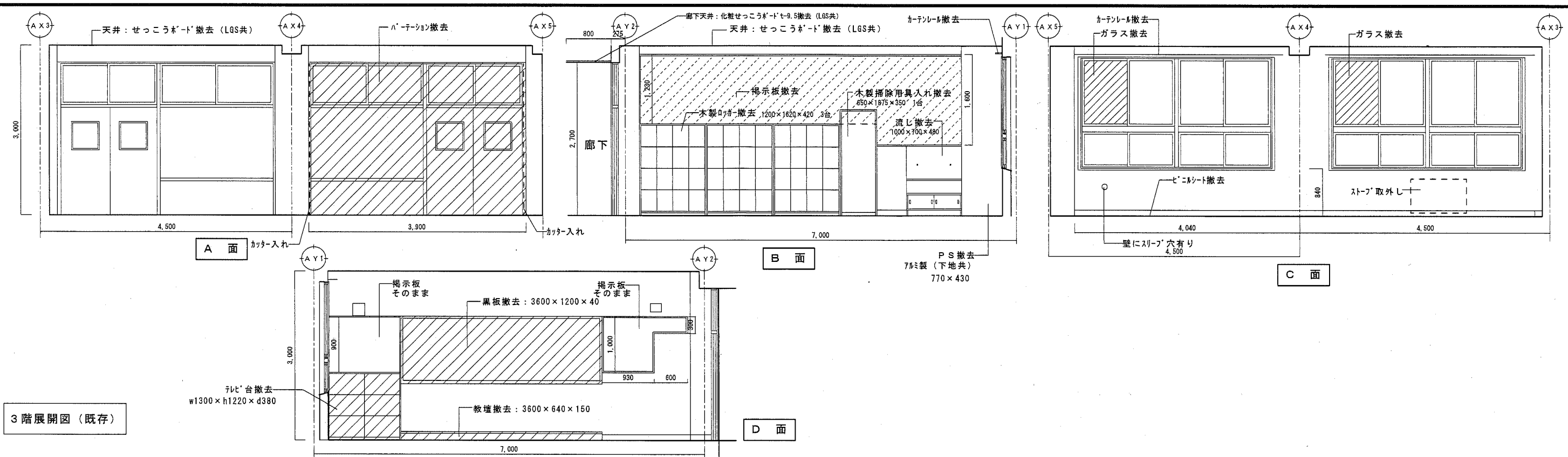
1階展開図 (改修)

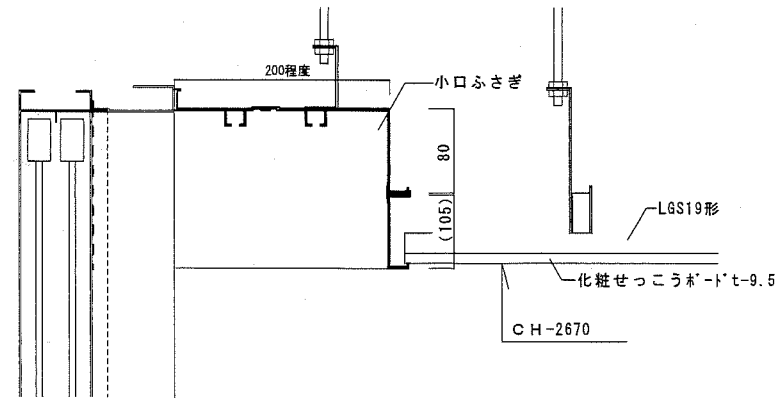


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-17 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟1階展開図 (既存・改修)			

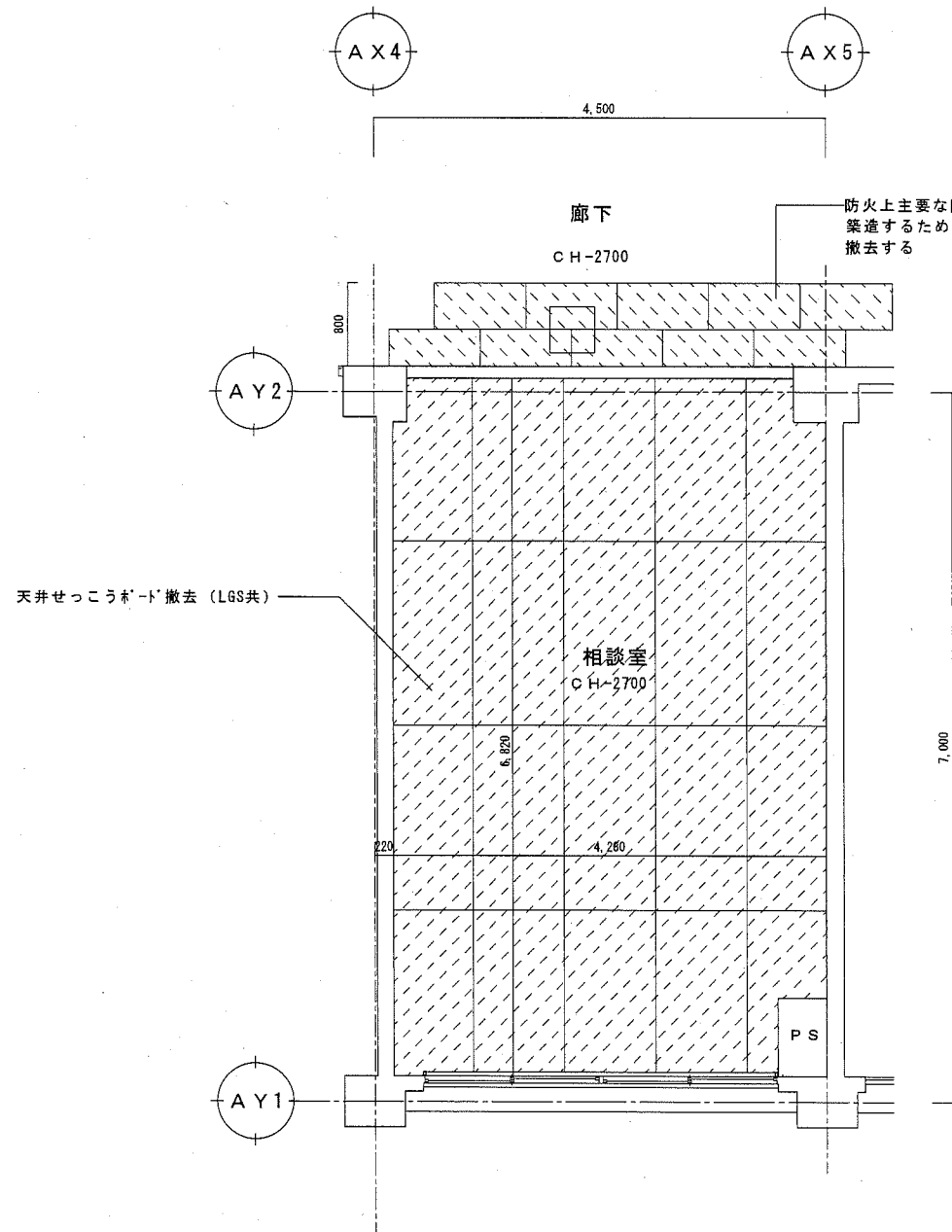


2階展開図 (改修)

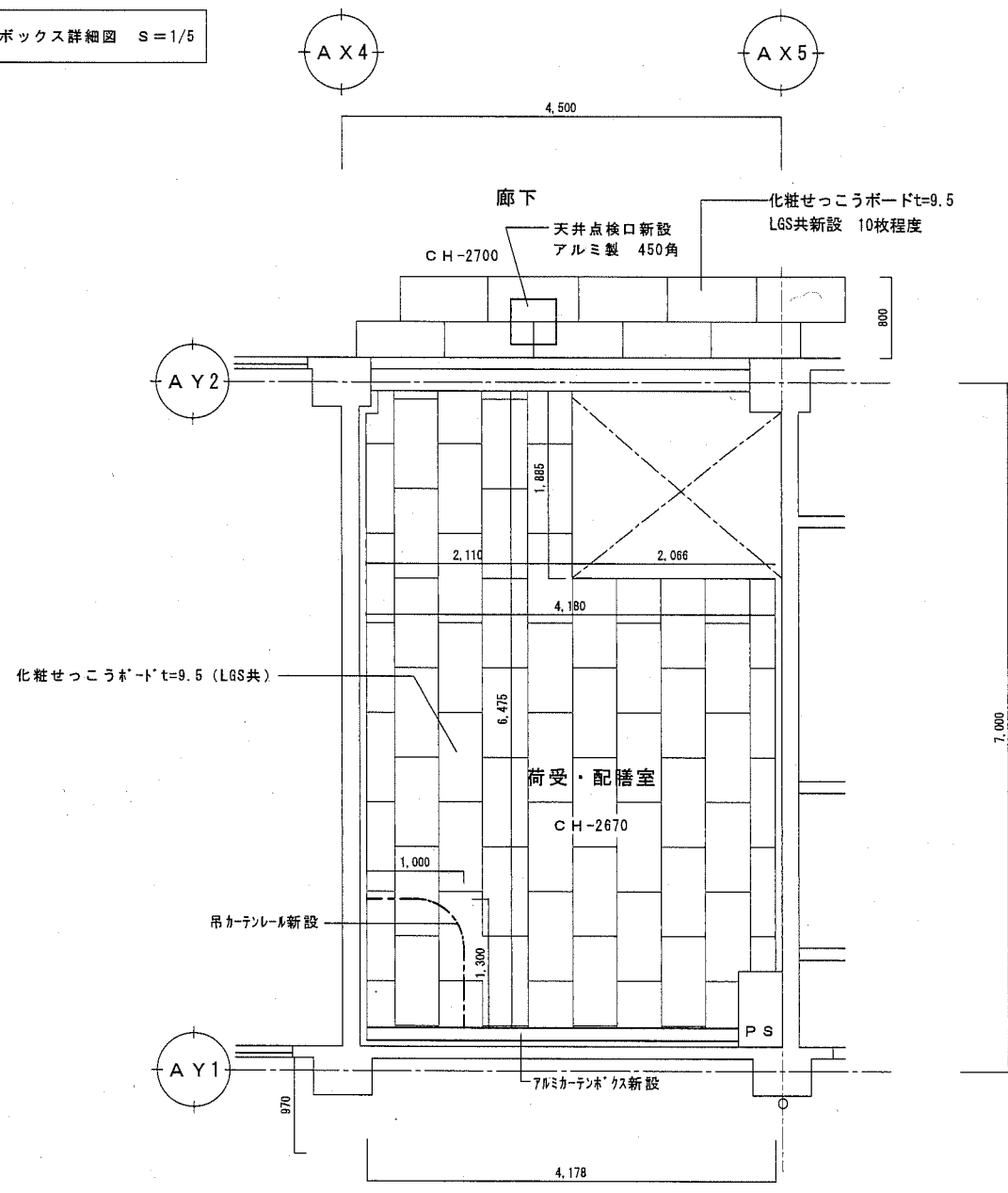




アルミカーテンボックス詳細図 S=1/5



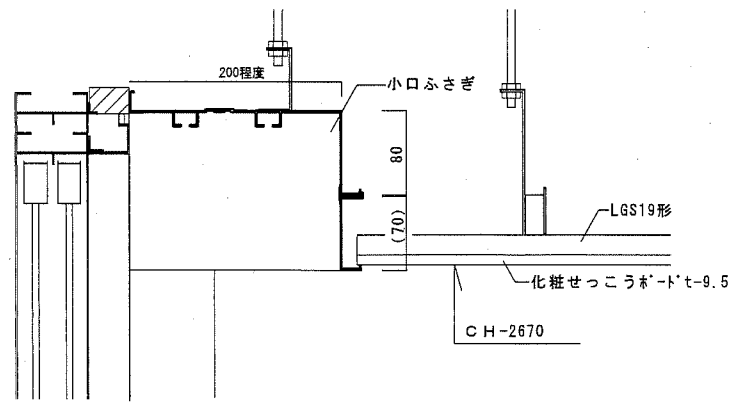
1階天井伏せ図 (既存)



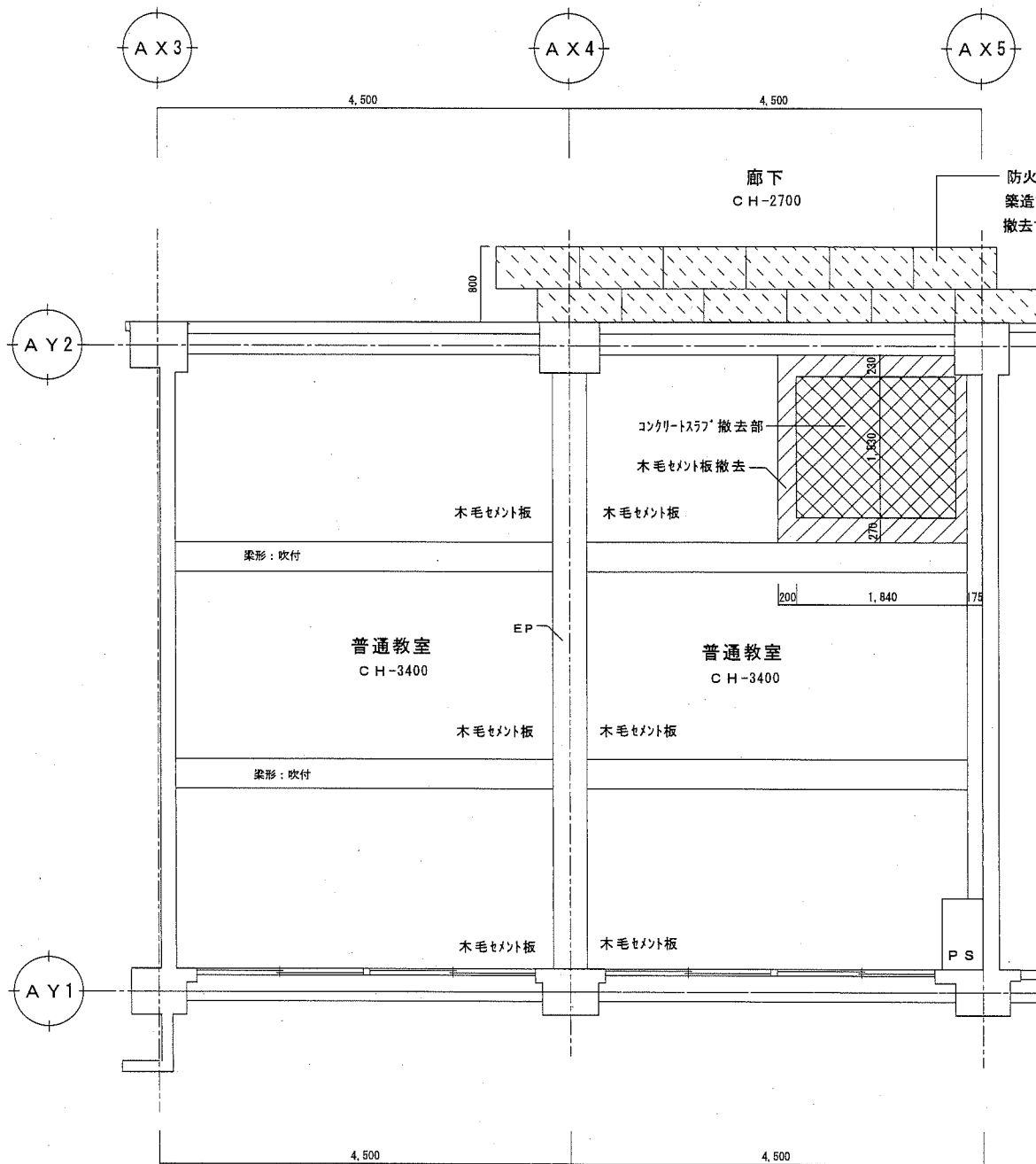
1階天井伏せ図 (改修)

※荷受・配膳室に天井点検口アルミ枠450角 1か所新設
取付位置は監督員と協議のうえ決定すること

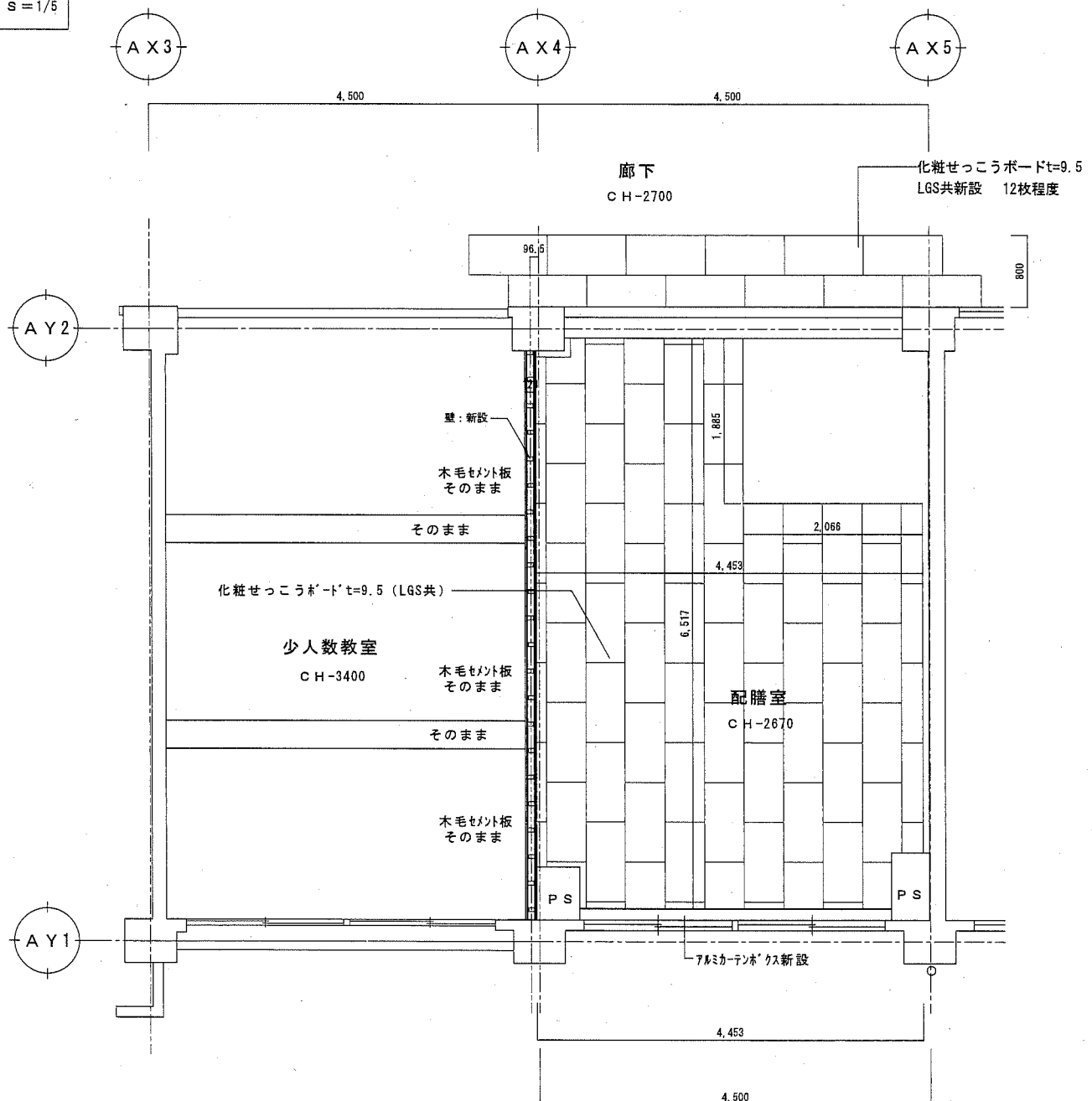
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-20 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟1階 天井伏せ図 (既存・改修)			



アルミカーテンボックス詳細図 S=1/5



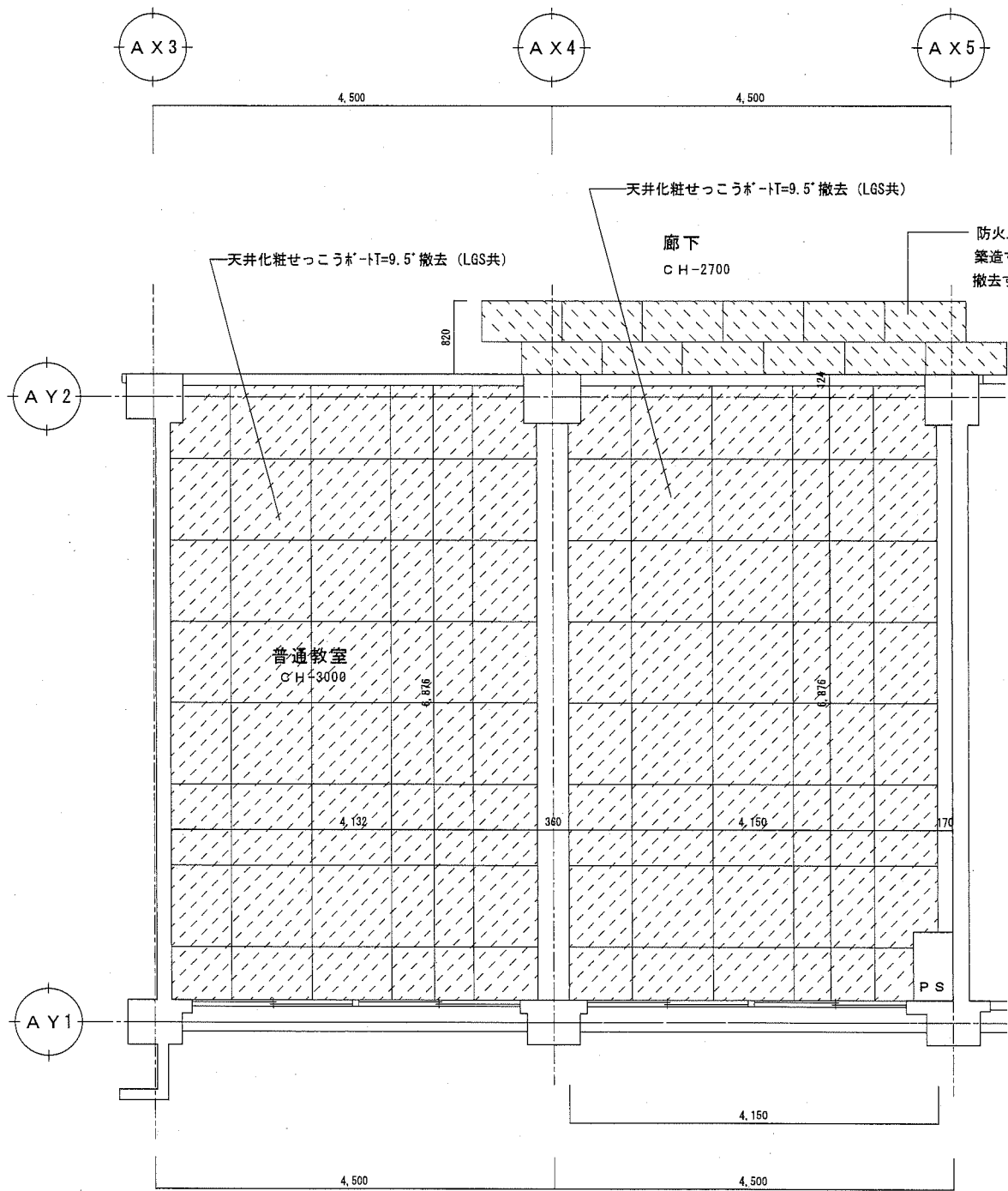
2階天井伏せ図 (既存)



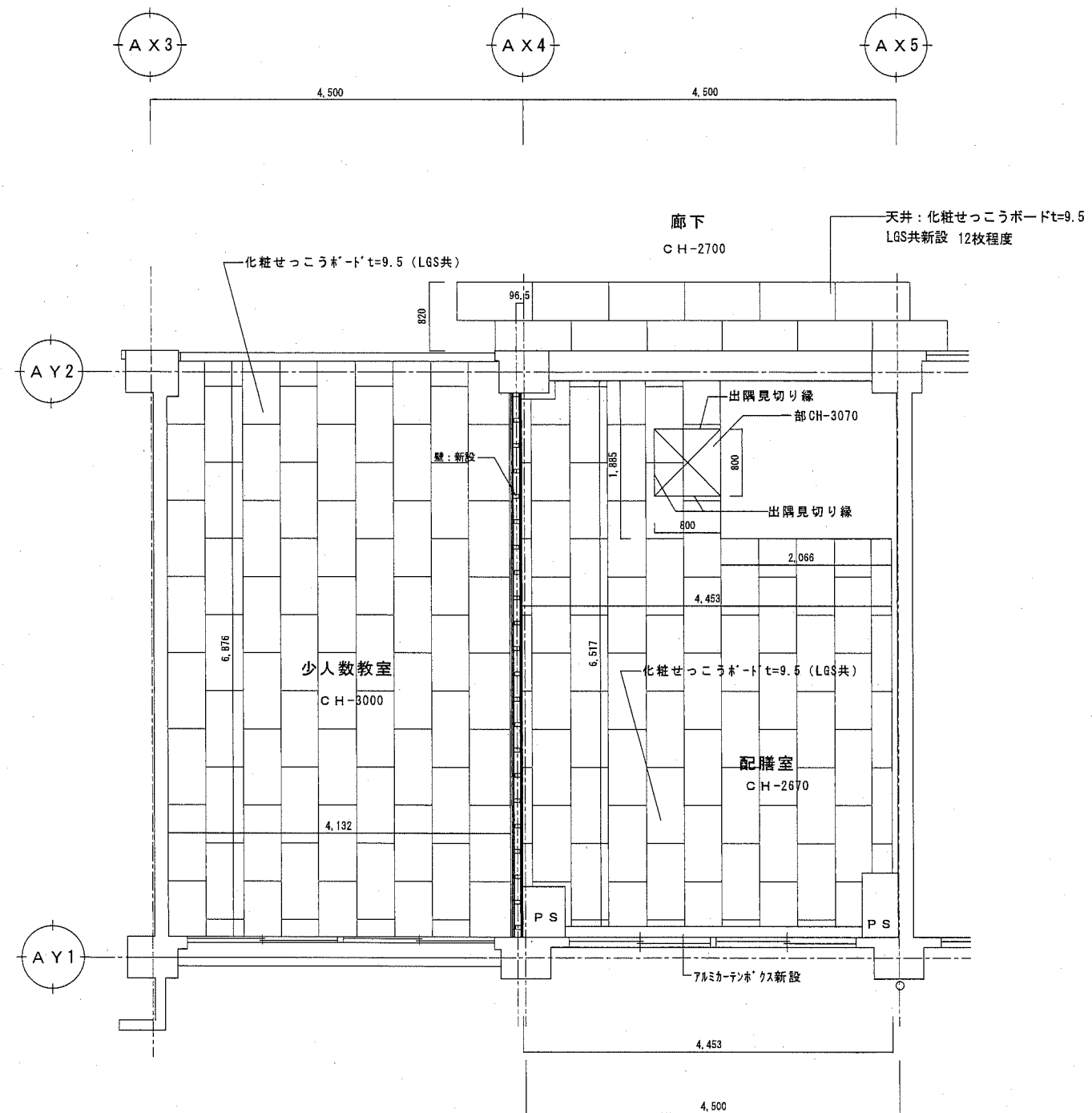
2階天井伏せ図 (改修)

※配膳室に天井点検口アルミ枠450角 1か所新設
取付位置は監督員と協議のうえ決定すること

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-21 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟2階 天井伏せ図 (既存・改修)			



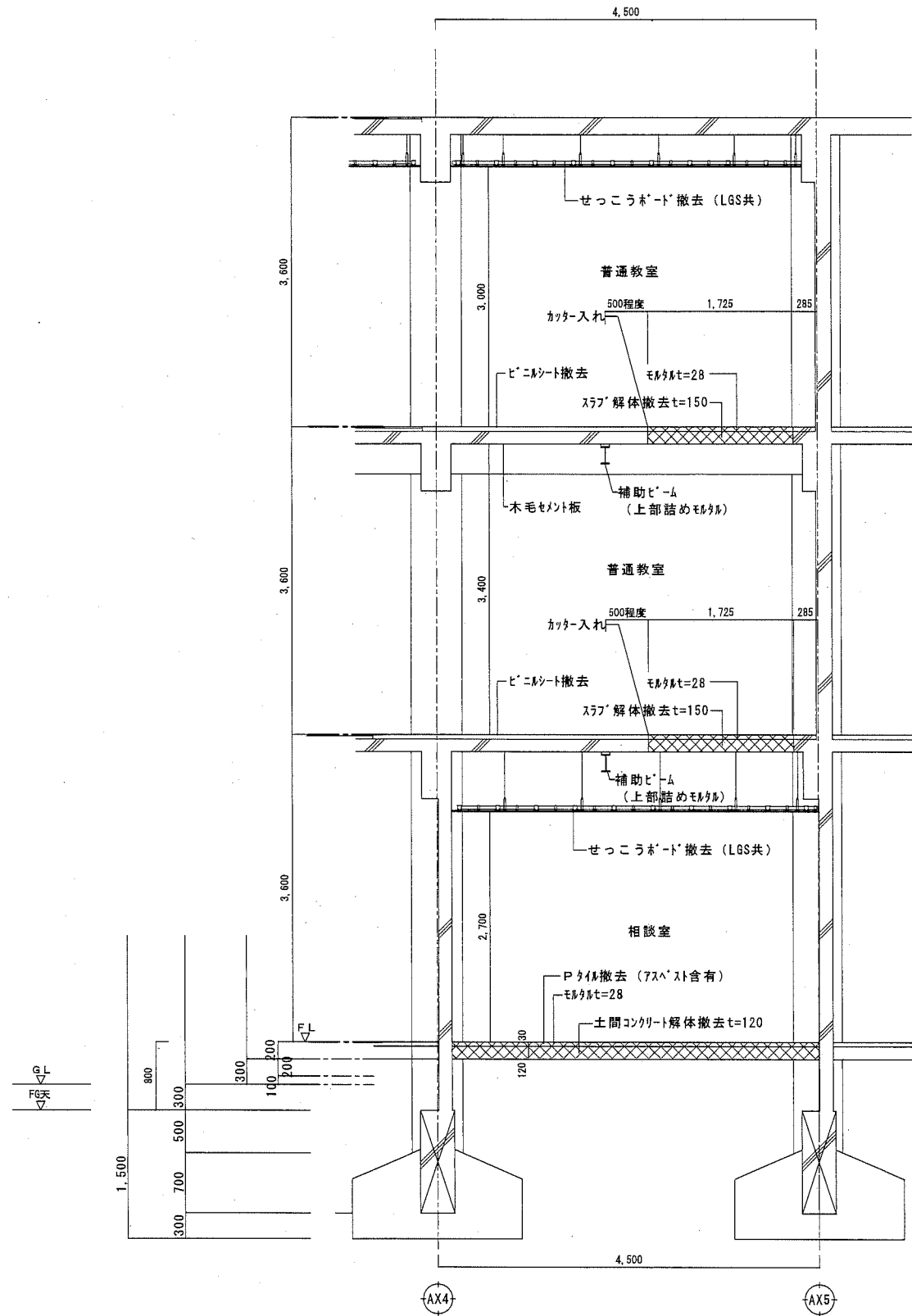
3階天井伏せ図 (既存)



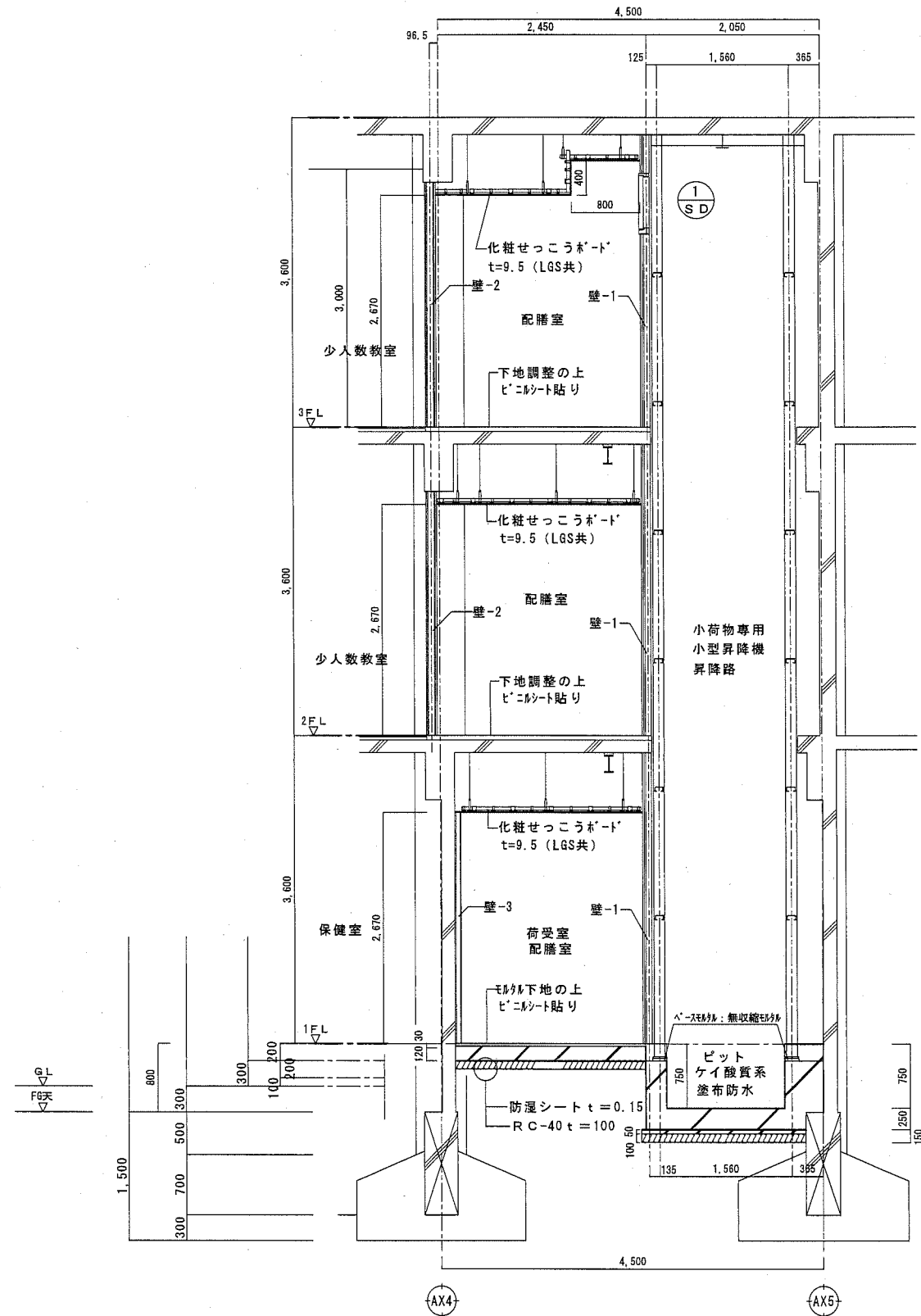
3階天井伏せ図 (改修)

※配膳室に天井点検口アルミ枠450角 1か所新設
取付位置は監督員と協議のうえ決定すること

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-22
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟3階 天井伏せ図 (既存・改修)	1/50	

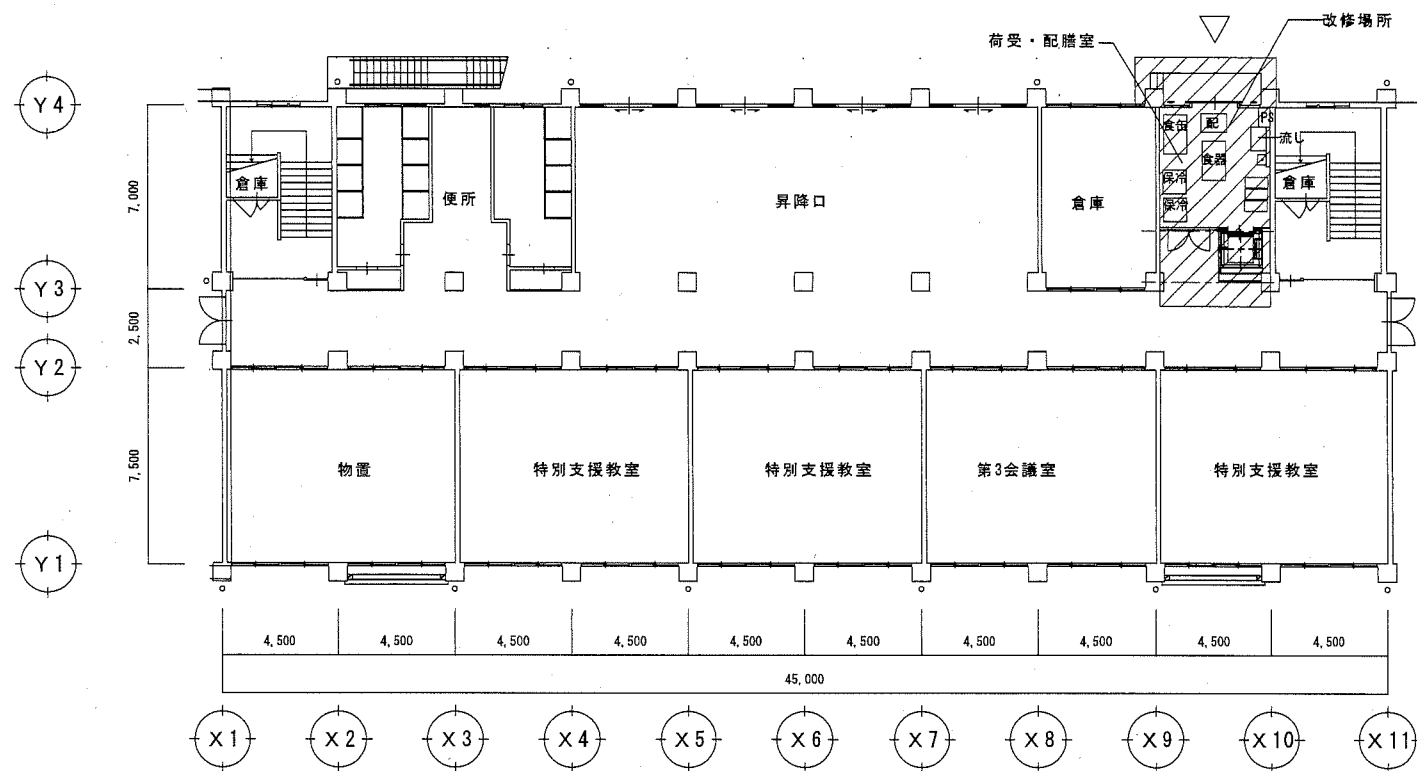


既存矩計図

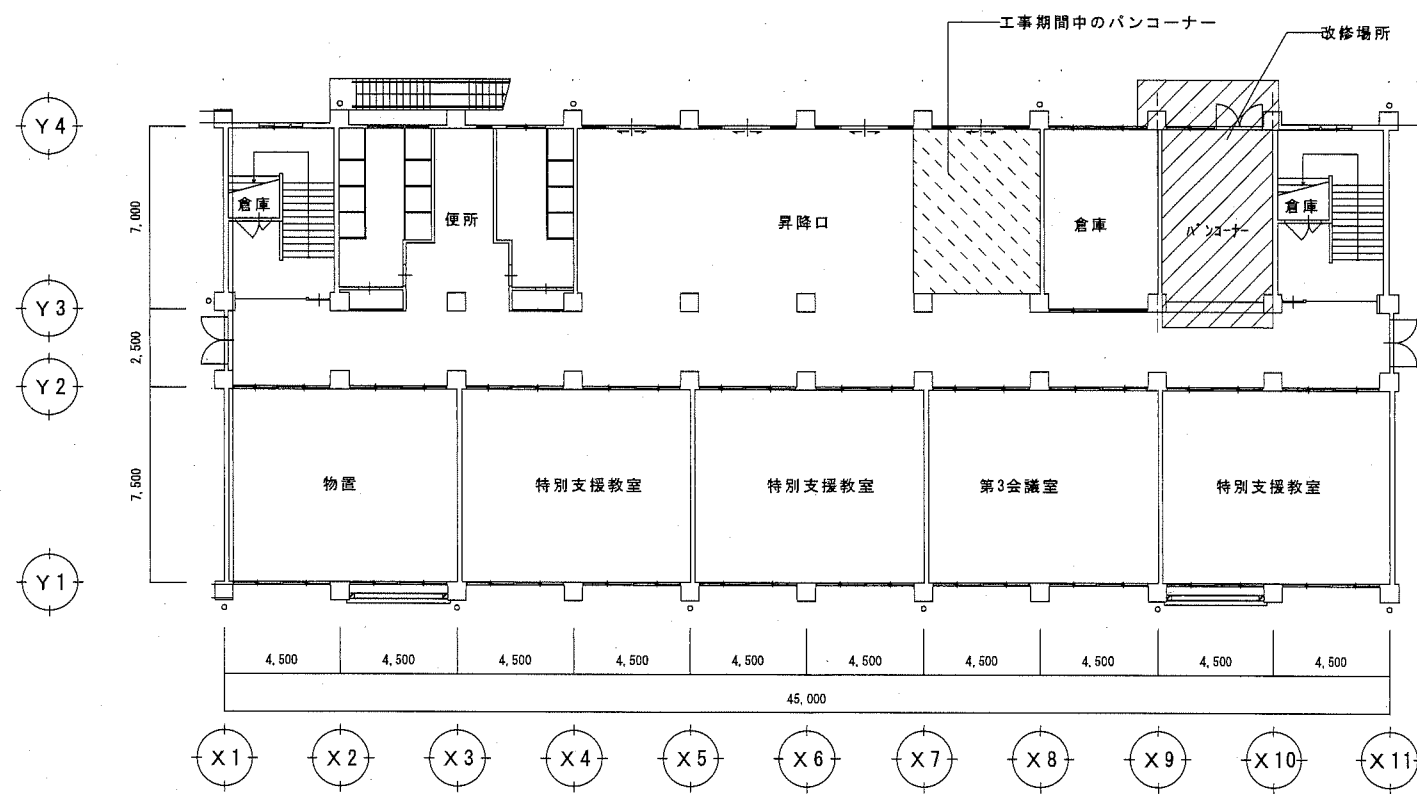


改修矩計図

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-23
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 矩計図 (既存・改修)			No.

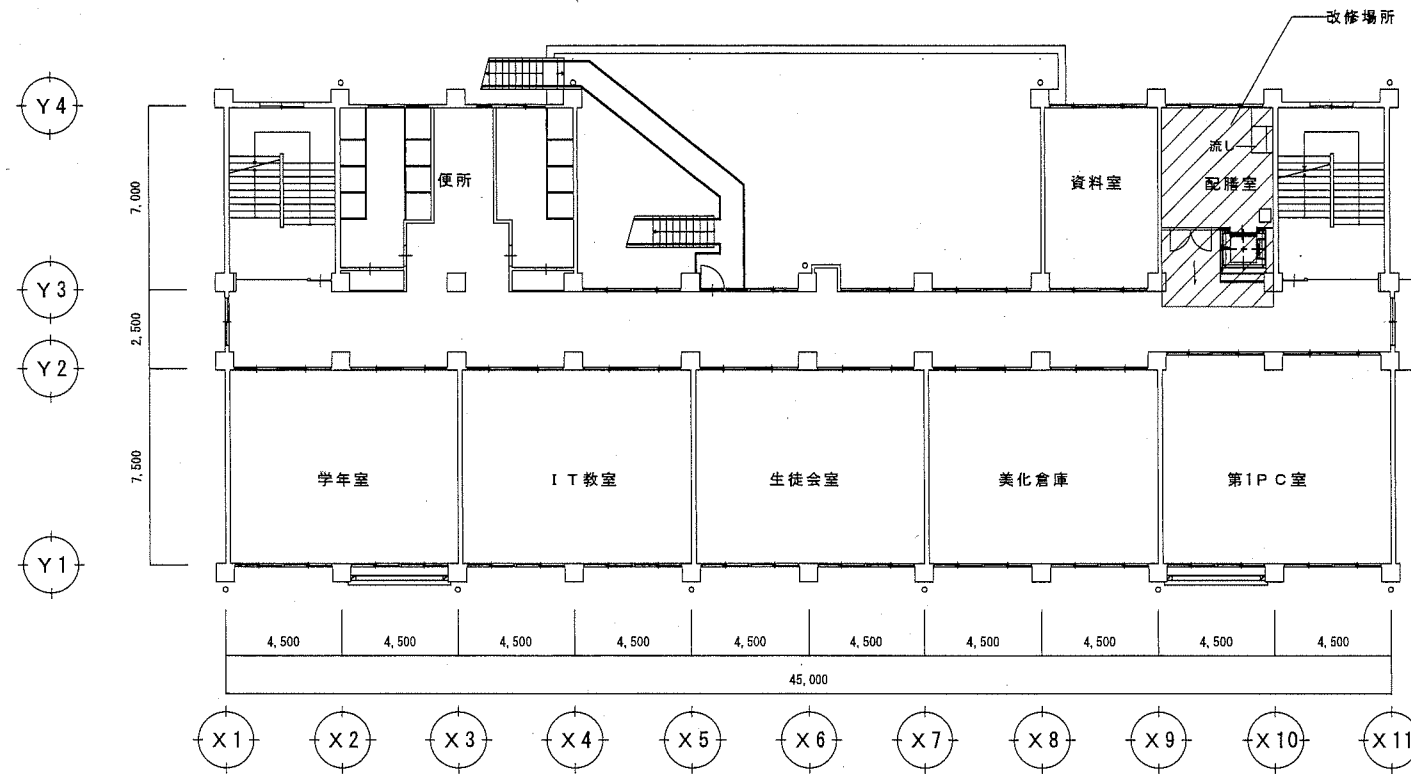


1階平面図 (改修)

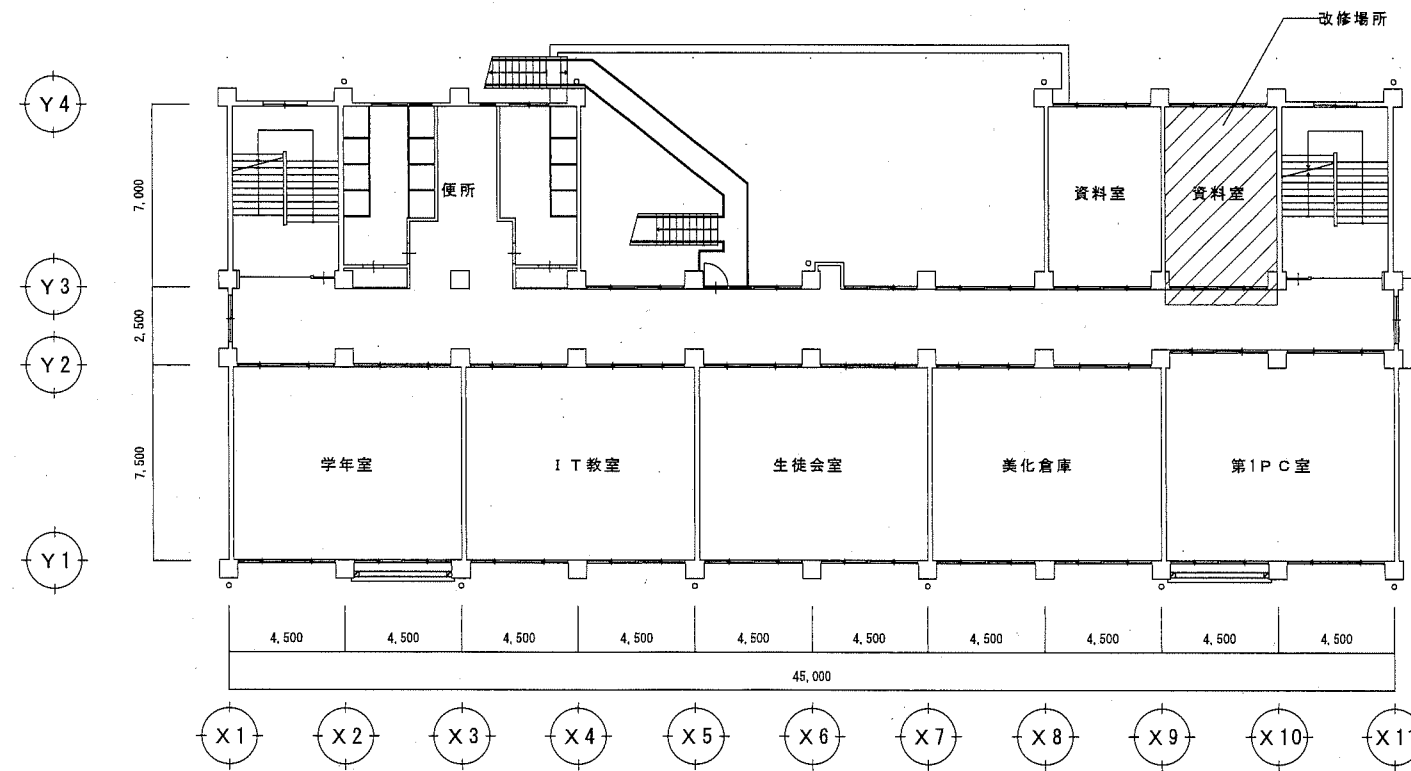


1階平面図 (既存)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/200	A-24 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 1階平面図 (既存・改修)			

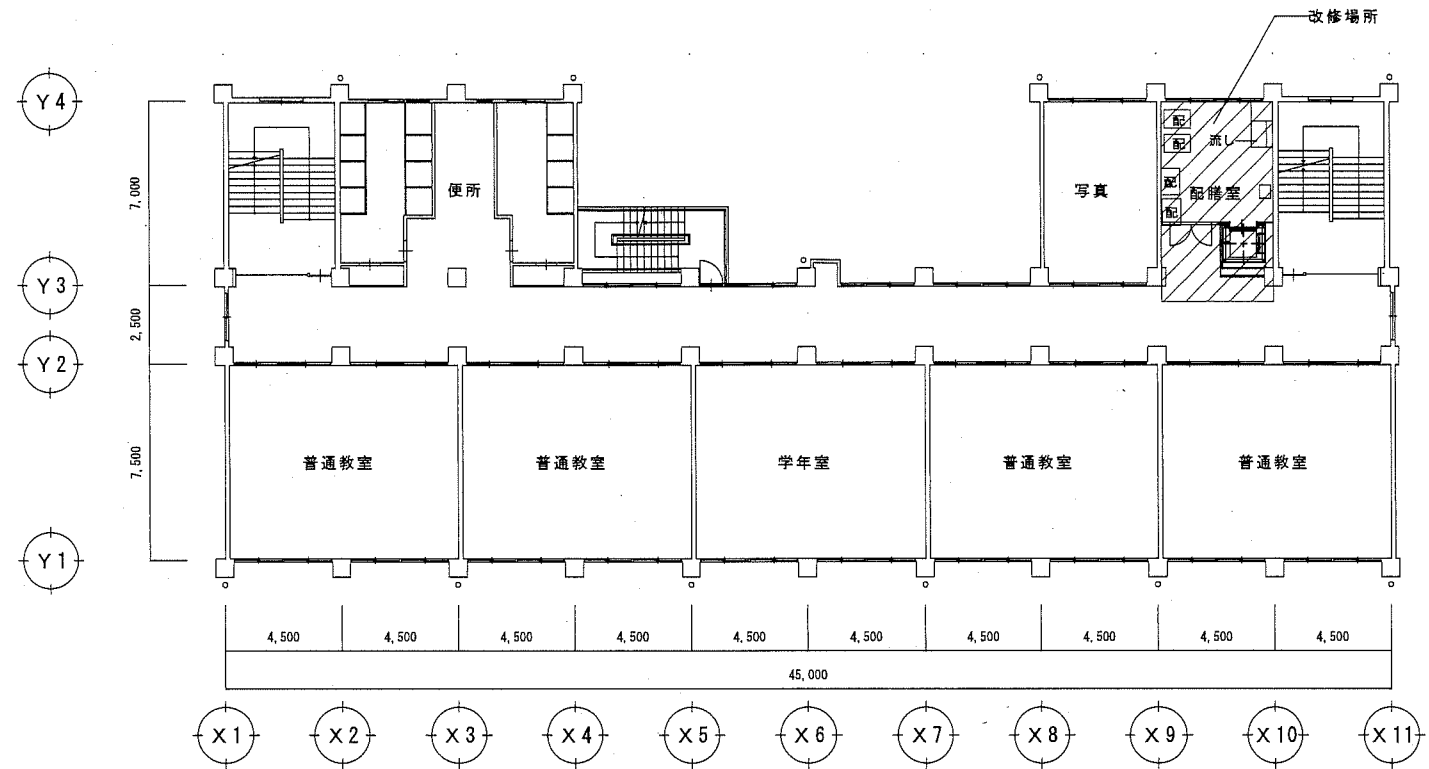


2階平面図 (改修)

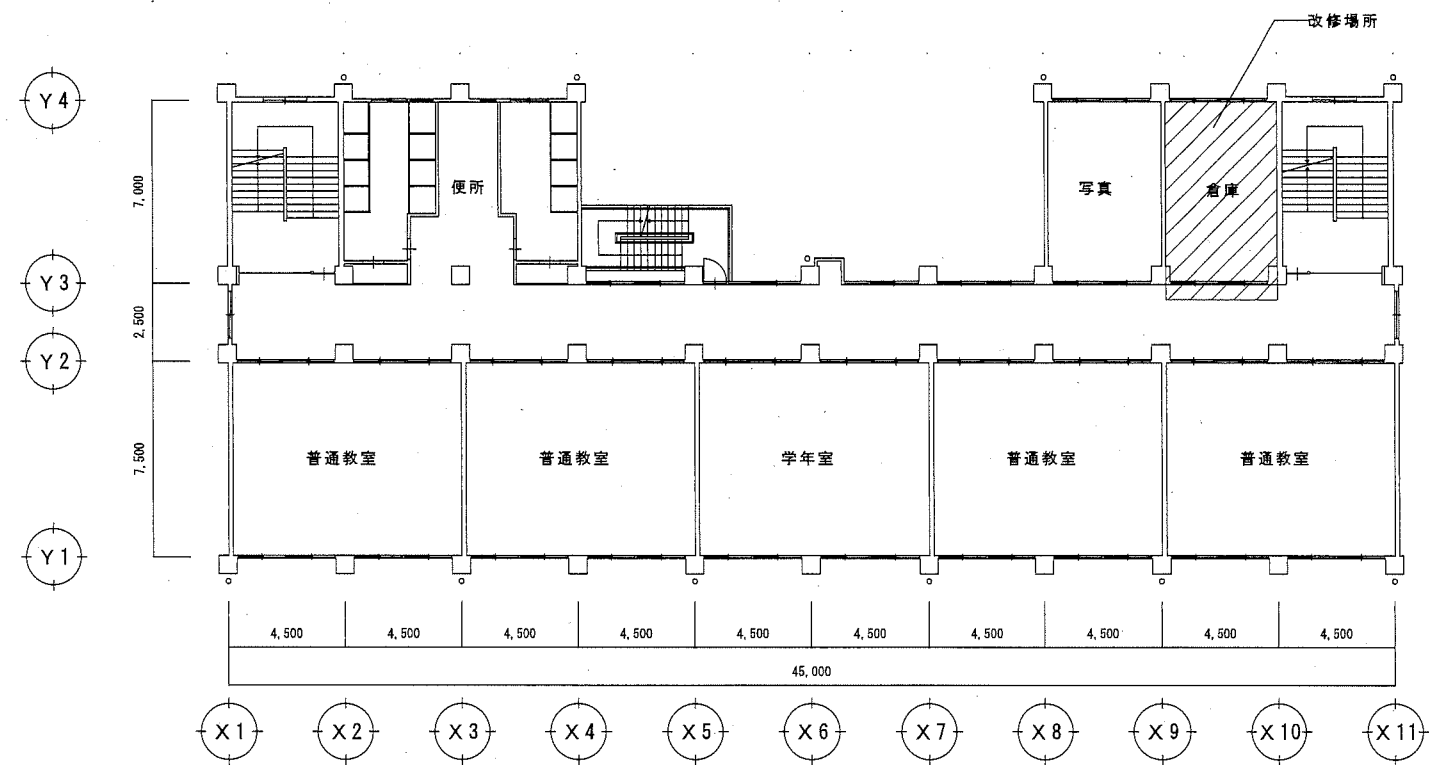


2階平面図 (既存)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-25
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 日棟2階平面図 (既存・改修)	1/200	
						N.c.

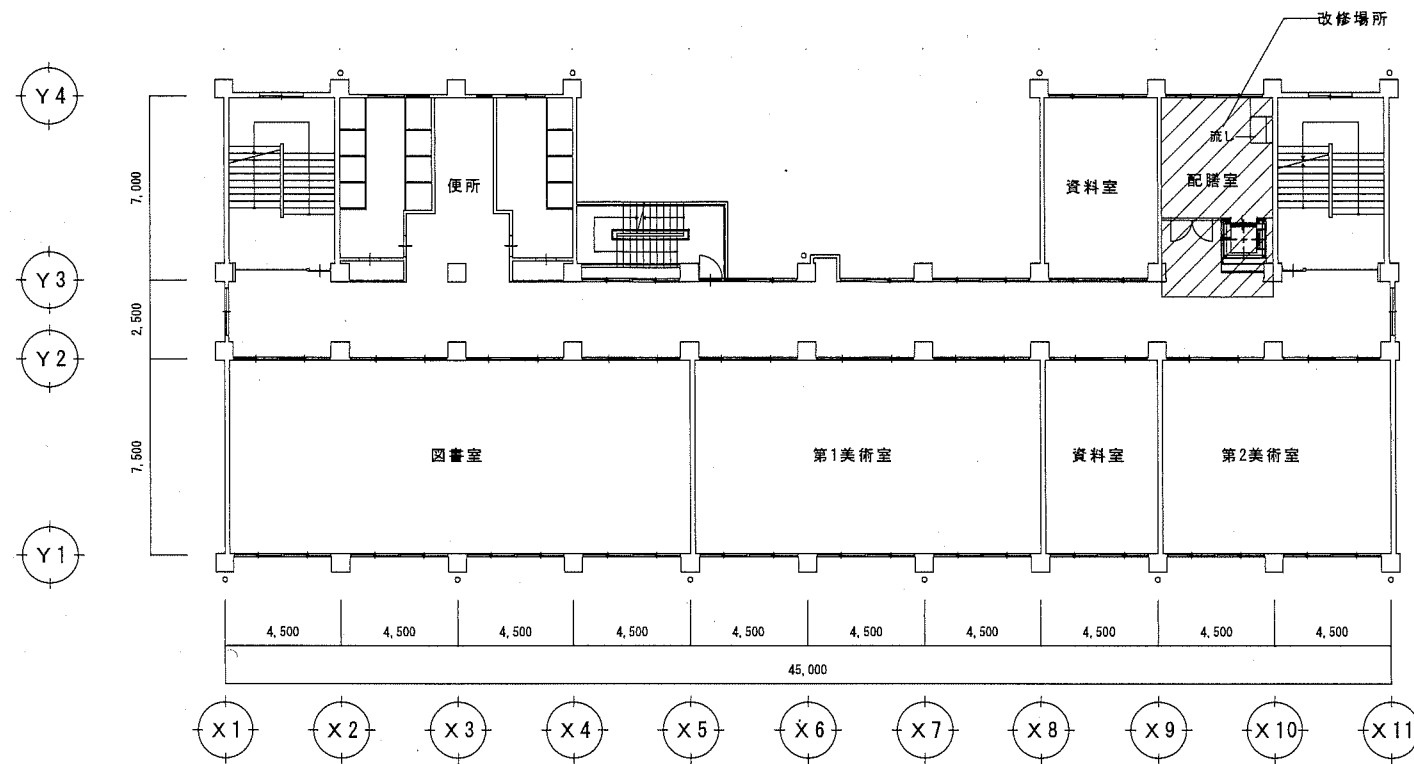


3階平面図（改修）

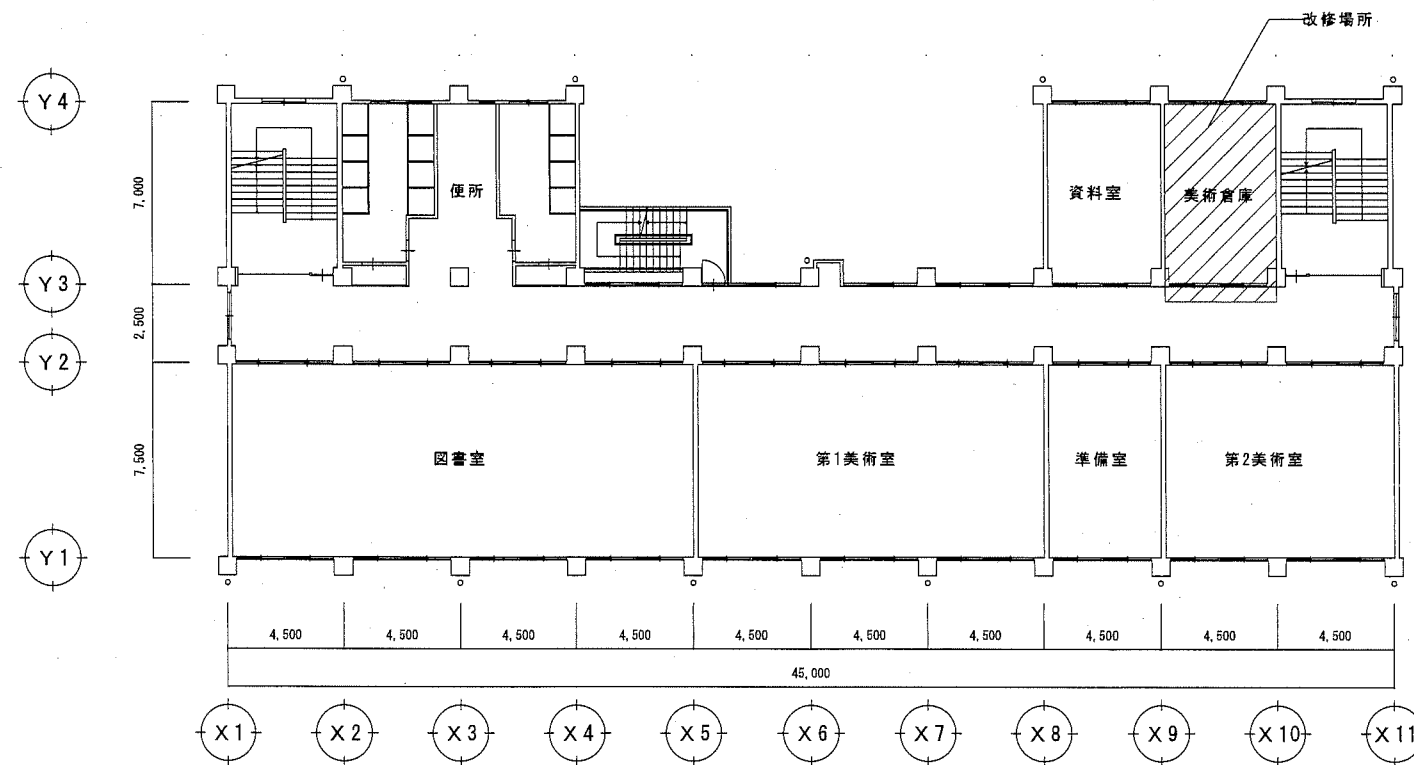


3階平面図（既存）

公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 B棟3階平面図（既存・改修）	縮尺 1/200	No. A-26
---	---------	---------	-----------------------------------	--	-------------	-------------



4階平面図 (改修)

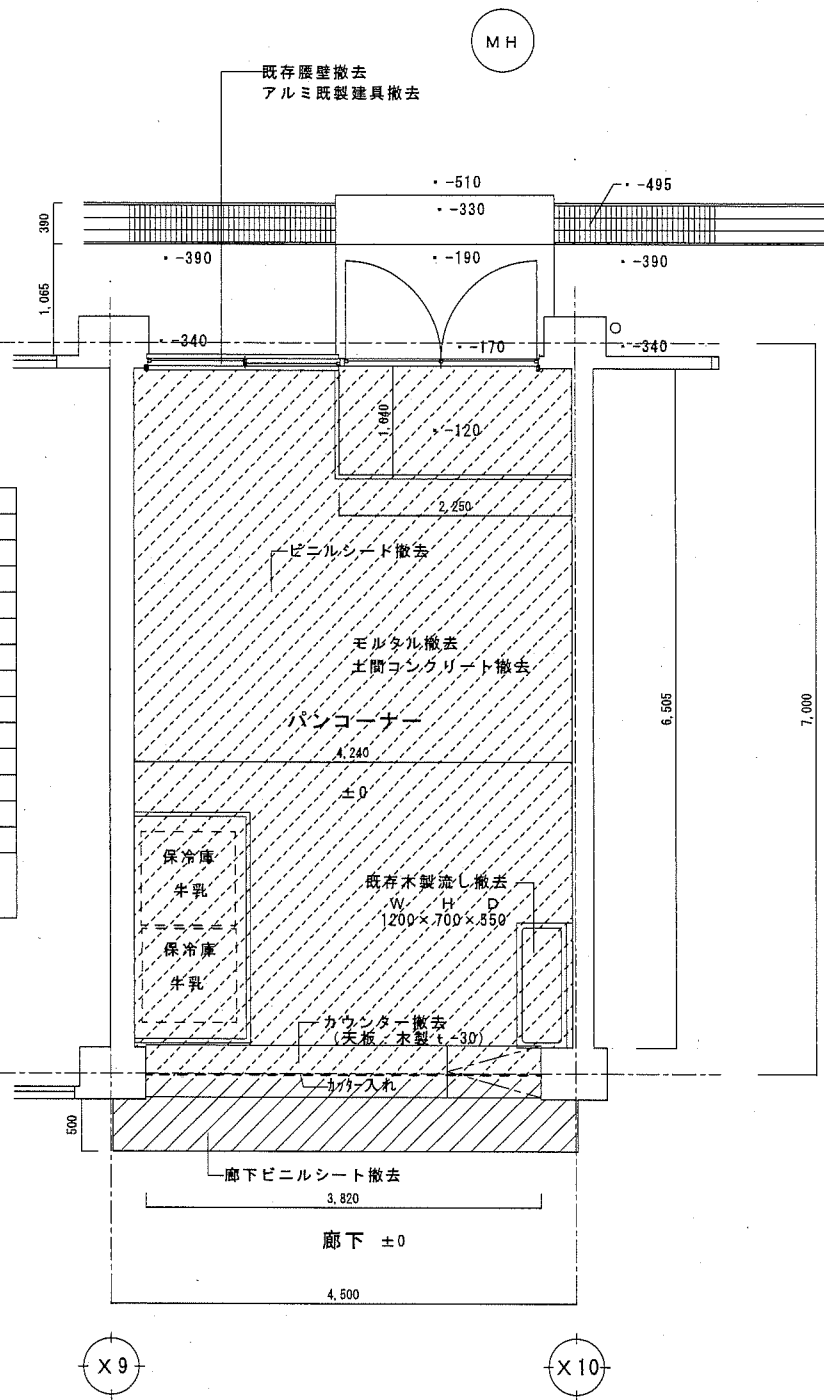


4階平面図 (既存)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-27
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 日棟4階平面図 (既存・改修)	1/200	

既存内部仕上表

部位	仕上げ
床	ビニル床シート撤去、土間コンクリート、モルタル撤去
巾木	塗り巾木 H-100
壁	
A面	腰壁撤去、7Mサッシ撤去
B面	モルタルEP
C面	
D面	モルタルEP
天井	LGS下地、石膏ボードt-9.5撤去
備考	鋼製カッター撤去(天板:木製t-30) 既存木製流し撤去



1階平面詳細図(既存)

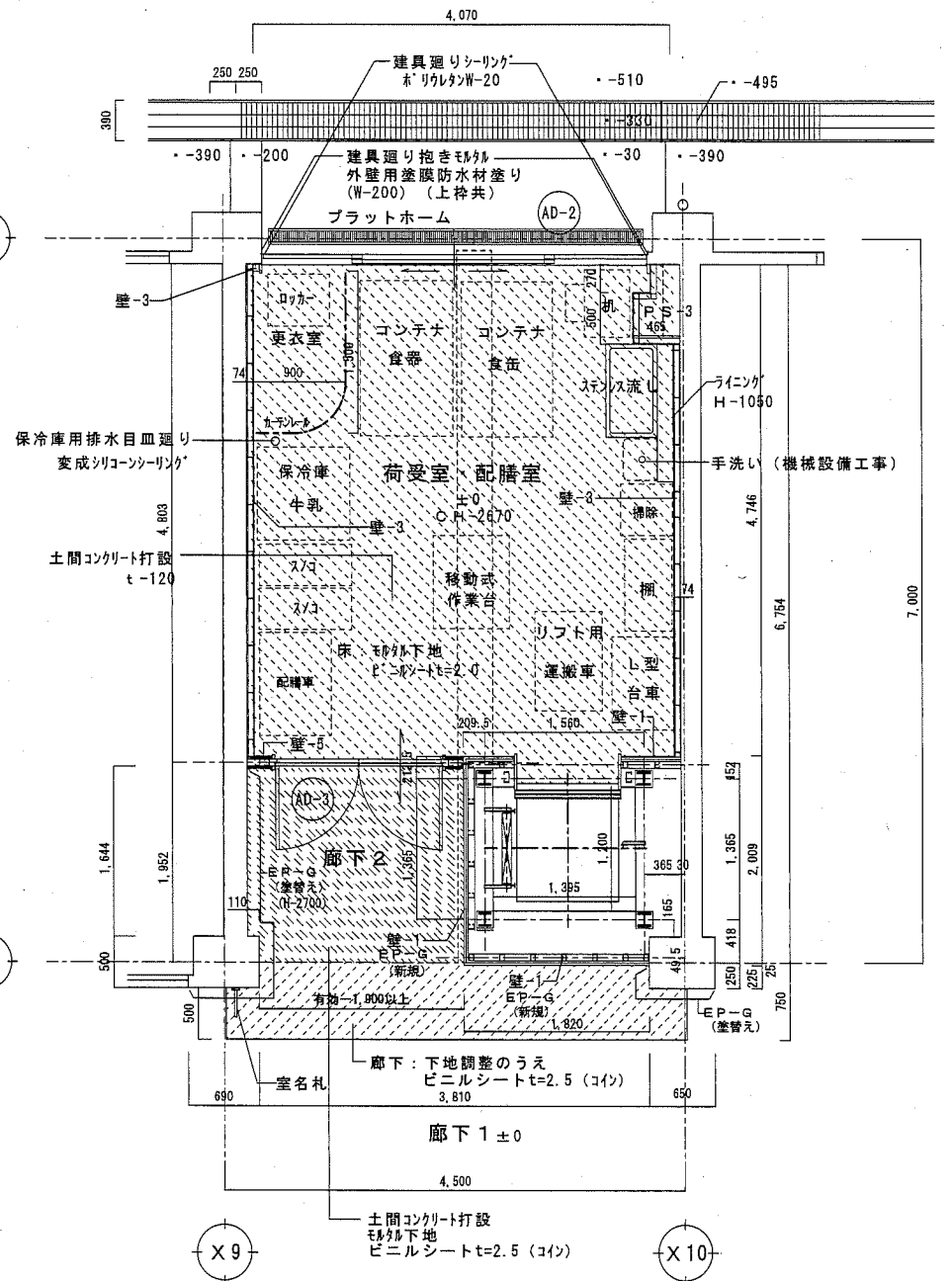
配膳室内部仕上表

部位	仕上げ
床	ビット、土間コンクリート新設の上 モルタルt-28、ビニル床シートt-2.0
巾木	ビニル巾木 H-300
壁	
A面	アルミ建具新設 壁-3
B面	壁-3
C面	壁-1、5
D面	壁-3
天井	LGS下地化粧石膏ボードt-9.5
廻縁	樹脂製コの字型
備考	ステンレス流し取り付け 吊カテナール取付 アルミカーテンボックス取付

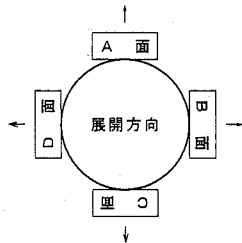
備品一覧表(参考)

ロッカー	3人用 3人用
コンテナ	食器
コンテナ	食器
棚	
スノコ	
スノコ	
スノコ	
牛乳パック入れ	
机	
掃除用具入れ	
牛乳保冷库	
牛乳保冷库	
配膳車	

※備品は工事対象外、配置は参考



1階平面詳細図(改修)



公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 日棟1階 平面詳細図(既存・改修)

縮尺

1/50

A-28

No.

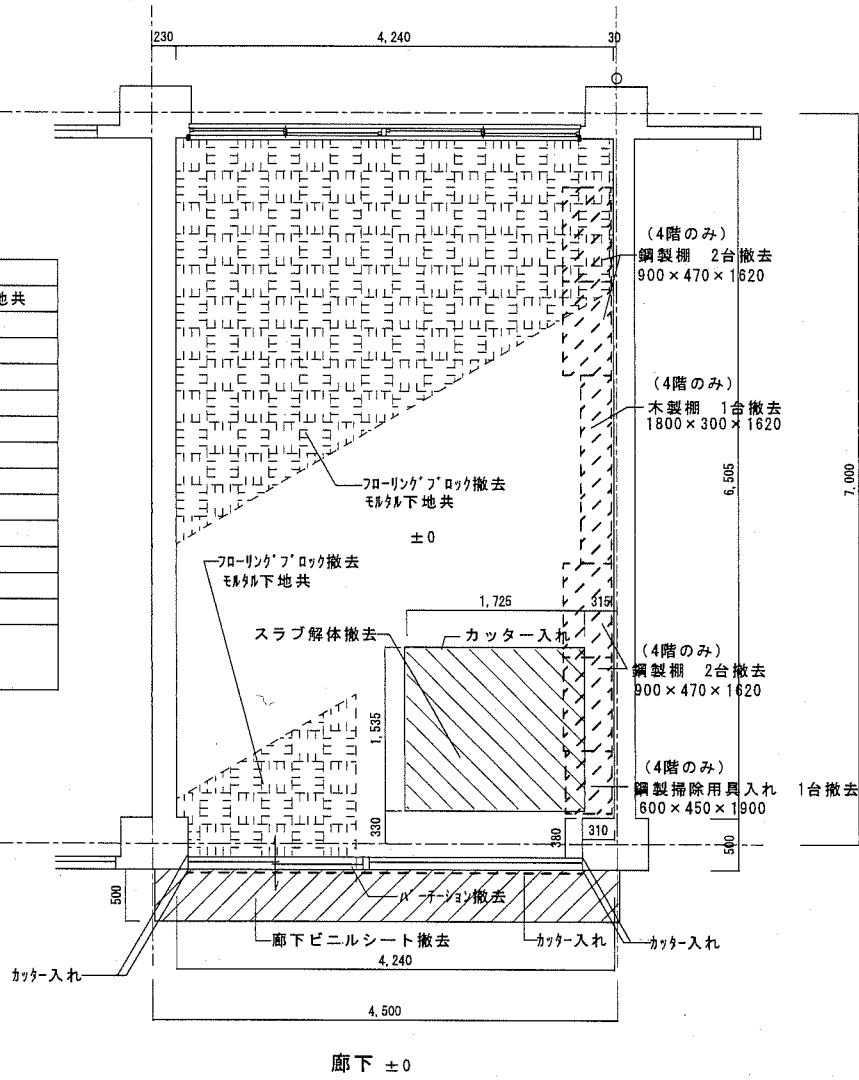
階	旧室名
2階	資料室
3階	倉庫
4階	美術倉庫

階	新室名
2階	配膳室
3階	配膳室
4階	配膳室

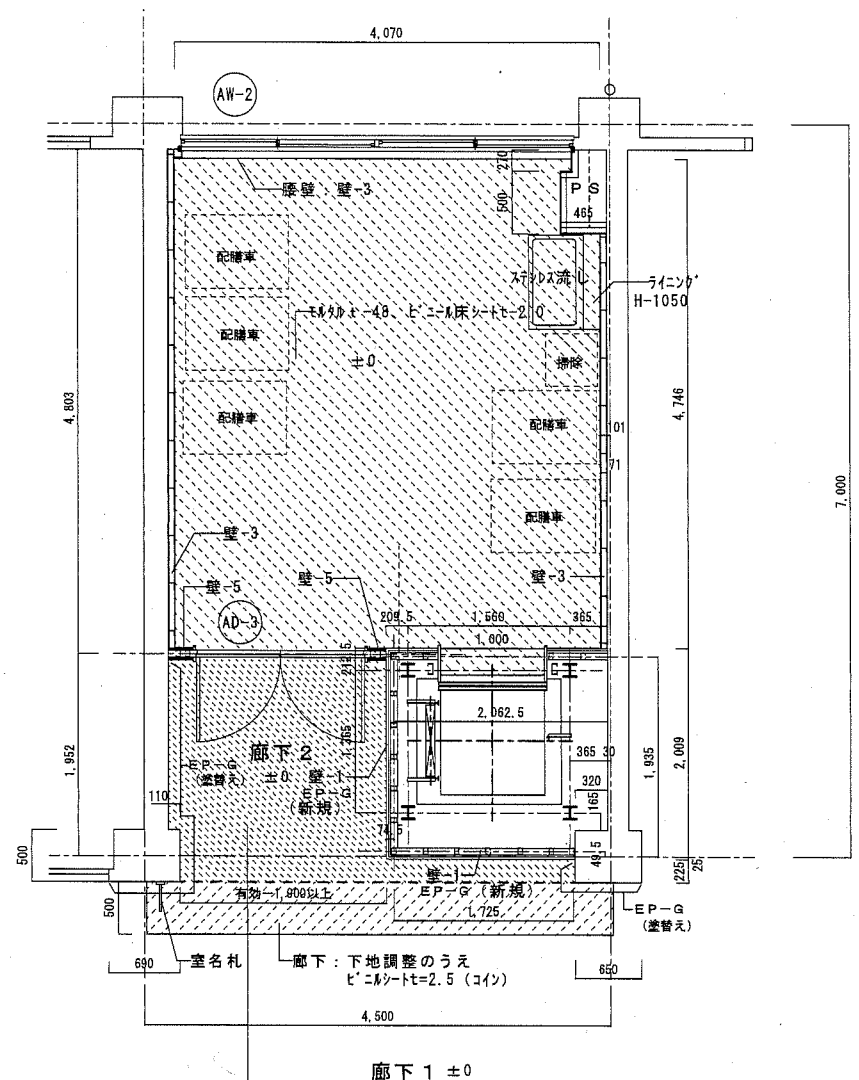
部位	仕上げ
床	フローリングブロック張り撤去モルタル下地共
巾木	木製巾木 H-100撤去
壁	
A面	ガラス撤去
B面	モルタルEP そのまま
C面	パテション撤去
D面	モルタルEP そのまま
天井	LGS下地、石膏ボードt-9.5撤去
備考	4階のみ 棚撤去

部位	仕上げ
床	モルタルt-48、ビニル床シートt-2.0
巾木	ビニル巾木 H-300
壁	
A面	壁-3、AW-2改修
B面	壁-3
C面	壁-1、5
D面	壁-3
天井	LGS下地化粧石膏ボードt-9.5
廻縁	樹脂製コの字型
備考	ステンレス流し取り付け アルミカーテンボックス取付

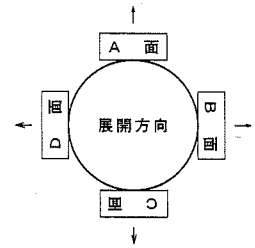
配膳車
配膳車
配膳車
配膳車
配膳車
配膳車
牛乳パック入れ
掃除用具入れ



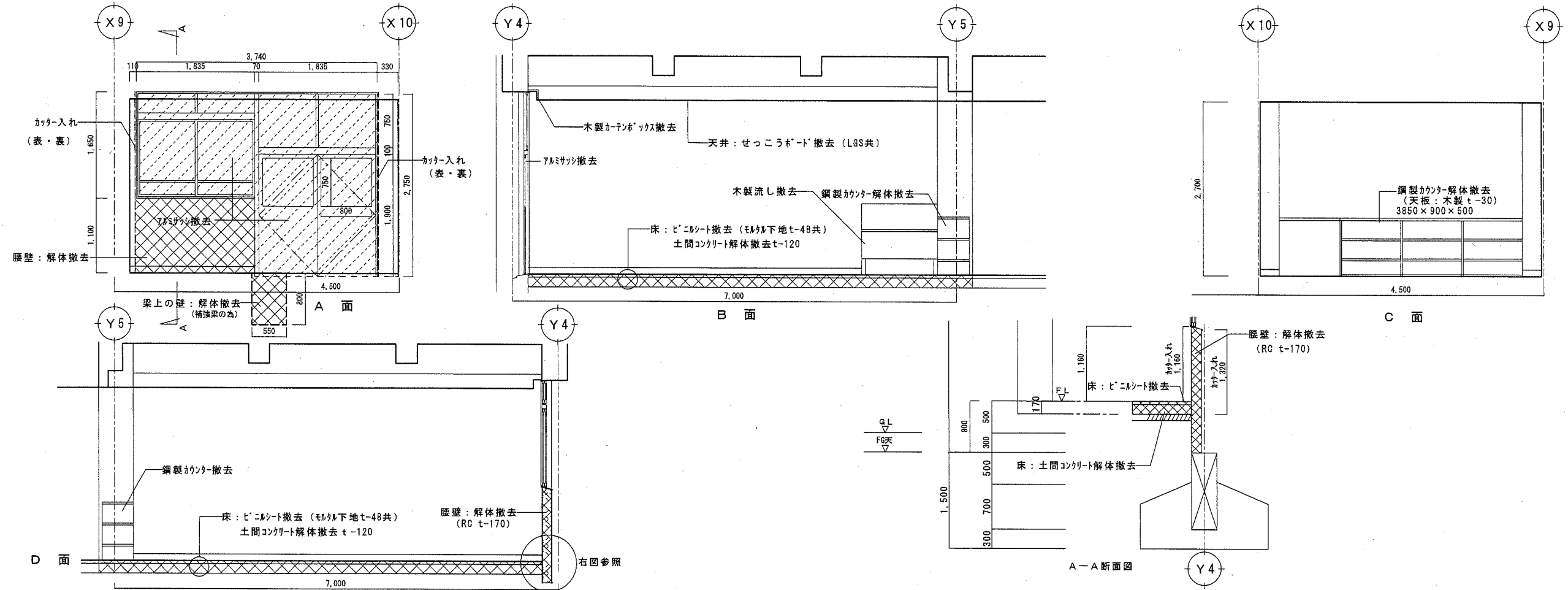
2,3,4階平面詳細図(既存)



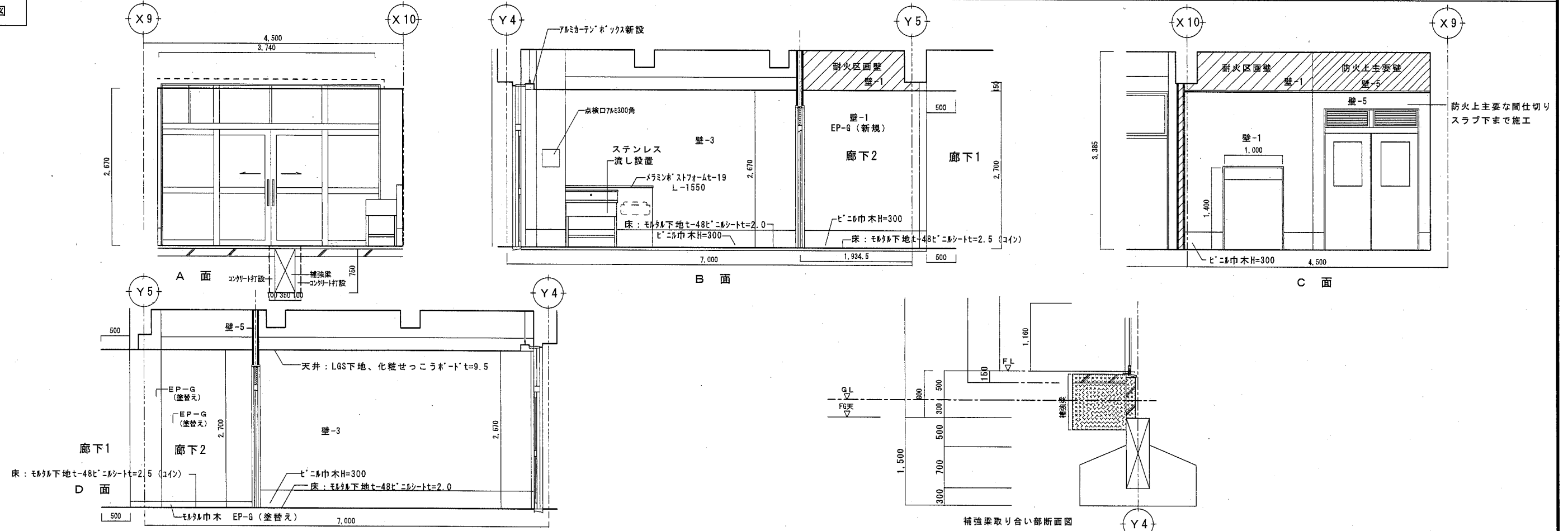
2,3,4階平面詳細図(改修)



既存展開図



改修展開図



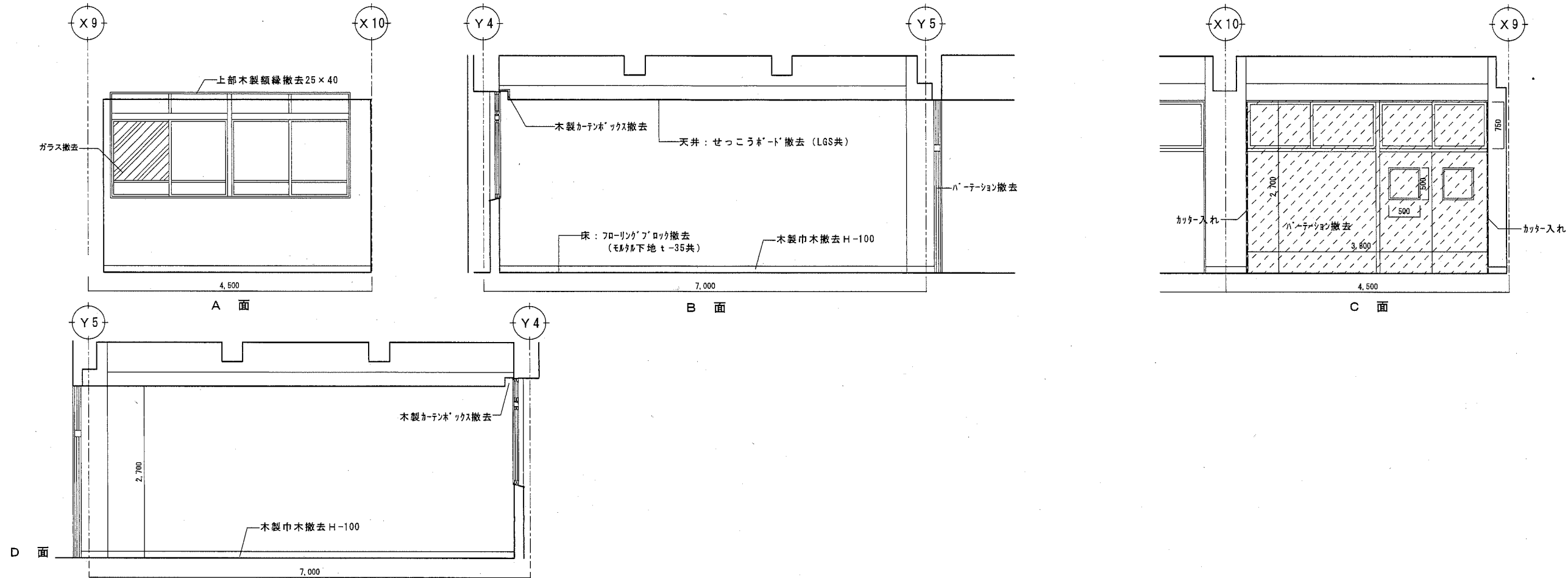
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

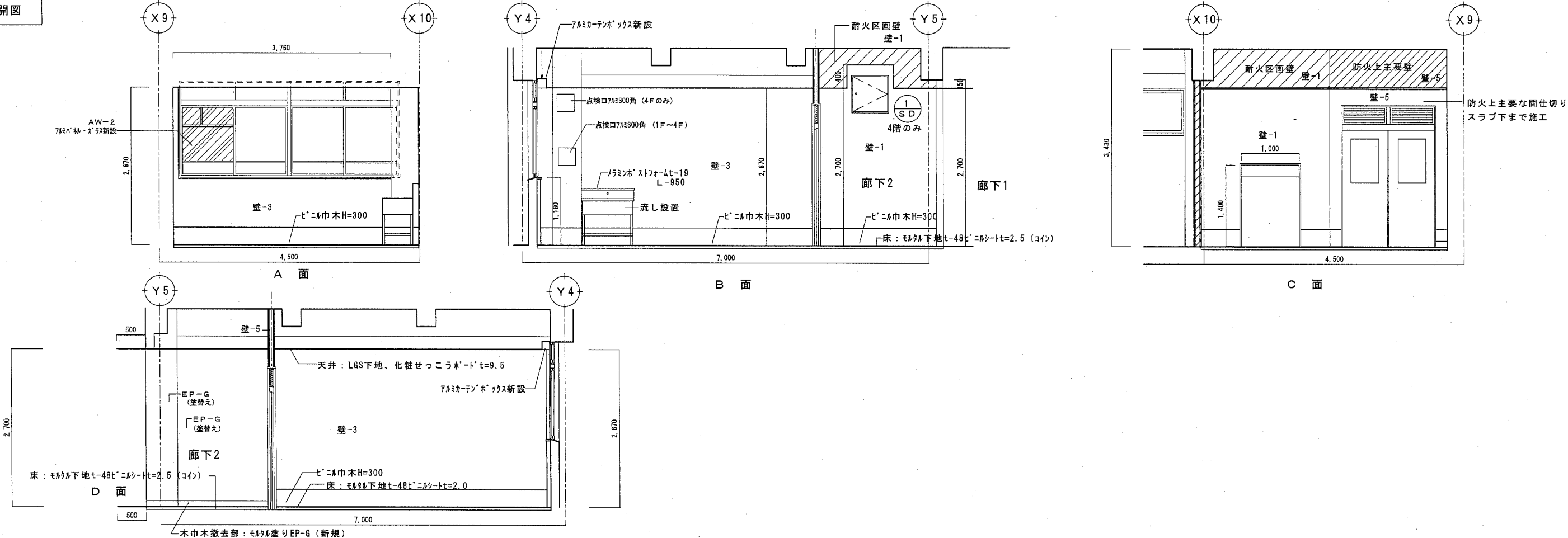
工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 B棟 1階展開図 (既存・改修)

縮尺	A-30
1/50	No.

既存展開図



改修展開図



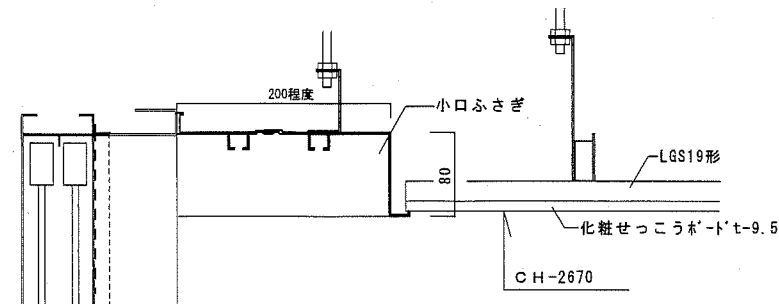
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 B棟 2,3,4階展開図(既存・改修)

縮尺
1/50

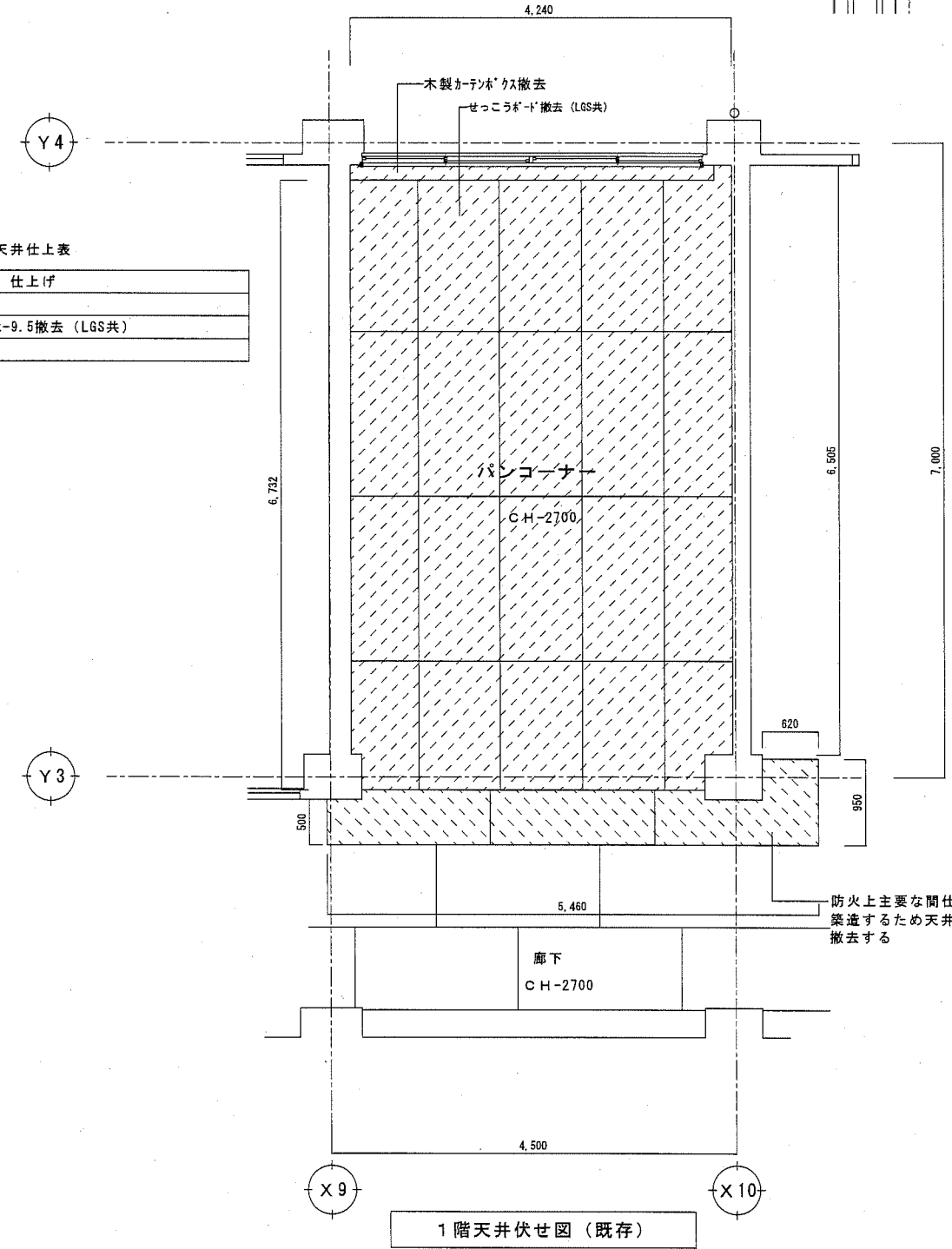
A-31
No.



アルミカーテンボックス詳細図 S=1/5

既存天井仕上表

部位	仕上げ
天井	石膏ボードt=9.5撤去 (LGS共)



1階天井伏せ図 (既存)

配膳室天井仕上表

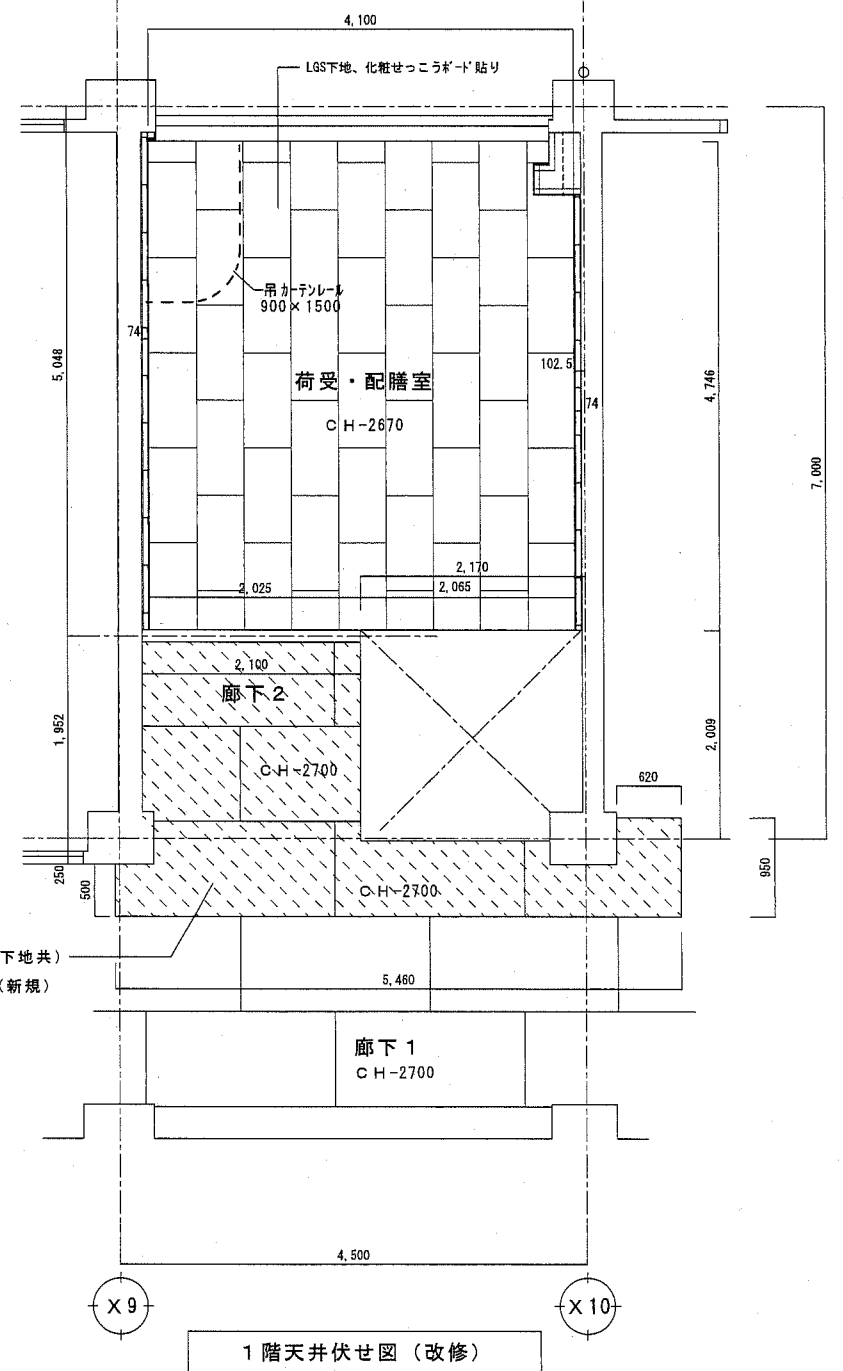
部位	仕上げ
天井	化粧石膏ボードt=9.5貼り (LGS共)

※アルミ製450角天井点検口 1か所
取り付け位置は監督員と協議のうえ決定すること。

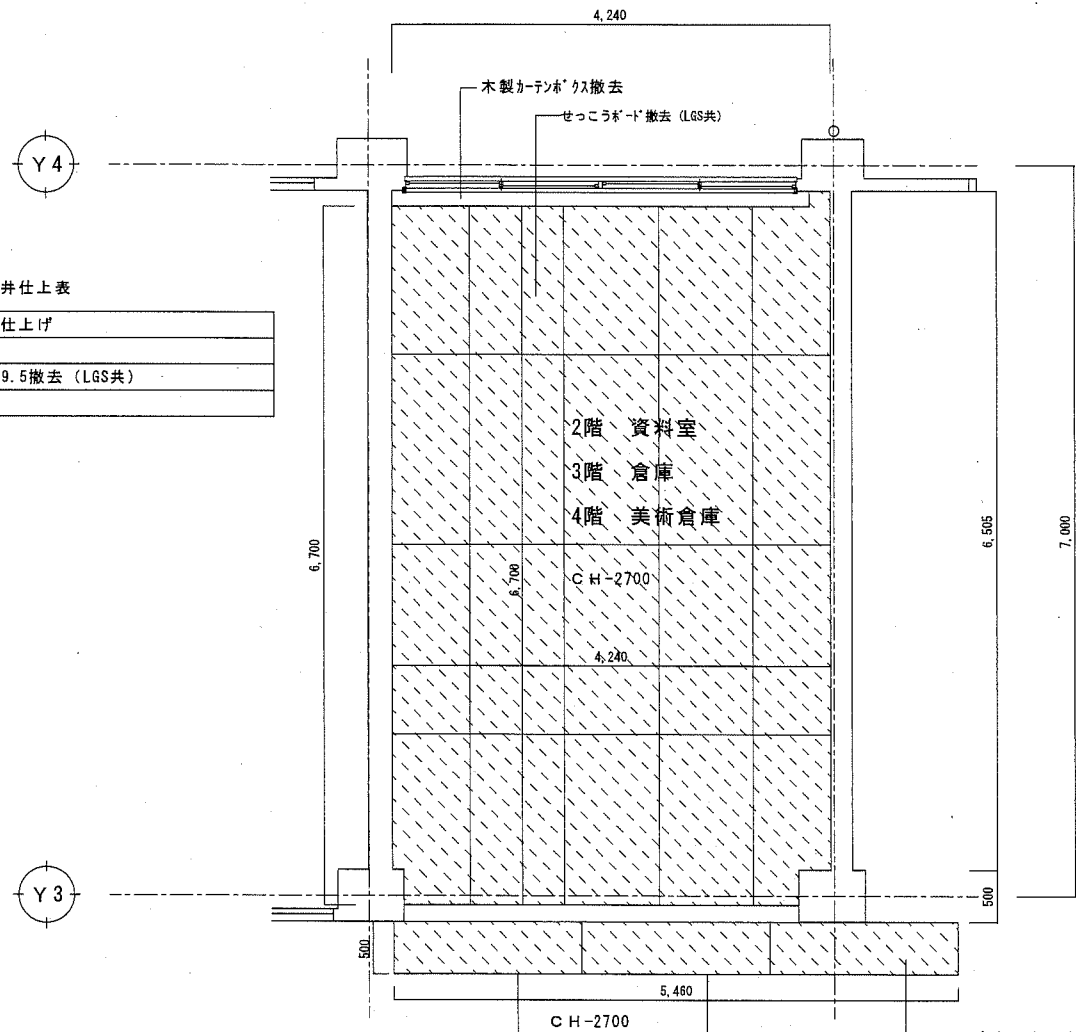
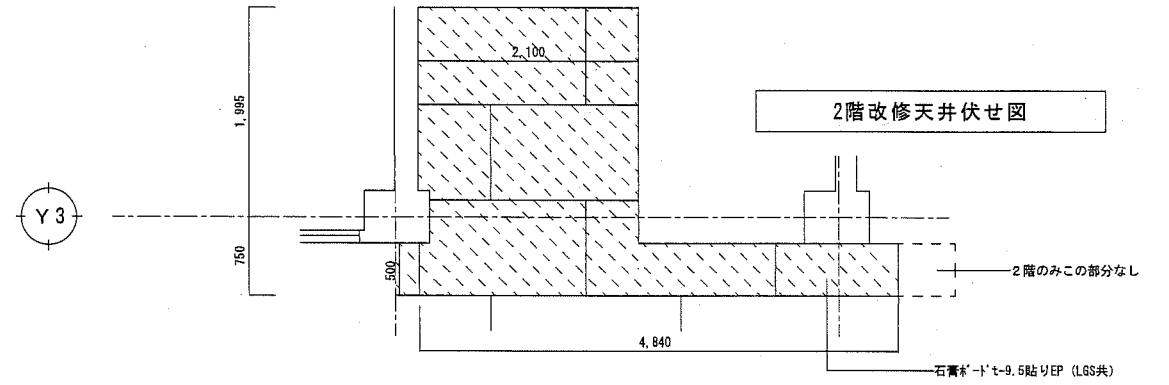
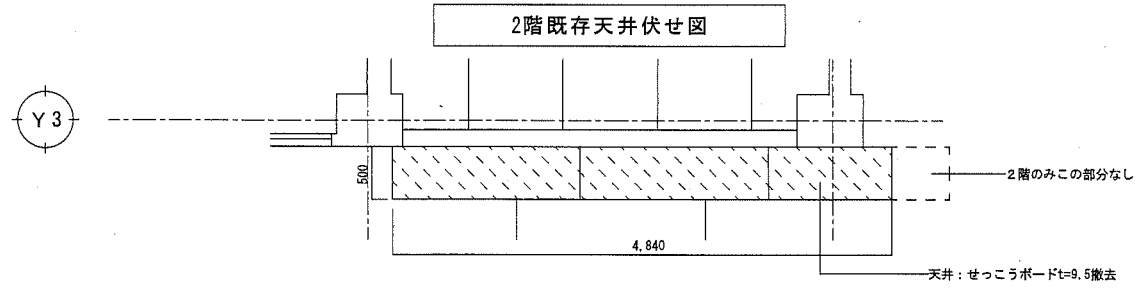
廊下1,2天井仕上表

部位	仕上げ
天井	石膏ボードt=9.5貼りEP (新規) (LGS共)

防火上主要な間仕切りを
築造するため天井仕上げ(下地共)を
撤去する



1階天井伏せ図 (改修)

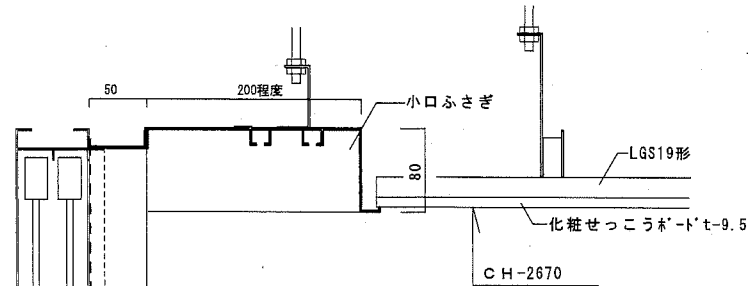
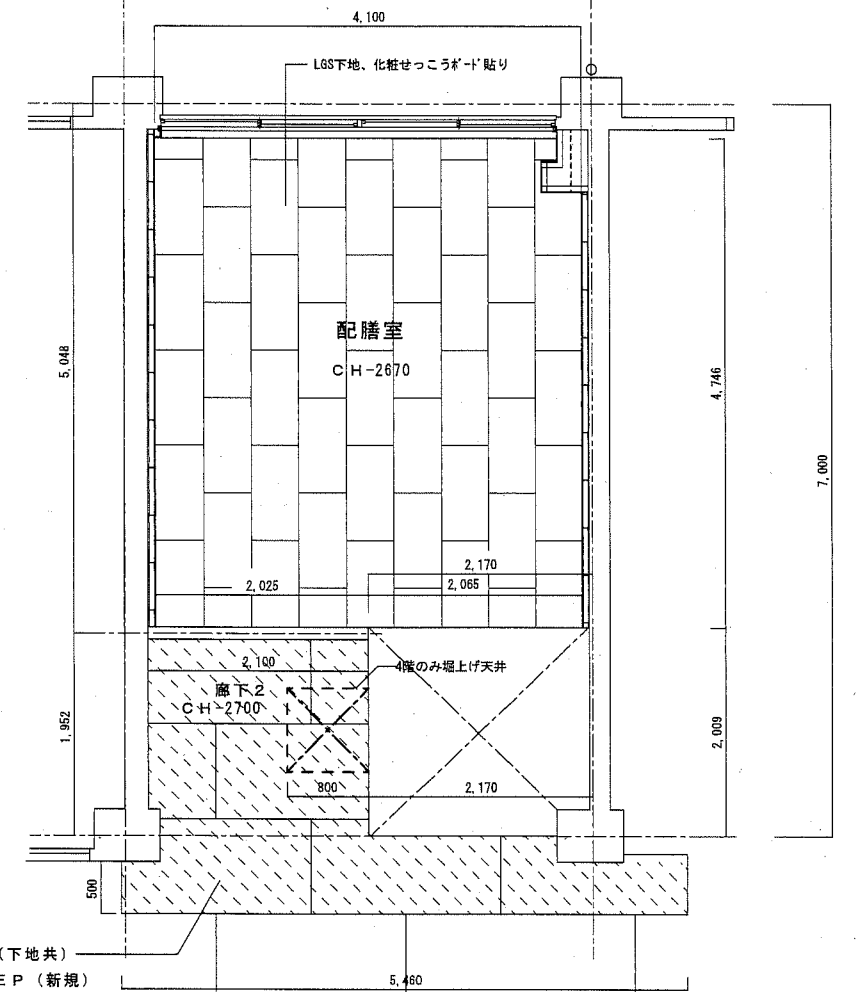


配膳室天井仕上げ表

部位	仕上げ
天井	化粧石膏ボードt=9.5貼り (LGS共)
	アルミ製450角天井点検口 1か所

廊下1,2天井仕上げ表

部位	仕上げ
天井	石膏ボードt=9.5貼りEP (新規) (LGS共)



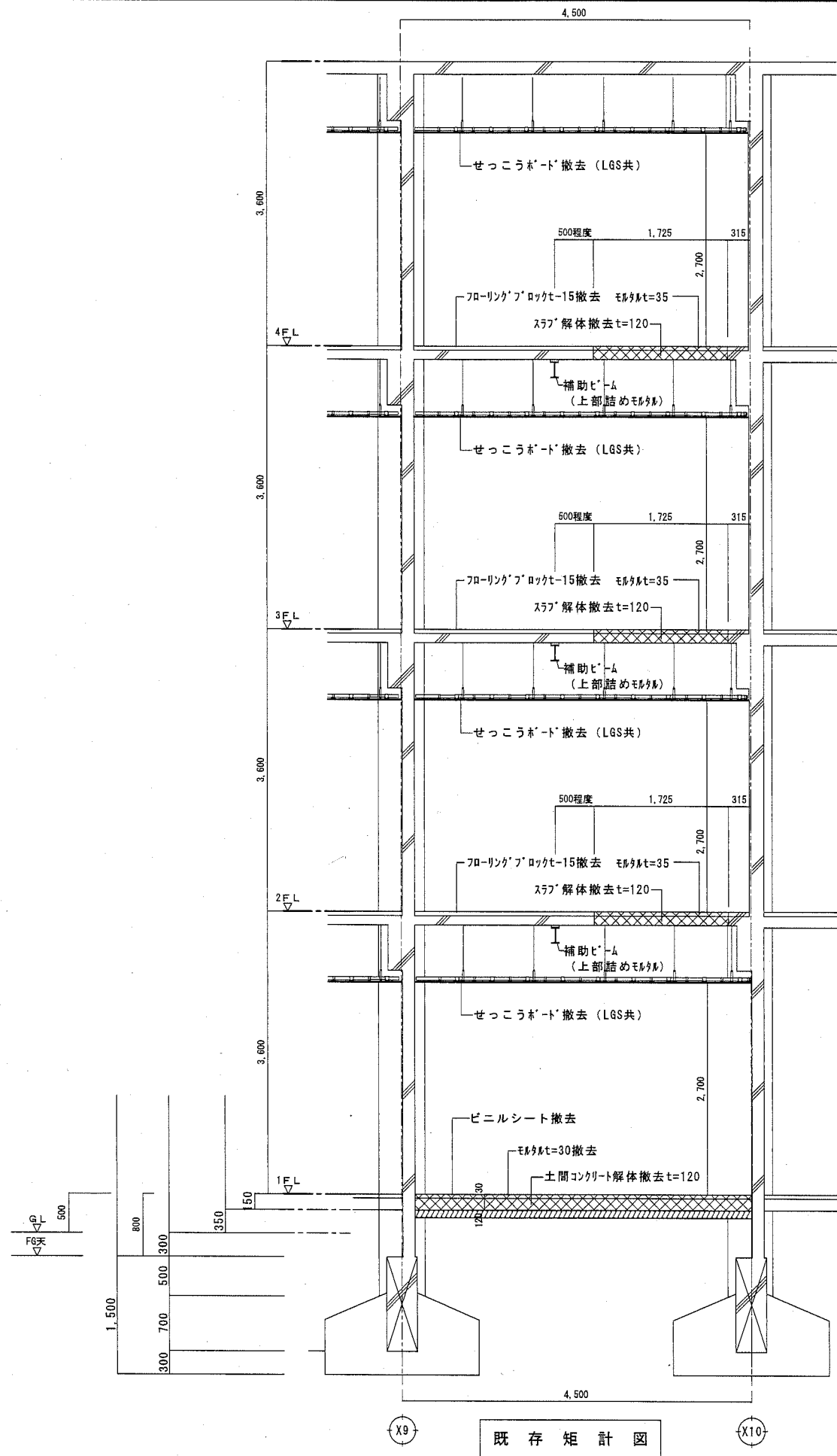
アルミカーテンボックス詳細図 S=1/5

既存天井仕上げ表

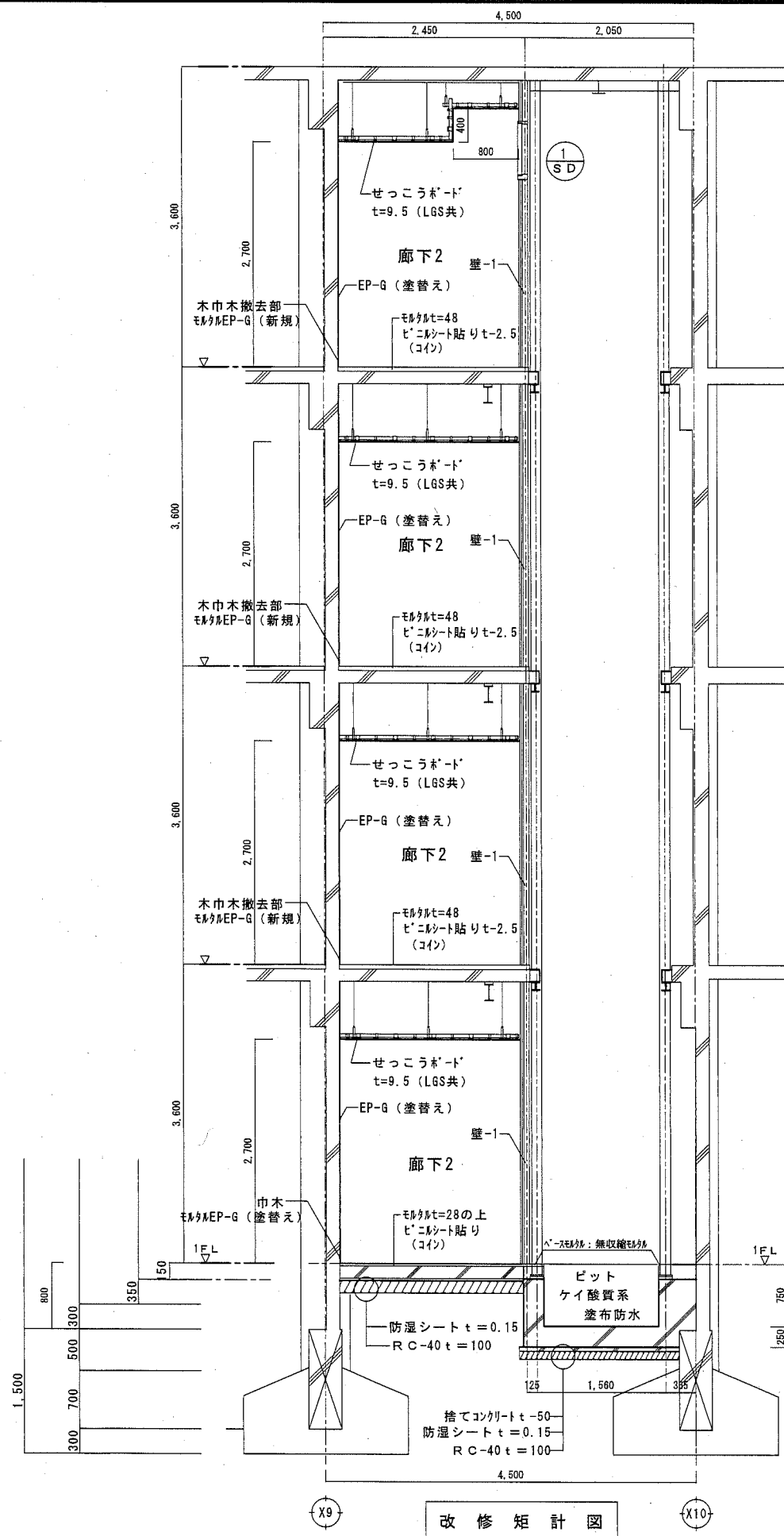
部位	仕上げ
天井	石膏ボードt=9.5撤去 (LGS共)

2,3,4階天井伏せ図 (改修)

2,3,4階天井伏せ図 (既存)



既存矩計図



改修矩計図

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

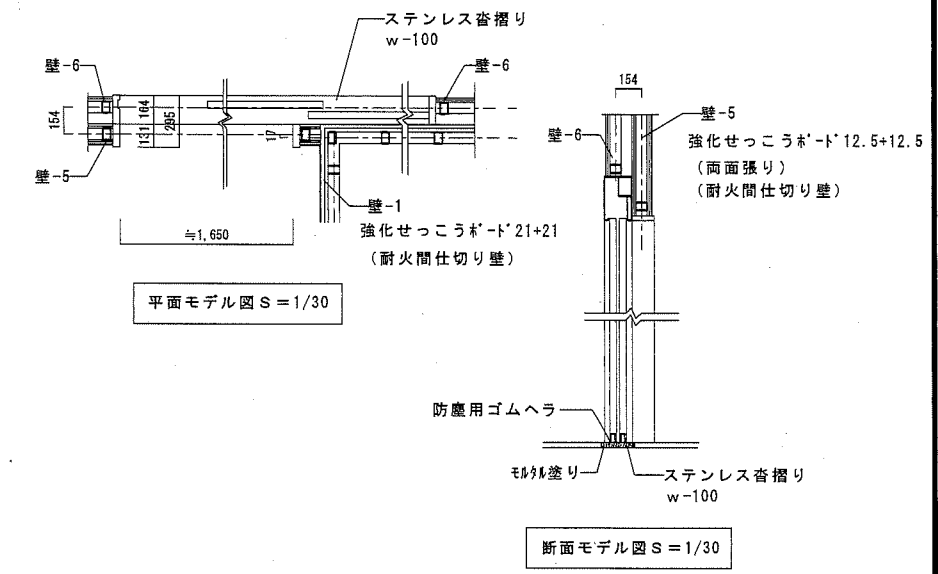
図面名称 B棟 矩計図 (既存・改修)

縮尺
1/50

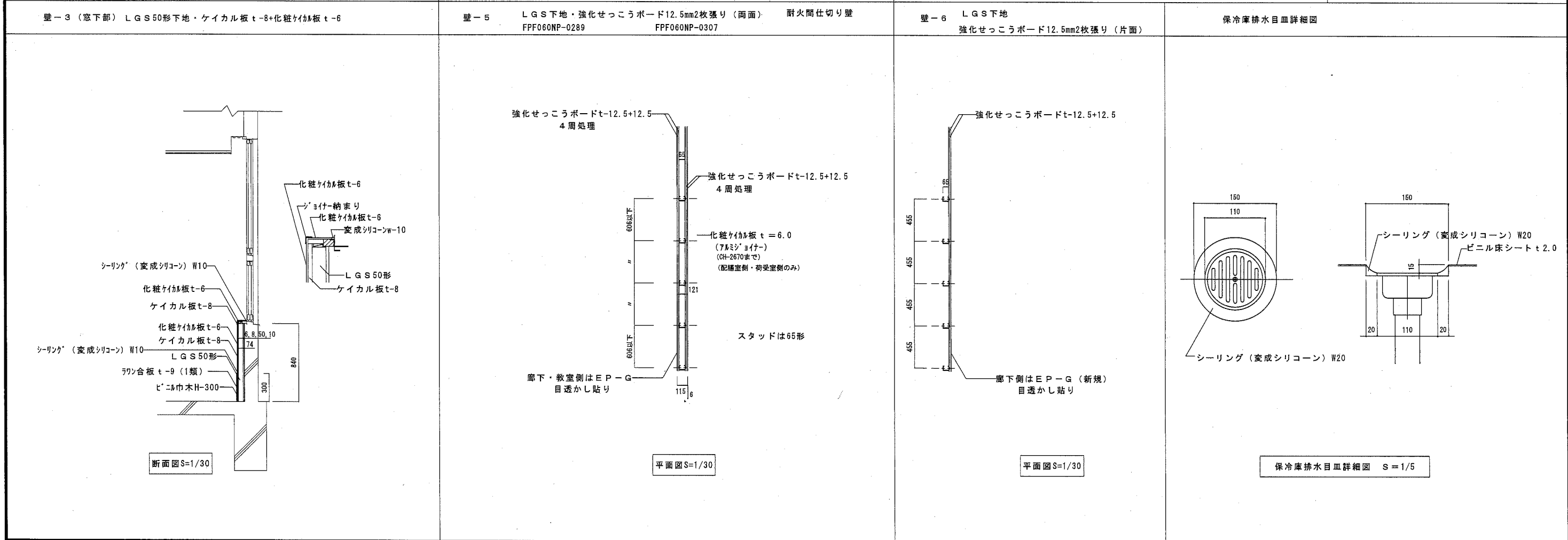
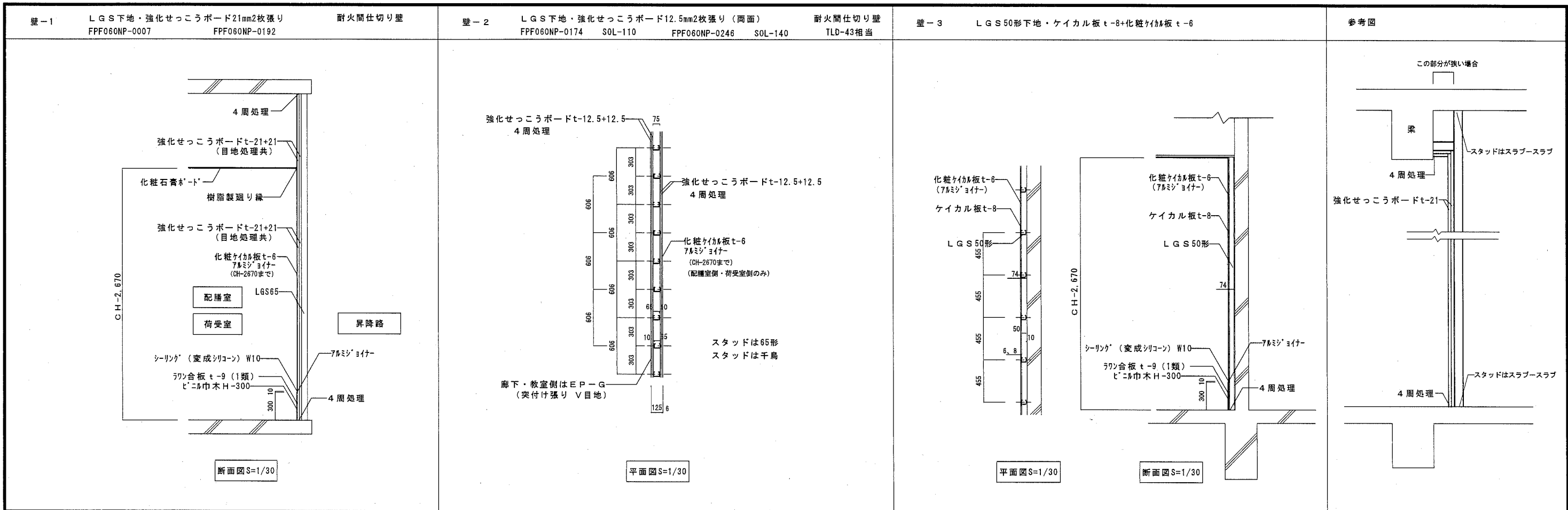
A-34

No.

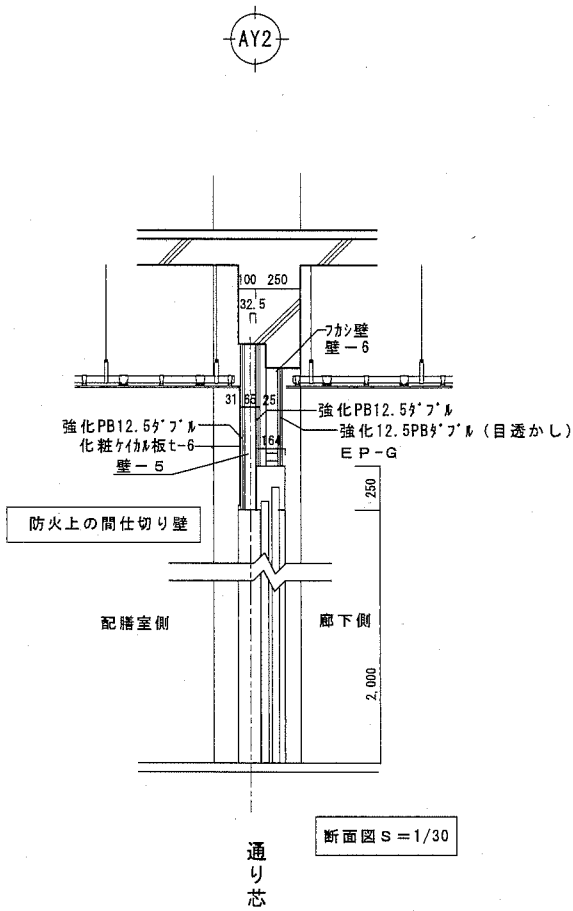
記号・数	AD-1	1ヶ所	AD-2	1ヶ所	HD-1	3ヶ所
図法子						
	<p>① 透明ガラスt=3.0+透明フィルムt=30mil+透明ガラスt=3.0 ② アルミパネルt=5.0 ③ アルミパネルt=3.0</p>		<p>① 透明ガラスt=3.0+透明フィルムt=30mil+透明ガラス ② アルミパネルt=5.0 ③ アルミパネルt=3.0</p>		<p>④ 網入り型板ガラスt=6.8</p>	
取付場所	A棟1階 荷受室		B棟1階 荷受室		A棟1階、2階、3階 配膳室	
種別方法	FIX付引き分け戸		FIX付引き分け戸		二重片引き戸	
材質・仕上	アルミ シルバー		アルミ シルバー		軽量スチール 焼付塗装	
取付金物	引違戸錠、押し棒、アルミ額縁		引違戸錠、押し棒、アルミ額縁		引戸錠、押し棒、床見切り：SUS60×15	
備考	下枠レール部、ステンレス水抜きパイプ3箇所設置		下枠レール部、ステンレス水抜きパイプ3箇所設置		額入り窓、ガラリ 連動自閉装置・エンドストッパー (ガラリの廊下側にSUS24メッシュの防虫網を取り付け)	



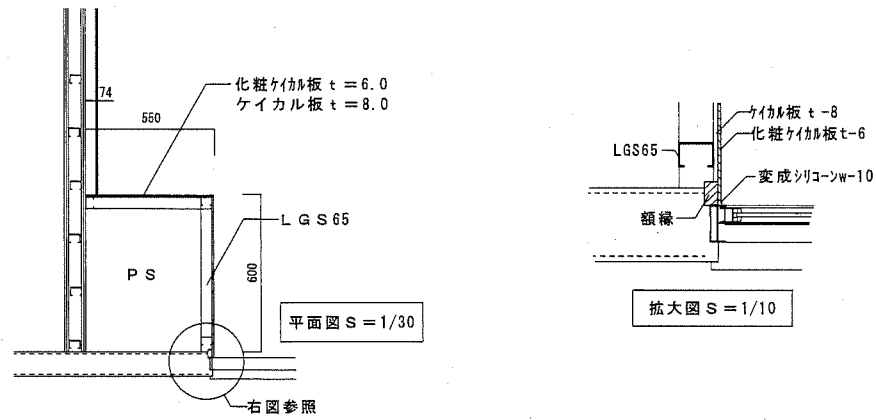
記号・数	AD-3	4ヶ所	AW-1	空調配管用-2ヶ所 換気扇用-2ヶ所	AW-2	3ヶ所	SD-1	2ヶ所	12ヶ所
図法子									
	<p>④ 網入り型板ガラスt=6.8</p>		<p>④ 換気扇取付用アルミパネル ⑤ 空調機配管取付用アルミパネル</p>		<p>④ 網入り型板ガラスt=6.8</p>				
取付場所	B棟1階、2階、3階、4階 配膳室		A棟2階、3階 配膳室 A棟2階、3階 少人数教室		B棟2階、3階、4階 配膳室		昇降路 最頂部		PS 壁面
種別方法	ガラリ付両開き戸						特定防火設備扉		点検口
材質・仕上	アルミ 標準色		アルミ シルバー		アルミ シルバー		鉄製 t=1.6 自閉式 焼付塗装		アルミ製 仕上げは壁と同じにする
取付金物	レバーハンドル、フランス落し、両開き戸錠、アルミ額縁(両側)						鍵付き		鍵付き
備考	扉下部：ゴム、モヘア等でほこり対策をする 床見切り：SUS40×20 (ガラリの廊下側にSUS24メッシュの防虫網を取り付け)		アルミパネルの穴開け加工共 (開口の大きさは機械設備と協議すること)		アルミパネルの穴開け加工共				



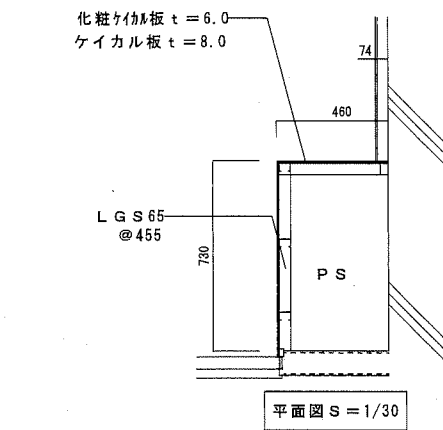
A棟-AY2、間仕切り詳細図



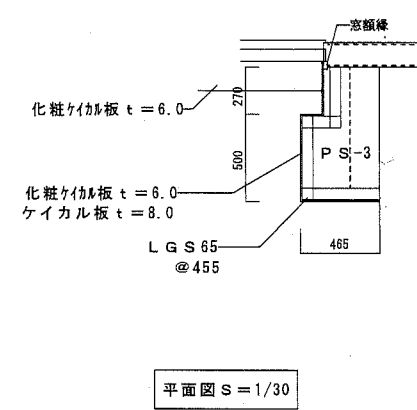
PS-1 詳細図



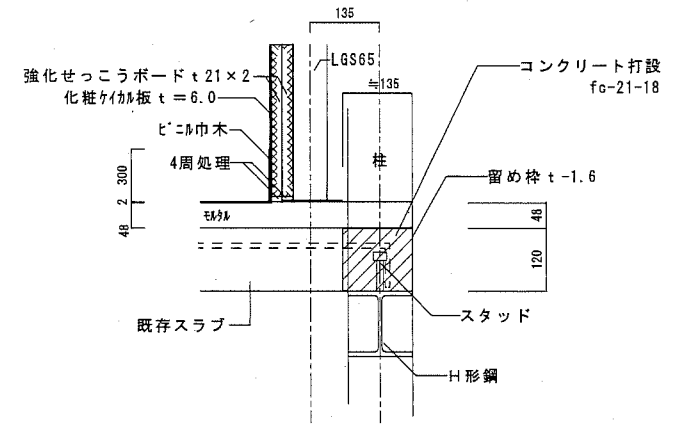
PS-2 詳細図



PS-3 詳細図



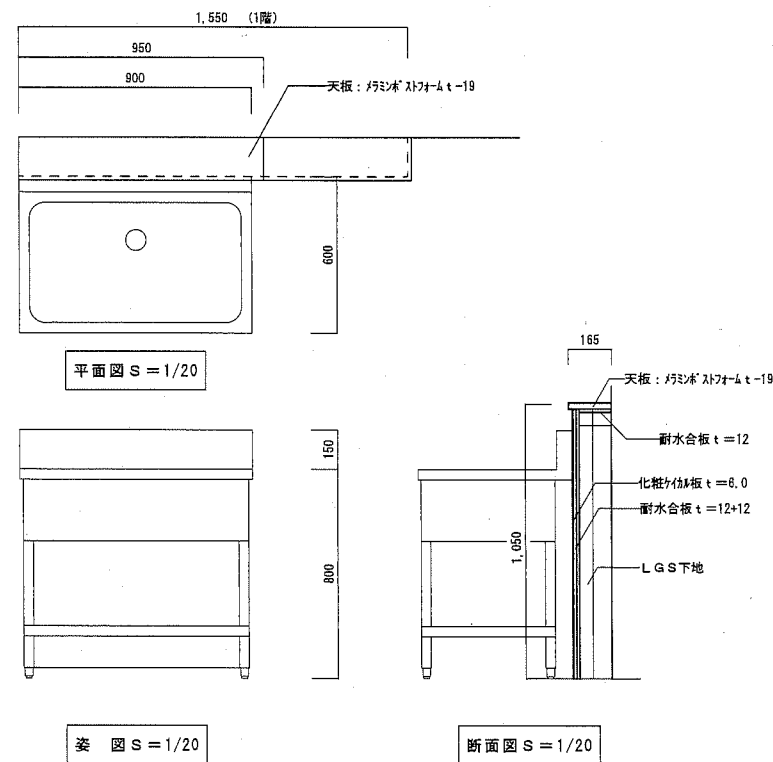
各階 スラブ接続部詳細 (小荷物専用昇降機 昇降路)



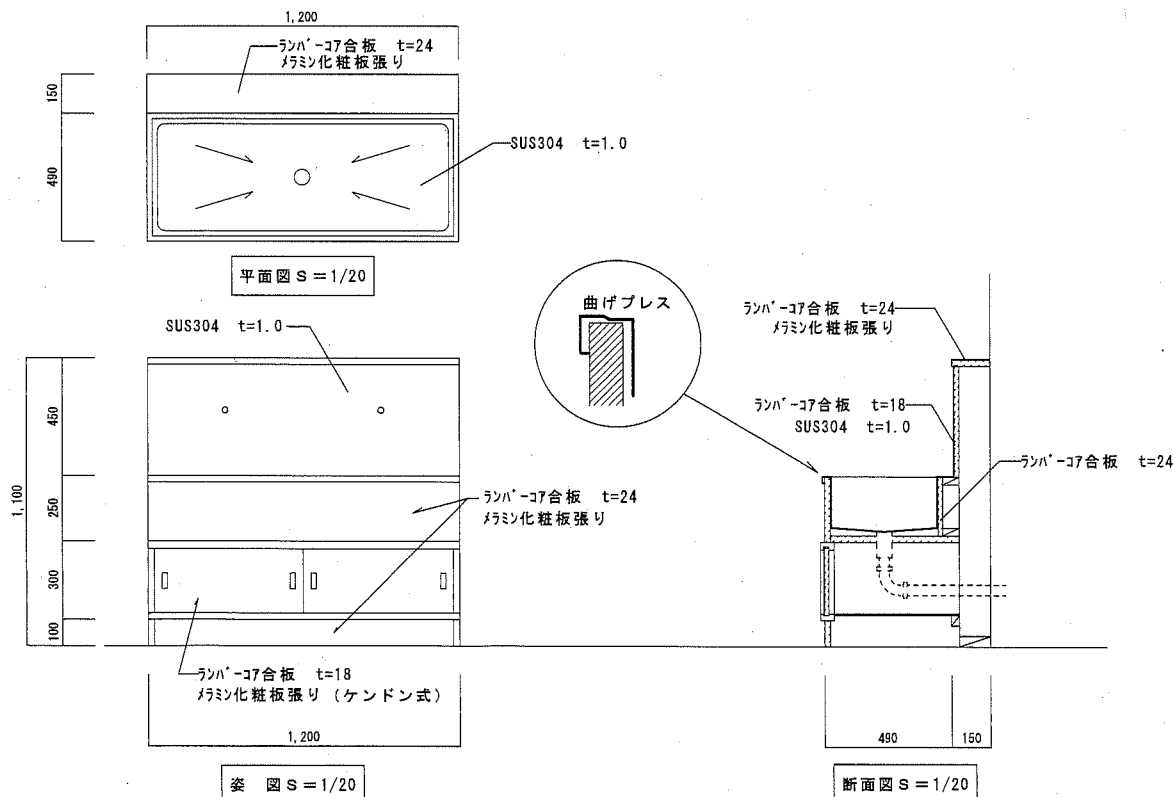
既存スラブの鉄筋は定着分を残しておくこと

断面図 S=1/10

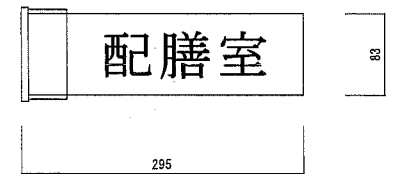
ステンレス流し及びライニング 参考図



木製流し 詳細図



室名札 詳細図



スイング式 室名札 アクリル製
両面表示 印刷 共

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

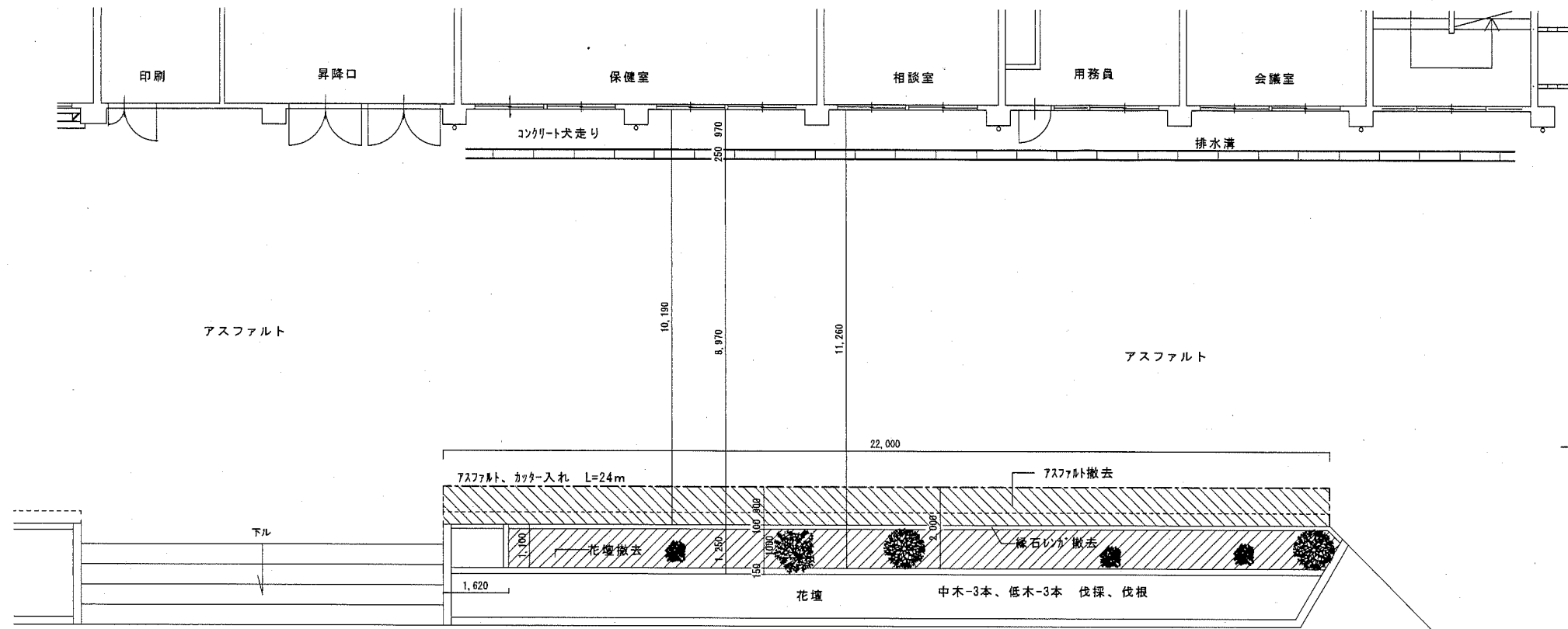
図面名称 雑 詳細図 - 2

縮尺

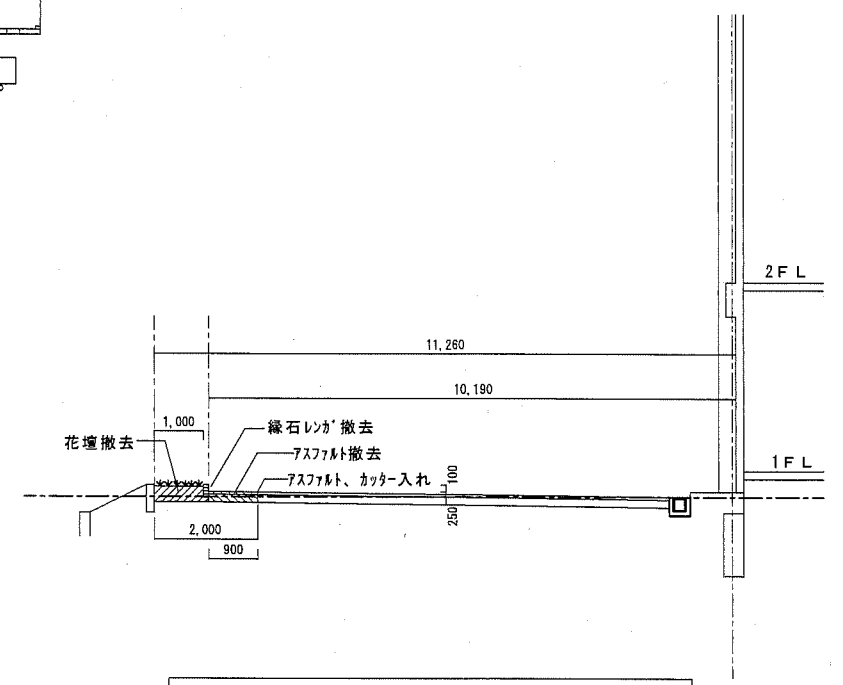
1/10
1/20
1/30

A-37

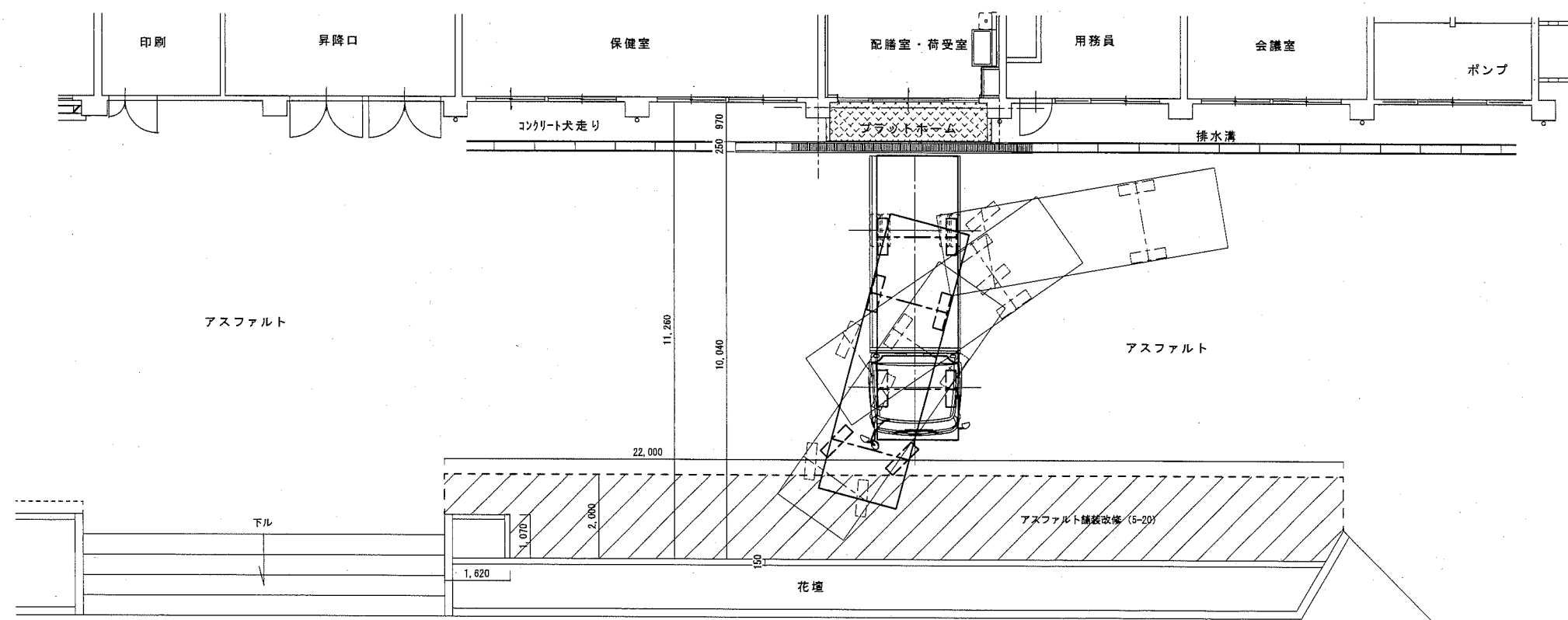
No.



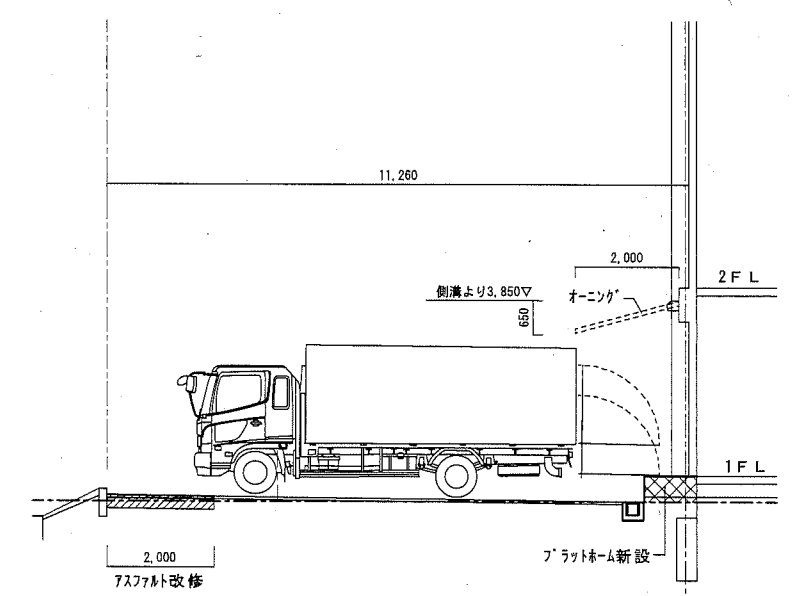
花壇部分及び舗装平面図 (既存) S=1/100



花壇部分及び舗装断面図 (既存) S=1/100



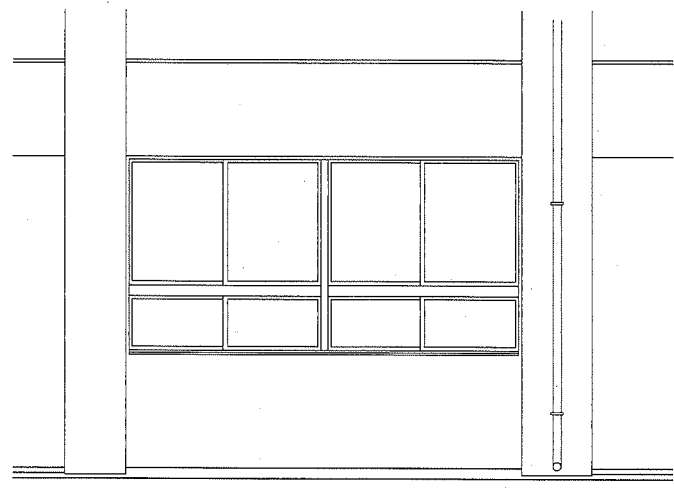
花壇部分及び舗装平面図 (改修) S=1/100



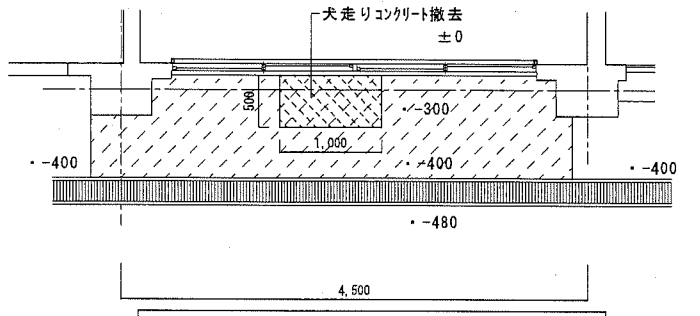
花壇部分及び舗装断面図 (改修) S=1/100

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/100	A-38 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 外構 既存・改修 平面図			

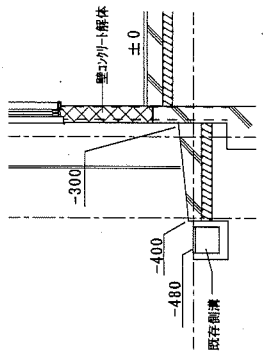
A棟プラットホーム 詳細図 S=1/50



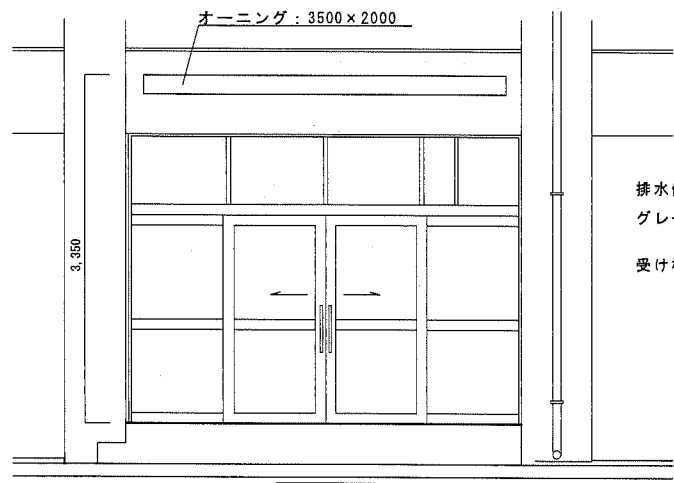
姿図



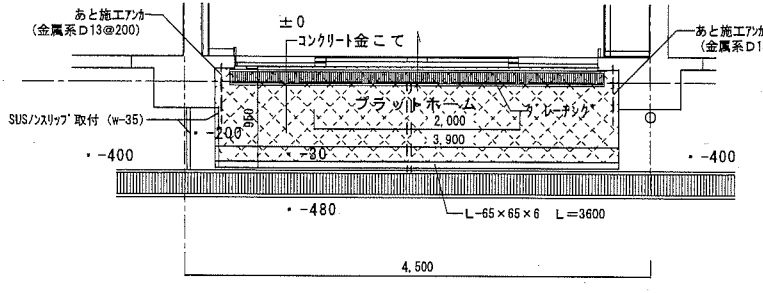
プラットホーム平面図 (既存) S=1/50



プラットホーム断面図 (既存) S=1/50



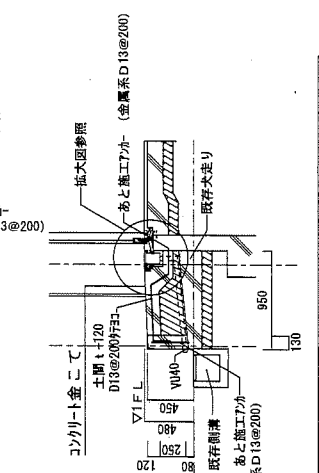
姿図



プラットホーム平面図 (改修) S=1/50

オーニング : W3500 x D 2000
ボックスタイプ
電動・手動兼用形

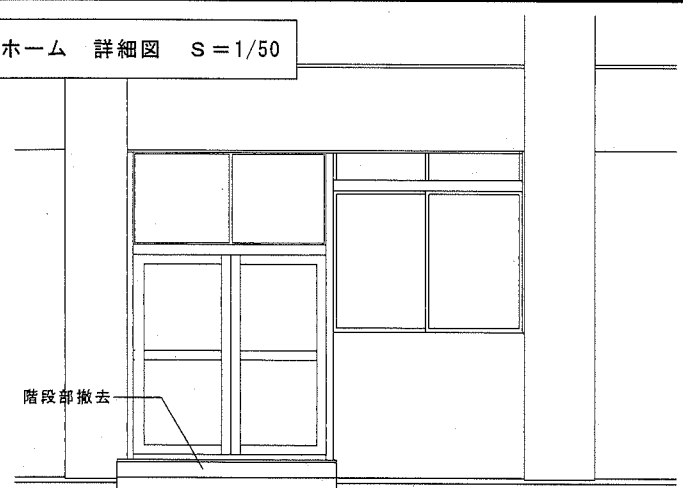
排水側溝 溝巾-100、防水モルタル塗り
グレーチング SUS製 滑り止め模様 側溝用
T-2 L-3600
受け枠 SUS製 W-150 細目



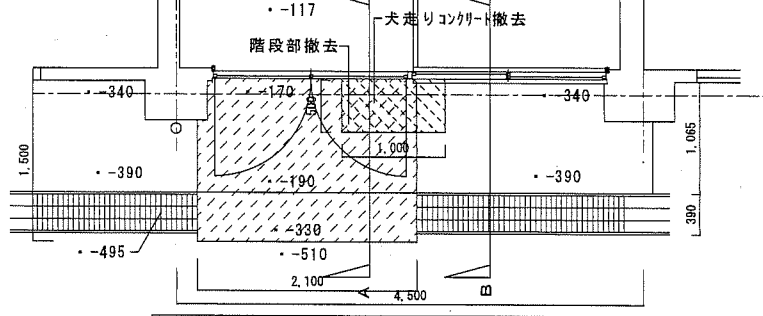
プラットホーム断面図 (改修) S=1/50

※L-65×65×6 溶融亜鉛メッキ仕上げ
※コンクリート: FC-21 t-120

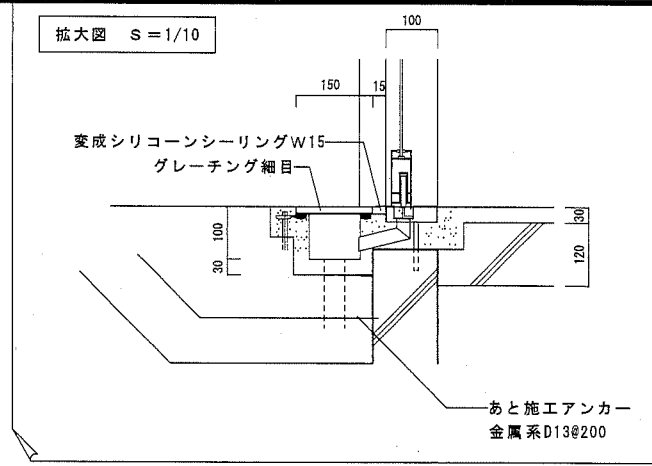
B棟プラットホーム 詳細図 S=1/50



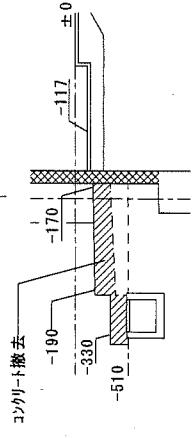
姿図



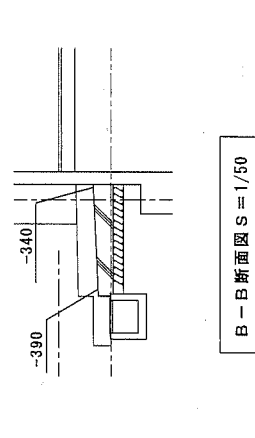
プラットホーム平面図 (既存) S=1/50



拡大図 S=1/10

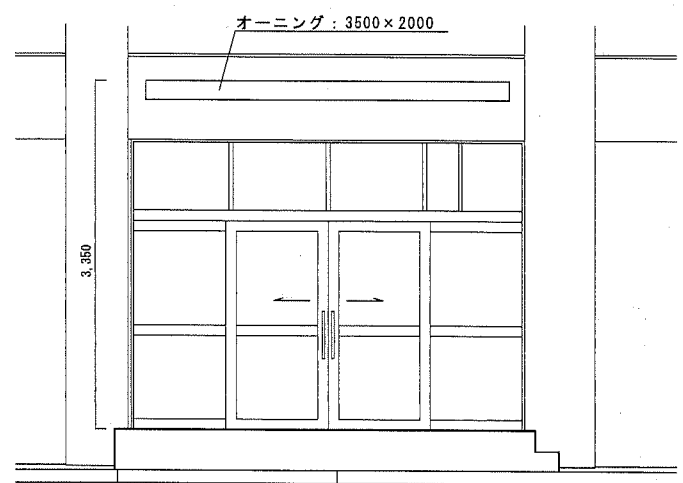


A-A断面図 S=1/50

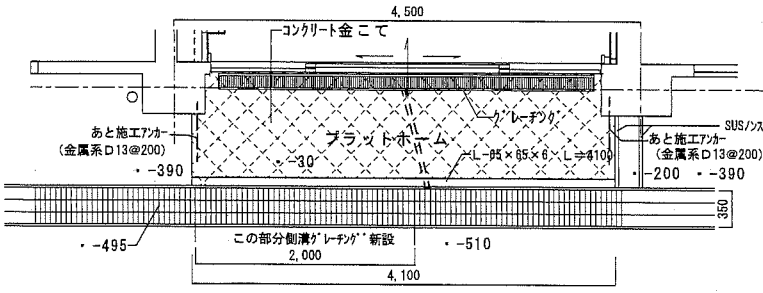


B-B断面図 S=1/50

プラットホーム断面図 (既存) S=1/50



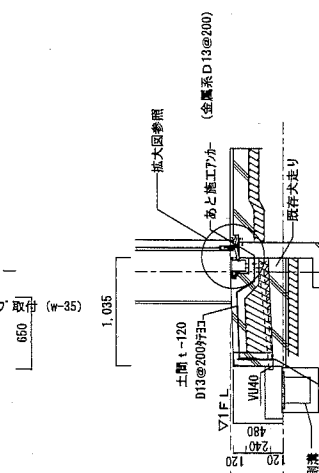
姿図



プラットホーム平面図 (改修) S=1/50

オーニング : W3500 x D 2000
ボックスタイプ
電動・手動兼用形

排水側溝 溝巾-100、防水モルタル塗り
グレーチング SUS製 滑り止め模様 側溝用
T-2 L-3600
受け枠 SUS製 W-150 細目



プラットホーム断面図 (改修) S=1/50

※L-65×65×6 溶融亜鉛メッキ仕上げ
※側溝グレーチング: 溝幅300用 T-2 普通目
※コンクリート: FC-21 t-120

公共建築課長	主査等	担当者

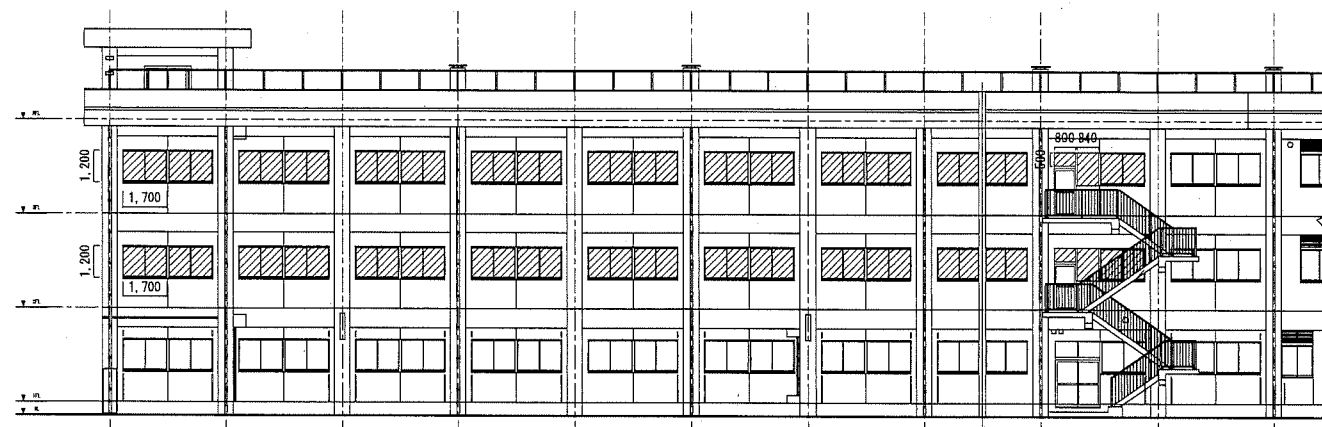
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 A棟・B棟 プラットホーム詳細図

縮尺	1/50
No.	A-39

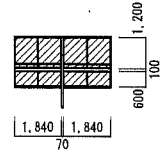
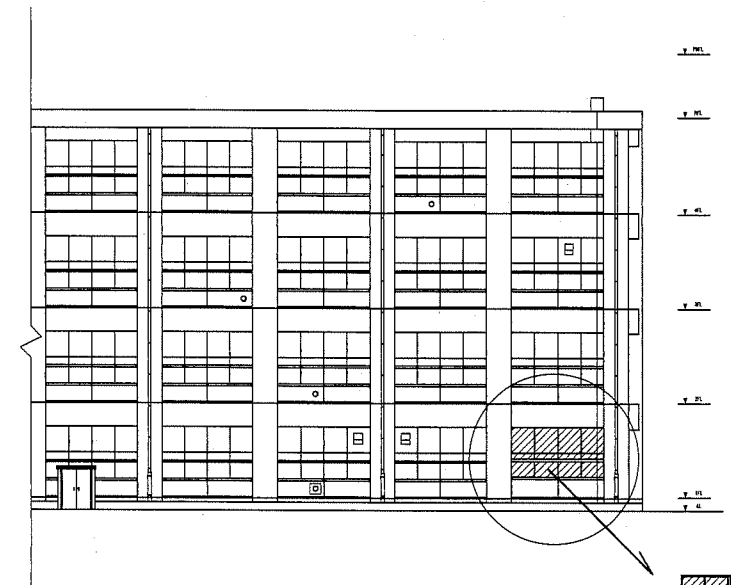
2 階
 1700×1200引き違い窓 17か所
 800×500 F I X窓 1か所
 840×1200 F I X窓 1か所

3 階
 1700×1200引き違い窓 17か所
 800×500 F I X窓 1か所
 840×1200 F I X窓 1か所



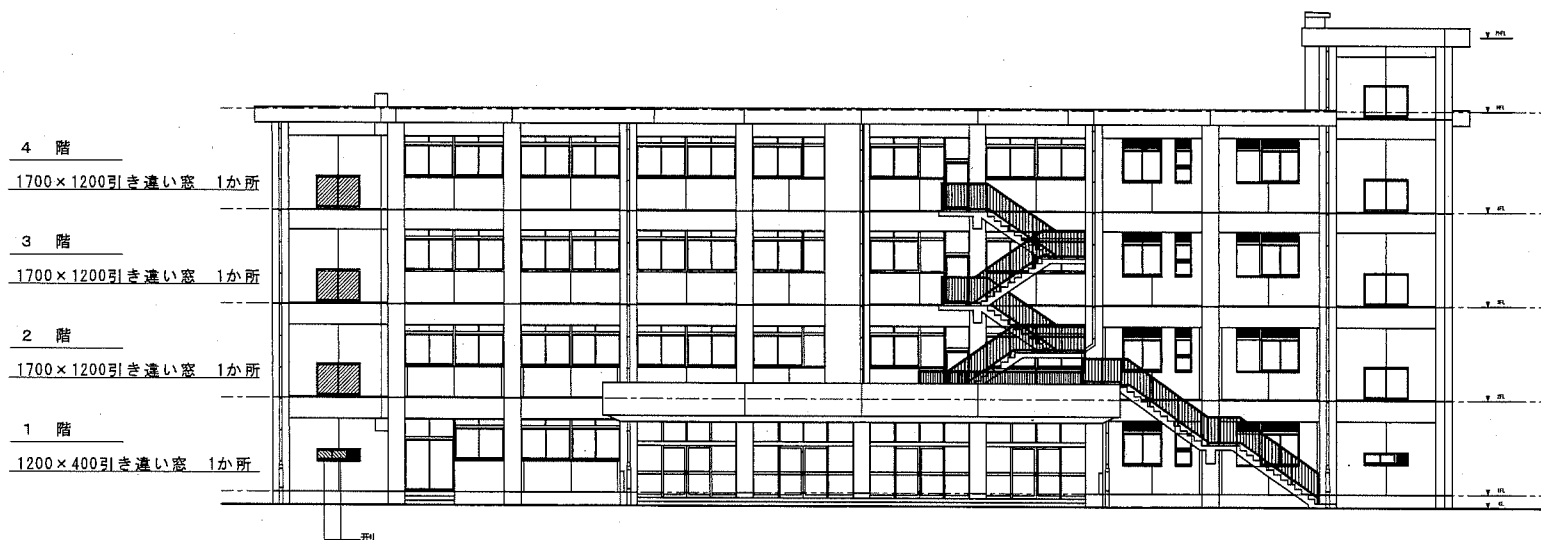
既存3mmガラス撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)

D-1: A棟北側立面図



D-2: B棟南側立面図

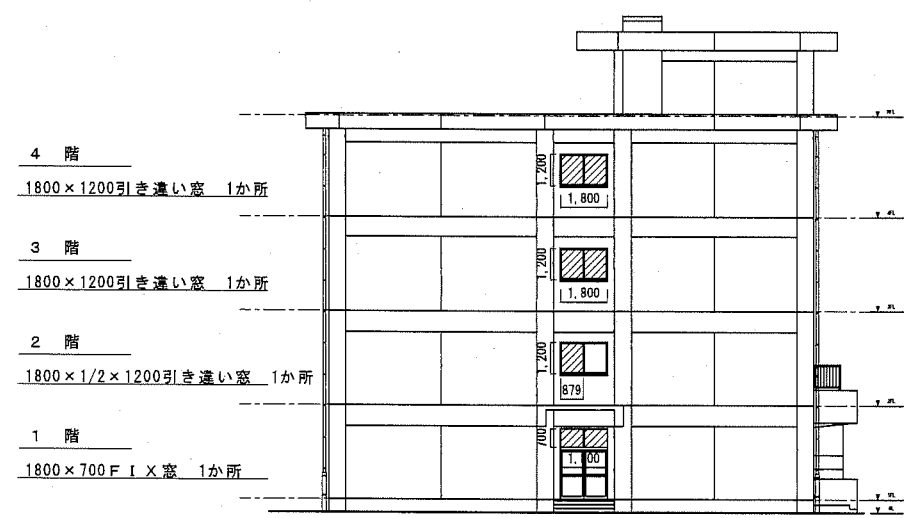
既存3mmガラス撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)



4 階
 1700×1200引き違い窓 1か所
 3 階
 1700×1200引き違い窓 1か所
 2 階
 1700×1200引き違い窓 1か所
 1 階
 1200×400引き違い窓 1か所

既存3mmガラス撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)
 既存3mmガラス撤去し、t=6.8mm網入り型板ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)

D-3: B棟北側立面図

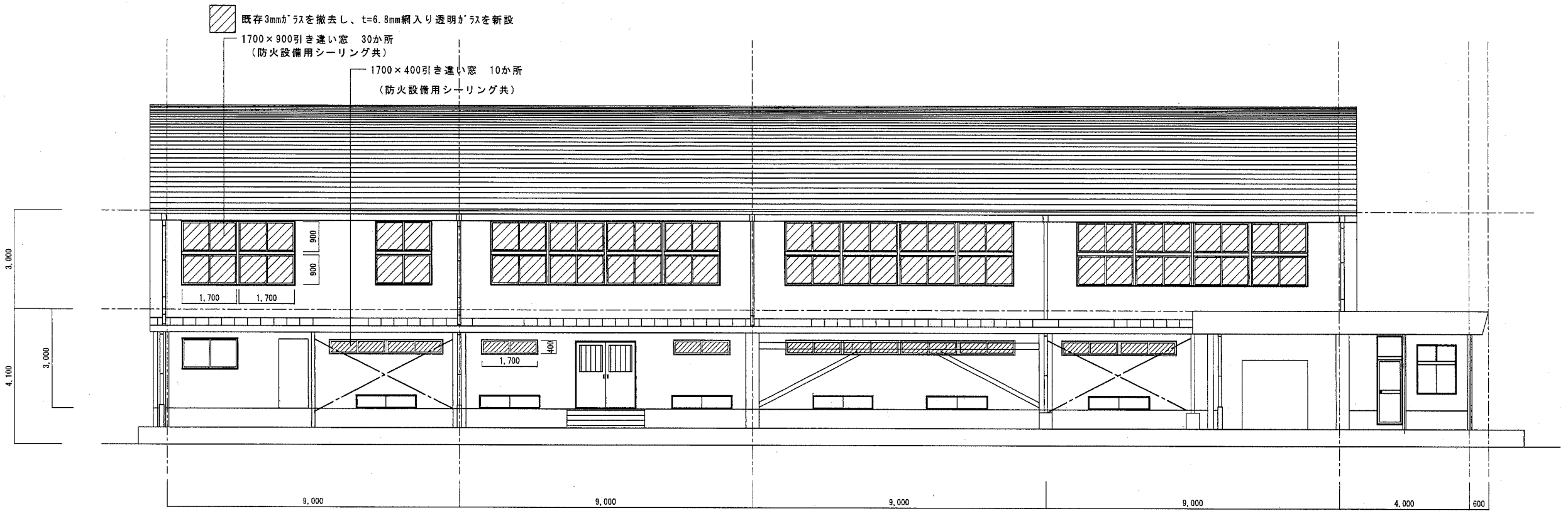


4 階
 1800×1200引き違い窓 1か所
 3 階
 1800×1200引き違い窓 1か所
 2 階
 1800×1/2×1200引き違い窓 1か所
 1 階
 1800×700 F I X窓 1か所

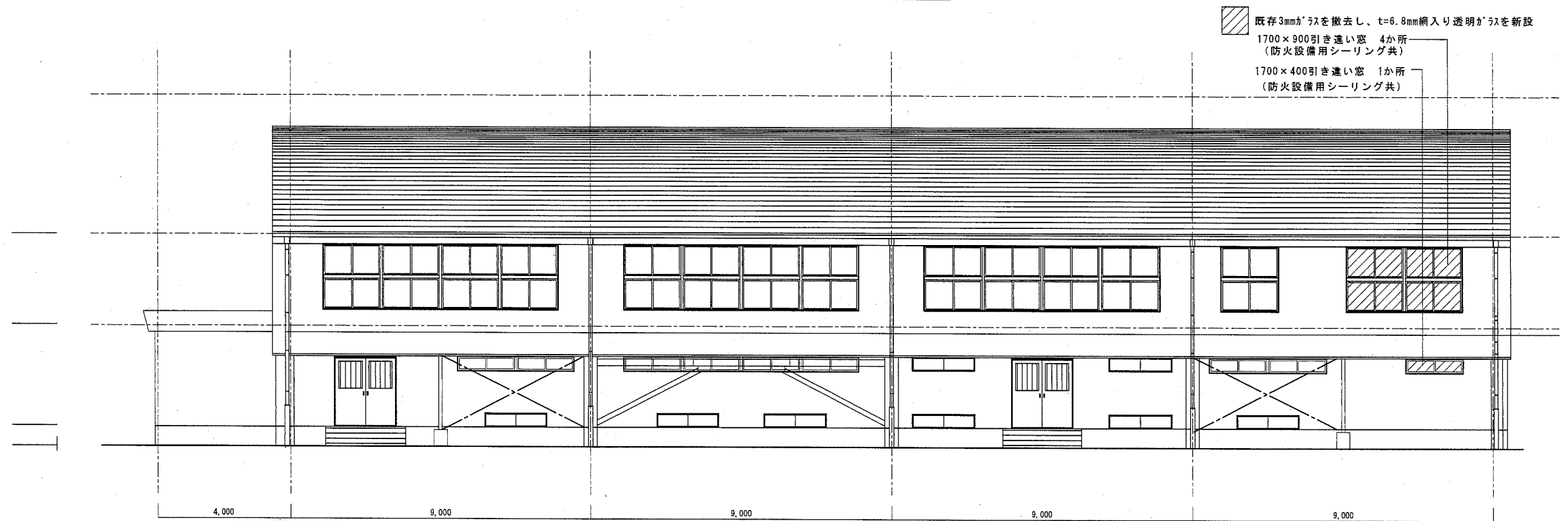
既存3mmガラス撤去し、t=6.8mm網入り透明ガラス新設
 (防火設備用シーリング共)

D-4: B棟東側立面図

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/200	A-40 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	その他工事 D-1,2,3,4			

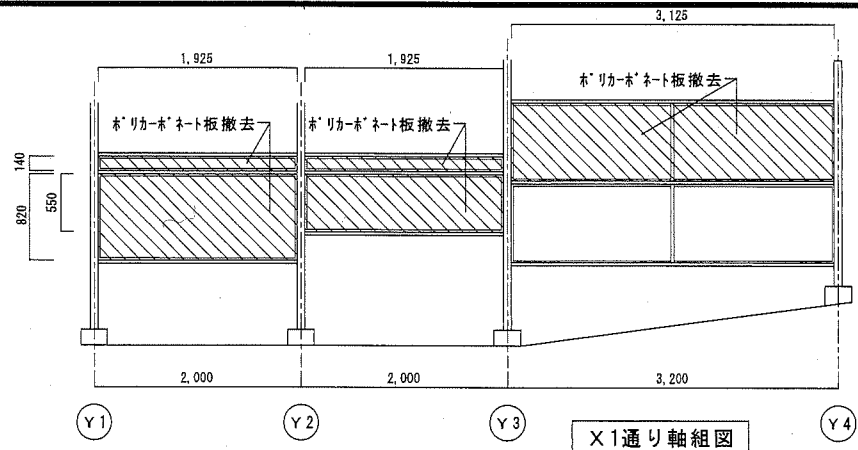


D-5: 体育館南面立面図

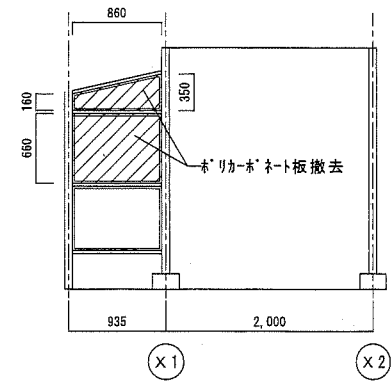


D-6: 体育館北面立面図

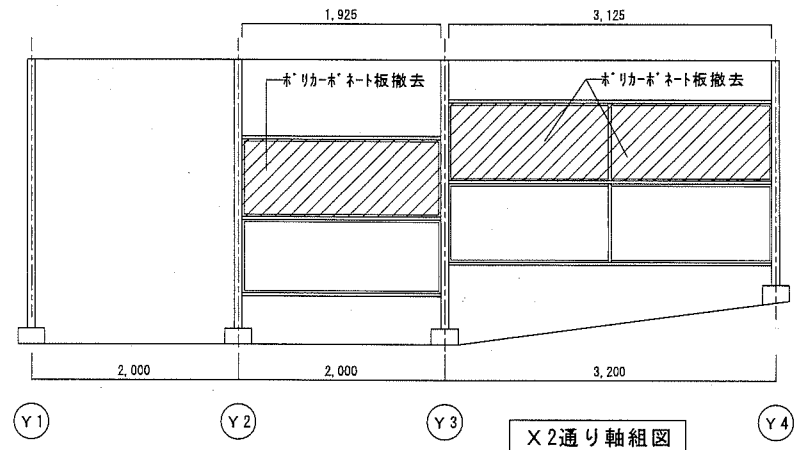
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/100	A-41
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	その他工事 D-5, 6			No.



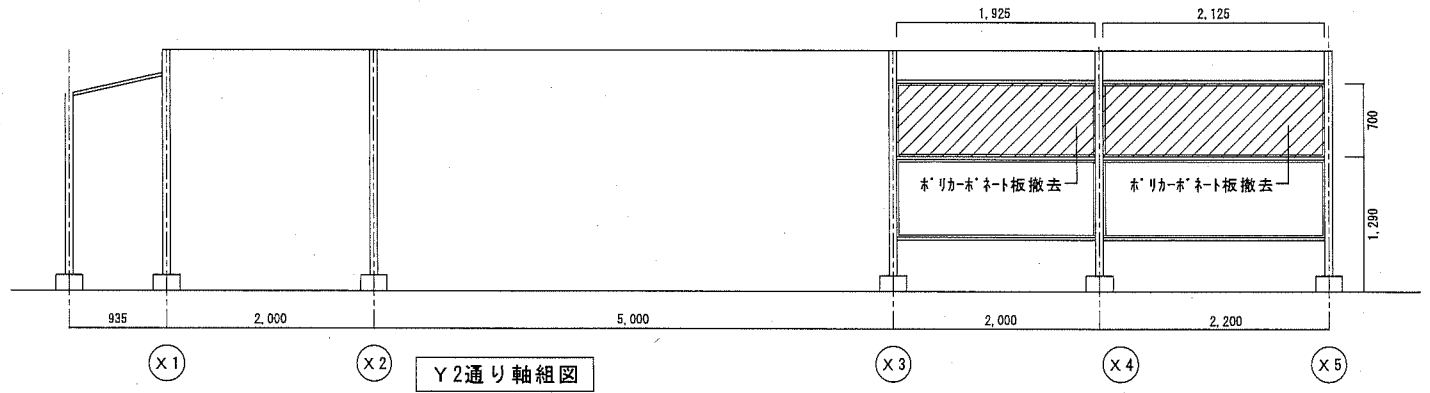
X1通り軸組図



Y3通り軸組図

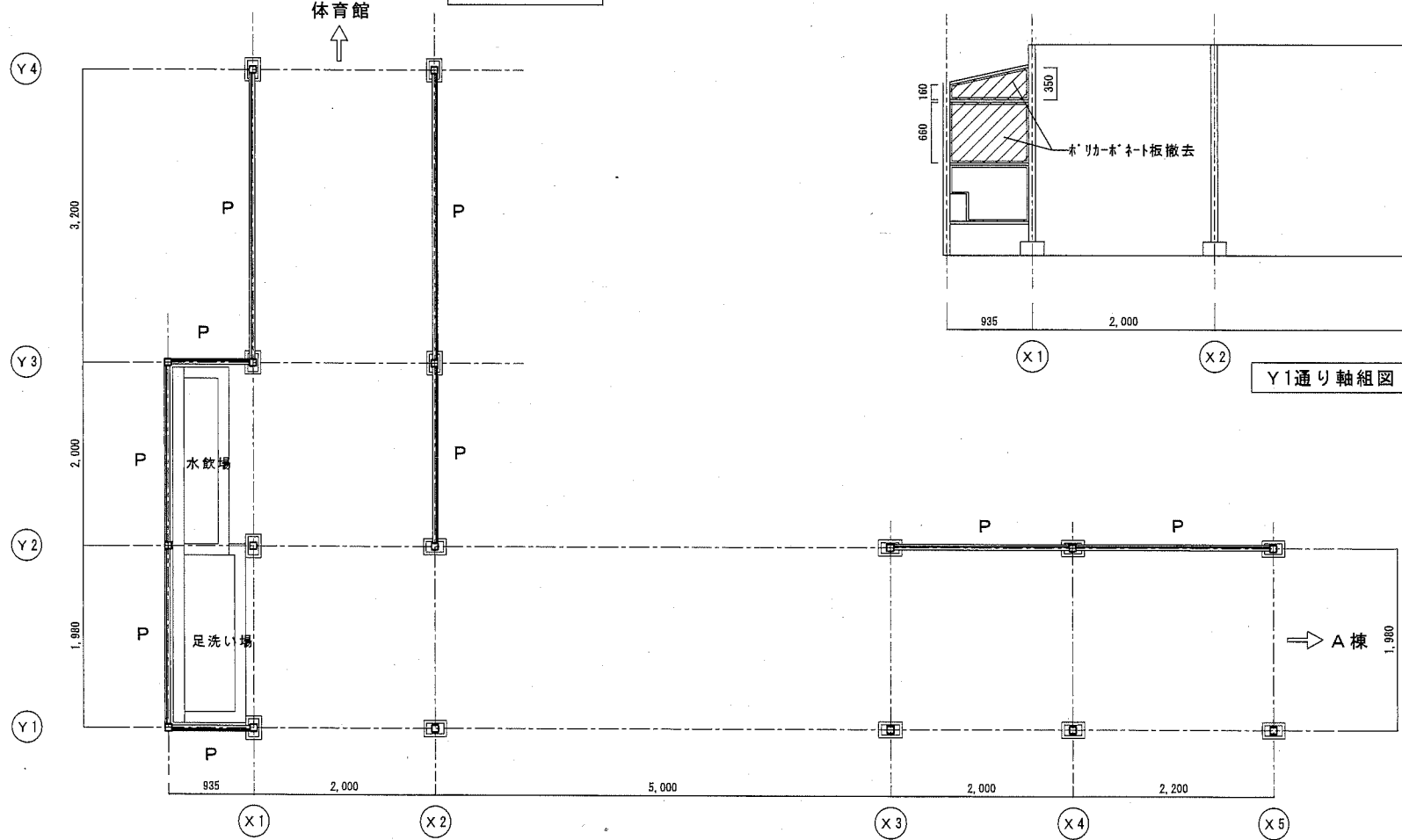


X2通り軸組図



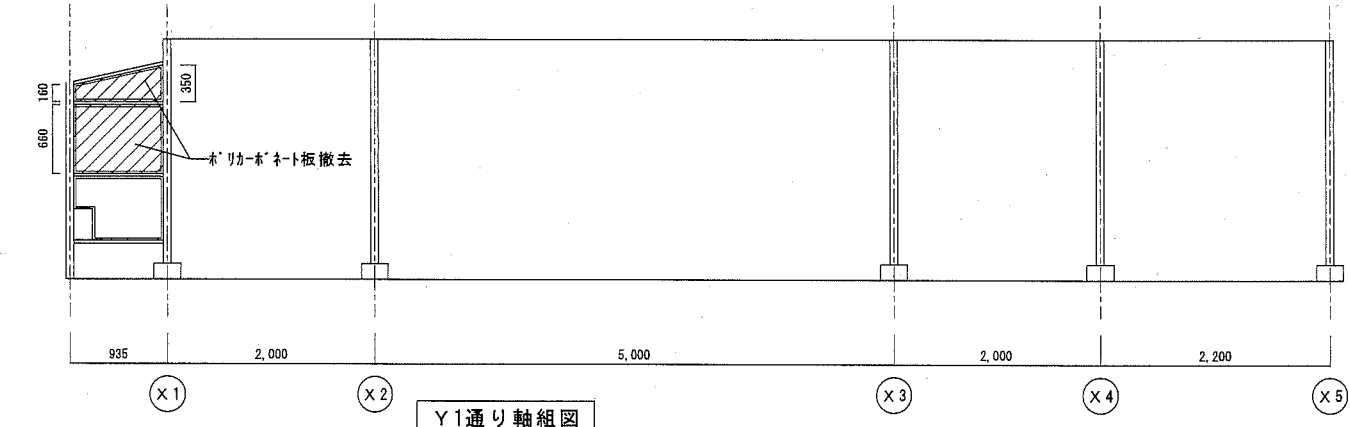
Y2通り軸組図

Y2通り X3~X5姿図



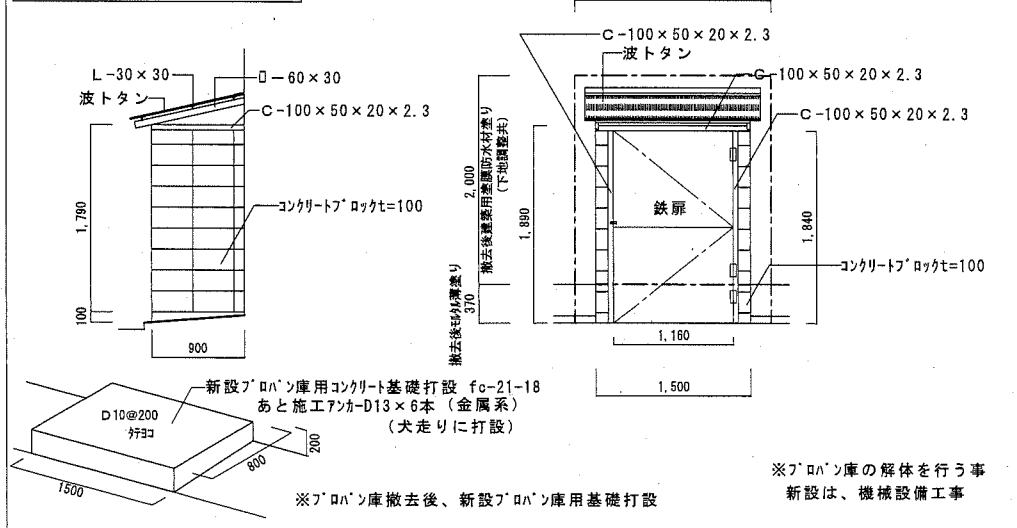
D-7: 渡り廊下8平面図

P: パネル位置



Y1通り軸組図

D-8: プラント庫詳細図



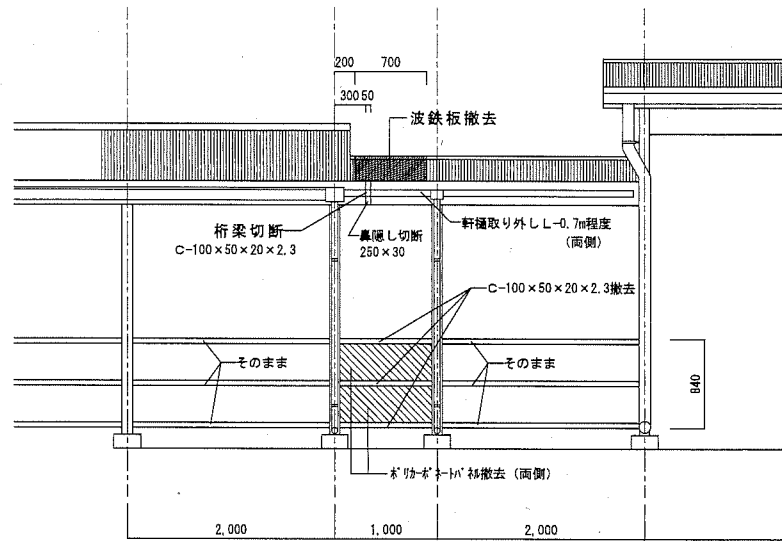
※プラント庫の解体を行う事
新設は、機械設備工事

公共建築課長	主査等	担当者

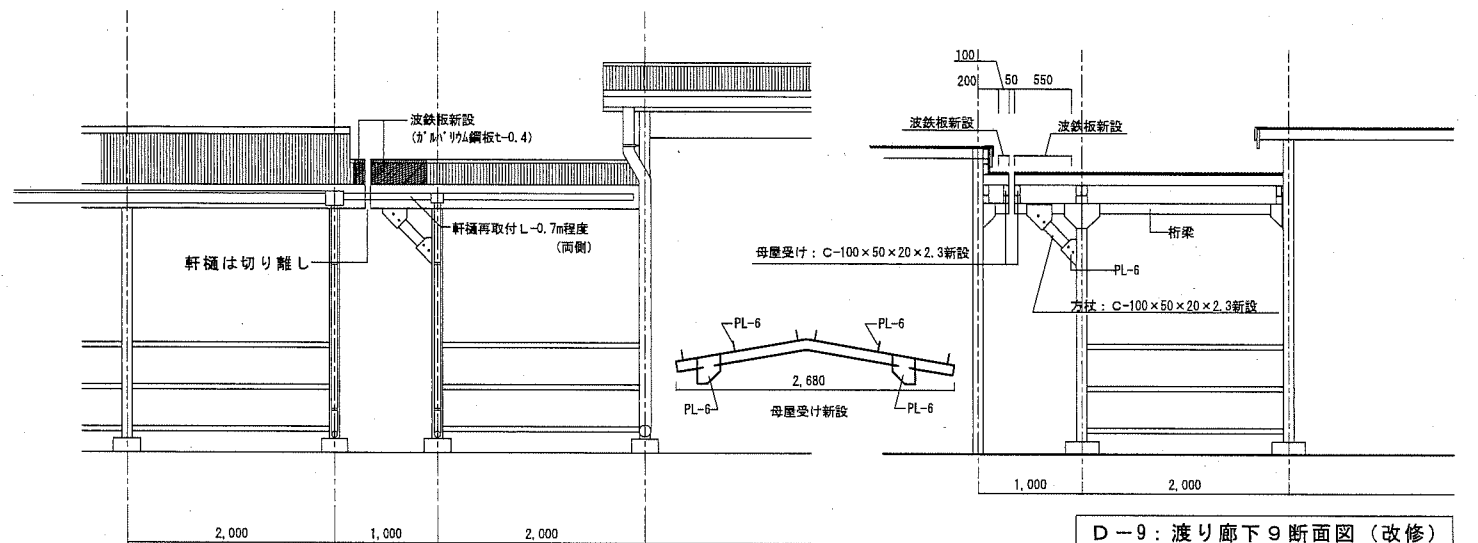
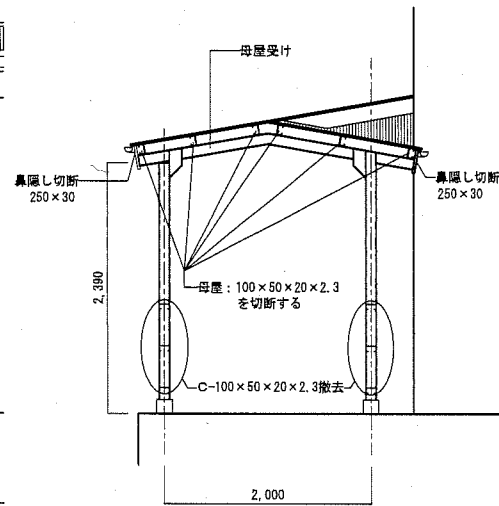
横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 その他工事 D-7.8

縮尺	A-42
1/50	No.



D-9: 渡り廊下9立面図 (既存)

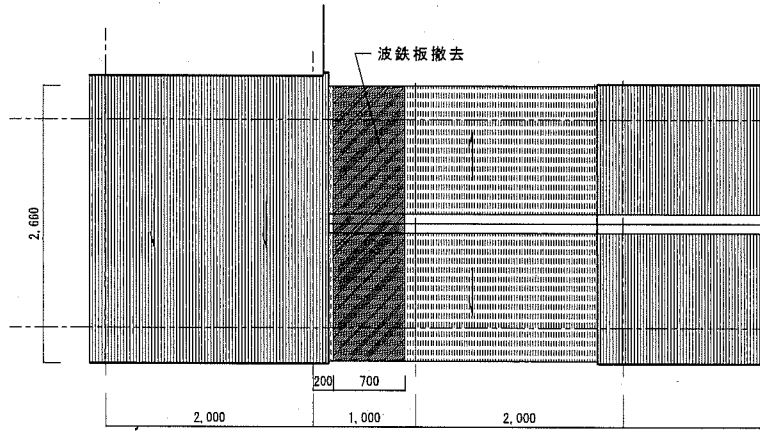


D-9: 渡り廊下9立面図 (改修)

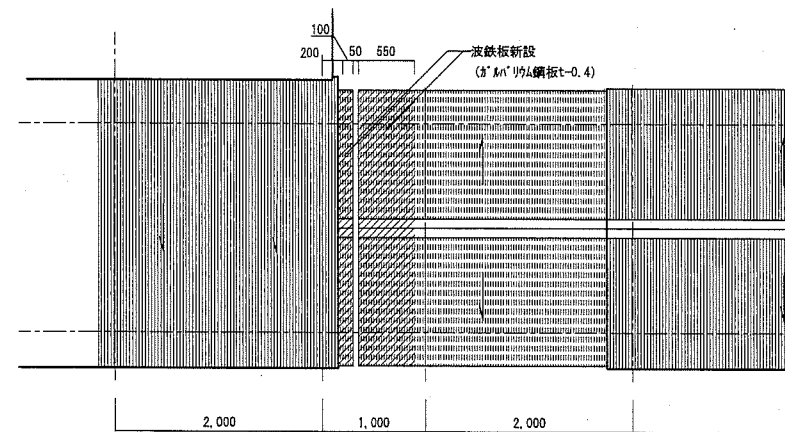
D-9: 渡り廊下9断面図 (改修)

※部材切断面の仕上げはDP (RB) 塗りとする
 ※新規鉄骨部材は現場にて下地調整、下塗り3回塗りとする

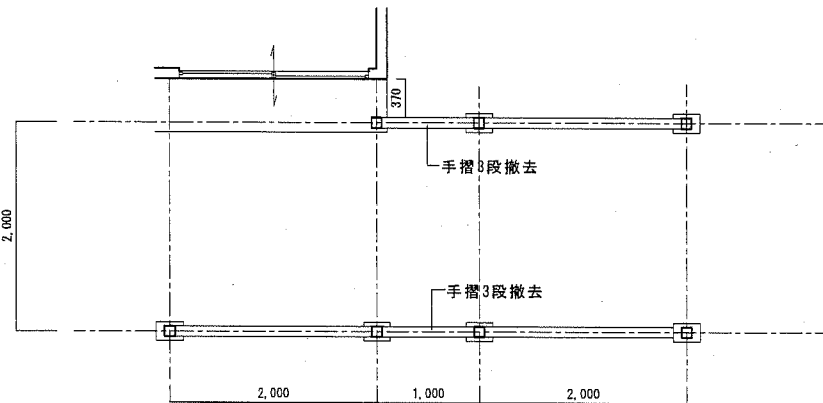
- DP塗装 箇所
- ・桁、梁 4箇所
 - ・母屋 12箇所
 - ・手摺撤去部 12箇所
 - ・合計 28箇所



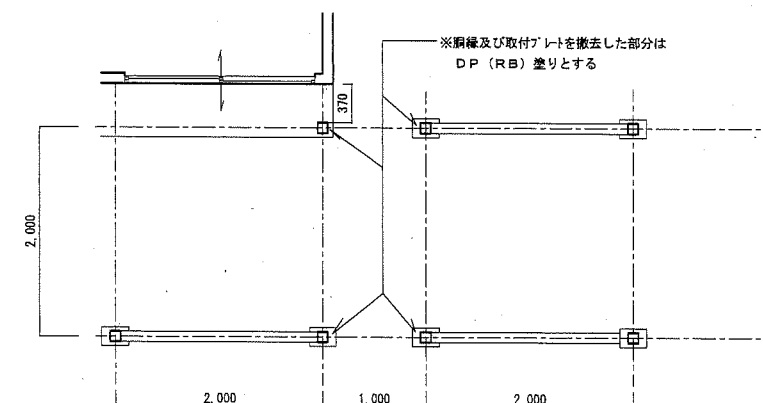
D-9: 渡り廊下9屋根伏図 (既存)



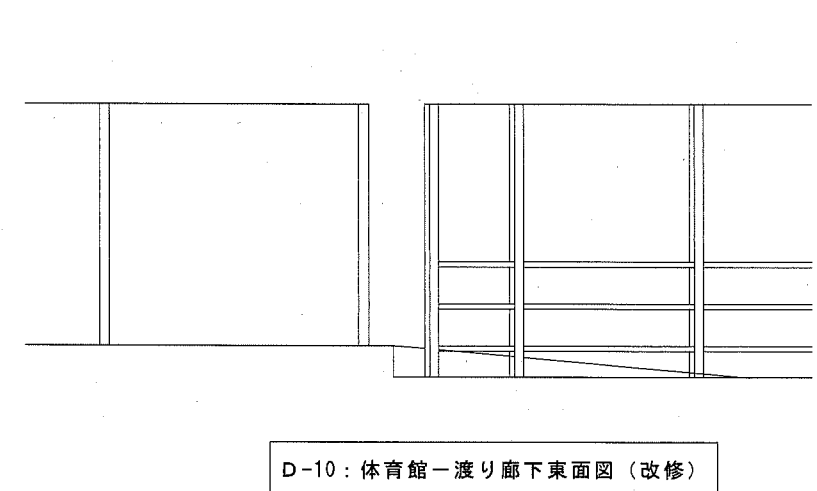
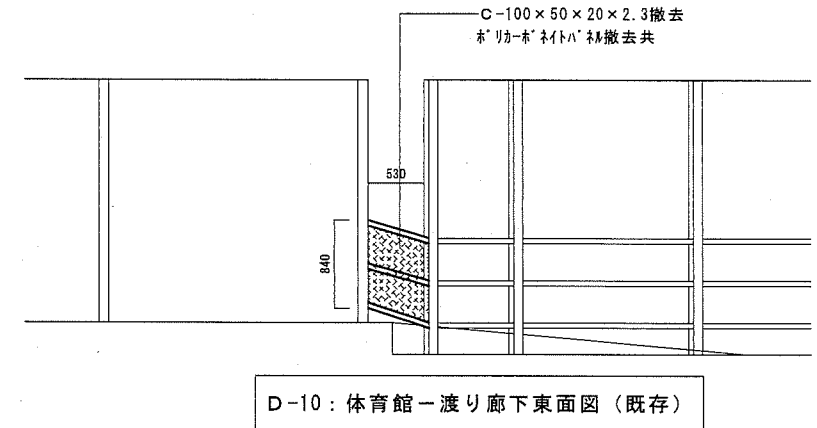
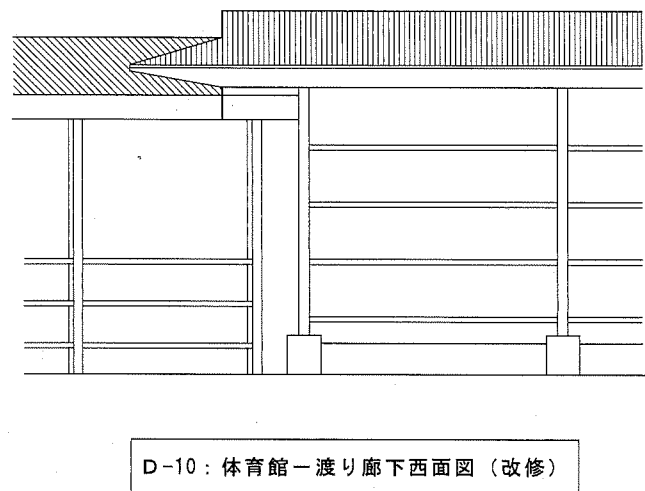
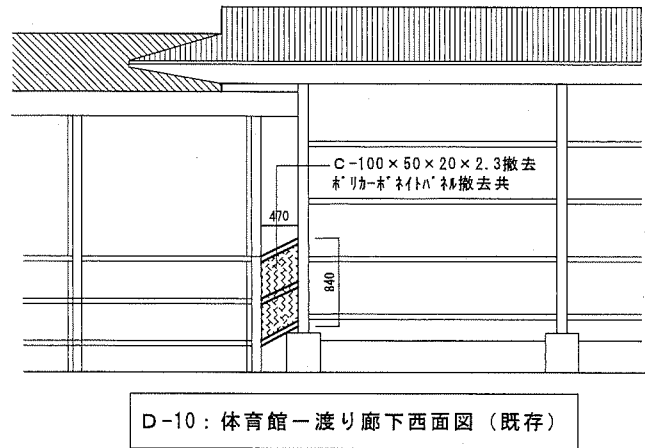
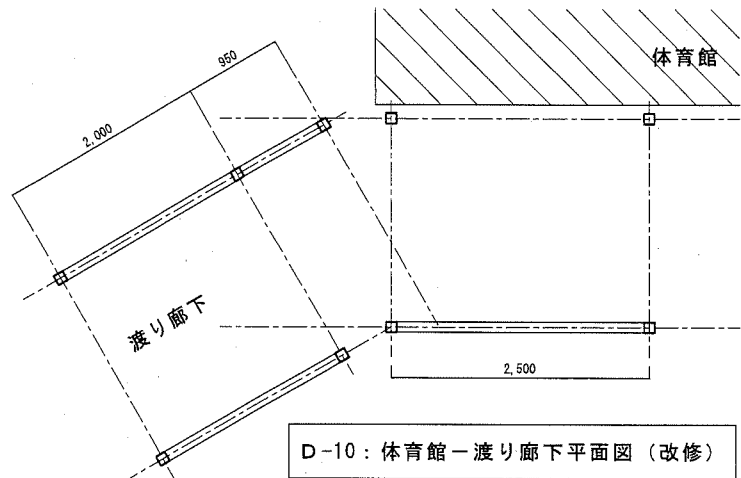
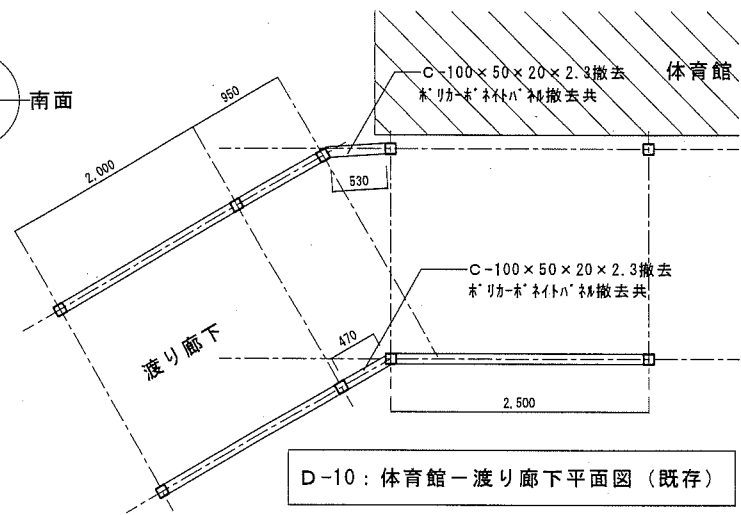
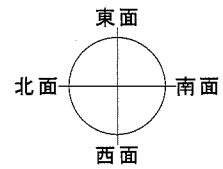
D-9: 渡り廊下9屋根伏図 (改修)



D-9: 渡り廊下9平面図 (既存)

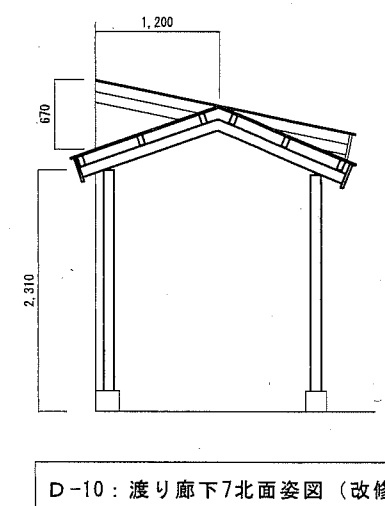
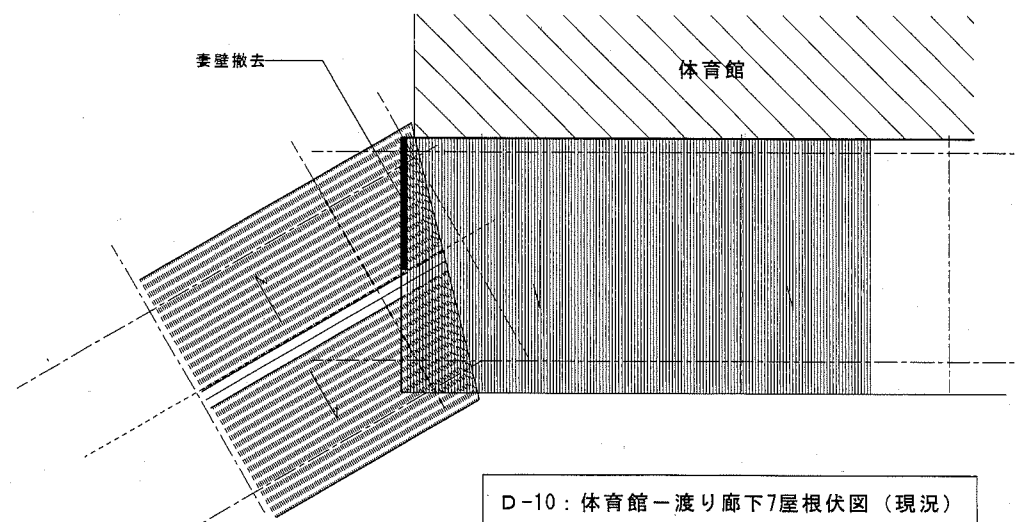
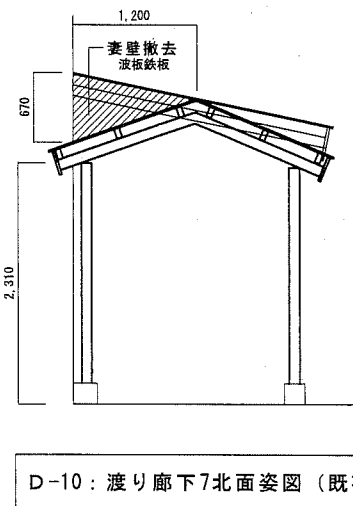


D-9: 渡り廊下9平面図 (改修)



※鉄部を除去した部分のタッチアップはDP (RB) 塗りとする

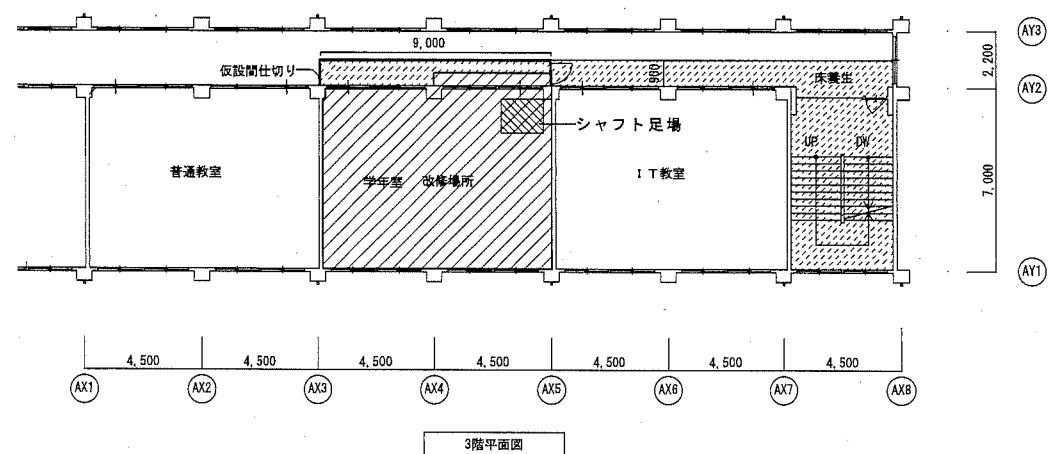
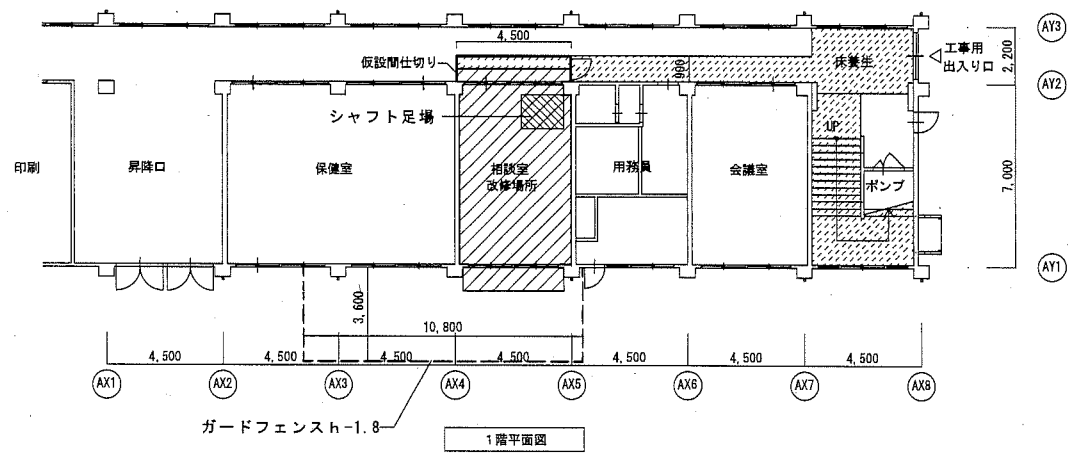
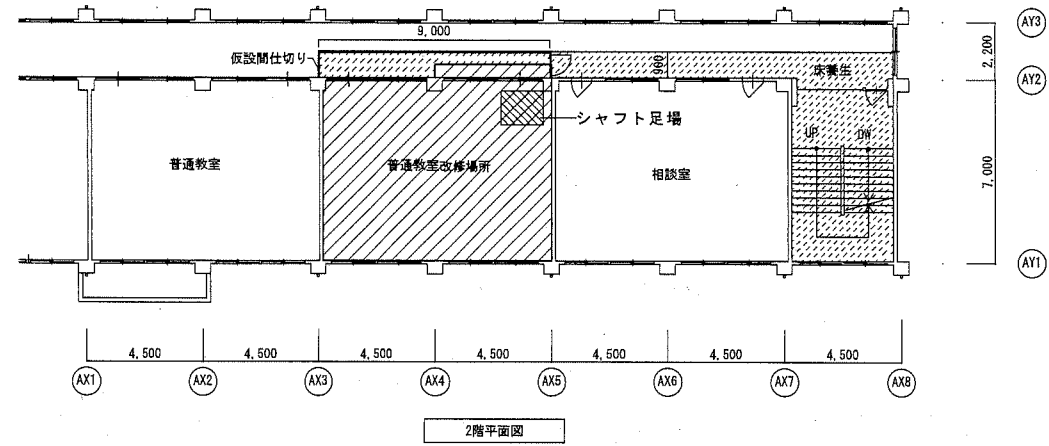
※鉄部を除去した部分のタッチアップはDP (RB) 塗りとする



※鉄部を除去した部分のタッチアップはDP (RB) 塗りとする

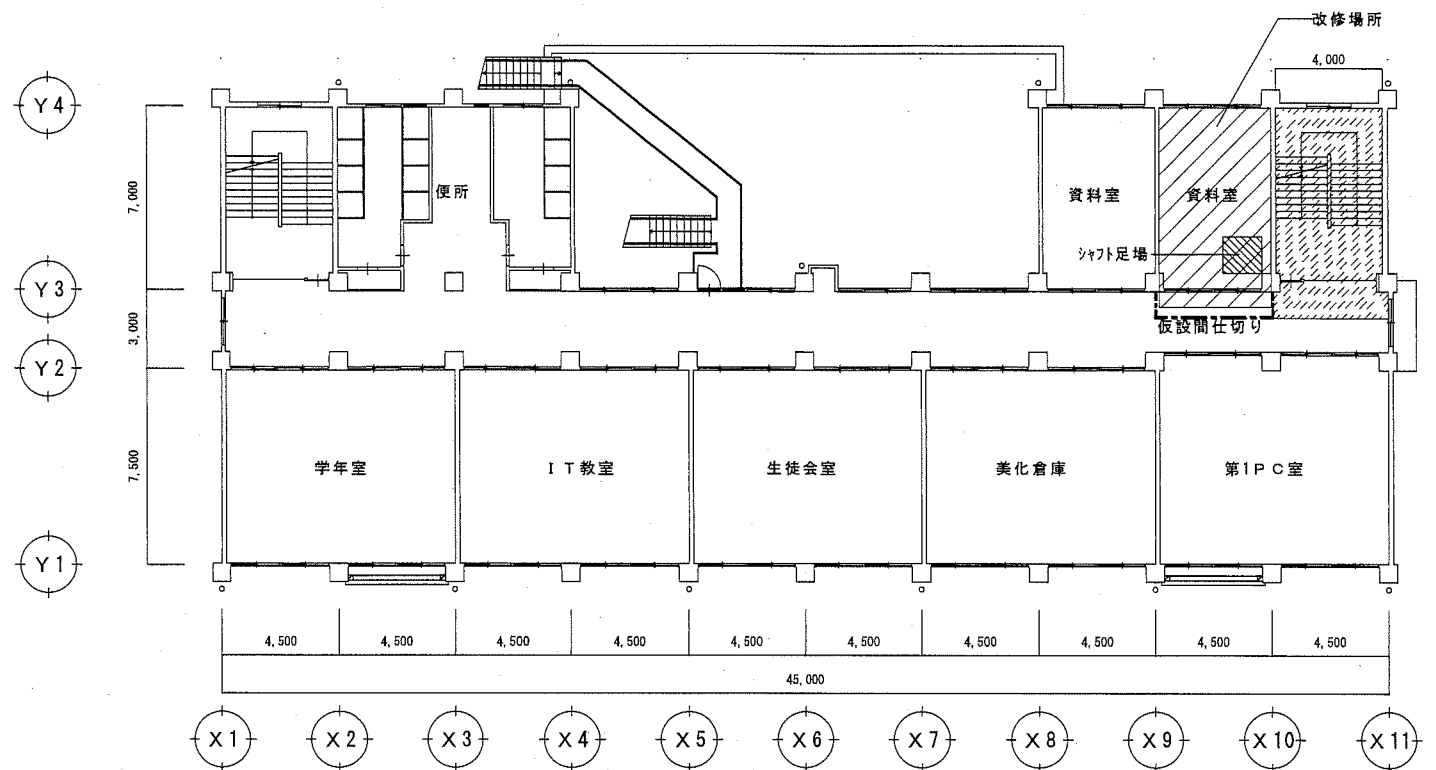
- DP 塗装 箇所
- ・手摺撤去部 12箇所

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-44
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 その他工事 D-10	1/50	



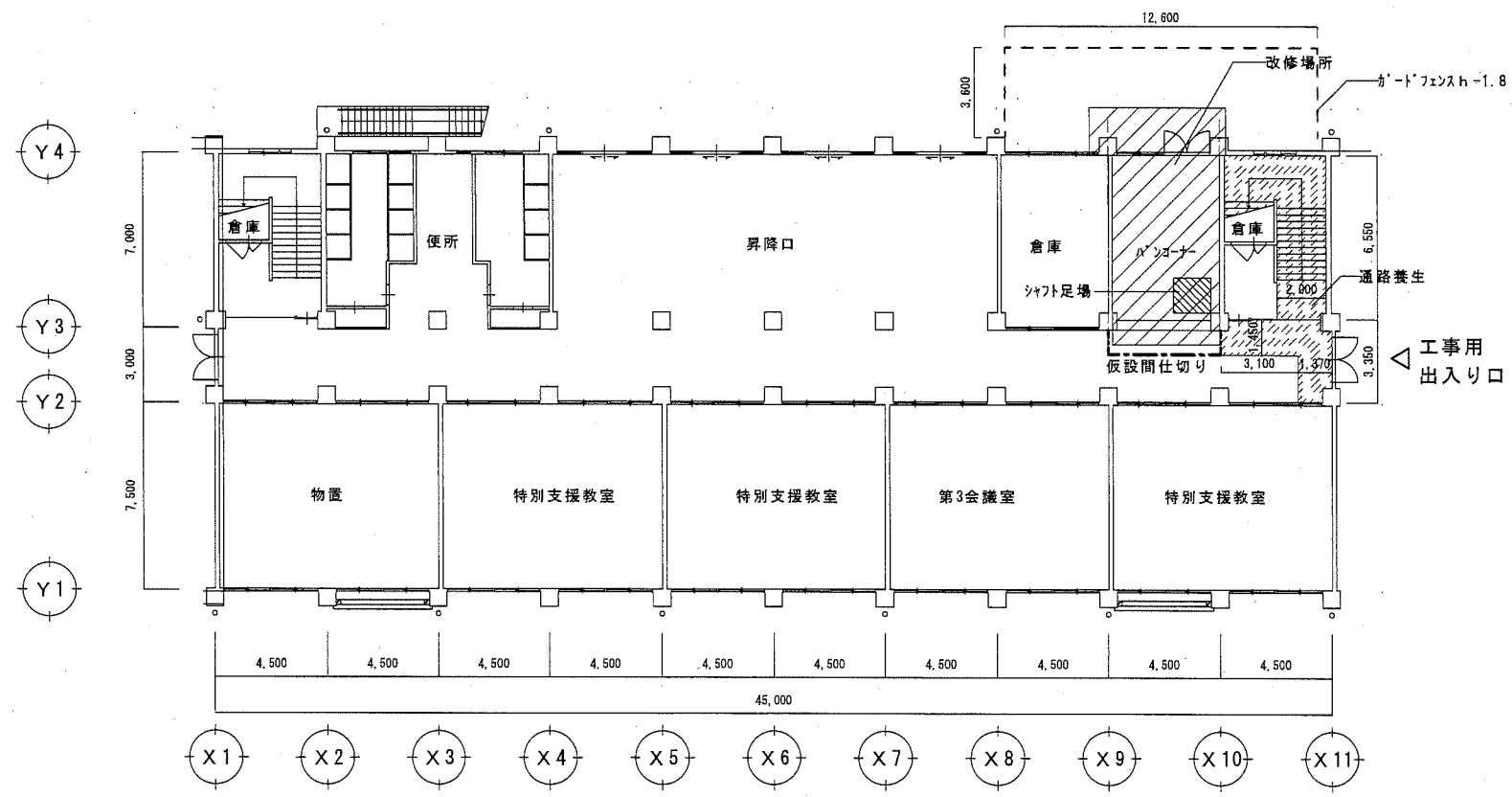
改修室外部作業用 (A棟, B棟)
 ※建築工事の外部作業及び機械設備工事用に高所作業車を用いる

	公共建築課長 主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成 31年 2月	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 A棟仮設計画図 (参考図)	縮尺 1/200	A-45 No.
--	---------------	-----	-----------------------------------	---	-------------	-------------



2階平面図

4,500
CH-2700 仮設間仕切り : LGS下地B種
木製扉 (鍵付き)

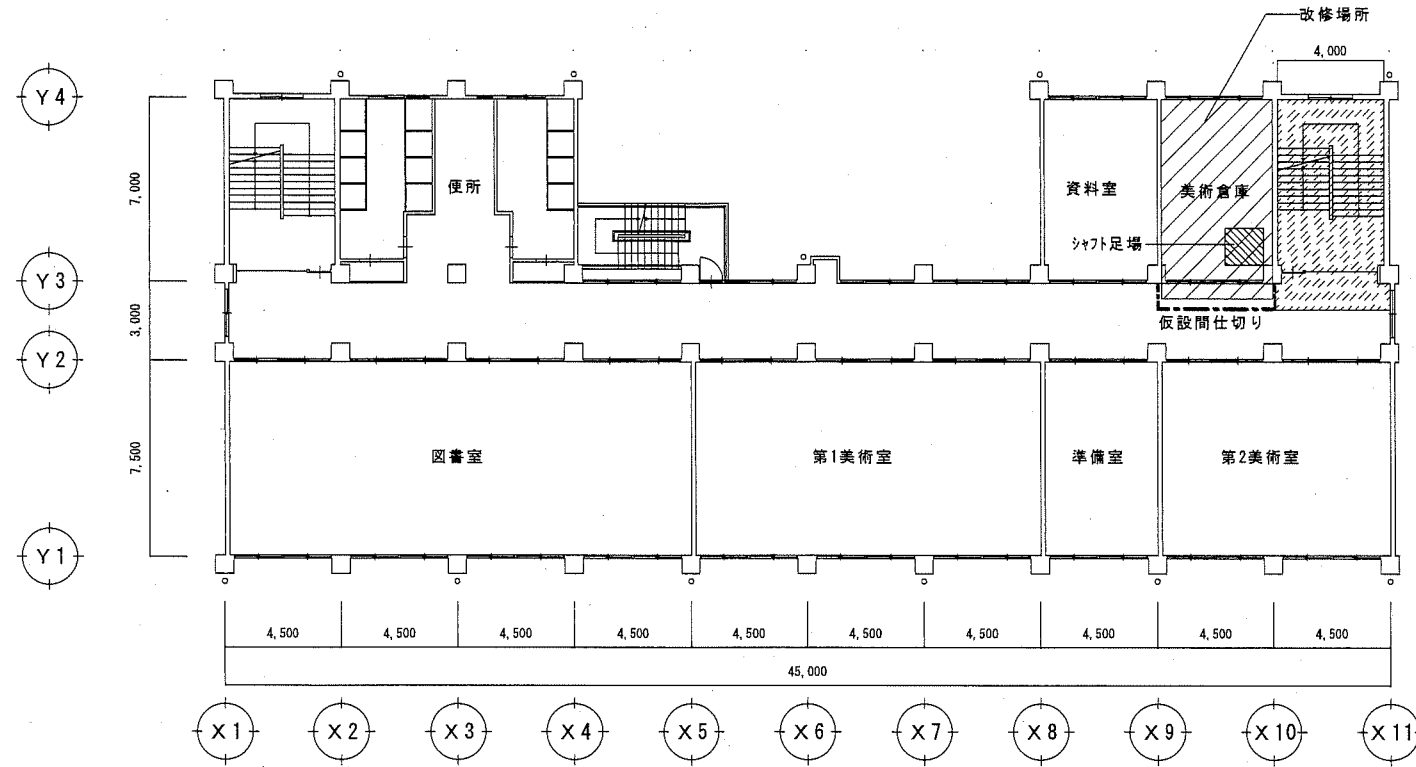


1階平面図

4,500
CH-2700 仮設間仕切り : LGS下地B種
木製扉 (鍵付き)

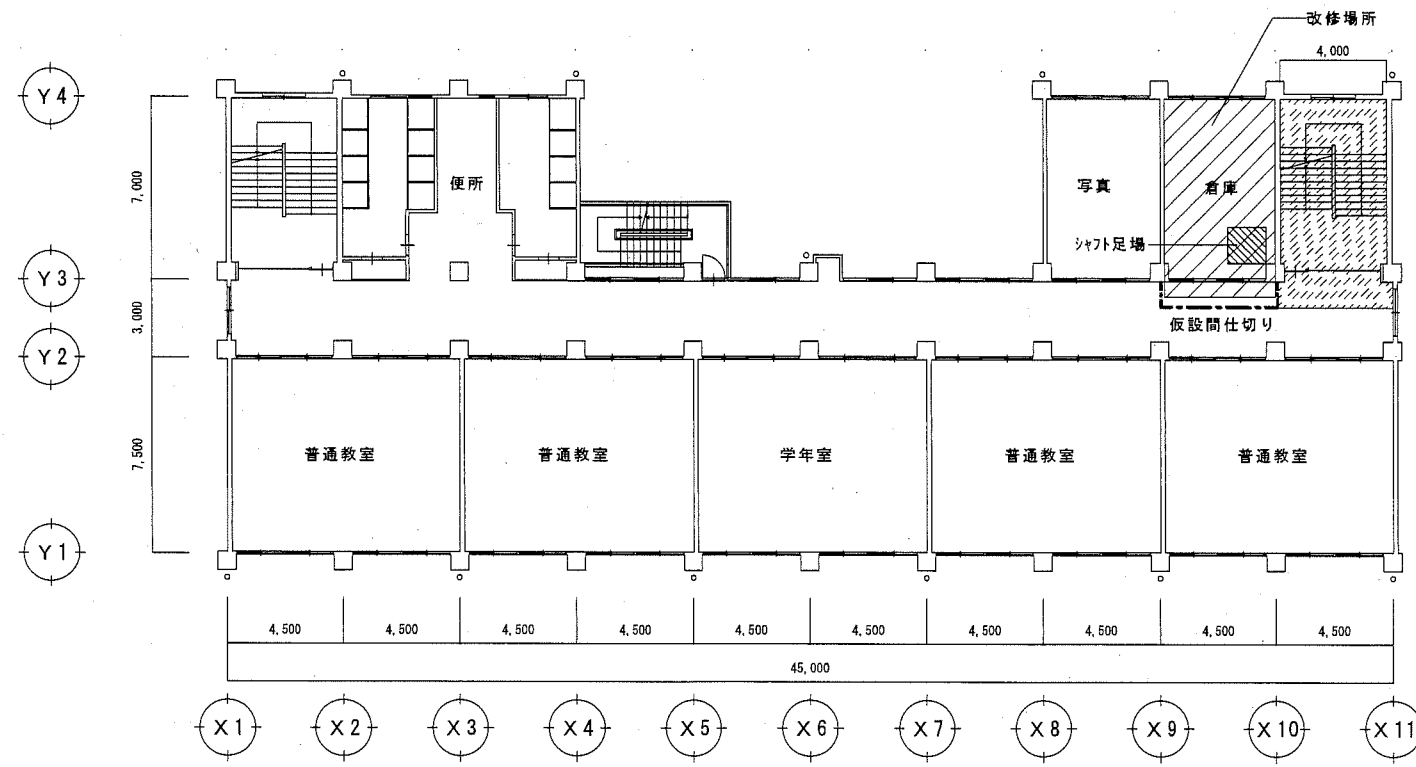
配膳室外部作業用
高所作業車 2日 (A,B共)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 B棟仮設計画図-1 (参考図)	1/200
				A-46	
				No.	



4階平面図

4,500
CH-2700 900 仮設間仕切り : LGS下地目種
: 木製扉 (鍵付き)

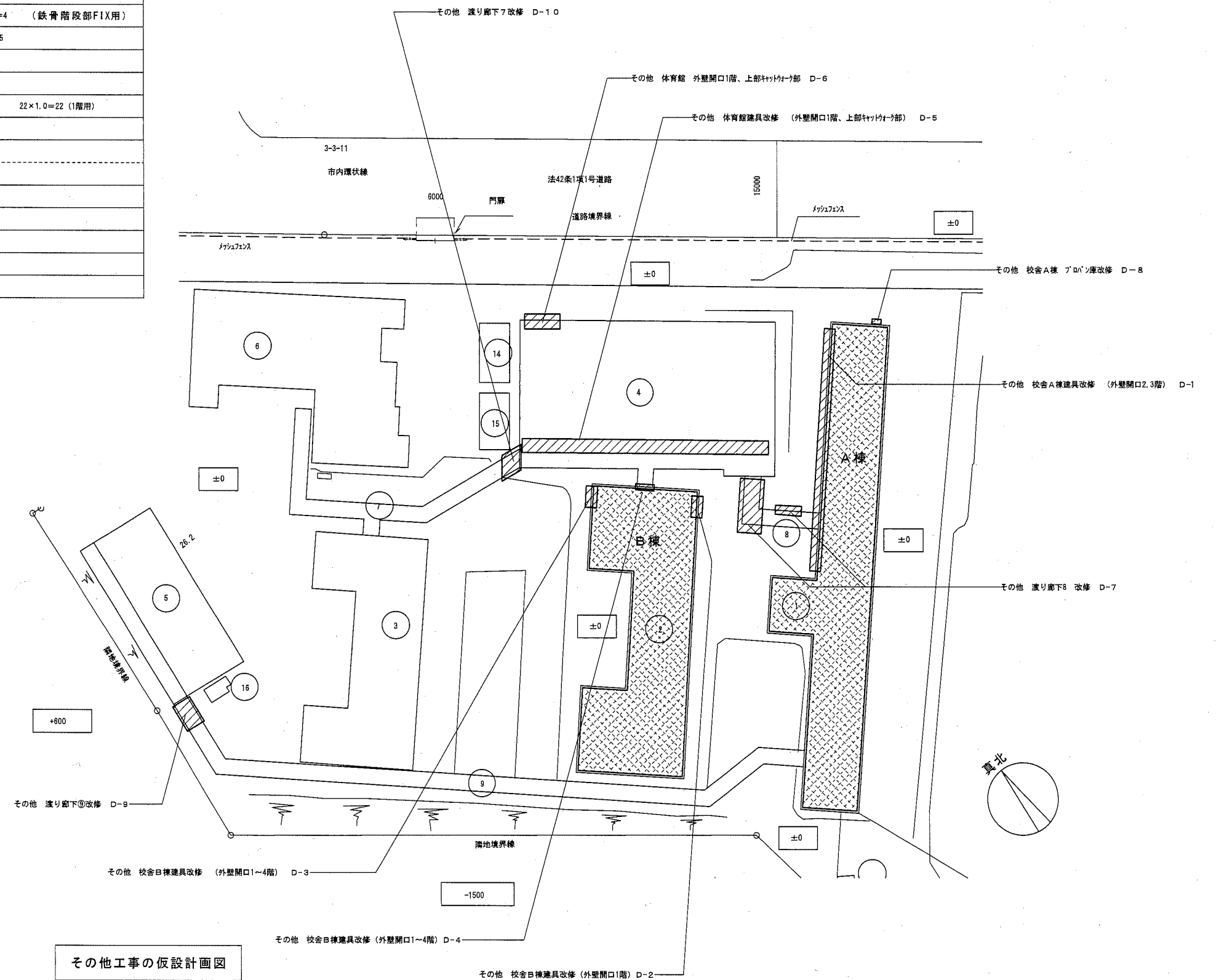


3階平面図

4,500
CH-2700 900 仮設間仕切り : LGS下地目種
: 木製扉 (鍵付き)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 日棟仮設計画図-2 (参考図)	1/200
				A-47	
				No.	

記号	部 位	外部枠組足場	脚立足場
D-1	校舎A棟建具改修 (外壁開口西面2,3階)	高所作業車	1.0×2.0×2=4 (鉄骨階段部FIX用)
D-2	校舎B棟建具改修 (外壁開口東面1階)		4.5×1.0=4.5
D-3	校舎B棟建具改修 (外壁開口西面1~4階)	高所作業車	
D-4	校舎B棟建具改修 (外壁開口北面1~4階)	5.40×10.2=55.08 下屋上に設置	
D-5	体育館建具改修 (外壁開口南面1階、上部ネット付部)	34.2×3.4=116.28 下屋上に設置	6.5×15.5=22 22×1.0=22 (1階用)
D-6	体育館建具改修 (外壁開口南面1階、上部ネット付部)	高所作業車	
D-7	渡り廊下⑧ 改修		
D-8	校舎A棟 プランニング改修		
D-9	渡り廊下⑨ 改修	5.40×3.40×2=36.72	3×2=6
D-10	渡り廊下⑦ 改修		3×2=6
	合 計		



構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ●印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
(2) 建築場所 神奈川県須賀野市坂本町 1丁目1番地
(3) 工事種別 □新築 □増築 □増改築 ●改築
(4) 構造設計一般建築士の関与 □必要 ●必要としない
(5) 構造種別 □木造(W) □補強コンクリートブロック造(CB) □鉄骨造(S)
(6) 基礎計画 □有() □無()
(7) 増築計画 □有() □無()
(8) 構造計算ルート X方向ルート -() Y方向ルート -()

2. 使用構造材料

(1) コンクリート (レディミクストコンクリート JIS A 5308 取得工場 調査・配合等はJASS-5による)
適用箇所 種類 設計基準強度 Fe=N/mm² 品質管理強度 Fq=N/mm² スランプcm 備考
(2) コンクリートブロック (JIS A 5406)
(3) 鉄筋
(4) 鉄骨

3. 地盤・地盤説明書

(1) 地盤調査資料
調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画
(2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)
土質 N値 標準貫入試験
(3) 地業工事

5. 鉄筋コンクリート工事・施工方法等計画書

本構造設計標準仕様はコンクリートの設計基準強度 (Fcd) が 36 N/mm² 以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。
(1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 型枠

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
(3) 工事監督者が行う検査項目
(4) 検査部の検査 (検査結果は後日工事監督者に報告すること)

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d...異形鉄筋の呼び名に用いた数字 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 ◎...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S, HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS5(2009)による。

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の予長	4d以上	6d以上(※4d以上)	6d以上(※4d以上)

折曲げ内寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

※片挿スラブ、L配筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A, SD295B SD345	16φ以下 D16 19φ以上 D19	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A, SD295B SD345 SD390	D16以下 D19~D25 D29~D41	6d以上 8d以上

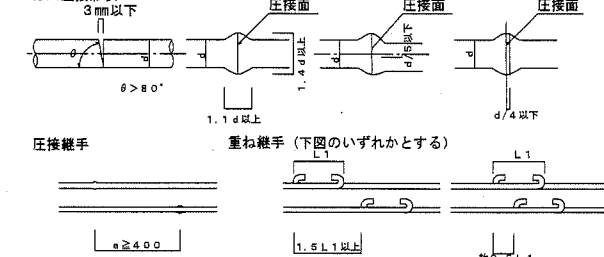
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、経典コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)	
		一般(L2)	下拵(L3)		
SR235	21, 24	35dフック付き	25d	150mm	35dフック付き
		18以下	45dフック付き	フック付き	フック付き
SD295A	21, 24	35dまたは35dフック付き	40d	150mm以上	35dまたは40dフック付き
		18以下	40d	150mm以上	40d
SD295B	21, 24	35dまたは35dフック付き	40d	150mm以上	40dまたは40dフック付き
		18以下	40d	150mm以上	40d
SD390	21, 24	35dまたは35dフック付き	40d	150mm以上	40dまたは40dフック付き
		18以下	40d	150mm以上	40d

(注) 許容応力度計算、許容応力度等計算、(スレート)、その他構造計算を要さないの規模建築物の場合は、架設時の柱への定着は40dとする

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、相い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

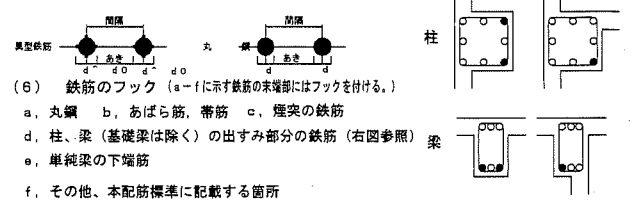


(4) かぶり厚さ(単位:mm)

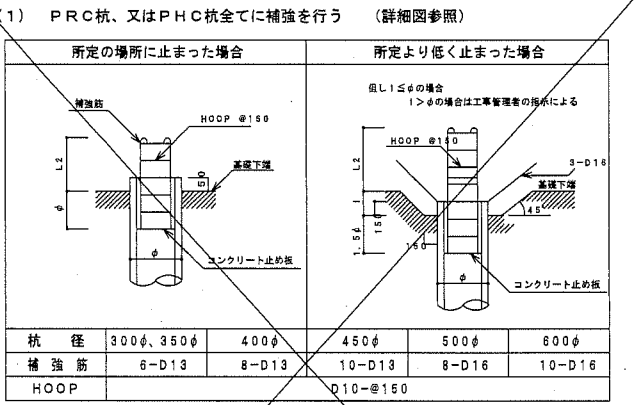
部位	設計かぶり厚さ(最小)	設計かぶり厚さ(最小)	
		設計かぶり厚さ(最小)	設計かぶり厚さ(最小)
土に接しない部分	スラブ厚さ	30	20
	柱・はり・スラブ・耐力壁	40	30
土に接する部分	柱・はり・スラブ・耐力壁	50	40
	基礎・橋脚	70	60

※ 鉄基礎の場合のかぶり厚さは鉄天端からとする。

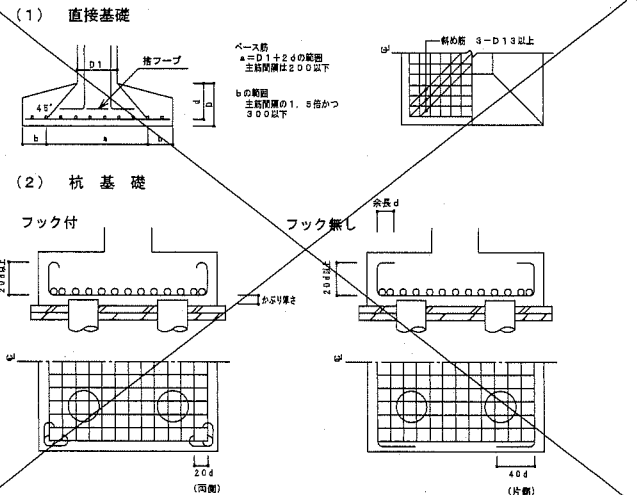
(5) 鉄筋のあき
 丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数字1.5d以上 図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



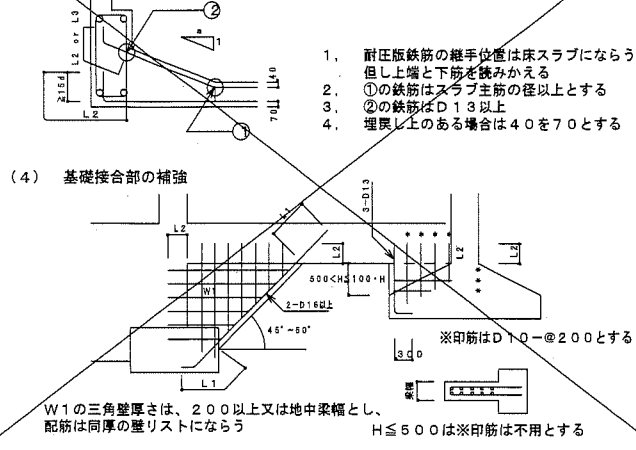
3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)



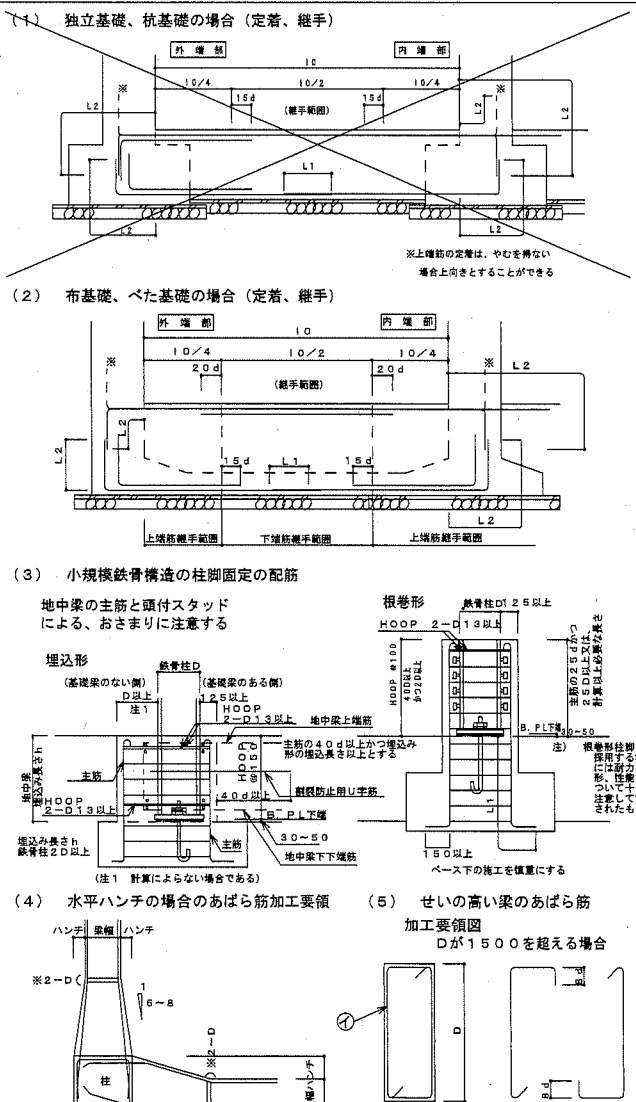
4. 基礎



5. 地中梁



6. 柱



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

(イ) 原則として (イ) のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で (ロ) 両側床版付(T型)梁で (イ) または (ロ) とすることができる。

(ロ) フックの位置は (イ) には交互、(ロ) にはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

幅止め筋	D<600 不要
縦筋	600≦D<900 2-D10(9φ) 1股
	900≦D<1200 4-D10(9φ) 2股
	1200≦D D10(9φ) @300以内

幅止め筋 D10(9φ) @1000以内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ち床スラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D13	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 間仕切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダマ穴打継ぎについて)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分D10-@200 長さ800以上

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 床に

③ 壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

完全スリット

部分スリット

(3) 手摺、パラベット

手摺

パラベット

(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合

下部防水立上りの場合

注) h0≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く

注) hはコンクリートブロック段数調子とする。但し、200≦h≦400

注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱も同様に、間ピッチとする。

(2) 梁

- 補強筋は、張主筋の1段階し径(D16以上)とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、間ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- D≧400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100~200程度。
- 梁下増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) はさける

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折筋 2-D13(上下)	折筋 2-D13(上下)	折筋 2-D13(上下)
縦筋 ST:3×D-D13-100φ	縦筋 ST:3×D-D13-100φ	縦筋 ST:3×D-D13-100φ
横筋 2-D13(上下)	横筋 2-D13(上下)	横筋 2-D13(上下)
上下	上下	上下

φ>250

孔補強の有効範囲と定まる長さのとり方

※ 部分については設計で確認された場合は右記の位置、寸法によらずに良い。

(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

- 既製品を使用し 認定既製品を使用し個別検査を行う
- リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕切り部分は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配置する)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁

鉄骨構造標準図 (1)

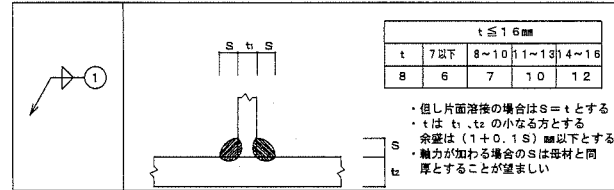
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締め使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z3801 (手溶接) 又は JIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ 半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする
- 1) スカラップ工法 2) ノンスカラップ工法
- (ニ) 裏はつり
- 標準図の溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監督者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいいためない様に、養生を行う
- (5) 塗装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

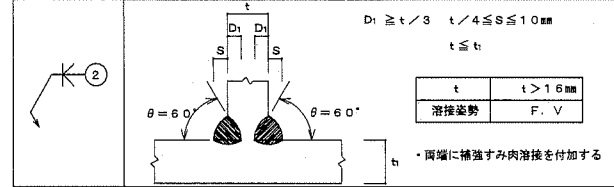
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位 mm)

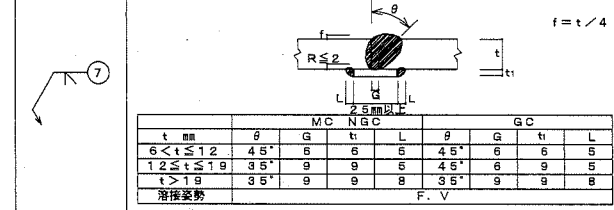
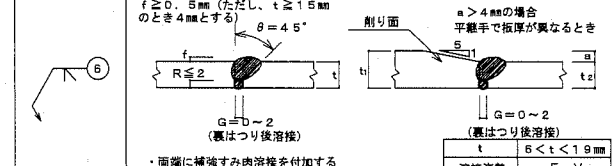
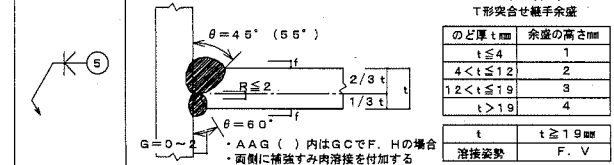
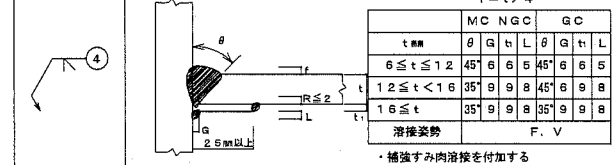
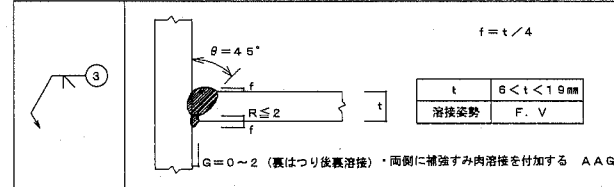
(1) スミ肉溶接



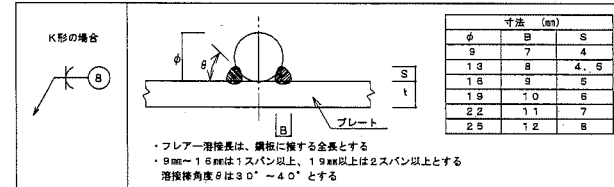
(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所ご注意)



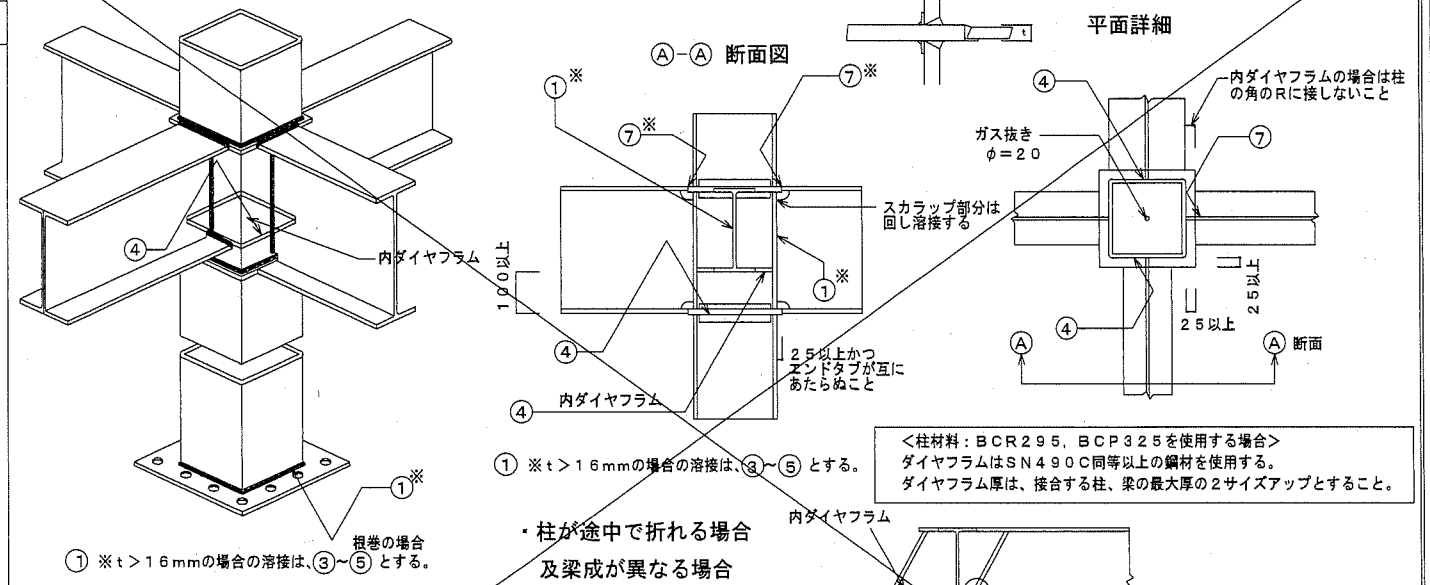
(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)



(4) フレア溶接



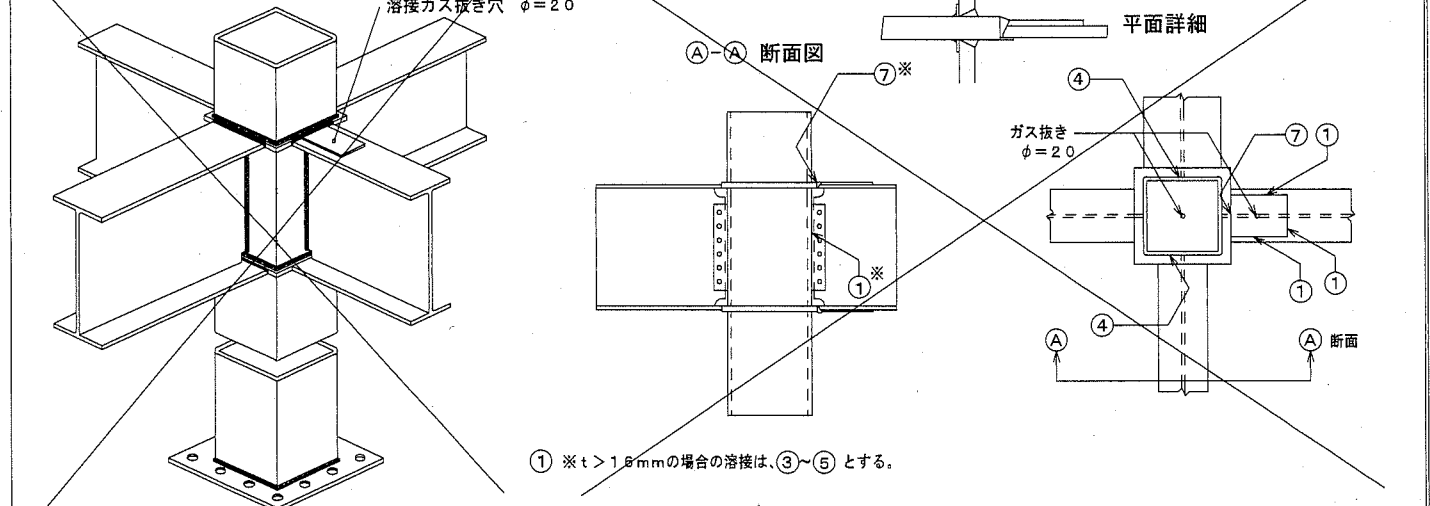
●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N級鋼	JISZ 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
490N級鋼	YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JISZ 3212, 3214		
	YGW-11, 15	30以下	250以下
	YGW-18, 19		
YGA-50W, 50P	40以下	350以下	

●カバープレート部



◎カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項

カバープレート付き大梁の現場溶接について従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。

本溶接→[検査] (欠陥なし) →カバープレート取り付け→カバープレート部溶接→[検査] (欠陥なし) →終了

「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。

鉄骨構造標準図(2)

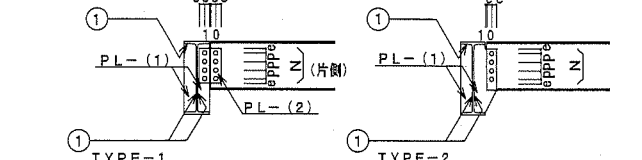
3. 継手標準図、その他

(1) ボルトピッチ(P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の解	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

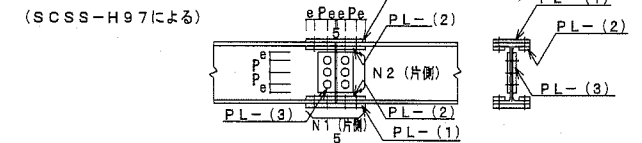
【注】(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・この引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ピン接合継手リスト



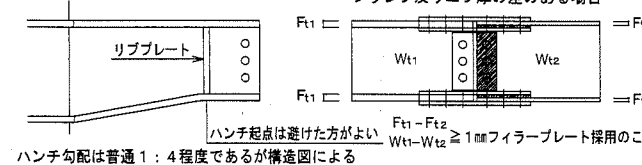
符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		断面表に依る			

(3) 梁鋼接継手リスト (SCSS-H97による)

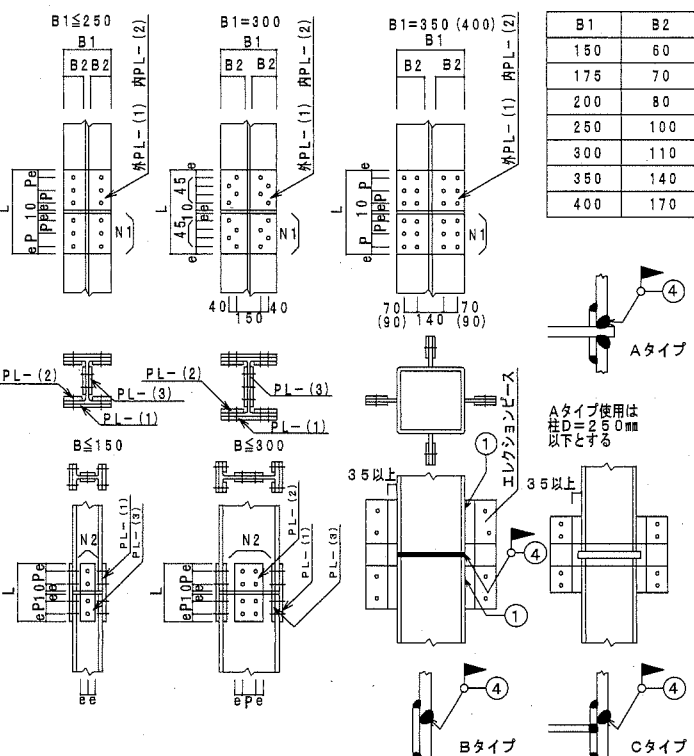


符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

(4) ハンチ部の継手



(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

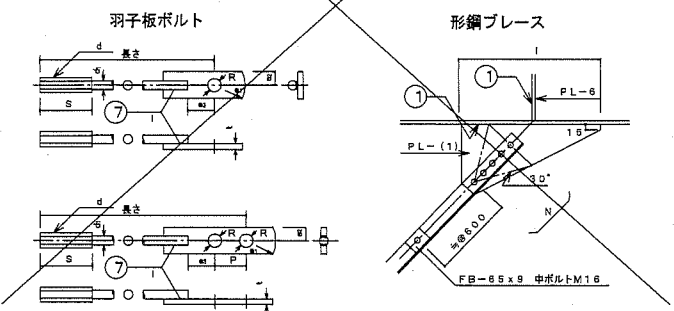
(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする...JISA5540~5542...1982)

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
								最大
最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじ長さ S	100	115	125	140	150	165	175	
取付ボルト穴径 許容差+0.0, -0.5mm R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5	
はしあき(最小) (2) ①	35	40	45	50	50	55	50	
切板製 へりあき(最小) (1) ②	22	28	28	34	34	38	38	
板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
平鋼製 へりあき(最小) (1) ②	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	
板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
ボルト端から取付ボルト穴心のあき(最小) ③	47	52	59	66	66	73	70	
溶接長さ(最小) l	40	50	55	60	75	85	85	

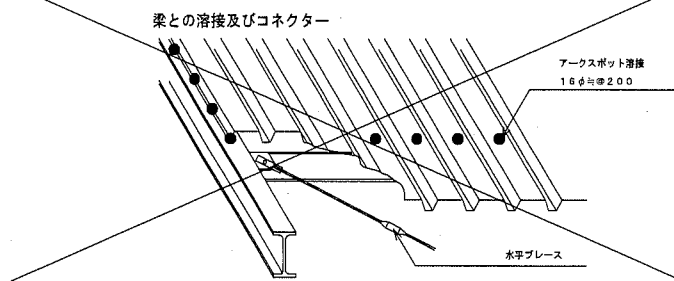
注 (1) ①、②が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b) 形鋼ブレース

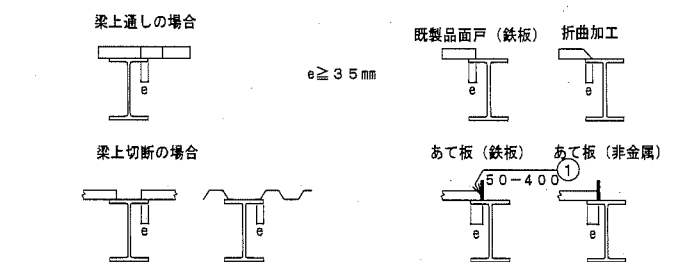
符号	部材	PL-(1)	N-径	I



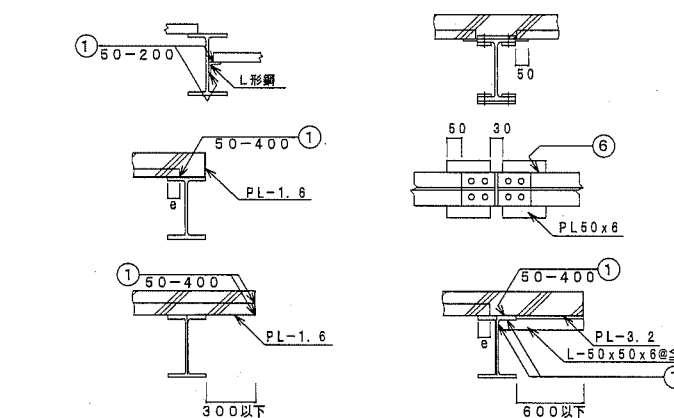
(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



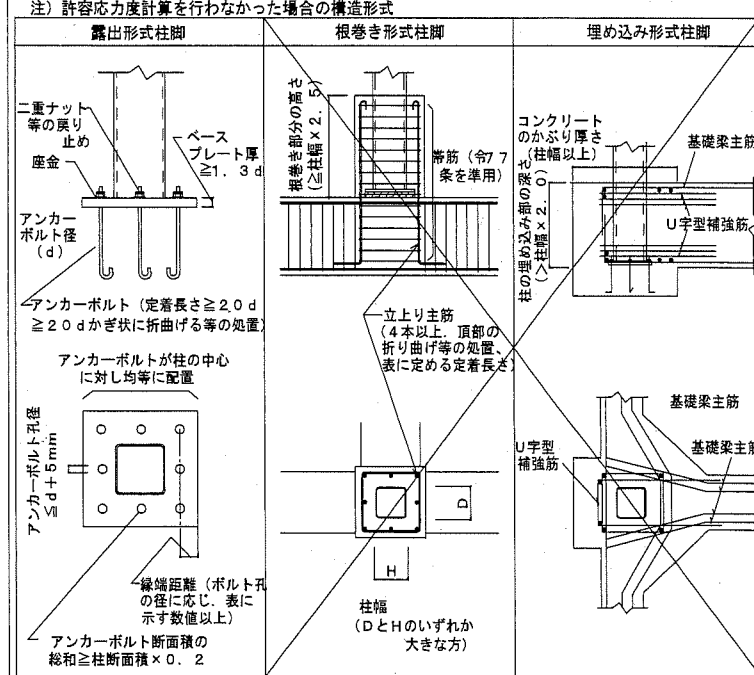
受梁へのかかり寸法および端部処理



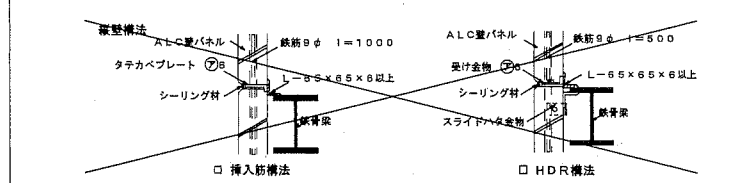
スラブ端部の補足材



(8) 柱脚



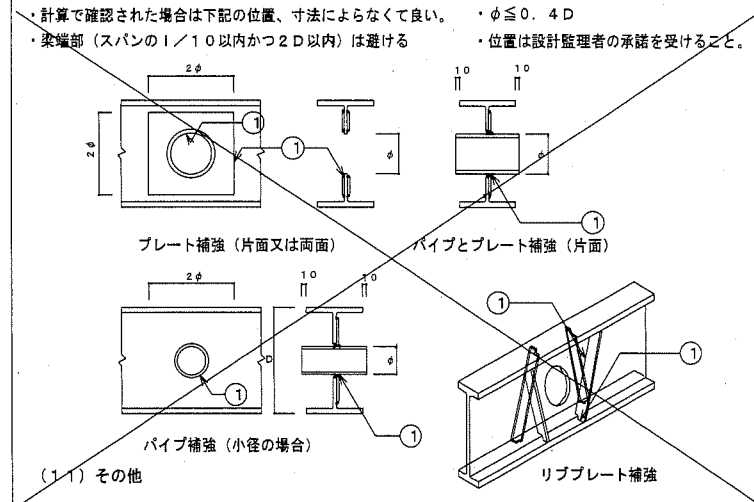
(9) ALC板取付要領は、図面番号S-09 (縦壁HDR構法) 標準図による



(10) 頭付きスタッド (JIS1198)

形状	スタッド材			
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

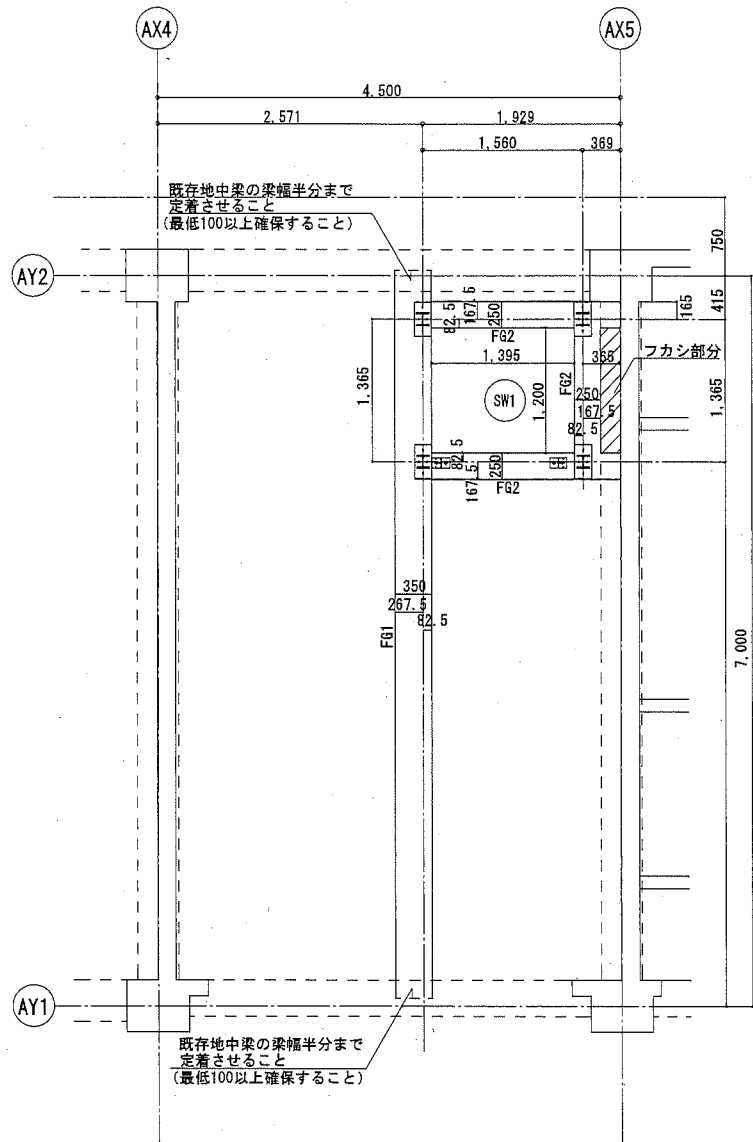
(11) 梁貫通補強 別図参照



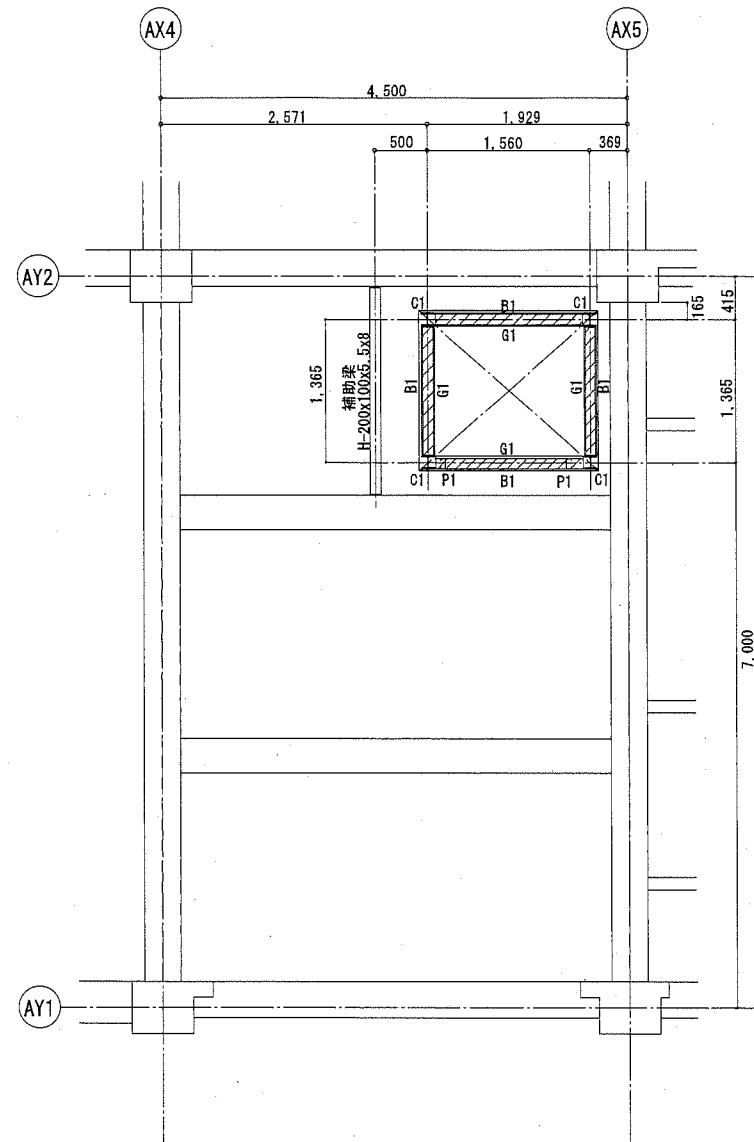
F61 : 350 × 850
F62 : 250 × 850

C1 : H-125 × 125 × 6.5 × 9
G1 : H-125 × 125 × 6.5 × 9
B1 : C-100 × 50 × 20 × 3.2
P1 : C-100 × 50 × 20 × 3.2 (出入口タテ補強筋)

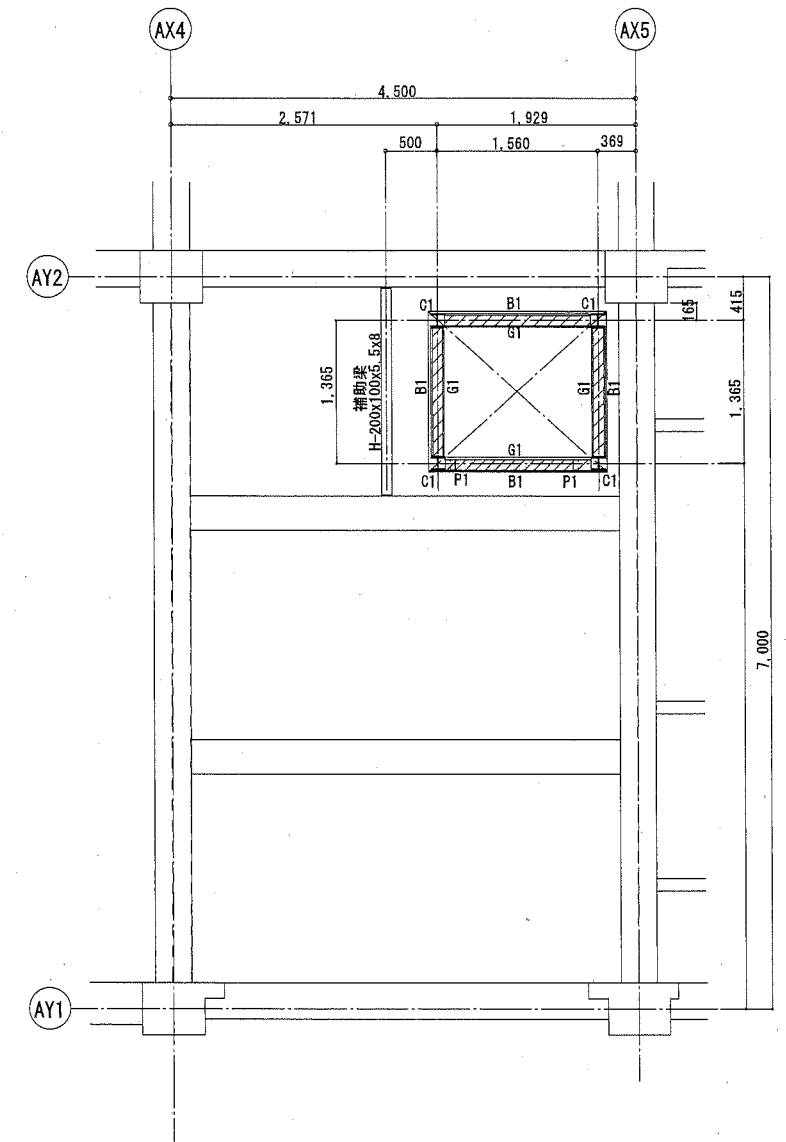
C1 : H-125 × 125 × 6.5 × 9
G1 : H-125 × 125 × 6.5 × 9
B1 : C-100 × 50 × 20 × 3.2
P1 : C-100 × 50 × 20 × 3.2 (出入口タテ補強筋)



基礎・1階床伏図 S=1/50



2階床伏図 S=1/50



3階床伏図 S=1/50

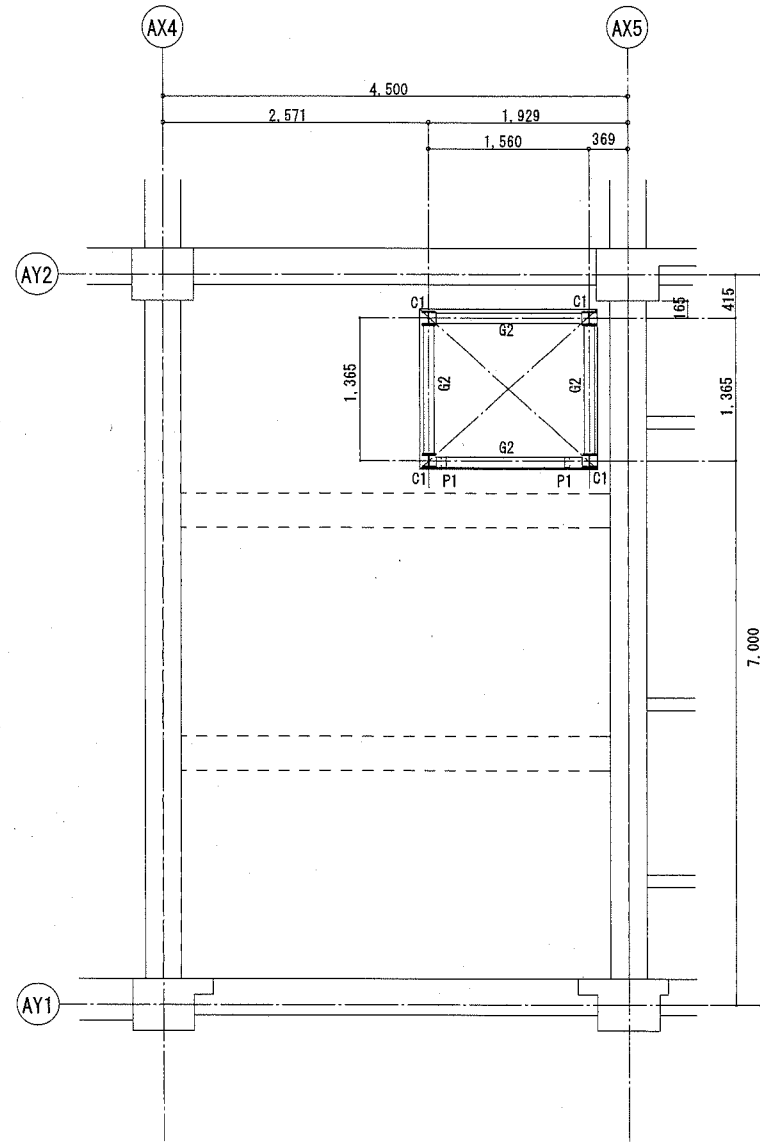
//// : スラブ開口端部除間埋め (コンクリート打設)

//// : スラブ開口端部除間埋め (コンクリート打設)

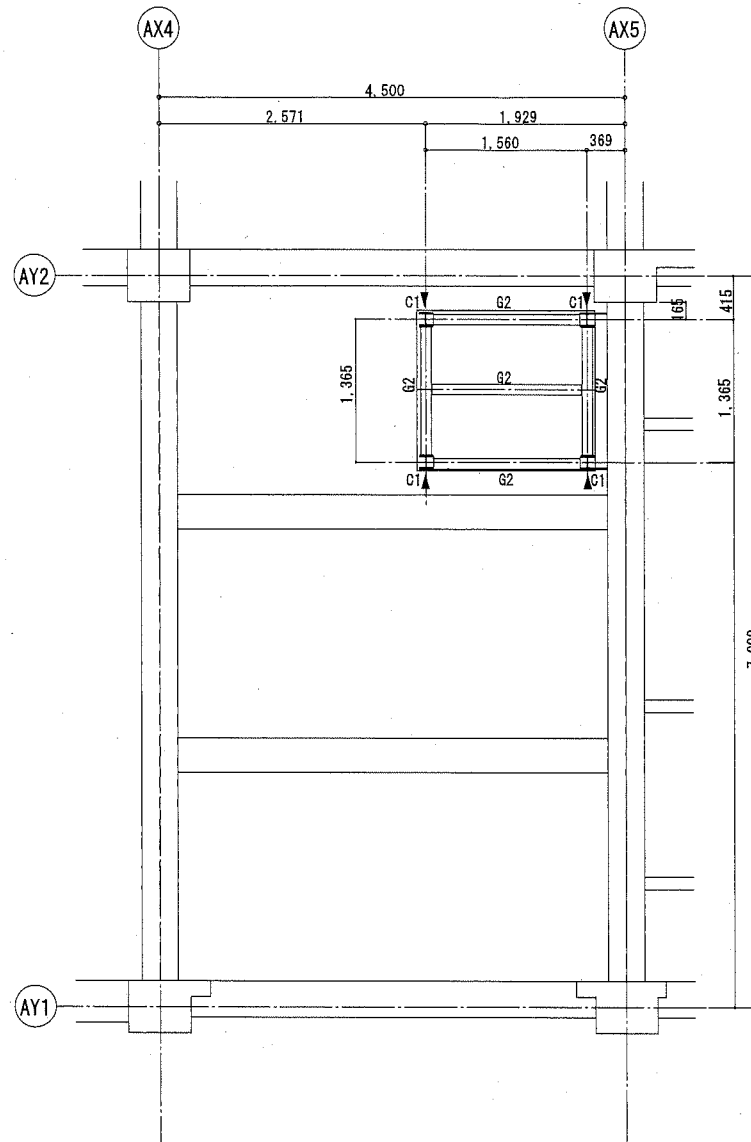
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺 1/50	No. S-06

C1 : H-125×125×6.5×9
 G2 : H-100×100×6×8
 P1 : C-100×50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

C1 : H-125×125×6.5×9
 G2 : H-100×100×6×8



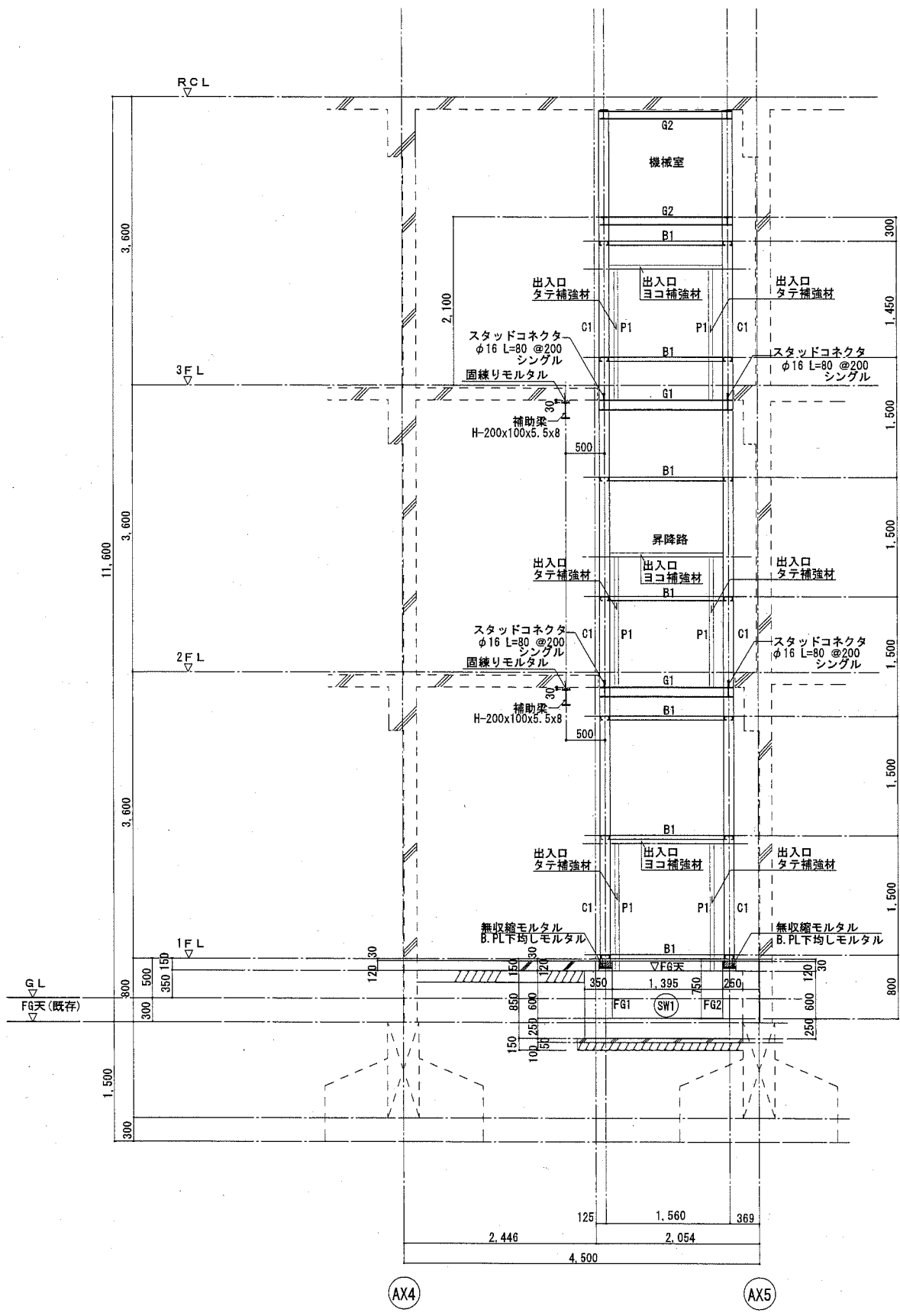
巻上機設置部伏図 1/50



R階床伏図 S=1/50

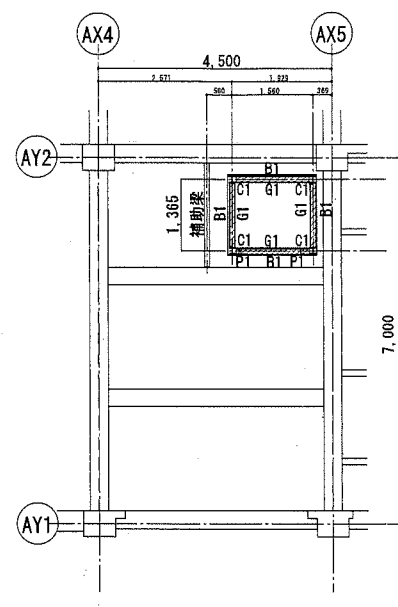
▲ : 柱頭部と既存梁接続位置

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	No. S-07
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 巻上機設置部、R階床伏図			

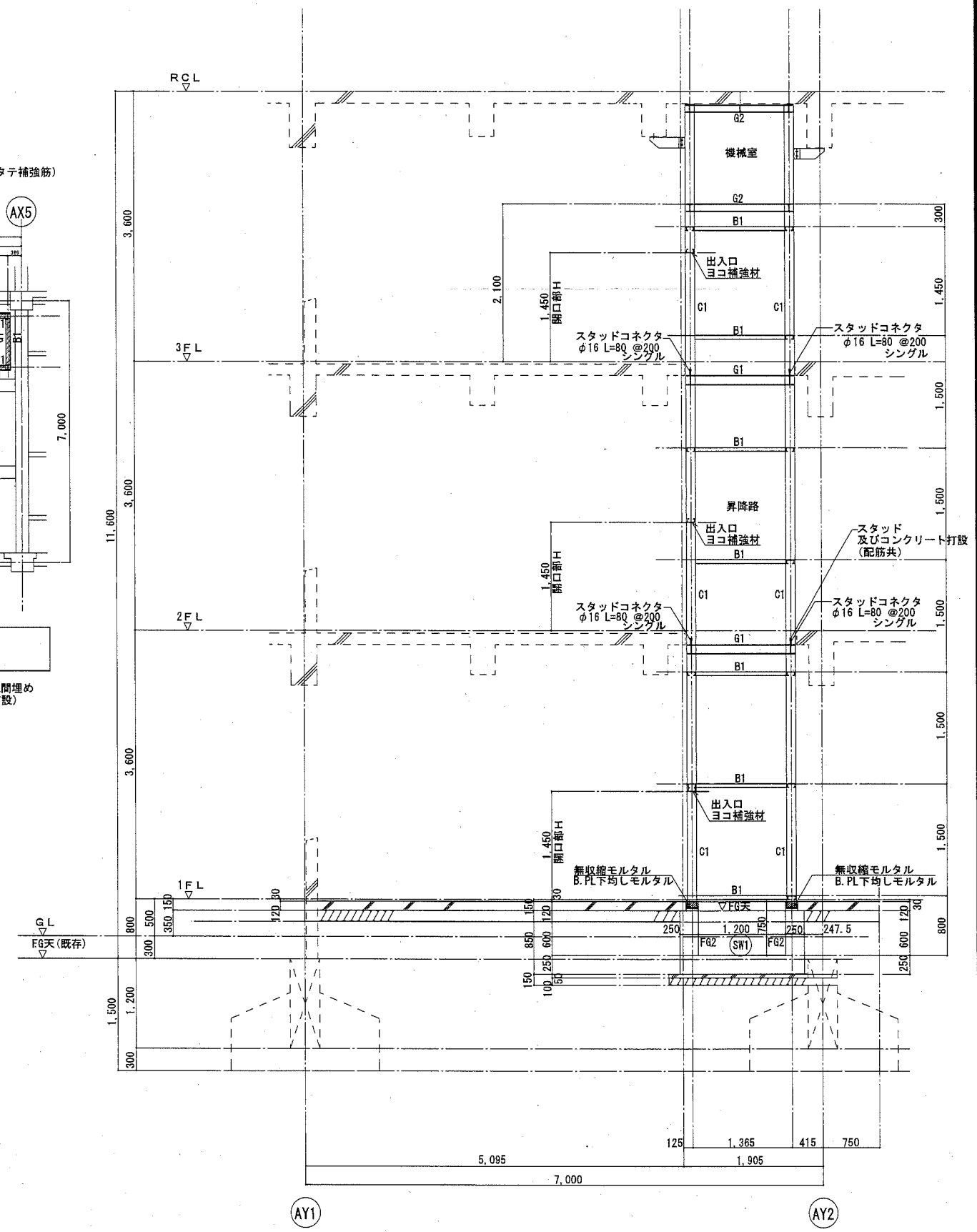


Y通り 軸組図 S=1/50

- C1 : H-125×125×6.5×9
- G1 : H-125×125×6.5×9
- G2 : H-100×100×6×8
- B1 : C-100×50×20×3.2
- P1 : C-100×50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)



部材キープラン
 // : スラブ開口部端部埋め (コンクリート打設)



X通り 軸組図 S=1/50

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

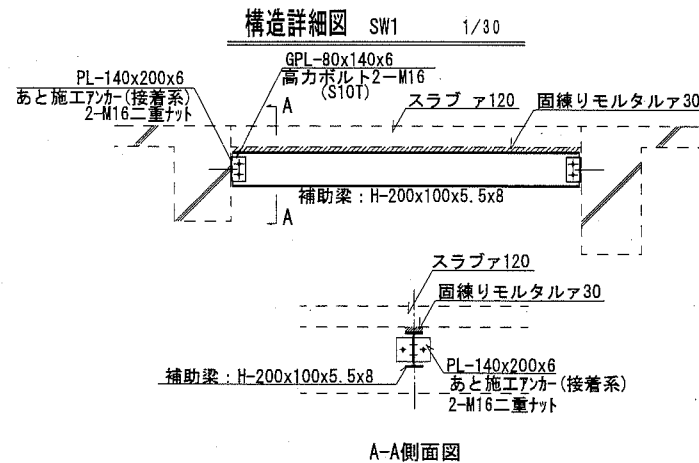
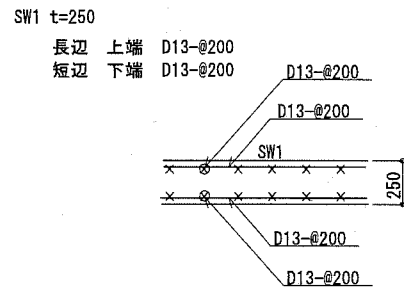
横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成 31年 2月

工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称	A棟 断面図

縮尺	1/50
No.	S-08

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止メ筋はD10-@100とする

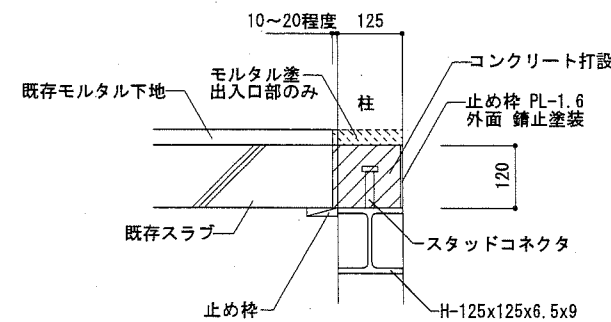
符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	350 x 850	250 x 850
上端筋	3-D19	2-D16
下端筋	3-D19	2-D16
あばら筋	□-D13-@200	□-D10-@200
腹筋	4-D13	4-D13



スラバ補助梁取付部 1/30 (スラバ解体前に設置のこと)

構造詳細図 鉄骨リスト *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

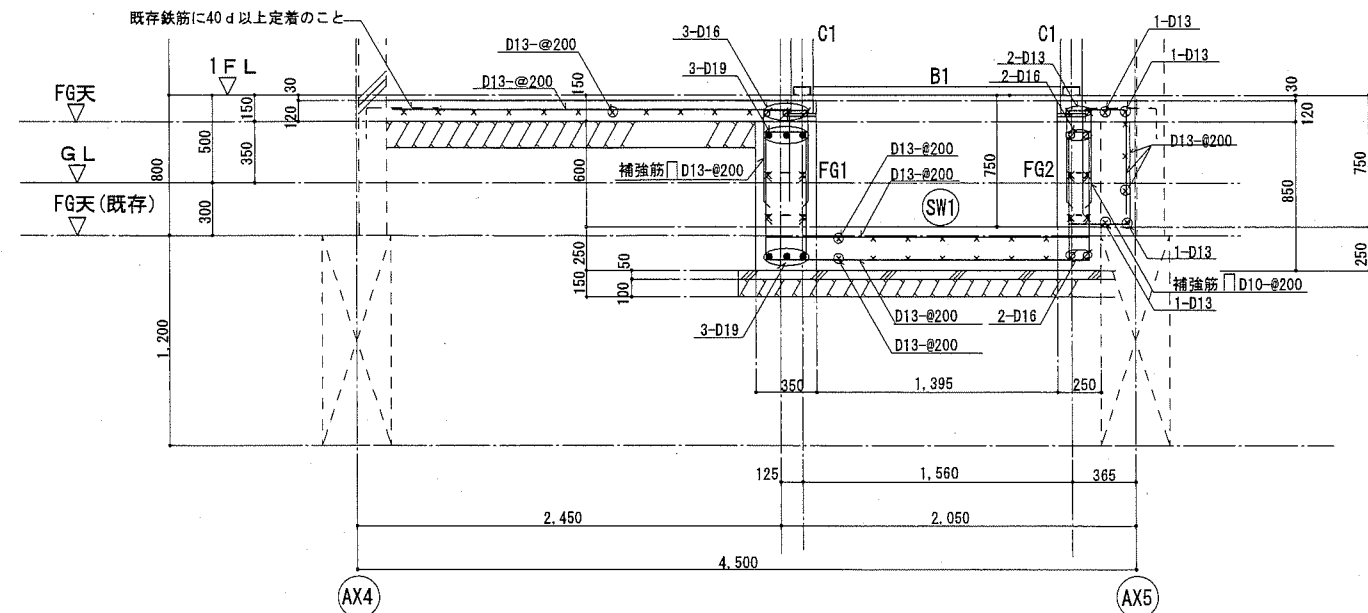
符号	C1	
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱材質 SS400</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100x100x6x8
備考	<p>スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200シングル</p>	



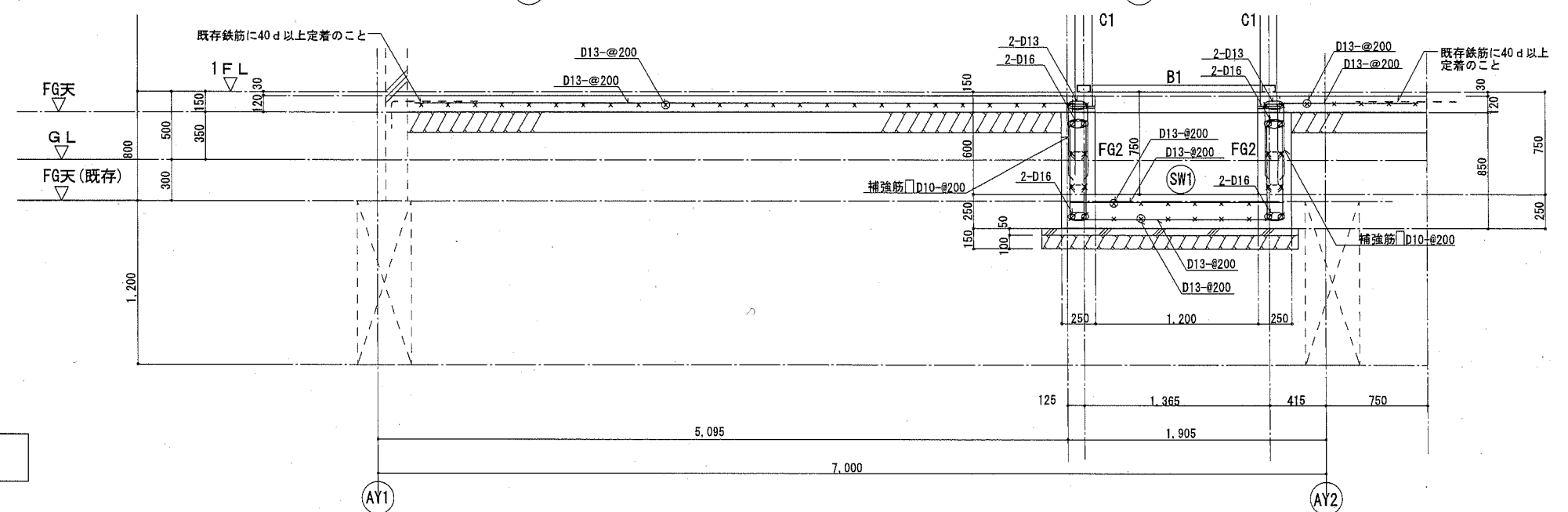
スラバ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

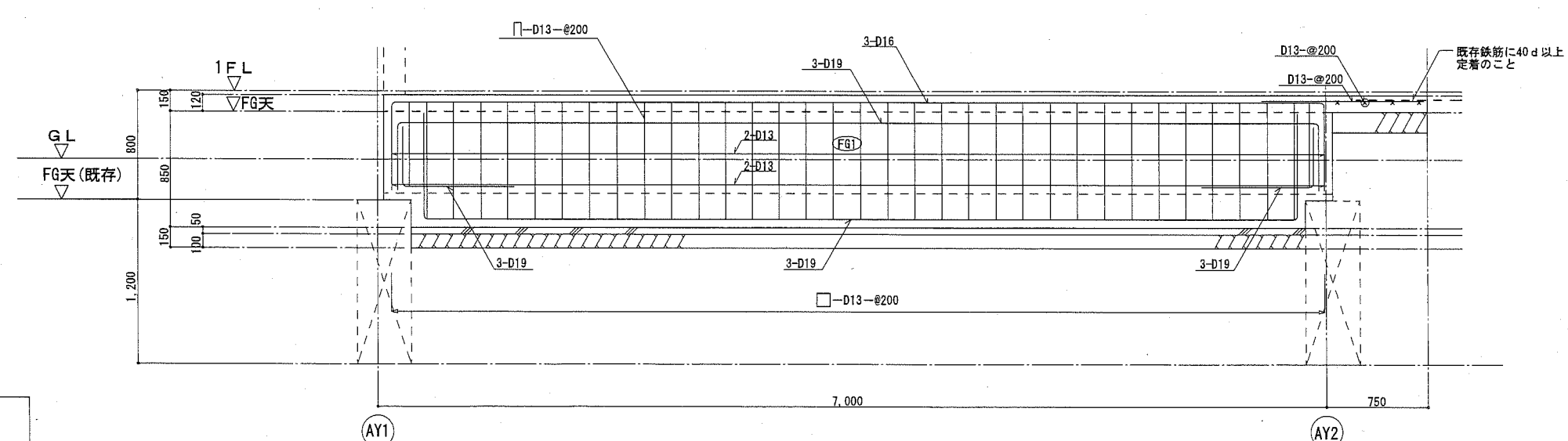
記号	B1	P1
位置	全断面	全断面
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	<p>PL-9</p>	
あと施工アンカー仕様		
	<p>1) 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて $8d_a$ 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) = 120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) = 152mm以上</p> <p>2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d_a: 13mm以上、22mm以下 2. ピッチ p_a: 7.5 d_a 以上、かつ300mm以下 3. ゲージ g_a: ダブル配置5.5 d_a 以上 4. へりあき c_1: 2.5 d_a 以上 5. はしあき c_2: 5 d_a 以上</p>	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30

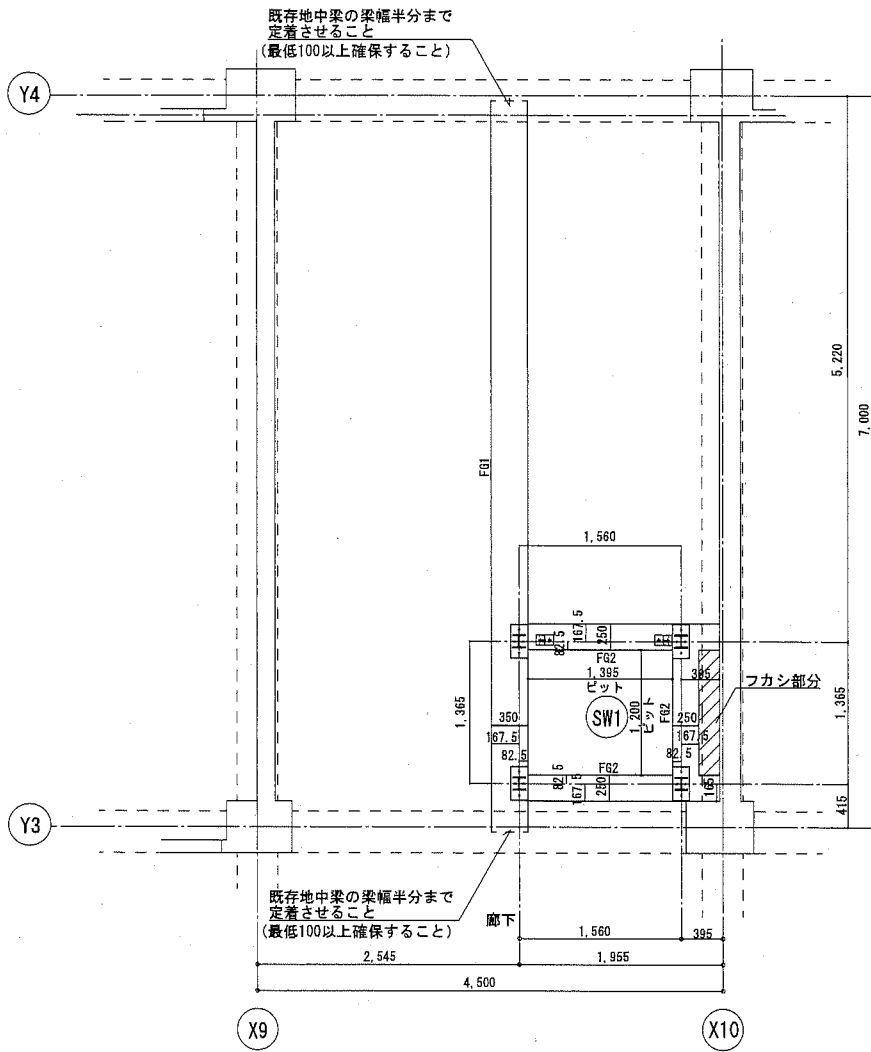


ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

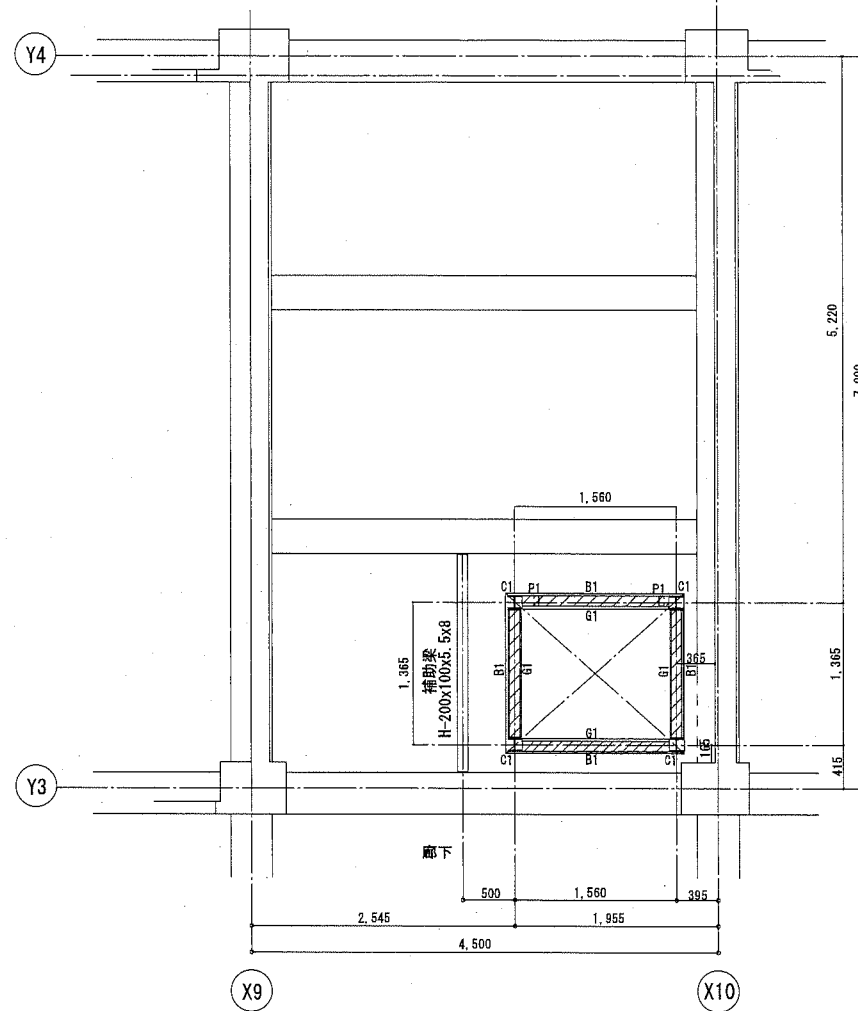
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/30
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 基礎配筋図		No. S-10

C1 : H-125×125×6.5×9
 G1 : H-125×125×6.5×9
 B1 : C-100× 50×20×3.2
 P1 : C-100× 50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

C1 : H-125×125×6.5×9
 G1 : H-125×125×6.5×9
 B1 : C-100× 50×20×3.2
 P1 : C-100× 50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

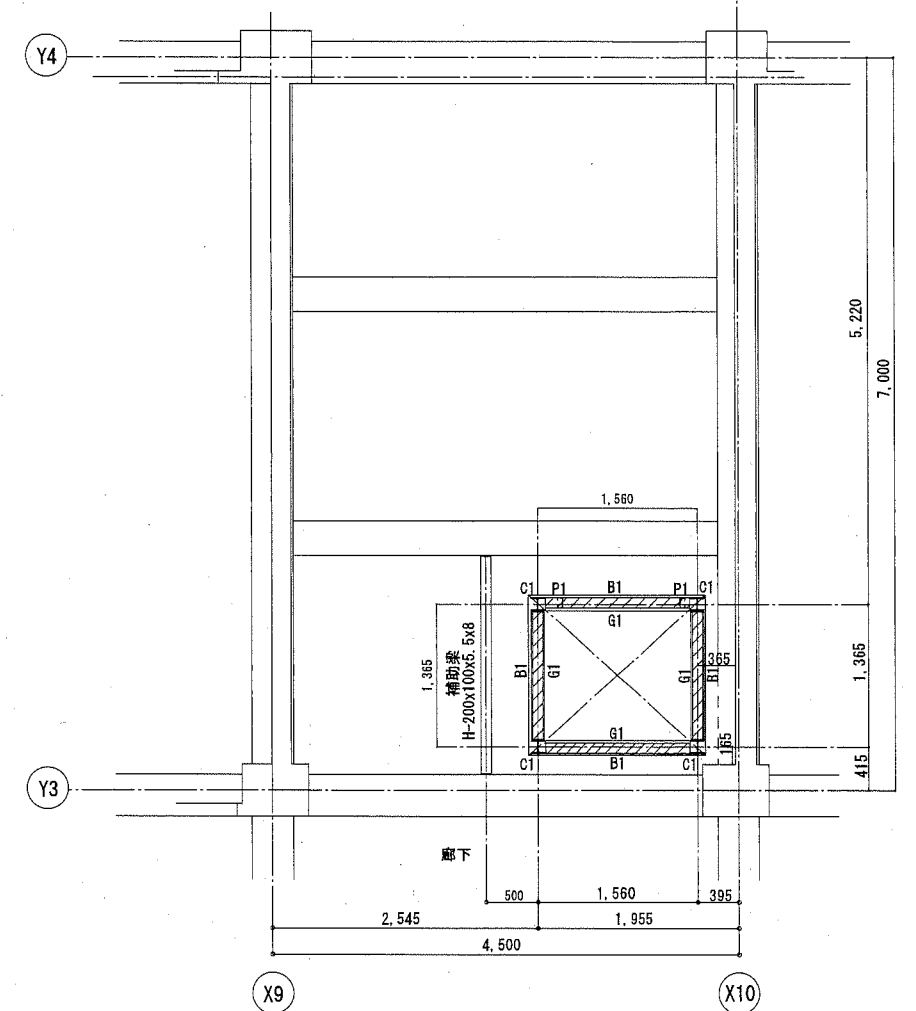


基礎、1階床伏図 S=1/50



2階床伏図 S=1/50

//// : スラブ開口部端部隙間埋め
 (コンクリート打設)



3階床伏図 S=1/50

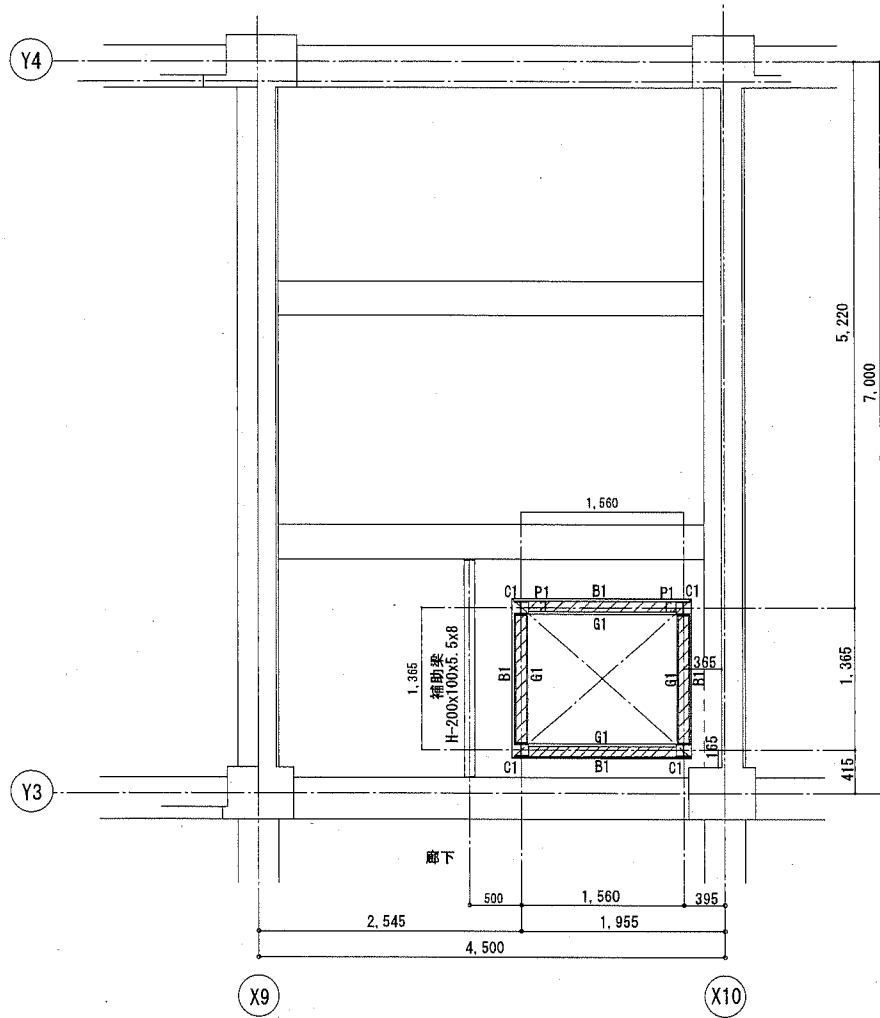
//// : スラブ開口部端部隙間埋め
 (コンクリート打設)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 基礎、1階床、2階床、3階床伏図		S-11

C1 : H-125×125×6.5×9
 G1 : H-125×125×6.5×9
 B1 : C-100×50×20×3.2
 P1 : C-100×50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

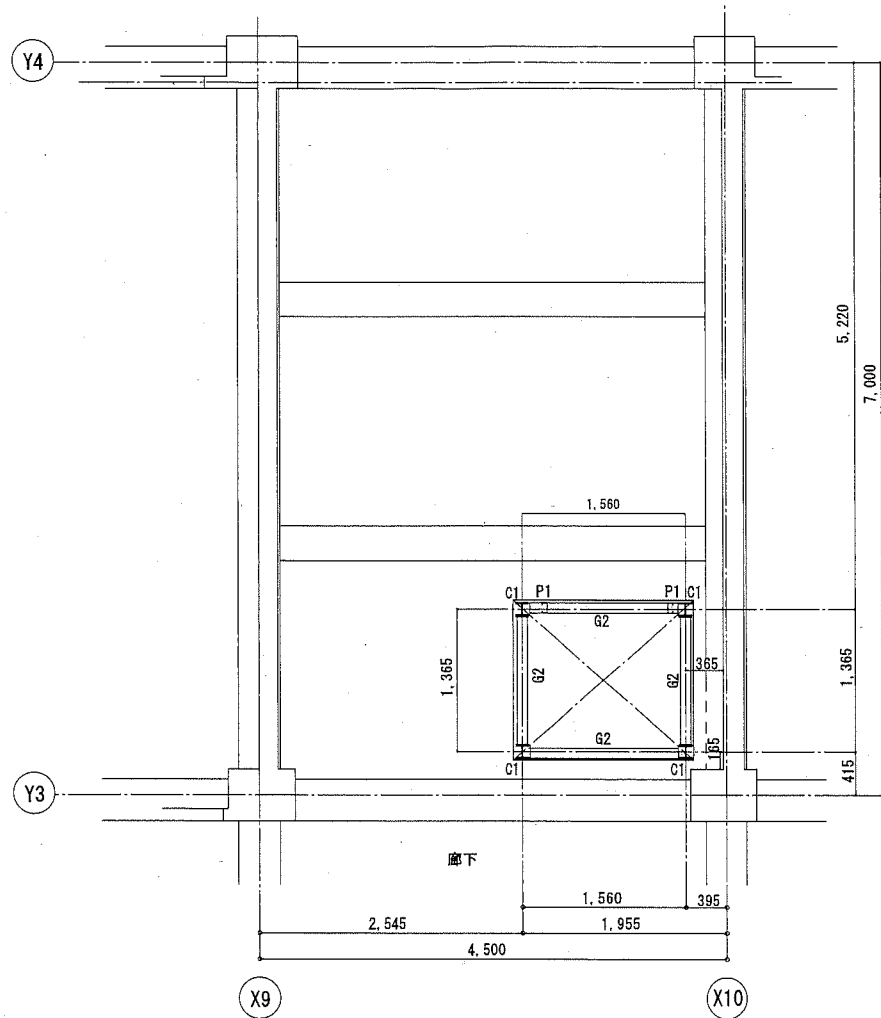
C1 : H-125×125×6.5×9
 G2 : H-100×100×6×8
 P1 : C-100×50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

C1 : H-125×125×6.5×9
 G2 : H-100×100×6×8

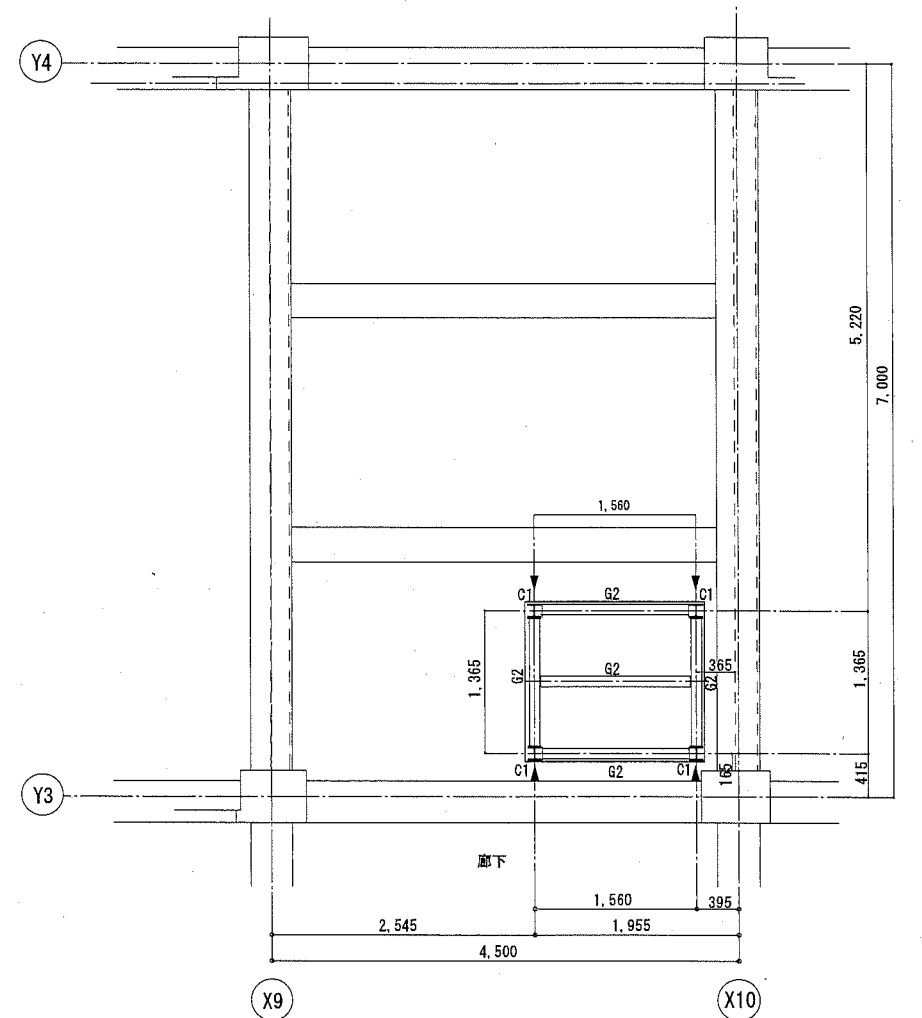


4階床伏図 S=1/50

//// : スラブ開口端部隙間埋め (コンクリート打設)



巻上機設置部伏図 1/50

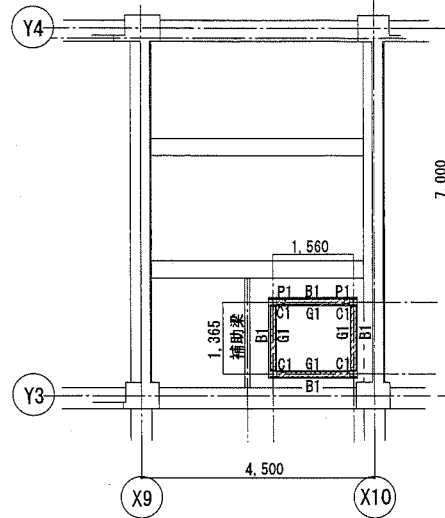


R階床伏図 S=1/50

▲ : 柱頭部と既存梁接続位置

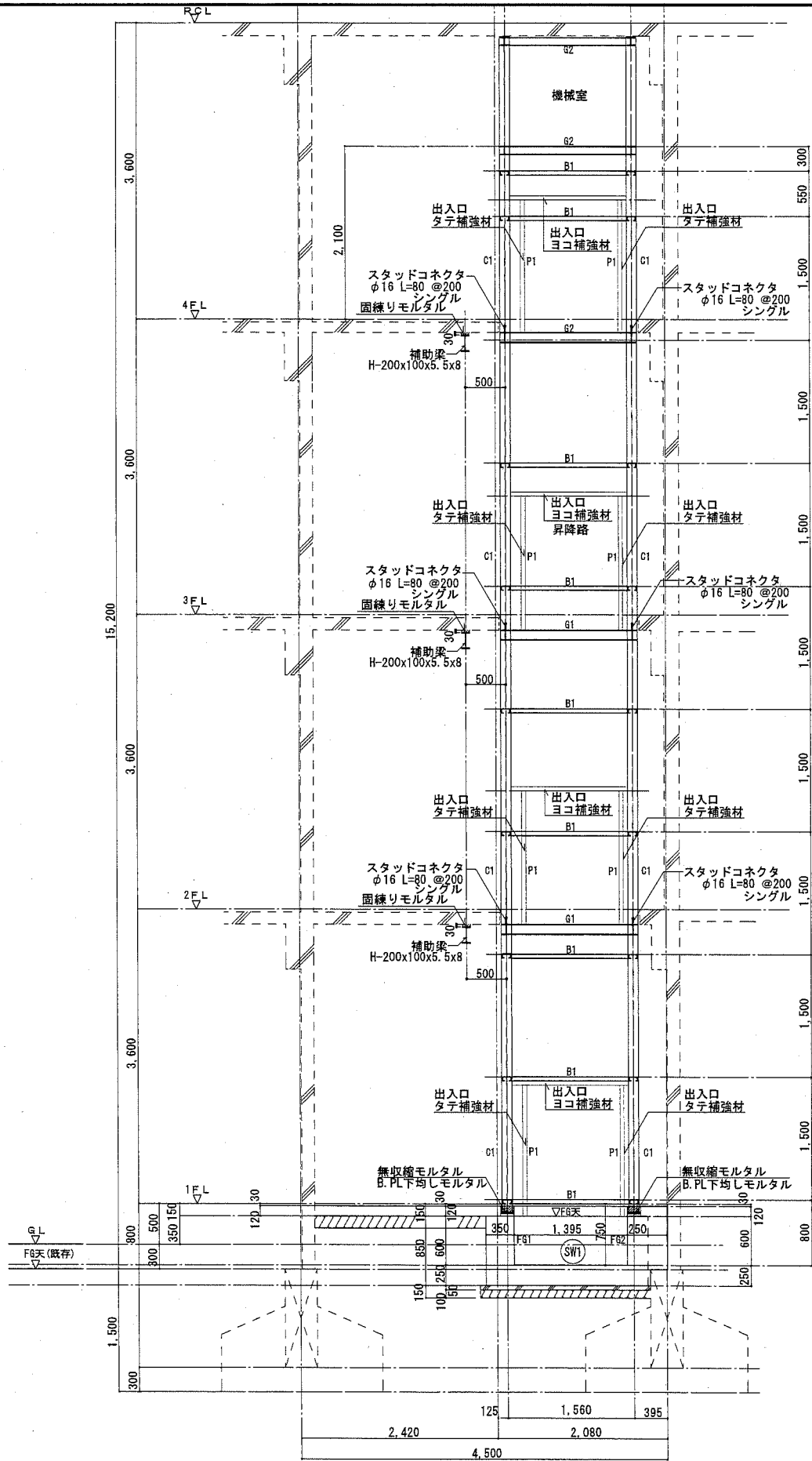
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 4階床、巻上機設置部、R階床伏図		S-12
							No.

- C1 : H-125×125×6.5×9
- G1 : H-125×125×6.5×9
- G2 : H-100×100×6×8
- B1 : C-100×50×20×3.2
- P1 : C-100×50×20×3.2 (出入口タテ補強筋)

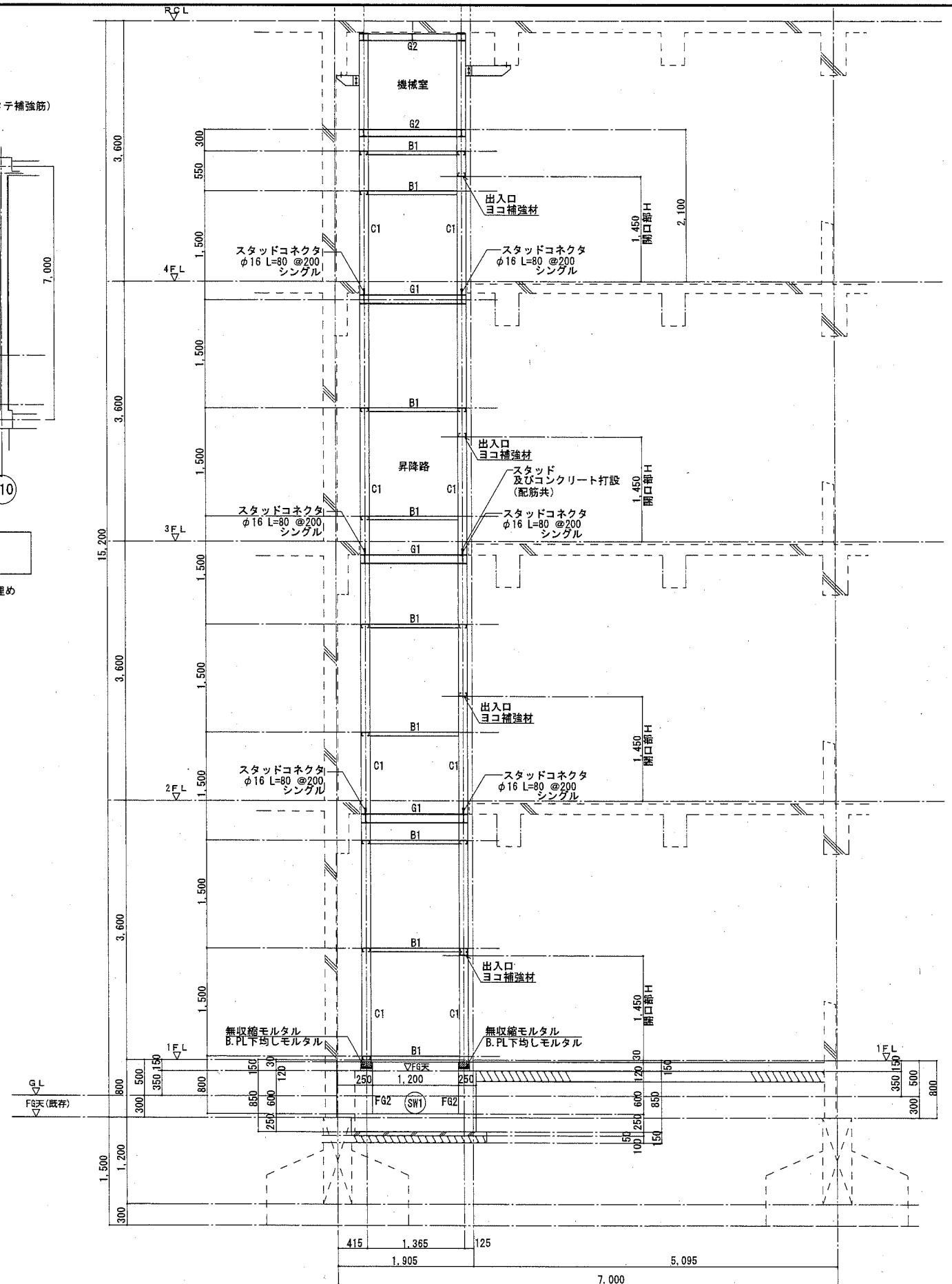


部材キープラン

//// : スラブ開口端部除肉埋め (コンクリート打設)



Y通り 軸組図 S=1/50



X通り 軸組図 S=1/50

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 B棟 断面図

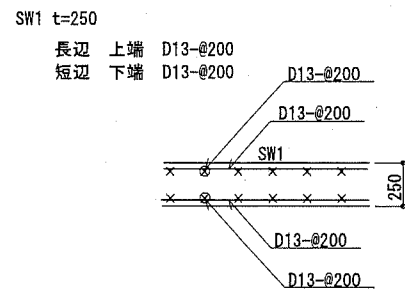
縮尺

1/50

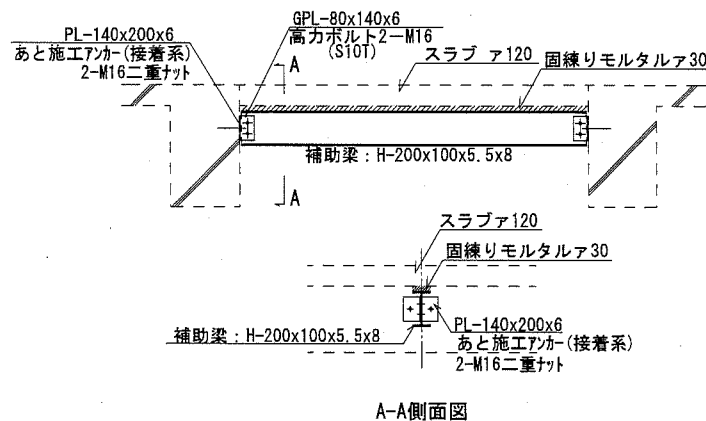
S-13

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止メ筋はD10-@100とする

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	350 x 850	250 x 850
上端筋	3-D19	2-D16
下端筋	3-D19	2-D16
あばら筋	□-D13-@200	□-D10-@200
腹筋	4-D13	4-D13



構造詳細図 SW1 1/30



A-A側面図

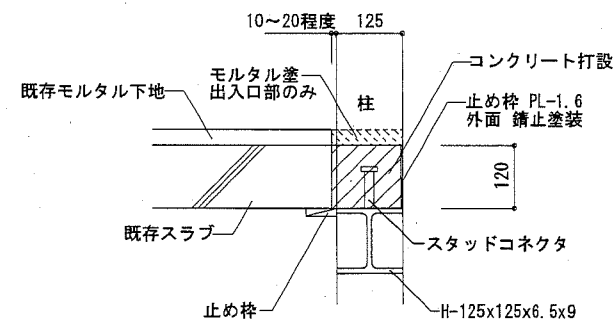
スラブ補助梁取付部 1/30

(スラブ解体前に設置のこと)

構造詳細図 鉄骨リスト

*特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

符号	C1	
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	柱脚部 柱頭部 柱接合部 BPL-19 x 325 x 165 アンカーボルト4-M20二重ナット L=800以上 BPL-9 x 120 x 200 あと施工アンカー(接着系) 2-M16二重ナット BPL-2PL-9 高力ボルト4-M16	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100x100x6x8
備考	 H-125x125x6.5x9 GPL-9 2-M16	 H-100x100x6x8 GPL-6 2-M16

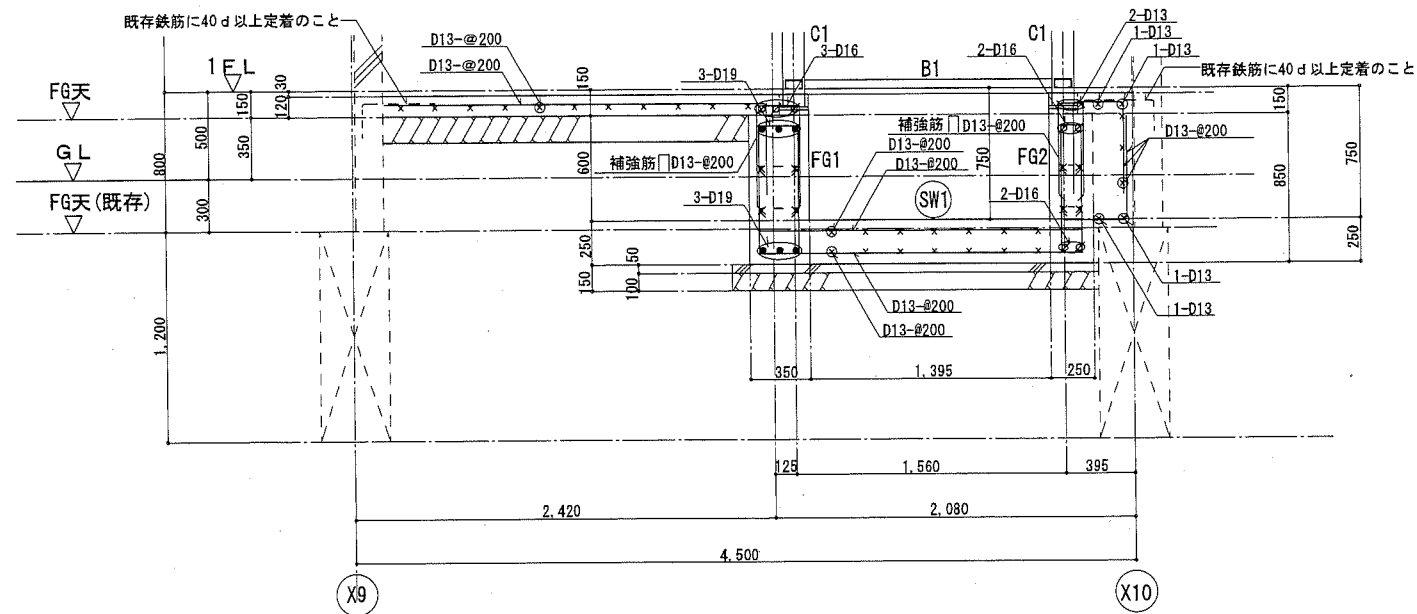


スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

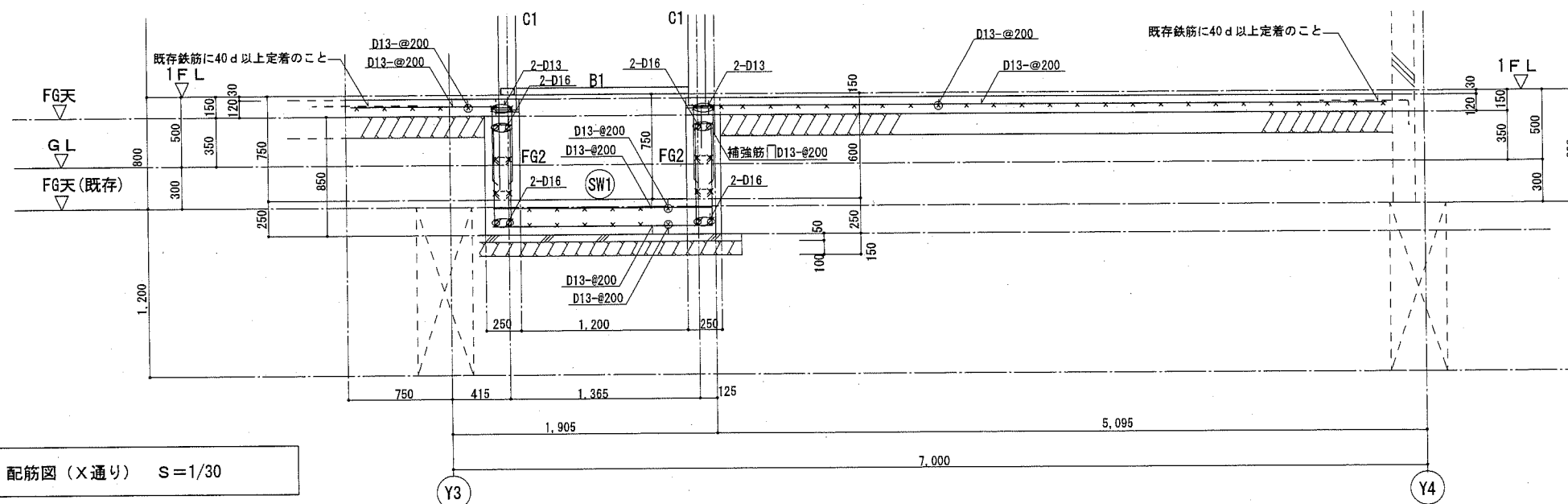
構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30

*特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

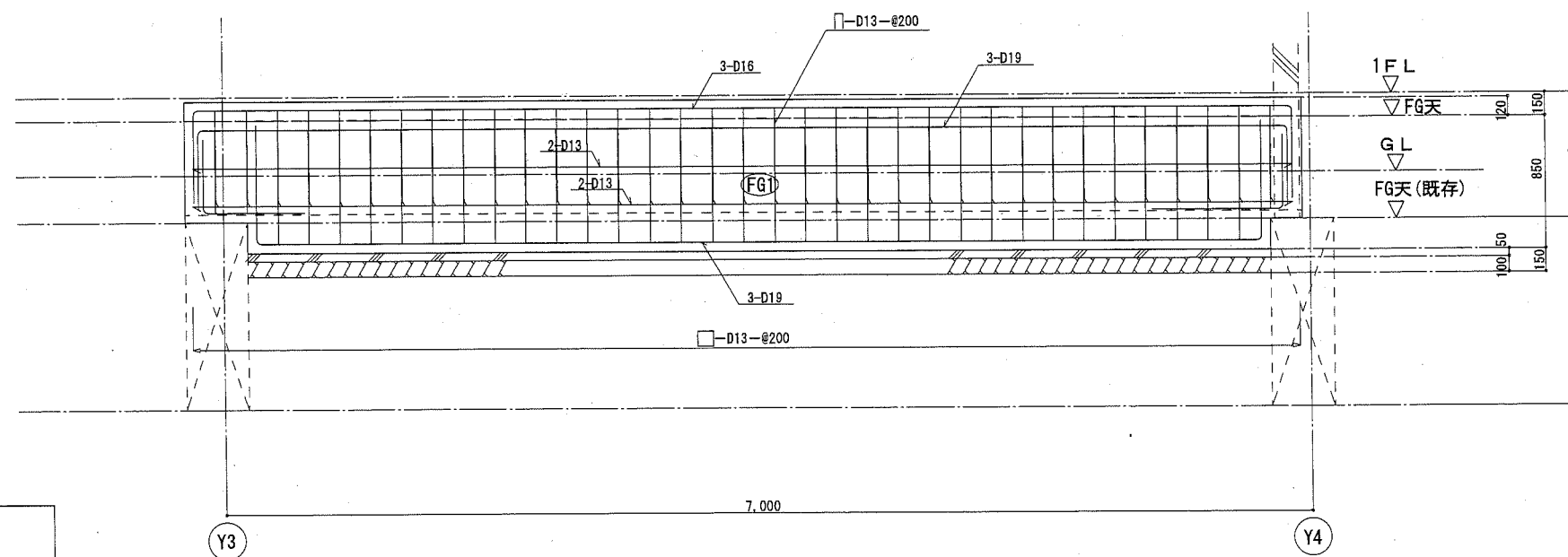
記号	B1	P1
位置	全断面	
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	
備考	PL-9 H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 PL-9 H-125x125x6.5x9 C-100 x 50 x 20 x 3.2 PL-9 2-M12普通ボルト	 C-100x50x20x3.2 GPL-6 2-M16 GPL-6 2-M12普通ボルト 1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系) 中間階は鉄骨梁にGPLを溶接
あと施工アンカー仕様	 あと施工アンカー(接着系アンカー) あと施工アンカー(接着系アンカー) はしあき 5da以上 ピッチ 7.5da以上かつ300mm以下 へりあき 2.5da以上かつ主筋の内側 ゲージ 5.5da以上	
	1) 既存躯体への有効埋込み長さ l_e は、アンカー軸部の直径 d_a に応じて $8d_a$ 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ l_e (15x8) = 120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ l_e (19x8) = 152mm以上 2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 d_a : 13mm以上、22mm以下 2. ピッチ p_a : 7.5 d_a 以上、かつ300mm以下 3. ゲージ g_a : ダブル配置 5.5 d_a 以上 4. へりあき c_1 : 2.5 d_a 以上 5. はしあき c_2 : 5 d_a 以上	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30



ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事
図面名称 日棟 基礎配筋図

縮尺 1/30
No. S-15

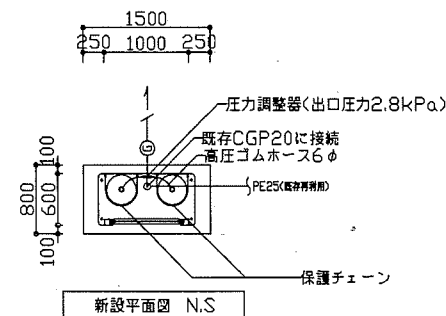
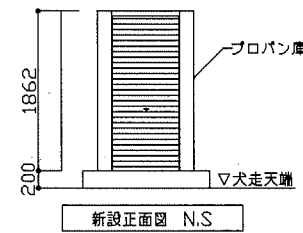
器具表

名称	仕様・付属品	形番 (A社)	形番 (B社)	国土交通省 記号	A種				B種				合計
					1階配膳室	2階配膳室	2階少人数教室	3階配膳室	1階配膳室	2階配膳室	3階配膳室	4階配膳室	
洗面器	自動水栓、Pトラップ、壁給水	L210C	L-176UEC		1				1				2
自在水栓 (SUS製掃除用)	F10A 泡沫 スパウトL=170	T131SUN13C	LF-16F-13		1	1	1		1	1	1	1	7
横水栓	F3 泡沫	該当品なし	LF-17KF-13				1	1					2
床排水トラップ	ホース目皿ロック式(参考型番:伊東鉄工LT4H)				1				1				2

凡例

記号	名称	材質・仕様	規格・備考	保温防食塗装等
---	給水管(屋内隠蔽)	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448 (SUS304)	GW+ALGC(c2・(ロ)・Ⅷ)
---	給水管(埋設)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 (H1VP)	管径φ100mm山砂
---	排水管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	GW+ALGC(c2・(ロ)・Ⅷ)
---	排水管(土間(第一層まで))	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	管上100mm山砂、管底突固め
---	通気管(屋内隠蔽)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	
R	冷媒管	断熱材被覆銅管		
D	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 屋内:保温付きVP 屋外:カラーVP	JIS K 6741 (VP)	
G	ガス管	カラー鋼管	JIS G 3452 (CGP)	

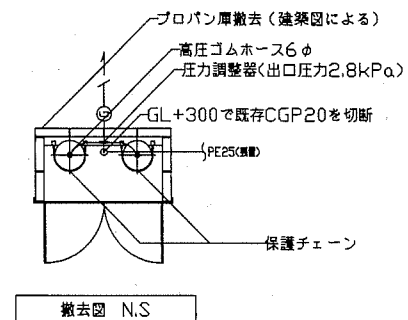
給水管の異種管接続には電防止継手を用いる



※コンクリート基礎は建築図による
※寸法は参考とする
※ガス警報器検出器を含む

プロパン庫仕様 参考型番 ホクエイ BN-100MT

品名	材質	仕上げ
土台枠	高耐食亜鉛鋼板	ポリエステル系樹脂塗装
柱	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
壁パネル	〃	〃
母屋	〃	〃
横板	〃	〃
屋根	高耐食亜鉛鋼板	〃
シャッター	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
レール	亜鉛メッキ鋼板	〃
アンカーボルト	SUS304	



公共建築課長

主査等

担当

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成31年2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

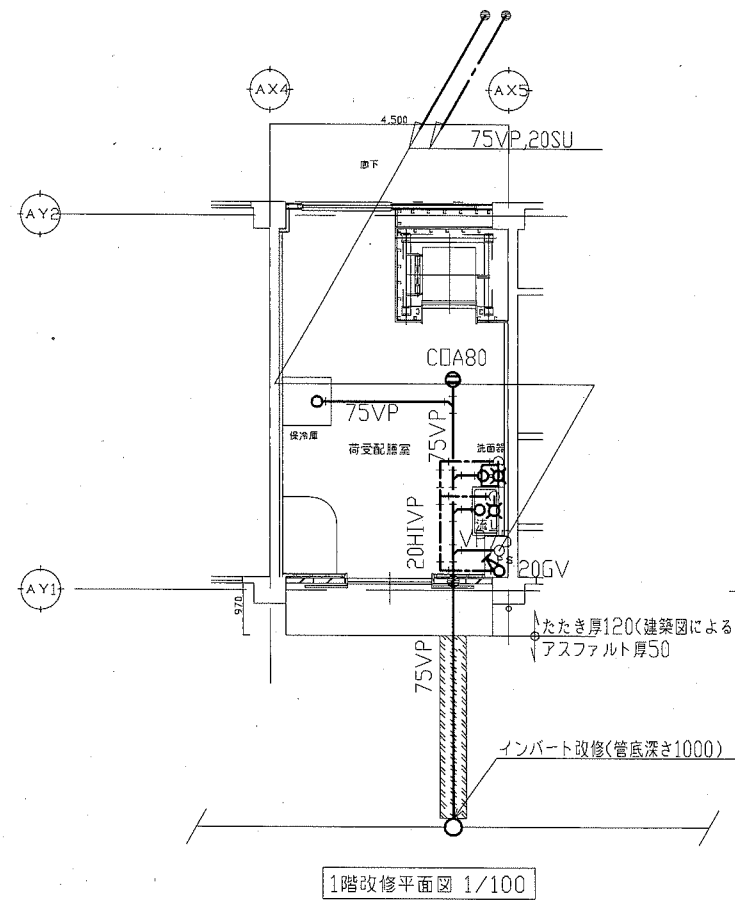
図面名称 器具表・凡例・プロパン庫改修図

縮尺

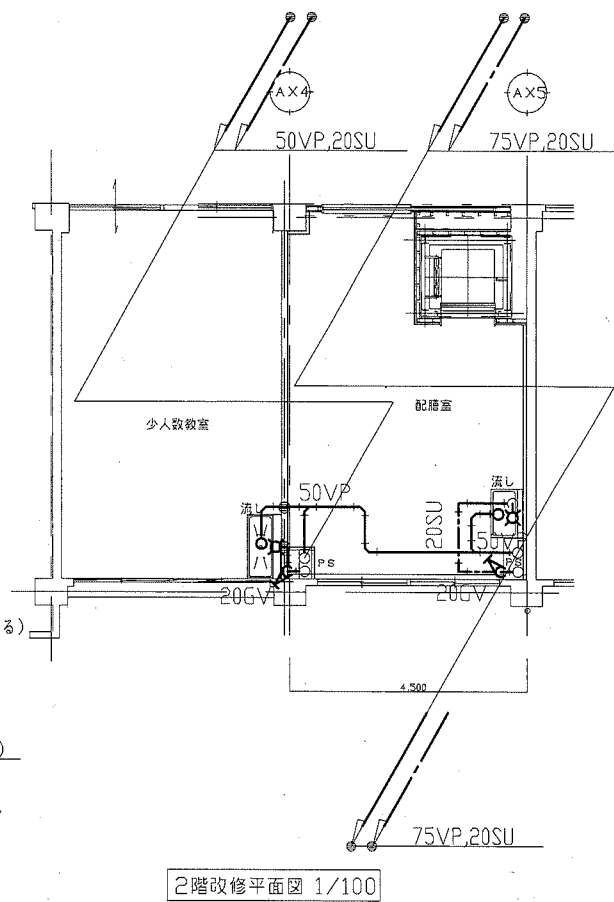
no scale

M-01

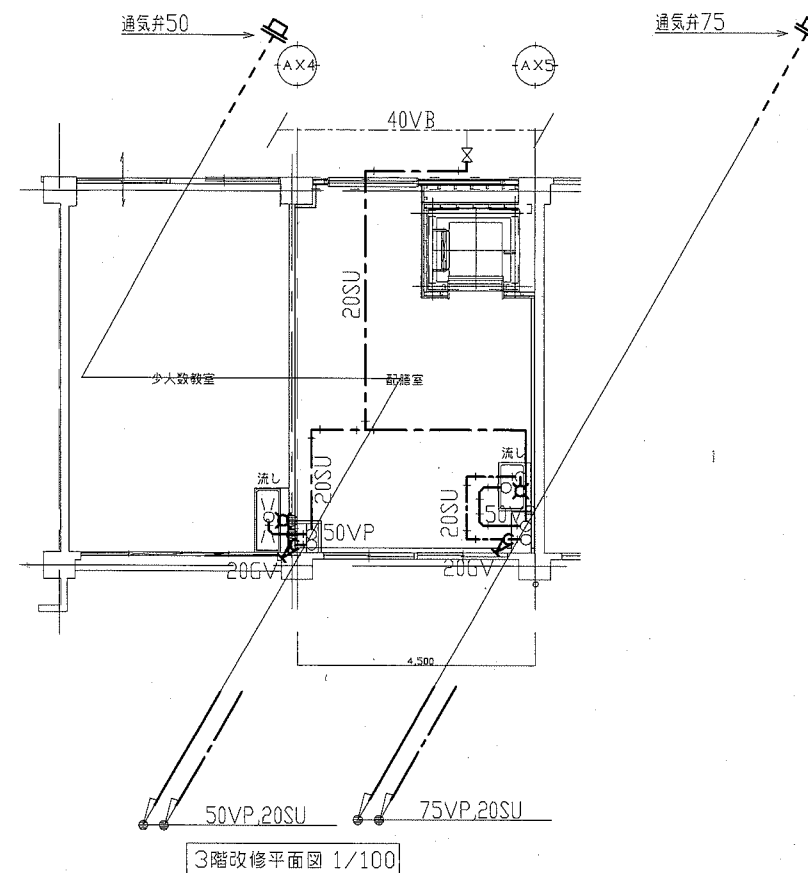
No.



1階改修平面図 1/100

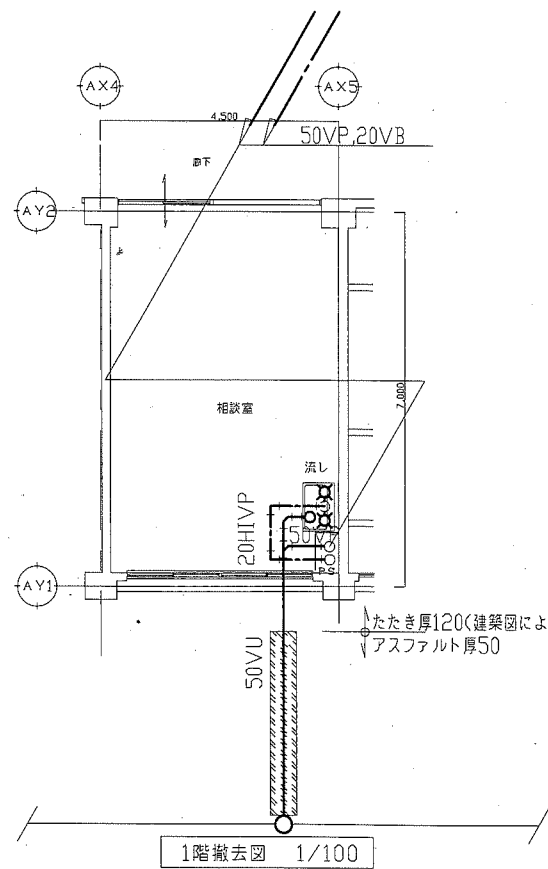


2階改修平面図 1/100

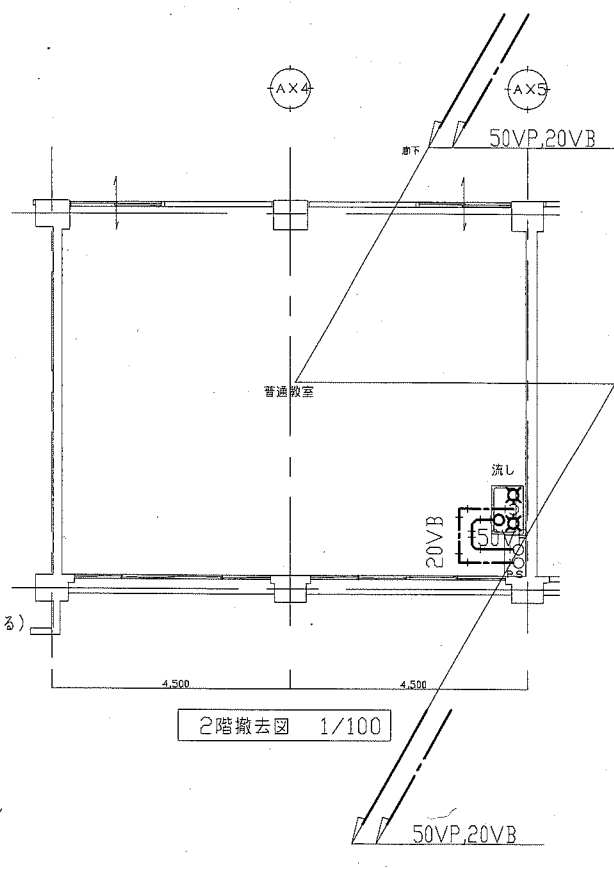


3階改修平面図 1/100

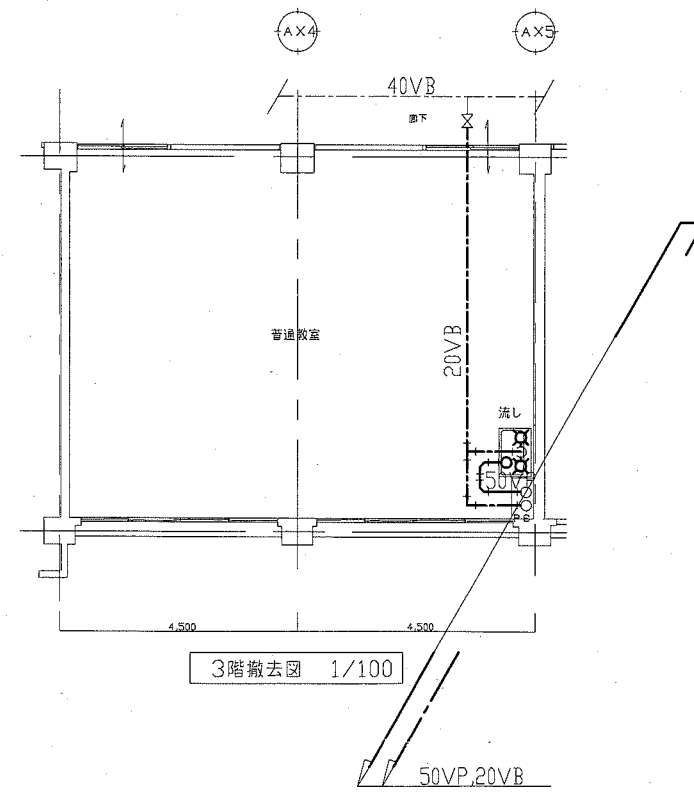
■ は構築復旧範囲を示す。W=500 A-5-10
 ※ ●部はコア抜き箇所を示す
 ※ 新設流しは建築図による



1階撤去図 1/100




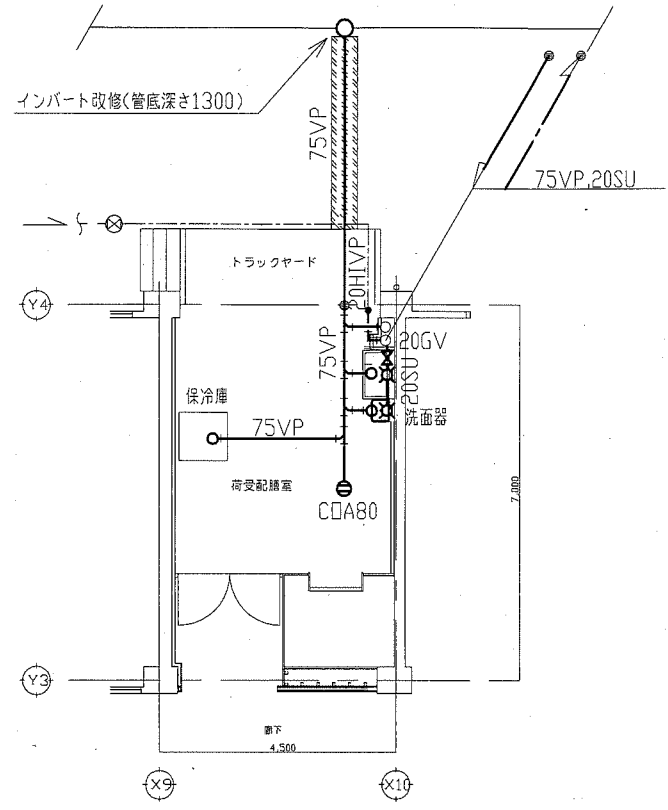
2階撤去図 1/100



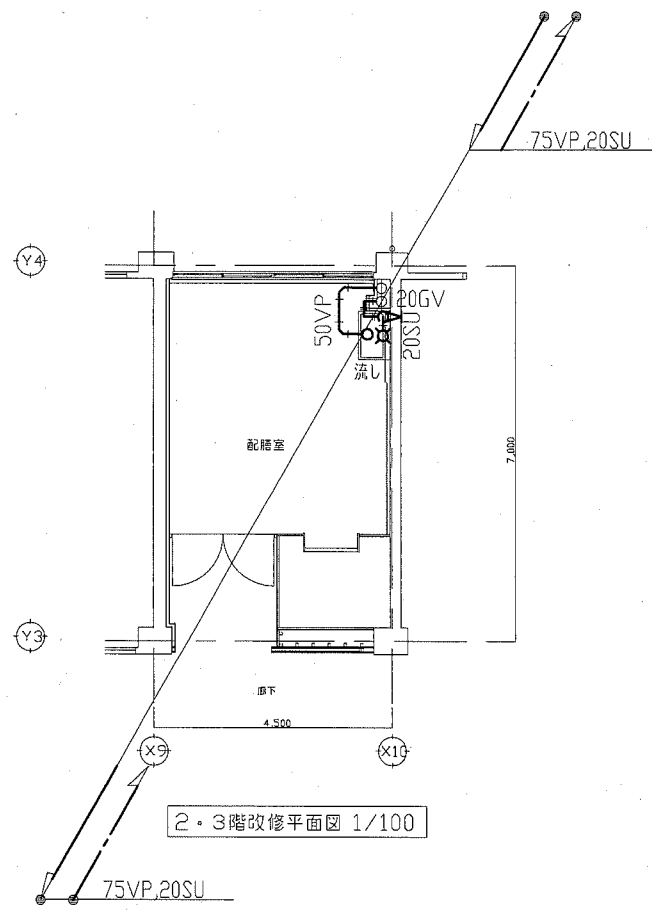
3階撤去図 1/100

■ は構築撤去範囲を示す。W=500 H=1000
 ※ 既設流し撤去は建築図による

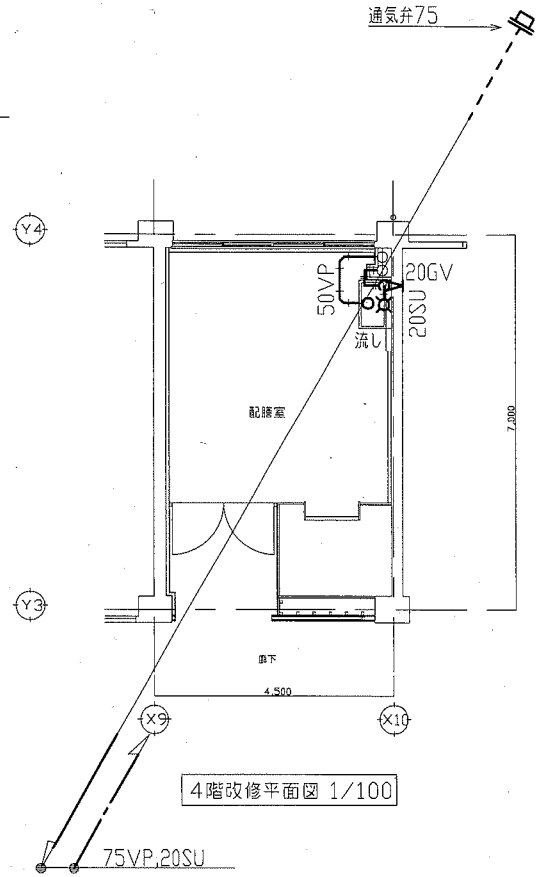
公共建築課長 	主査 等 	担当 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 平成31年2月		工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事 図面名称 A棟各階衛生設備撤去改修図	縮尺 A2 1:100	No. M-02
---	----------	--------	---------------------------------	--	---	----------------	-------------



1階改修平面図 1/100

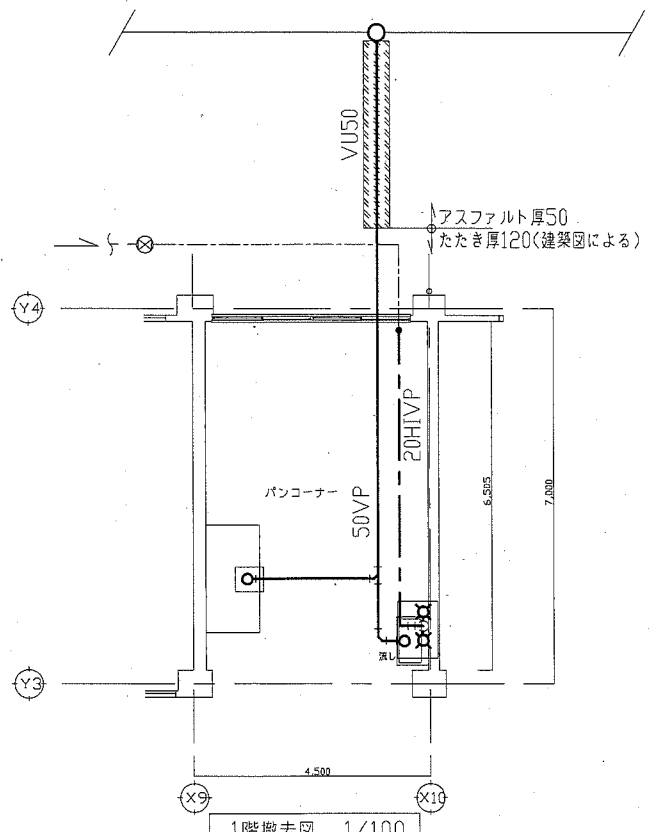


2・3階改修平面図 1/100



4階改修平面図 1/100

▨ は舗装復旧範囲を示す。W=500 A=5-10
 ※ 流し設置は別図
 ※ ●部はコア抜き箇所を示す
 ※ ●は、配管接続箇所を示す



1階撤去図 1/100

▨ は舗装撤去範囲を示す。W=500 H=1000
 ※ ●は、配管切断箇所を示す
 ※ 既設流し撤去は建築図による

 公共建築課長	主査	担当	横須賀市 都市部 公共建築課					工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	M-03
				設計年月日 平成31年2月				図面名称 B棟各階衛生設備撤去改修図	A2 1:100	

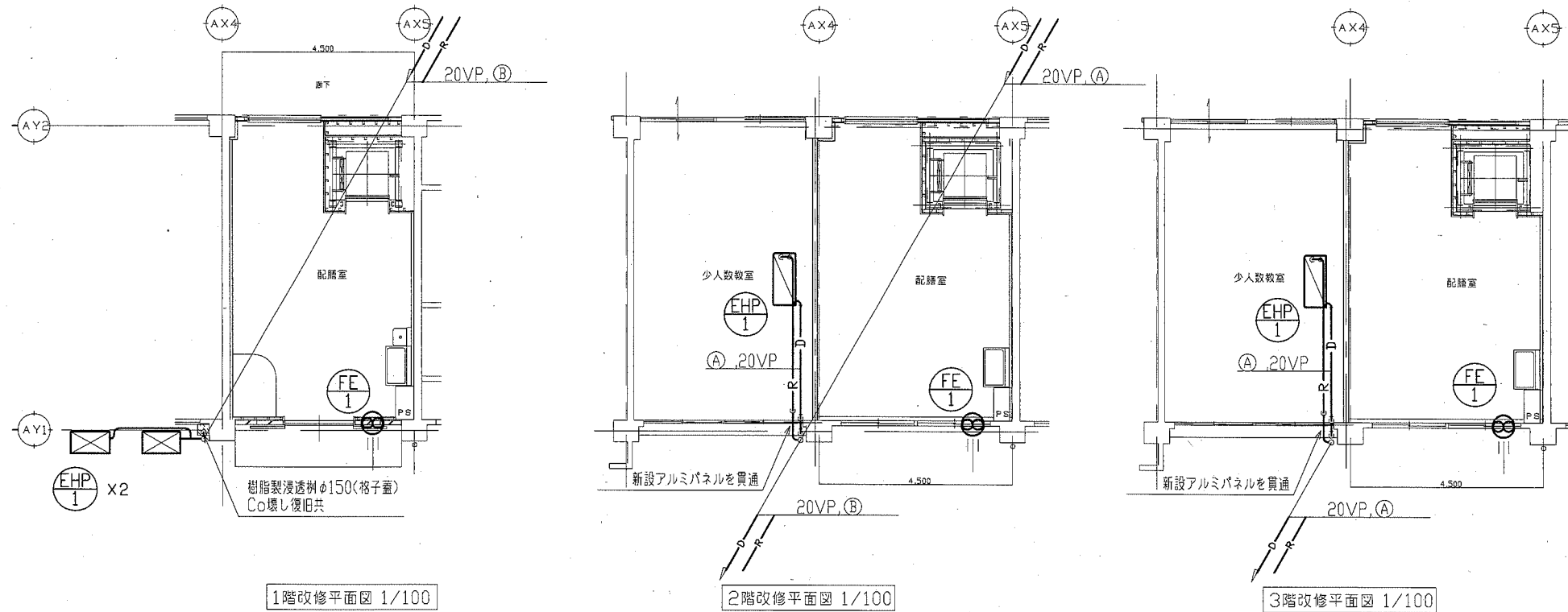
機器表

記号	機器名称	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	kW			
EHP-1	ヒートポンプエアコン	形式：パッケージ形空調機(天吊式) 冷房能力：5.6 kW (JIS標準条件) 暖房能力：6.3 kW (JIS標準条件) APF：5.5以上 質量：内機：25kg外機：43kg (参考) 付属品：ワイヤレスリモコン、基礎ボルト(SUS)、防護網、転倒防止金具(ステンレス製) コンクリート製基礎ブロック(ゴムシート敷) iL=600、他標準付属品一式	1	200	1.1	2	A棟2・3階少人数教室	
FE-1	換気扇	仕様：20cm 格子タイプ 電気式シャッター 学校改修用 能力：485 CMH x 10Pa 付属品：ウェザーカバー(SUS) 防鳥網付	1	100	15.5W	7	A・B棟各階配膳室	スイッチは電気工事

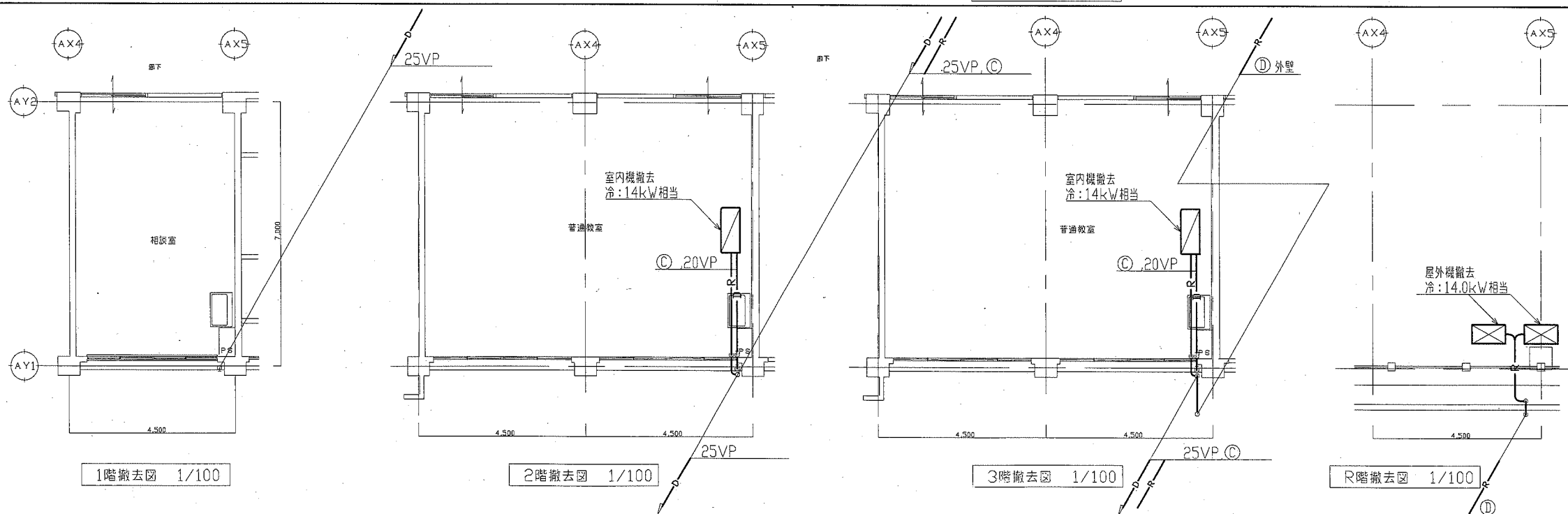
冷媒管サイズ表

記号	冷媒配管口径	仕上げ材	
		屋外 ラッキング (ステンレス鋼板)	屋内 保温化粧ケース (SD型)
Ⓐ	6.4φ×12.7φ	No.6S	100×70
Ⓑ	6.4φ×12.7φ×2	No.9	—
Ⓒ	9.5φ×15.9φ	No.6S	100×70
Ⓓ	9.5φ×15.9φ×2	No.9	—

※以下の配線を冷媒管共巻きとする。
内外連絡線：EM-EEF2.0-3C
※屋外ドレン立管は冷媒管ラッキング内配管とする



※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図による)に設置



公共建築課長

主査

担当

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成31年2月

工事名称 市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

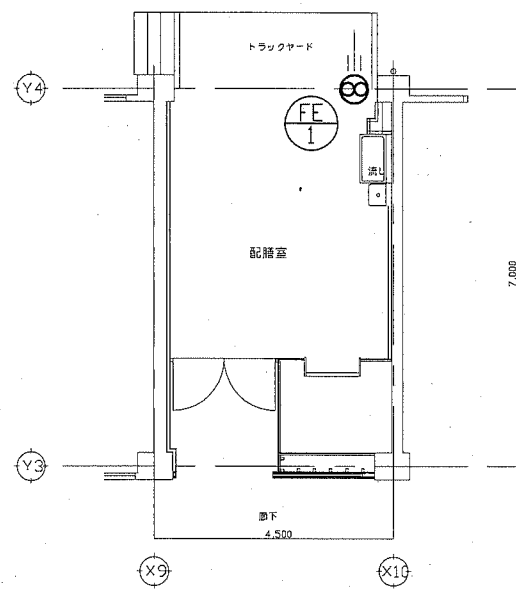
図面名称 A棟各階空調設備撤去改修図

縮尺

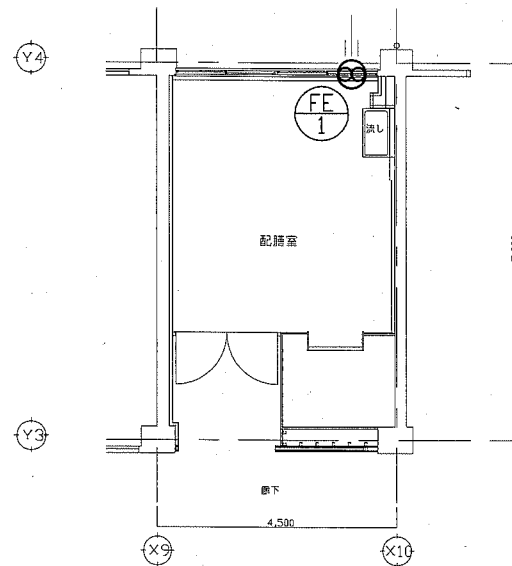
A2 1:100

M-04

No.



1階改修平面図 1/100



2~4階改修平面図 1/100

※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図による)に設置

公共建築課長

主査等

担当

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成31年2月

工事名称市立不入斗中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称B棟各階空調設備改修図

縮尺

A2 1:100

M-05

No.

